

# **こみの減量・資源化についてのアンケート調査**

## **報 告 書**

令和8年（2026年）3月

東 海 市



# 目次

1	調査の概要	1
(1)	調査の目的	1
(2)	調査の概要	1
(3)	調査結果の見方	3
2	調査結果	4
I.	あなたご自身のことについて	4
(1)	性別/年齢	4
(2)	住まいの地域	7
(3)	職業	8
(4)	回答者自身を含めた同居している世帯人員	10
(5)	住まいの種類	12
II.	あなたの家庭のごみ出しの状況について	14
(1)	主にごみ出しを行っている人	14
(2)	可燃ごみを集積場所に出す頻度	17
(3)	不燃ごみを集積場所に出す頻度	19
(4)	プラスチックを集積場所に出す頻度	22
(5)	ペットボトルを集積場所に出す頻度	24
(6)	缶類を集積場所に出す頻度	27
III	家庭のごみと資源の分別について	29
(1)	ごみと資源の出し方	29
(2)	資源として回収してほしいと思う品目	34
(3)	主にごみと資源の分別を行っている人	36
(4)	ごみと資源の分別で感じていること	39
(5)	資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度	42
(6)	資源分別収集拠点場の利用頻度	45
(7)	地域で行われている資源集団回収の利用頻度	48
(8)	民間の資源回収ステーションの利用頻度	52
IV	ごみの減量・資源化について	55
(1)	リユースの状況	55
(2)	食品ロスの発生頻度	61

(2) -①食べ残し（作りすぎて、食べきれないこと）	61
(2) -②直接廃棄（期限切れ等により手つかずのまま捨てること）	63
(2) -③過剰除去（野菜の皮など食べることができるところまで厚くむき捨てること）	65
(3) 食品ロスの発生理由	67
(4) 食品ロスを減らすための取組状況と今後の取組意向	70
(5) ごみの減量・資源化を推進するための取組状況と今後の取組意向	75
(6) 充実してほしい情報発信の手段	80
<b>V  ごみ指定袋について</b>	<b>83</b>
(1) 可燃用指定袋（白色）の使用枚数	83
(2) 1年間に余る可燃用指定袋の枚数	85
(3) 1年間に購入した可燃用指定袋の枚数	87
(4) 不燃用指定袋（青色）の使用枚数	88
(5) 1年間に余った不燃用指定袋（青色）の枚数	90
(6) 1年間に使用した資源用袋（黄色）の枚数	91
(7) 1年間に余った資源用袋（黄色）の枚数	93
(8) 1年間に購入した無色透明の袋・追加でもらって使用した資源用袋の枚数	94
(9) 1年間の粗大ごみシールの使用枚数	95
(10) ごみ指定袋制度のあり方	97
(11) 「現在の制度を続ける」を選んだ理由	100
(12) 「他の自治体のように1枚目から有料化する」を選んだ理由	103
<b>VI  自由意見</b>	<b>105</b>
<b>調査票</b>	<b>128</b>

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本市では、第4次ごみ処理基本計画（計画期間：平成29年度（2017年度）から令和8年度（2026年度）までの10年間）に基づき、ごみの減量や資源化の推進に取り組んできました。同計画の終了に伴い、令和8年度（2026年度）には新たに第5次ごみ処理基本計画を策定いたします。第5次東海市ごみ処理基本計画の策定を行うに当たり、東海市における市民の現状及び意識を把握し、もって問題点の特定及び課題の設定を行うため、ごみ処理基本計画アンケート調査を実施したものです。また、ごみ指定袋制度のあり方についても調査を行ったものです。

## (2) 調査の概要

本調査の概要は、次のとおりです。

- 調査対象者：令和7年（2025年）10月1日時点において無作為に抽出した18歳以上の市民2,000人
- 調査方法：郵送により調査票と返送用封筒を対象者へ送付し、次のいずれかの方法で回収
  - ・返送用封筒による郵送
  - ・調査票に表示された二次元バーコード又はURLにアクセスの上行うインターネットによる回答
- 調査期間：令和7年（2025年）10月31日（金）から同年11月24日（月）まで
- 発送数：2,000票
- 有効回収数：1,034票
- 有効回収率：51.7%

○回収数の推移

日付	郵送	WEB 回答	累計	回収率	備考
10月31日(金)			0	0.0%	10/31(金) 発送
11月1日(土)			0	0.0%	
11月2日(日)			0	0.0%	
11月3日(月)		1	1	0.1%	
11月4日(火)		66	67	3.4%	
11月5日(水)		42	109	5.5%	
11月6日(木)	1	24	134	6.7%	
11月7日(金)	8	21	163	8.2%	
11月8日(土)		20	183	9.2%	
11月9日(日)		26	209	10.5%	
11月10日(月)	225	6	440	22.0%	
11月11日(火)		8	448	22.4%	
11月12日(水)	70	7	525	26.3%	
11月13日(木)	19	6	550	27.5%	
11月14日(金)	57	3	610	30.5%	
11月15日(土)		7	617	30.9%	
11月16日(日)		11	628	31.4%	
11月17日(月)	66	5	699	35.0%	お礼状兼督促状発送
11月18日(火)		7	706	35.3%	
11月19日(水)	16	14	736	36.8%	
11月20日(木)	12	8	756	37.8%	
11月21日(金)	18	8	782	39.1%	
11月22日(土)		15	797	39.9%	
11月23日(日)		16	813	40.7%	
11月24日(月)		15	828	41.4%	締切日
11月25日(火)		4	832	41.6%	
11月26日(水)	155	2	989	49.5%	
11月27日(木)	8		997	49.9%	
11月28日(金)	19		1,016	50.8%	
11月29日(土)		2	1,018	50.9%	
11月30日(日)		3	1,021	51.1%	
12月1日(月)	8		1,029	51.5%	
12月2日(火)			1,029	51.5%	
12月3日(水)	3		1,032	51.6%	
12月4日(木)			1,032	51.6%	
12月5日(金)			1,032	51.6%	WEB 回答締切
12月6日(土)			1,032	51.6%	
12月7日(日)			1,032	51.6%	
12月8日(月)	2		1,034	51.7%	最終締切
有効回収分			1,034	51.7%	

○回収方法別の内訳

有効回収数 1, 034 票のうち、郵送による回収は 687 票 (66.4%)、WEB 回答は 347 票 (33.6%)

### (3) 調査結果の見方

- 図中の構成比 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのため、複数回答はもちろんのこと、単数回答の場合でも必ずしも合計は 100.0%にならない場合があります。
- クロス集計上の表側の「回答なし」は、基本的に省略しています。
- 表、グラフ等の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度に簡略化しているものがあります。
- グラフ内の「n=〇〇」は、その回答母数を表わしています。
- 今回 1,034 人から回答を得ましたが、この結果がどの程度の精度を持った回答結果であるのかは、アンケート調査結果に対する標本誤差を算出し、その誤差範囲により検討することができます。この標本誤差を算出すると、次の表のとおりで、最も誤差の大きい場合でも 2.97% となり、対象者全員に回答してもらった場合と比べて最高で±2.97%の誤差しか生じない結果となっています。

表序-1 標本誤差

母集団	標本数	回答割合				
		10%・90%	20%・80%	30%・70%	40%・60%	50%
97,873	1,034	2.04	1.82	2.43	2.78	2.97

$$\sigma = k \sqrt{\frac{M-n}{M-1} \cdot \frac{p(1-p)}{n}}$$

*M* : 母集団  
*n* : 有効回収数  
*p* : 結果の比率  
*k* : 信頼度による定数  
 $\sigma$  : 標本誤差

※信頼度を 95% とすると、 $k = 1.96$  となる。

## 2 調査結果

### I. あなたご自身のことについて

#### (1) 性別/年齢

問1. あなたの性別・年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

- ◆性別は、「男性」が38.3%、「女性」が59.7%となっています。
- ◆「50歳代」が21.3%と最も割合が高く、次いで「40歳代」が16.9%、「70歳以上」が16.2%と続いています。

#### 【性別】

- 性別は、「男性」が38.3%、「女性」が59.7%となっています。
- 年齢別に見ると、「男性」の割合は30歳代で48.0%と高くなっています(図1-1-1)。
- 居住地別による有意な差は見られません(図1-1-2)。
- 世帯人員別に見ると、1人世帯では男性が54.5%と高くなっています(図1-1-3)。

#### 【年齢】

- 年齢は、「50歳代」が21.3%と最も割合が高く、次いで「40歳代」が16.9%、「70歳以上」が16.2%と続いています。
- 居住地別に見ると、北部(※問2住まいの地域に関する設問の調査結果を参照)では「30歳未満」と「30歳代」を合わせた割合が24.8%と、他の地域に比べて低くなっています(図1-1-4)。

図1-1-1 年齢別「性別」

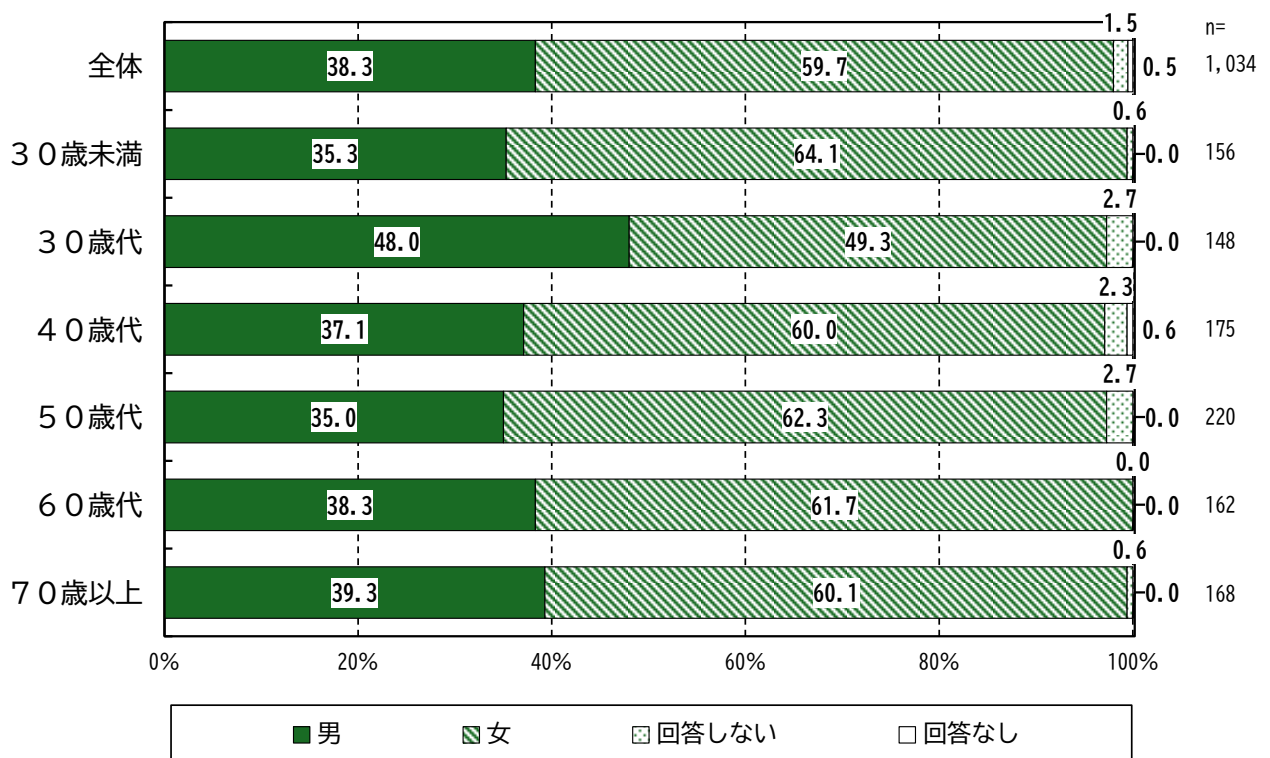


図 1-1-2 居住地別「性別」

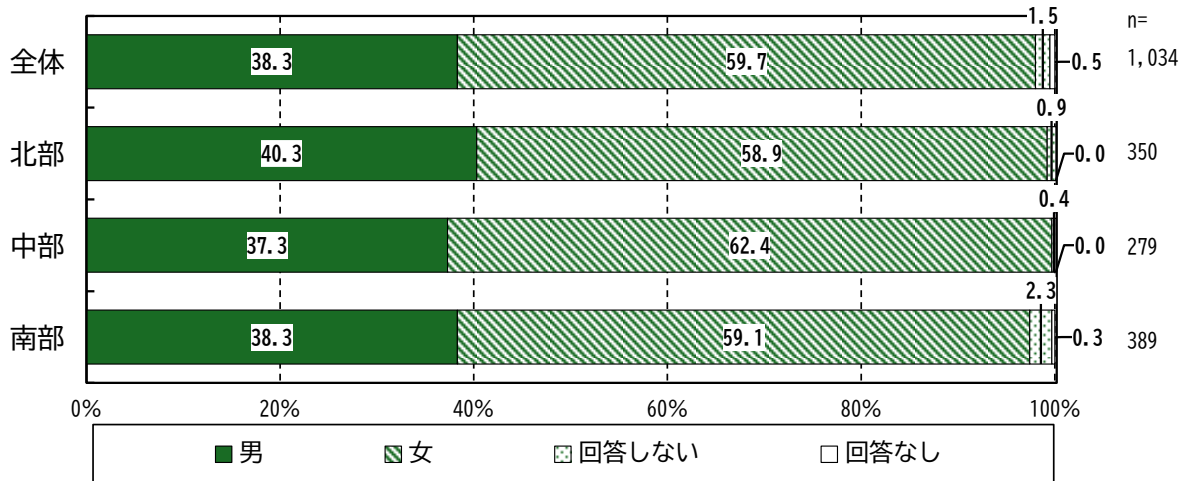


図 1-1-3 世帯人員別「性別」

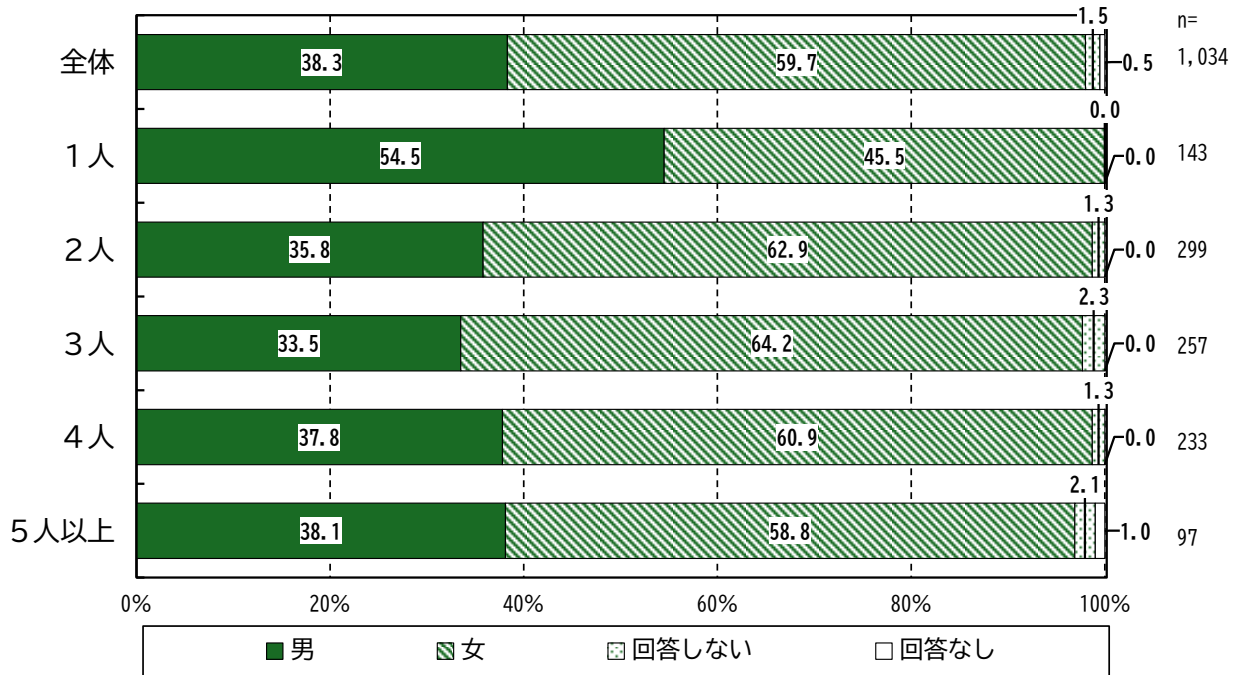
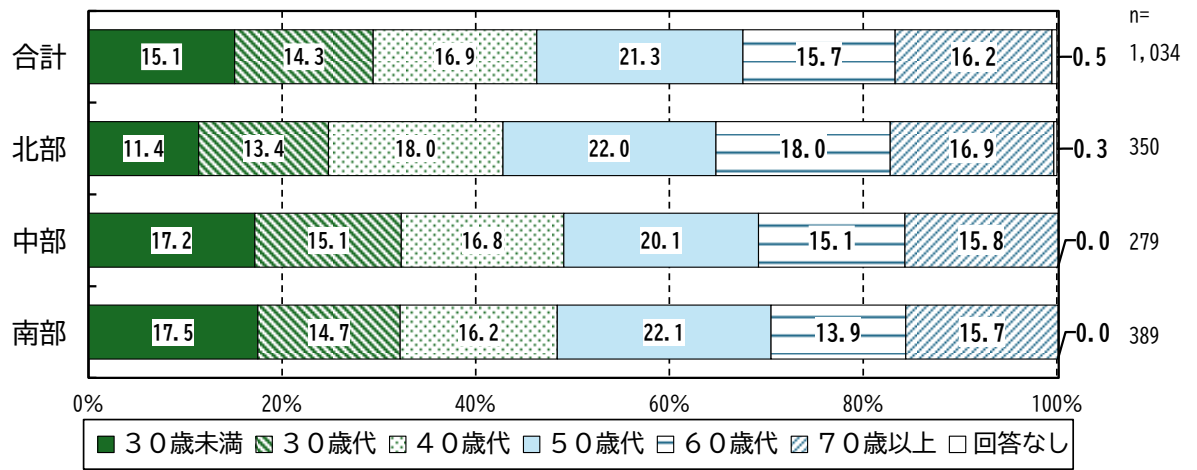


図 1-1-4 居住地別「年齢」



## (2) 住まいの地域

問2. あなたのお住まいの小学校区（コミュニティ地区）をお答えください。

（あてはまるもの1つに○を）

- ◆住まいの地域は、「横須賀」が15.2%と最も割合が高く、次いで「平洲」が12.6%、「加木屋」が11.6%、「富木島」が11.1%、「名和」が10.5%と続いています。
- ◆「横須賀」、「加木屋」、「三ツ池」、「加木屋南」を合わせた『南部』が37.6%と最も多く、次いで「緑陽」、「名和」、「渡内」、「平洲」を合わせた『北部』が33.8%、「明倫」、「富木島」、「船島」、「大田」を合わせた『中部』が27.0%となっています。

- 住まいの地域は、「横須賀」が15.2%と最も割合が高く、次いで「平洲」が12.6%、「加木屋」が11.6%、「富木島」が11.1%、「名和」が10.5%と続いています（図1-2-1）。
- また、地域を「緑陽」、「名和」、「渡内」、「平洲」を『北部』、「明倫」、「富木島」、「船島」、「大田」を『中部』、「横須賀」、「加木屋」、「三ツ池」、「加木屋南」を『南部』と区分すると、『南部』が37.6%と最も割合が高く、次いで『北部』が33.8%、『中部』が27.0%となっています（図1-2-2）。

図1-2-1 「居住地」

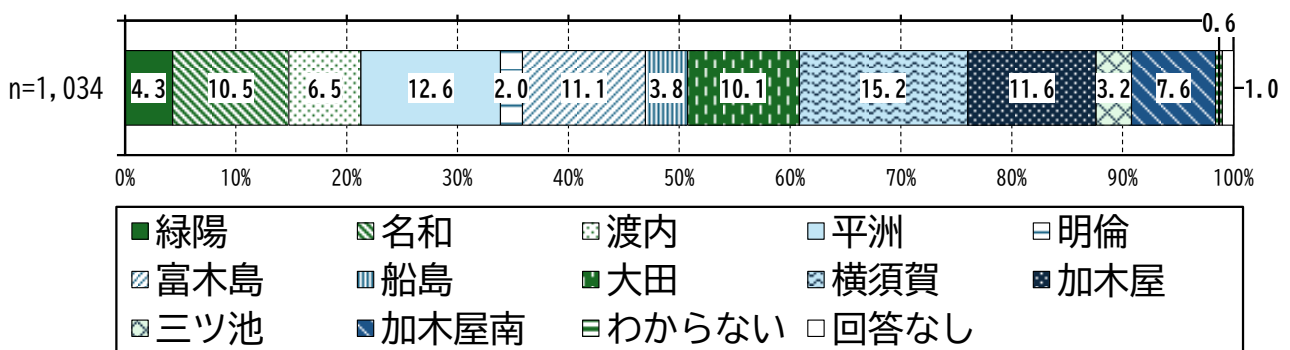
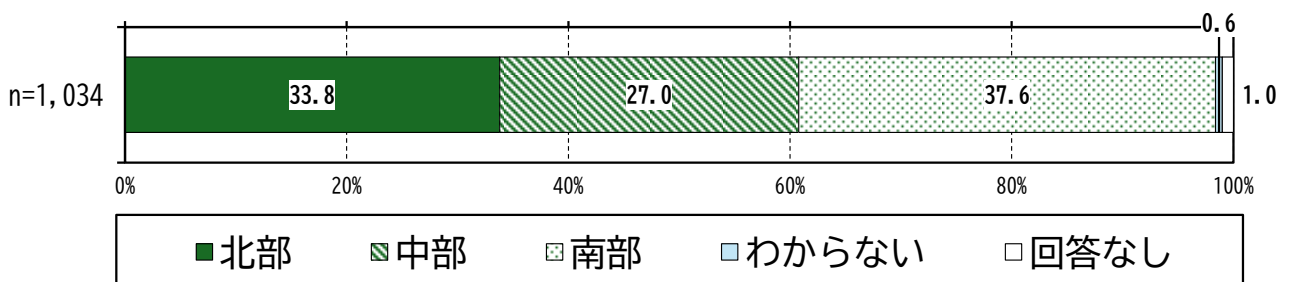


図1-2-2 「居住地（3区分）」



### (3) 職業

問3. あなたの職業をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

◆職業は、「会社員・公務員」が44.4%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が19.0%、「主婦・主夫（家事事業）」が15.0%と続いています。

- 職業は、「会社員・公務員」が44.4%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が19.0%、「主婦・主夫（家事事業）」が15.0%と続いています。
- 性別に見ると、男性は「会社員・公務員」が64.1%と半数以上となっており、女性の32.1%を大きく上回っています。
- また、女性は「会社員・公務員」が32.1%と最も割合が高く、次いで「パート・アルバイト」が27.4%、「主婦・主夫（家事事業）」が23.8%と続いています（図1-3-1）。
- 年齢別に見ると、「会社員・公務員」は、30歳未満から50歳代にかけての年齢層ではいずれも5割を超えています。一方、60歳代では26.5%、70歳以上になると3.6%となっており、年齢が高まるにつれて割合が低くなる傾向が見られます。
- また、60歳代以降になると「無職」の割合が高くなっており、70歳以上では5割弱となっています（図1-3-2）。
- 居住地別に見ると、北部では「会社員・公務員」が42.6%と他の地域に比べわずかに低くなっていますが、有意な差はありません（図1-3-3）。

図1-3-1 性別「職業」

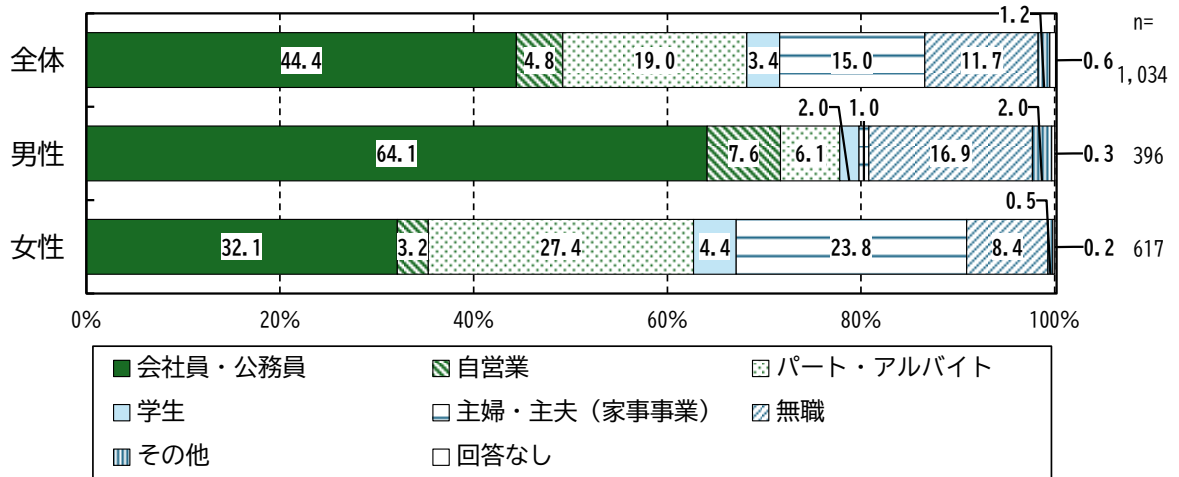


図 1-3-2 年齢別「職業」

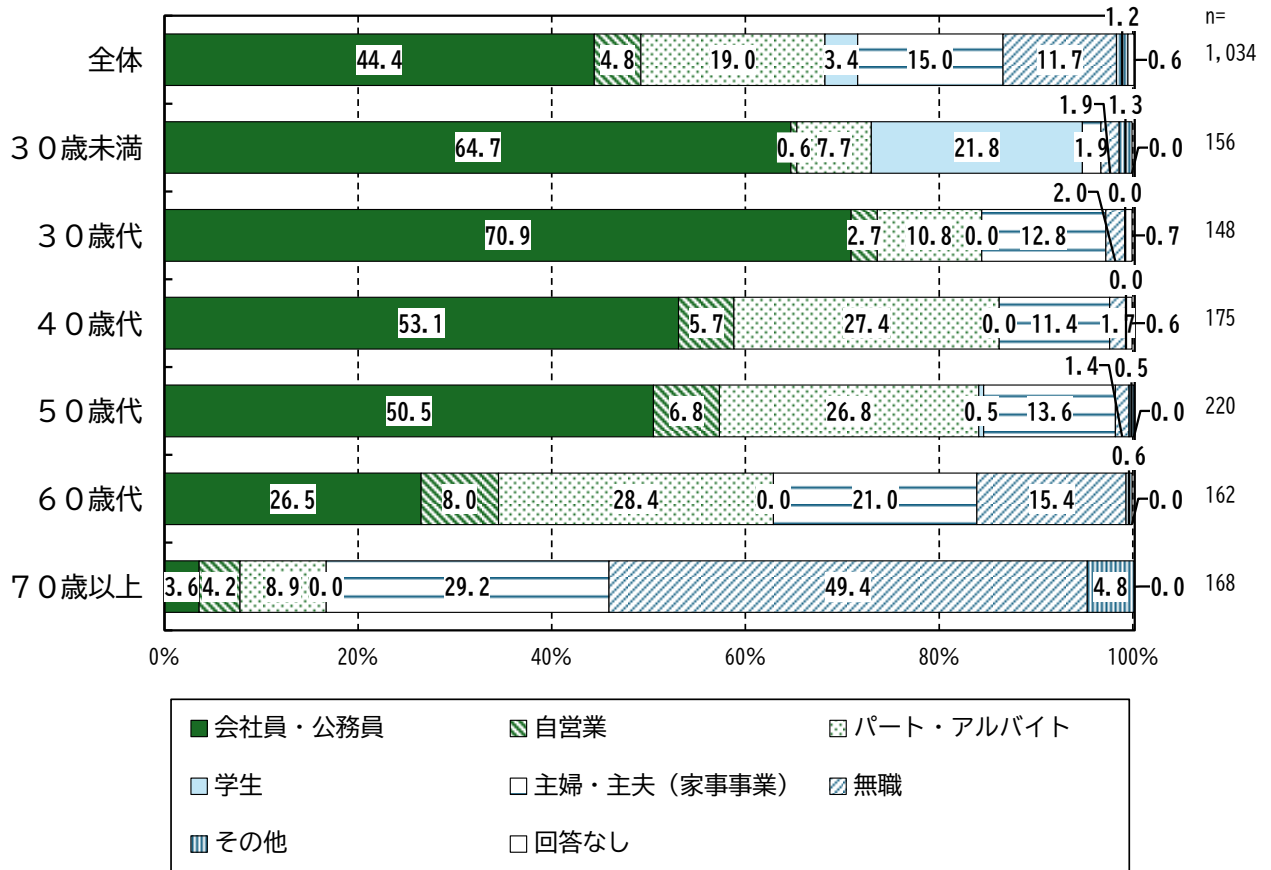
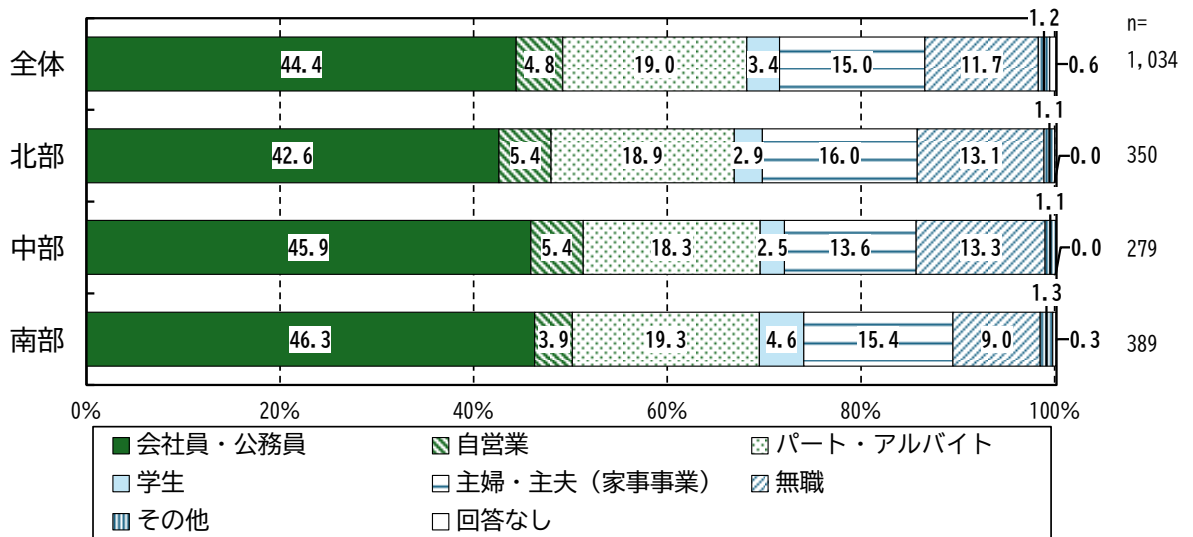


図 1-3-3 居住地別「職業」



#### (4) 回答者自身を含めた同居している世帯人員

問4. あなたを含めて同居されている世帯人員の数をお答えください。  
(あてはまるもの1つに○を)

◆世帯人員は、「2人」が28.9%と最も割合が高く、次いで「3人」が24.9%、「4人」が22.5%と続いています。

- 回答者自身を含めた同居している世帯人員は、「2人」が28.9%と最も割合が高く、次いで「3人」が24.9%、「4人」が22.5%と続いています。
- 年齢別に見ると、「2人」は、50歳代では35.5%、60歳代では41.4%、70歳以上では46.4%と、50歳代以降になると年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向が見られます。「1人」についても同様の傾向が見られ、高齢者世帯になるほど少数化していく傾向が見られます(図1-4-1)。
- 居住地別に見ると、北部では「3人」が28.9%と他の地域に比べて高く、中部では「1人」が17.2%と他の地域に比べてわずかに高くなっています(図1-4-2)。

図1-4-1 年齢別「世帯人員」

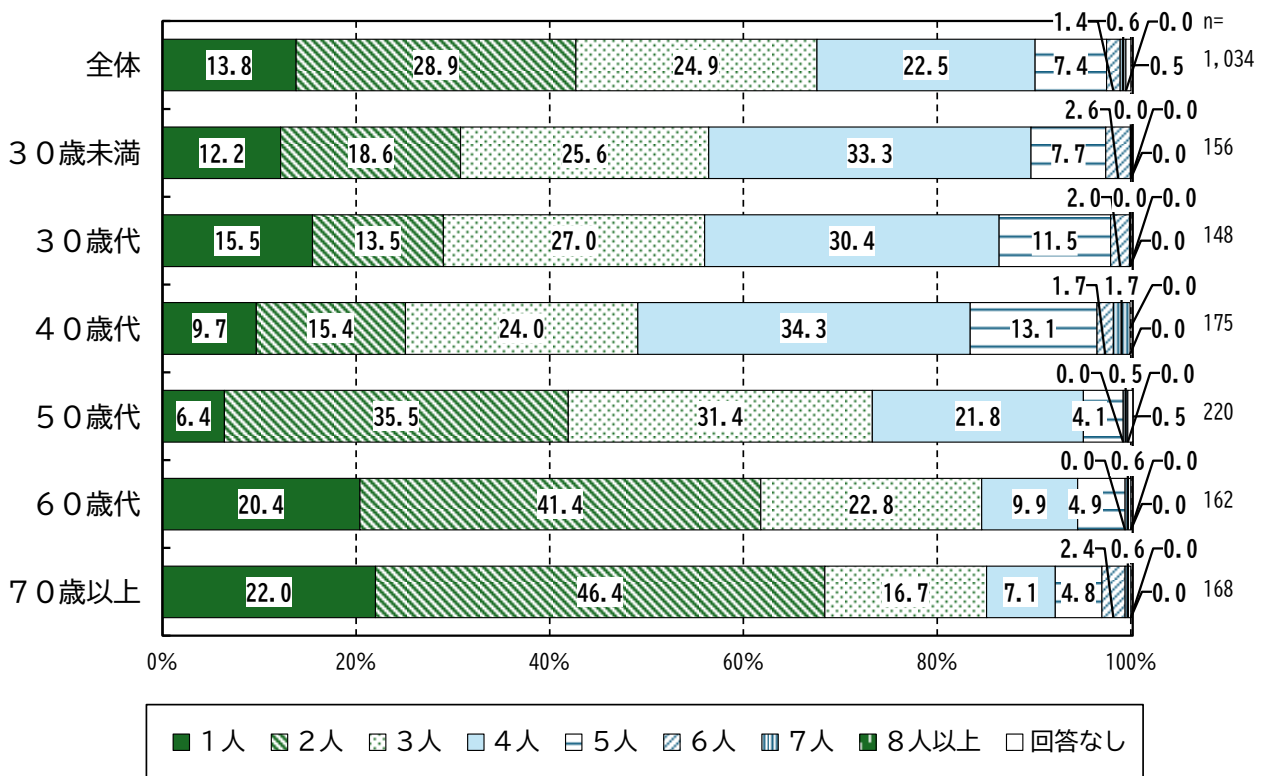
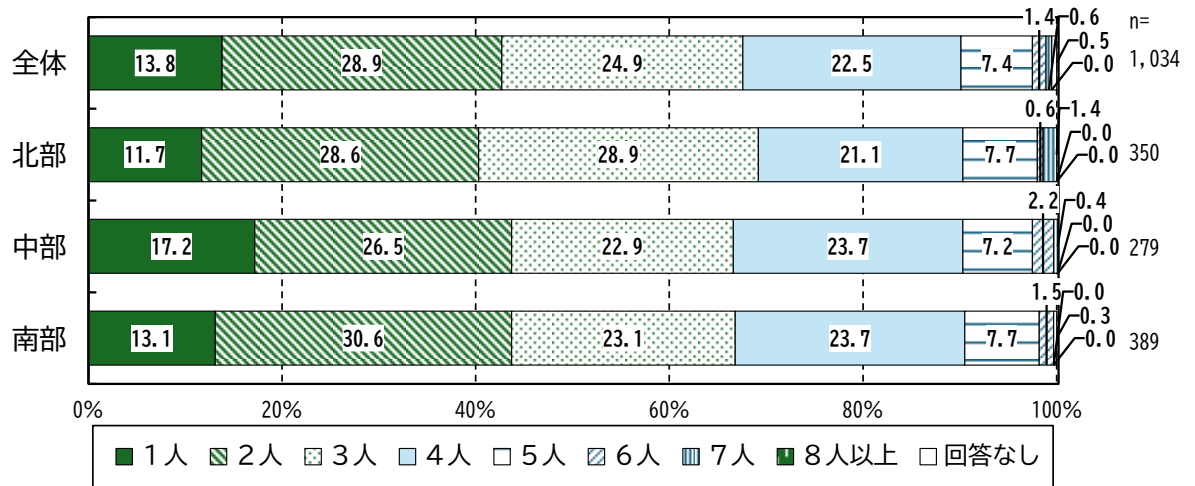


図 1-4-2 居住地別「世帯人員」



## (5) 住まいの種類

問5. あなたのお住まいの住宅の種類をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

◆住まいの種類は、「戸建住宅（持ち家）」が62.6%と最も割合が高く、次いで「集合住宅（貸家）」が19.5%。「集合住宅（持ち家）」が10.4%と続いています。

- 住まいの種類は、「戸建住宅（持ち家）」が62.6%と最も割合が高くなっています。次いで「集合住宅（賃貸）」が19.5%、「集合住宅（持ち家）」が10.4%と続いています。
- 年齢別に見ると、「戸建住宅（持ち家）」はいずれの年代も5割以上となっています。30歳未満と30歳代では、「集合住宅（賃貸）」が20.5%、29.7%や「社宅・寮」が12.8%、7.4%と高くなっています。(図1-5-1)。
- 居住地別に見ると、中部では「戸建住宅（持ち家）」が55.2%と他の地域に比べて低い一方、「社宅・寮」が8.6%と他の地域に比べて高くなっています。
- また、南部では「集合住宅（賃貸）」が14.9%と他の地域に比べてわずかに低くなっています。(図1-5-2)。
- 世帯人員別に見ると、「戸建住宅（持ち家）」は1人世帯が22.4%と最も割合が低く、世帯人員が増えるにつれ割合が高くなっています。一方、「集合住宅（賃貸）」は1人世帯が48.3%と最も割合が高く、世帯人員が増えるにつれて割合が低くなる傾向があります(図1-5-3)。

図1-5-1 年齢別 「住まいの種類」

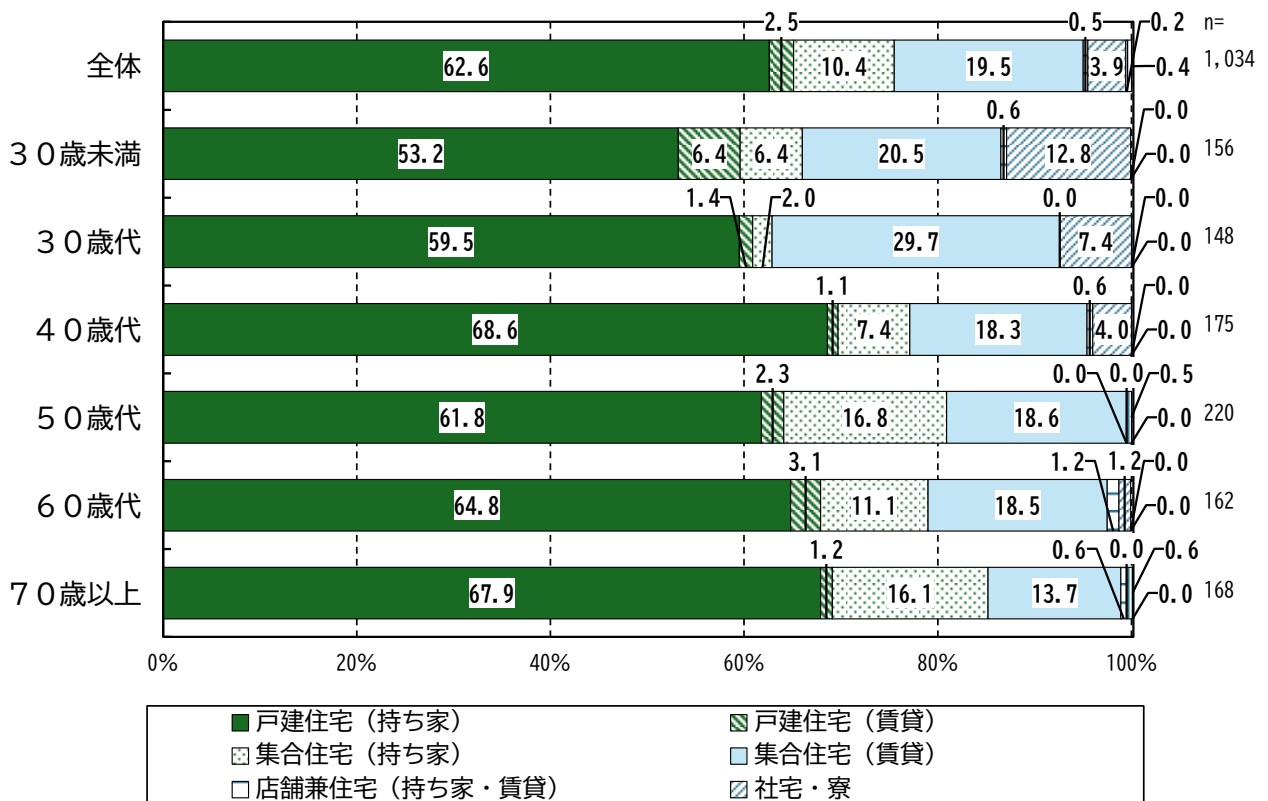


図 1-5-2 居住地別「住まいの種類」

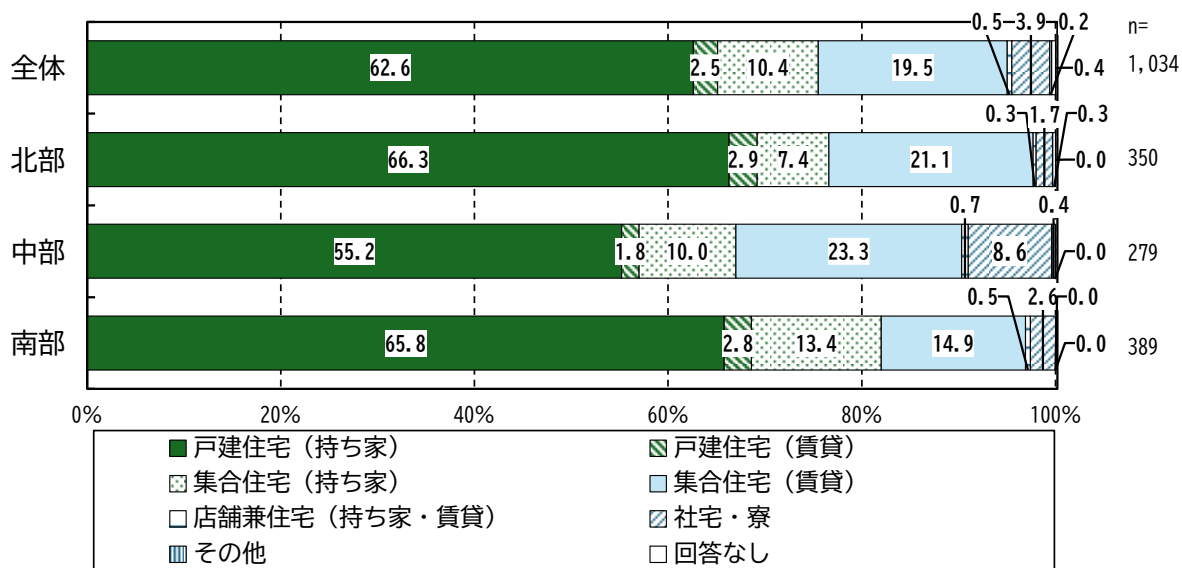
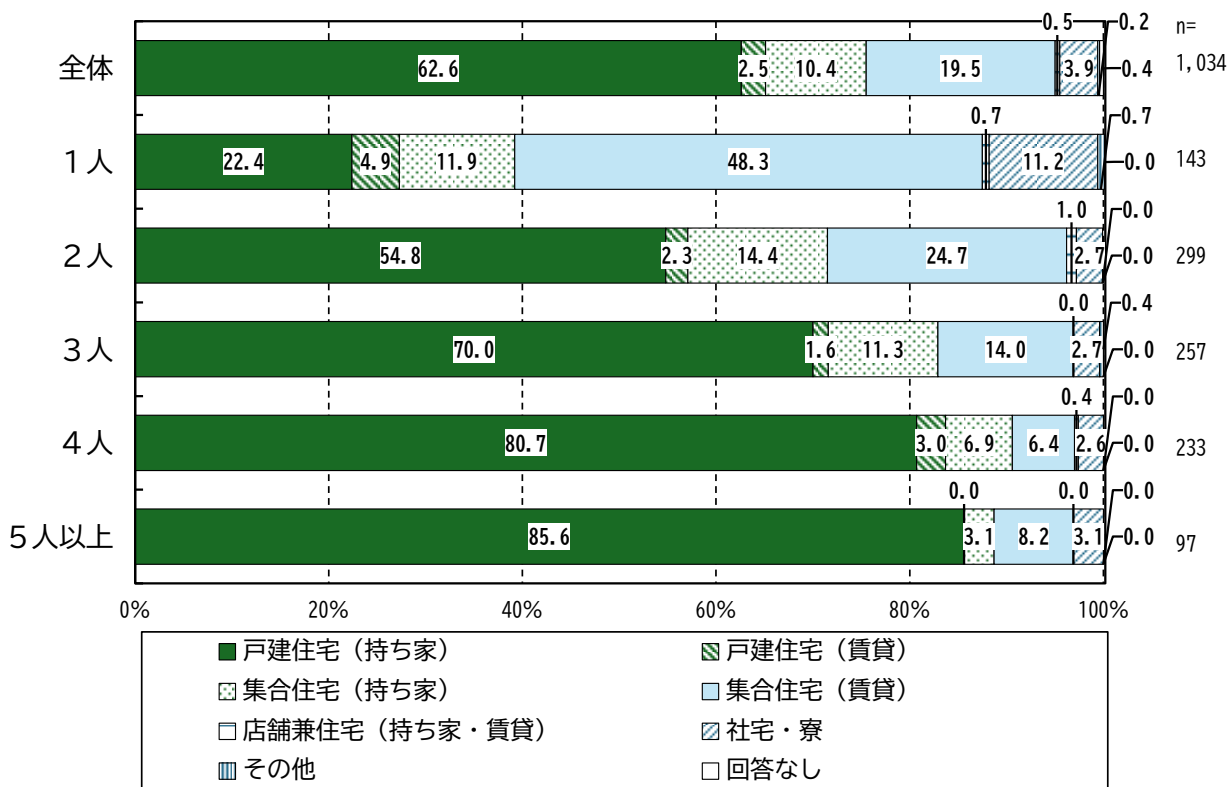


図 1-5-3 世帯人員別「住まいの種類」



## II. あなたの家庭のごみ出しの状況について

### (1) 主にごみ出しを行っている人

問6. あなたの家庭では、どなたが、主にごみ出しを行っていますか。  
(最も近いもの1つに○を)

◆主にごみ出しを行っている人は、アンケートを「受け取ったご本人」が54.2%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が26.5%、「母」が9.7%と続いています。

- 主にごみ出しを行っている人は、アンケートを「受け取ったご本人」が54.2%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が26.5%、「母」が9.7%と続いています。
- 性別に見ると、男女ともに「受け取ったご本人」がそれぞれ5割以上と最も割合が高くなっています。「配偶者」は、女性が28.7%と、男性の22.5%に比べてわずかに高くなっています(図2-1-1)。
- 年齢別に見ると、30歳代以上では「受け取ったご本人」がいずれの年代も5割以上と高くなっています。30歳未満では、「母」が35.9%と最も割合が高く、次いで「受け取ったご本人」が32.1%と続いています。(図2-1-2)。
- 職業別に見ると、自営業と学生を除くいずれの職業でも、「受け取ったご本人」が5割以上となっています。
- また、自営業では「受け取ったご本人」が46.0%と他の職業に比べてわずかに低くなっています。
- また、学生では「母」が71.4%と突出して高く、次いで「父」が22.9%、「受け取ったご本人」が5.7%と続いています(図2-1-3)。
- 世帯人員別に見ると、1人世帯は約9割が「受け取ったご本人」がごみ出しを行っており、3人以上の世帯では「母」がそれぞれ10.9%、18.0%、17.5%といずれも1割を超えています(図2-1-4)。

図2-1-1 性別「主にごみ出しを行っている人」

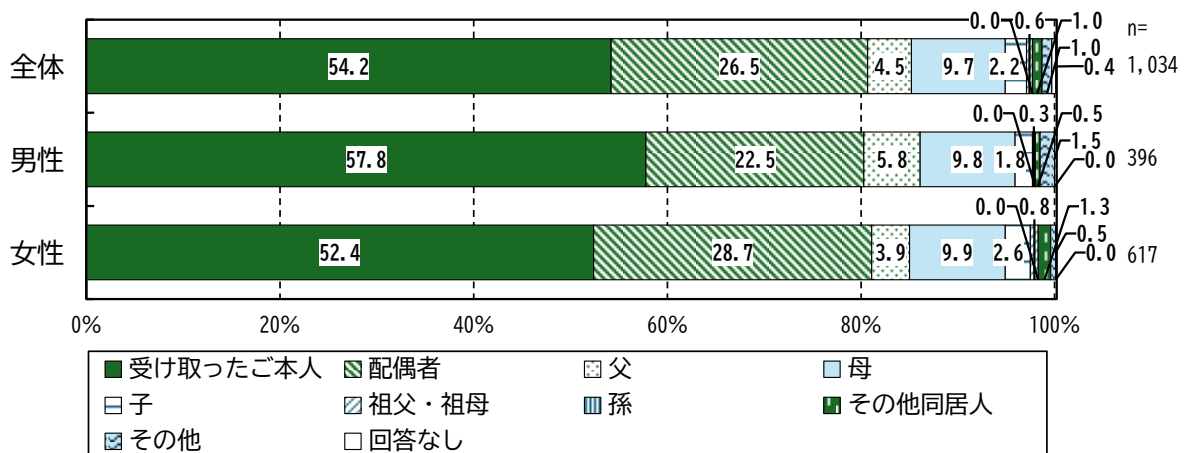


図 2-1-2 年齢別「主にゴミ出しを行っている人」

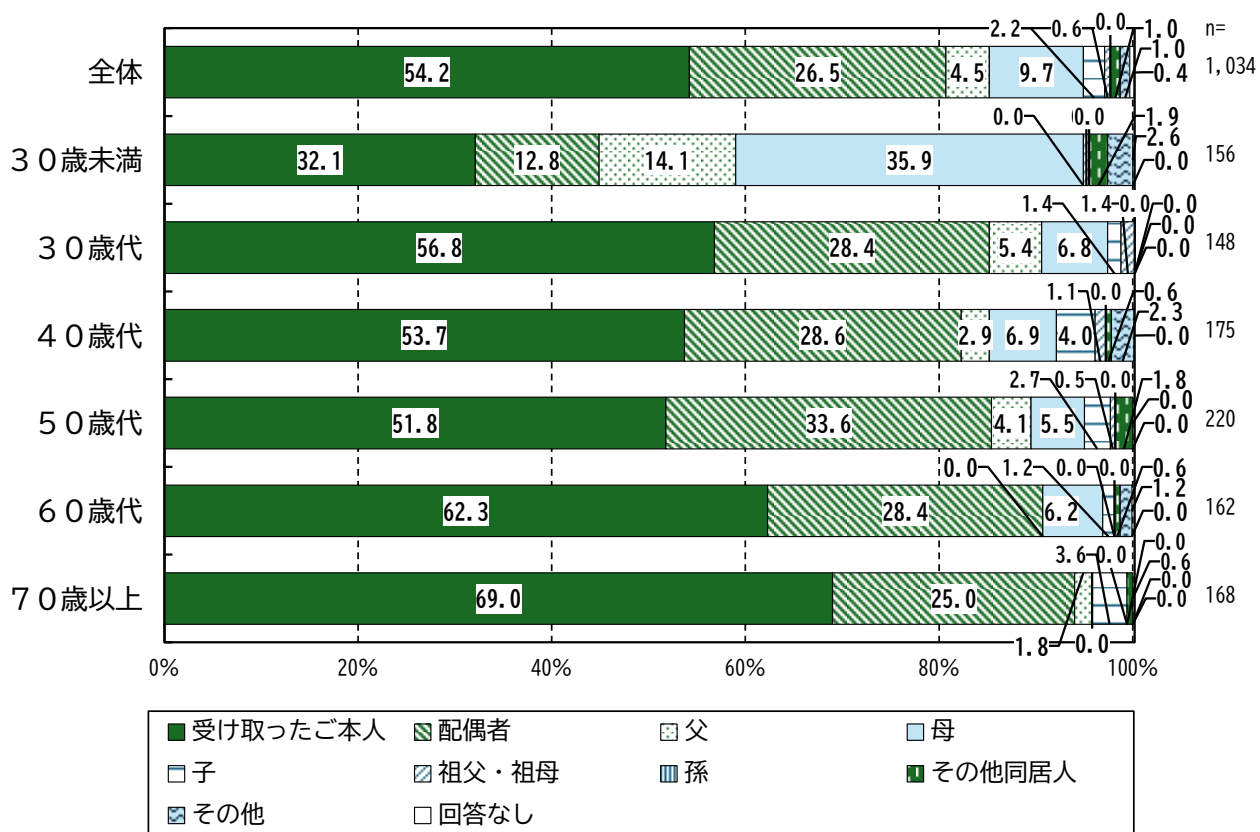


図 2-1-3 職業別「主にゴミ出しを行っている人」

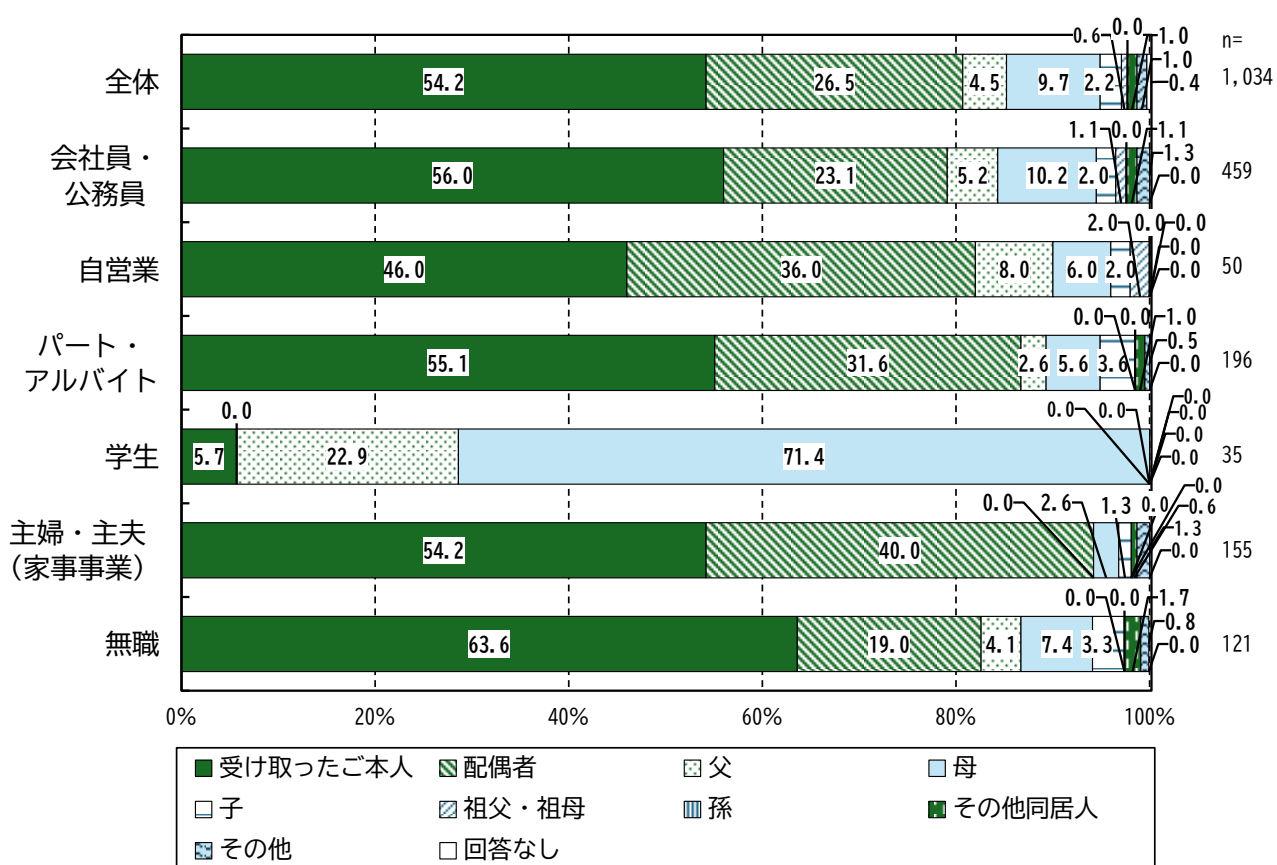
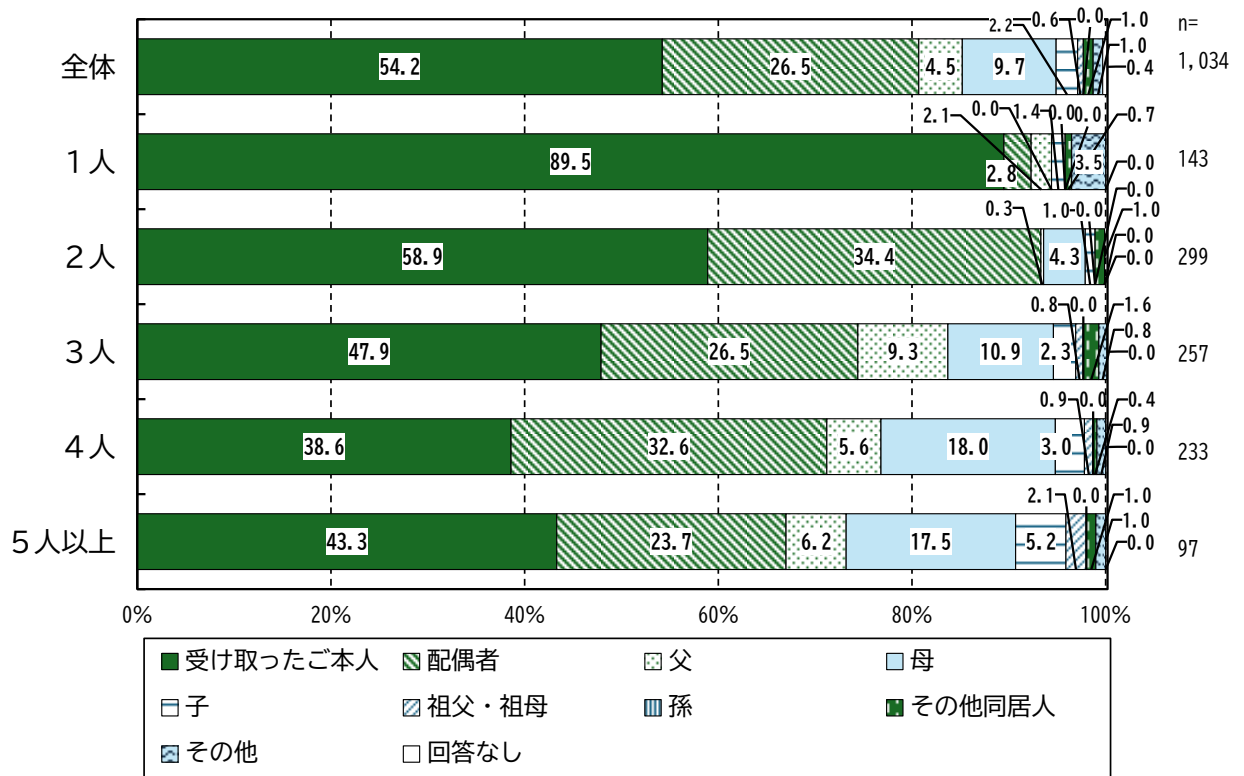


図 2-1-4 世帯人員別「主にゴミ出しを行っている人」



## (2) 可燃ごみを集積場所に出す頻度

問7. あなたの家庭では、可燃ごみは、どれぐらいの頻度でごみ集積場所に出していますか。  
 (最も近いもの1つに○を) ※毎週2回の収集日があります。

◆可燃ごみを集積場所に出す頻度は、「週2回（ほぼ毎回）」が68.9%と最も割合が高くなっています。

- 可燃ごみを集積場所に出す頻度は、「週2回（ほぼ毎回）」が68.9%と最も割合が高く、次いで「週1回程度」が26.4%、「月1～3回程度」が4.1%と続いています。
- 年齢別に見ると、「週2回（ほぼ毎回）」という頻度高く可燃ごみを出している人の割合は、30歳代で73.6%と最も割合が高く、次いで40歳代が71.4%、50歳代が70.9%と続いています（図2-2-1）。
- 世帯人員別に見ると、1人世帯では他の世帯規模に比べて「週2回（ほぼ毎回）」が30.1%と非常に低く、「週1回程度」は51.0%と高くなっています。
- 一方、2人以上の世帯では「週2回（ほぼ毎回）」がいずれも6割を超えており、特に3人以上の世帯では8割前後と非常に高い割合となっています（図2-2-2）。

図2-2-1 年齢別「可燃ごみを集積場所に出す頻度」

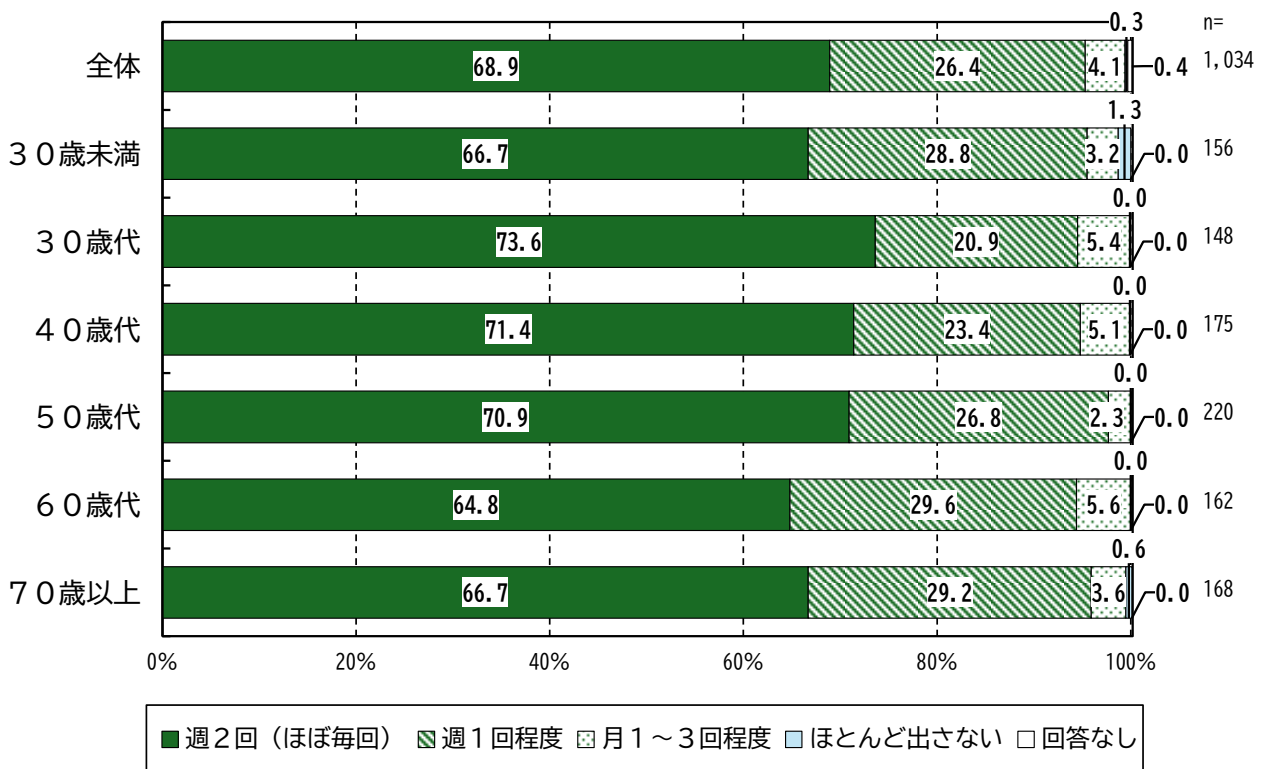
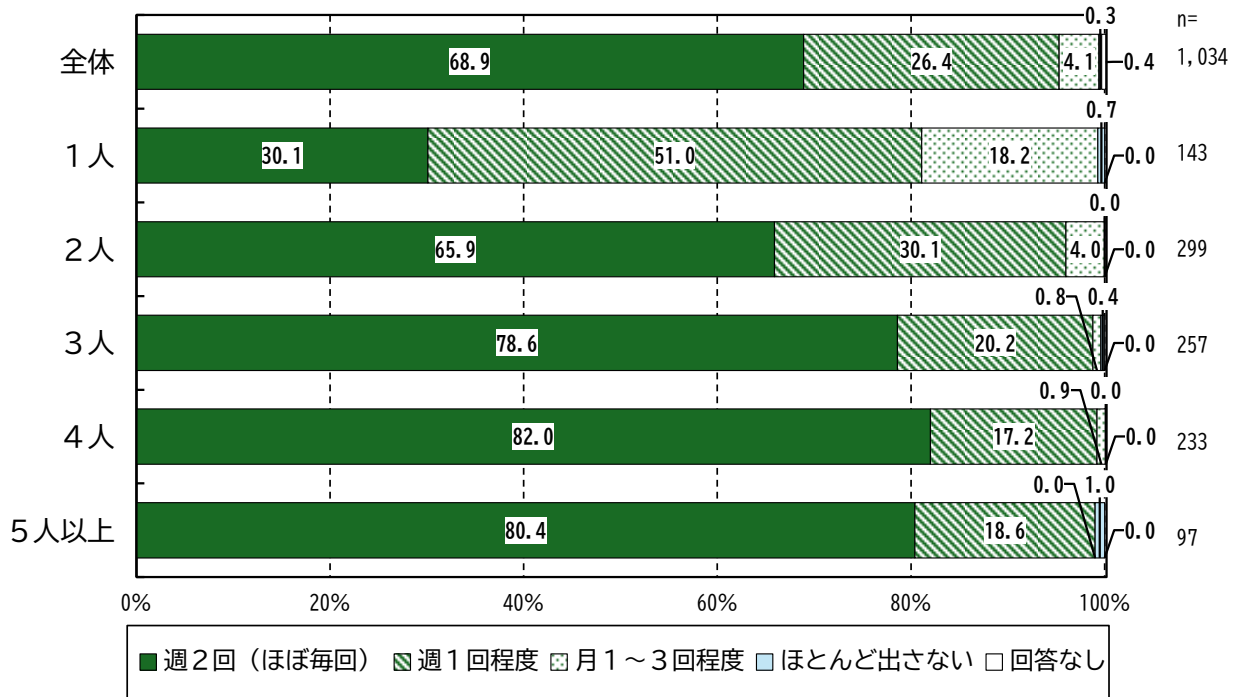


図 2-2-2 世帯人員別「可燃ごみを集積場に出す頻度」



### (3) 不燃ごみを集積場所に出す頻度

問8. あなたの家庭では、不燃ごみは、どれぐらいの頻度でごみ集積場所に出していますか。  
(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

◆不燃ごみを集積場所に出す頻度は、「2・3か月に1回程度」が34.3%と最も割合が高く、次いで「年1～3回程度」が33.7%となっています。

- 不燃ごみを集積場所に出す頻度は、「2・3か月に1回程度」が34.3%と最も割合が高く、次いで「年1～3回程度」が33.7%、「月1回（ほぼ毎回）」が21.8%と続いています。
- 年齢別に見ると、30歳代では他の年代に比べて「ほとんど出さない」が16.9%と高く、「月1回（ほぼ毎回）」は12.2%と低くなっています。
- 「月1回（ほぼ毎回）」は、30歳代以降、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られ、70歳以上では28.0%と最も割合が高くなっています（図2-3-1）。
- 居住地別に見ると、中部では他の地域に比べて「2・3か月に1回程度」が29.7%と低く、「ほとんど出さない」が12.9%とやや高くなっています（図2-3-2）。
- 世帯人員別に見ると、「月1回（ほぼ毎回）」は5人以上の世帯が33.0%と最も割合が高く、1人世帯と4人世帯では2割未満となっています。また、1人世帯では「ほとんど出さない」が18.9%と他の世帯規模と比べてやや高くなっています（図2-3-3）。
- 問12でびん類を「ごみとして出している」と回答した人では、「月1回（ほぼ毎回）」が29.9%、「2・3か月に1回程度」が41.4%と、「資源として出している」と回答した人に比べて高くなっています。
- また、問12で小型家電を「ごみとして出している」と回答した人も、「月1回（ほぼ毎回）」が23.2%、「2・3か月に1回程度」が38.4%と、いずれも「資源として出している」と回答した人より高くなっています。
- びん類の方が小型家電よりも、「ごみとして出している」と「資源として出している」の排出頻度の差が大きくなっています（図2-3-4）。

図 2-3-1 年齢別「不燃ごみを集積場所に出す頻度」

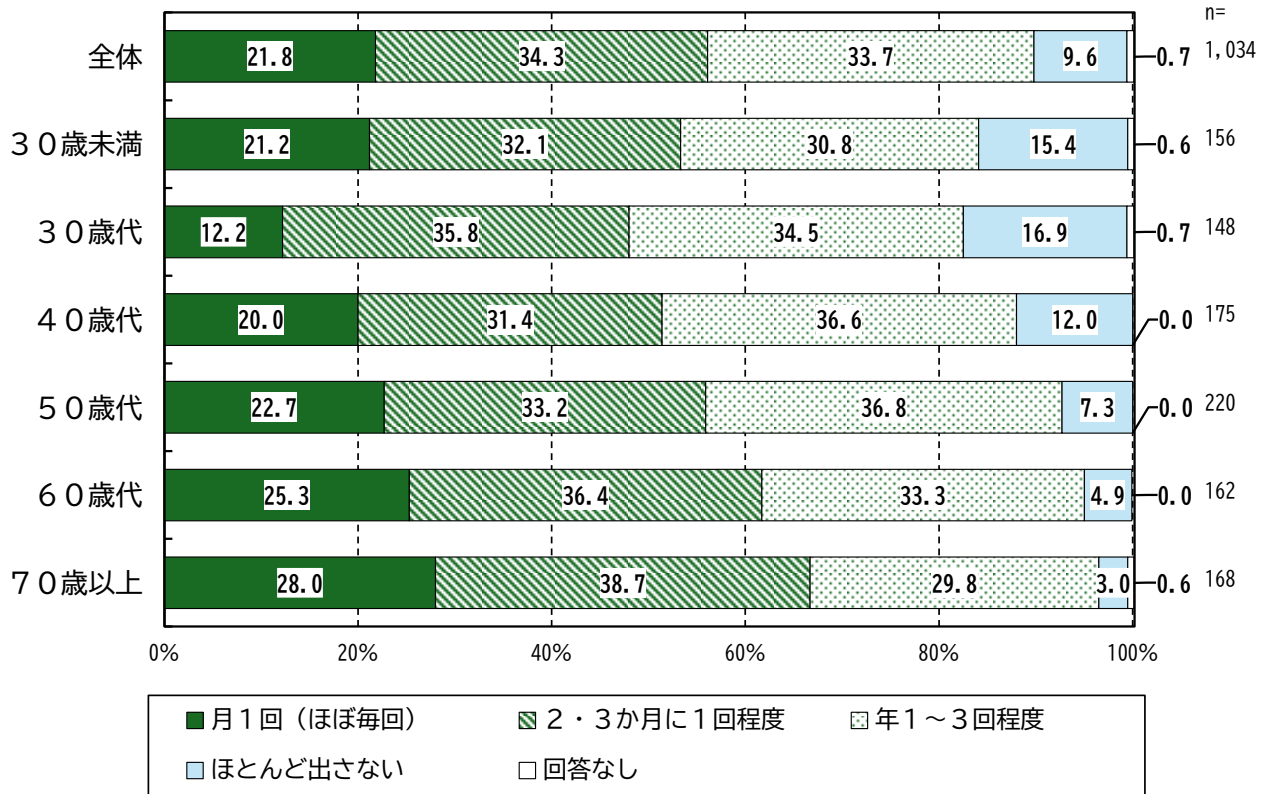


図 2-3-2 居住地別「不燃ごみを集積場所に出す頻度」

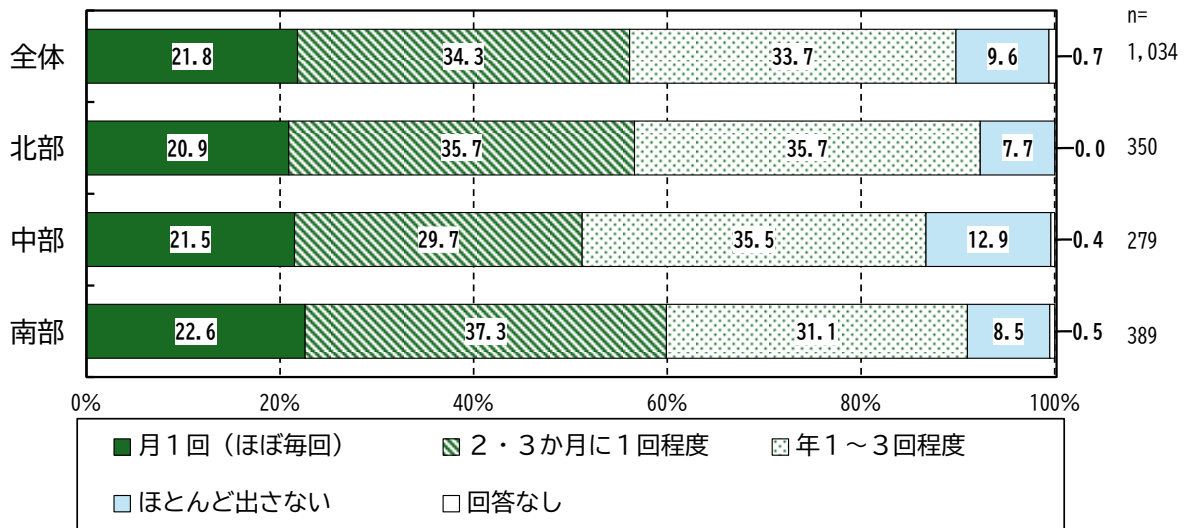


図 2-3-3 世帯人員別「不燃ごみを集積場所に出す頻度」

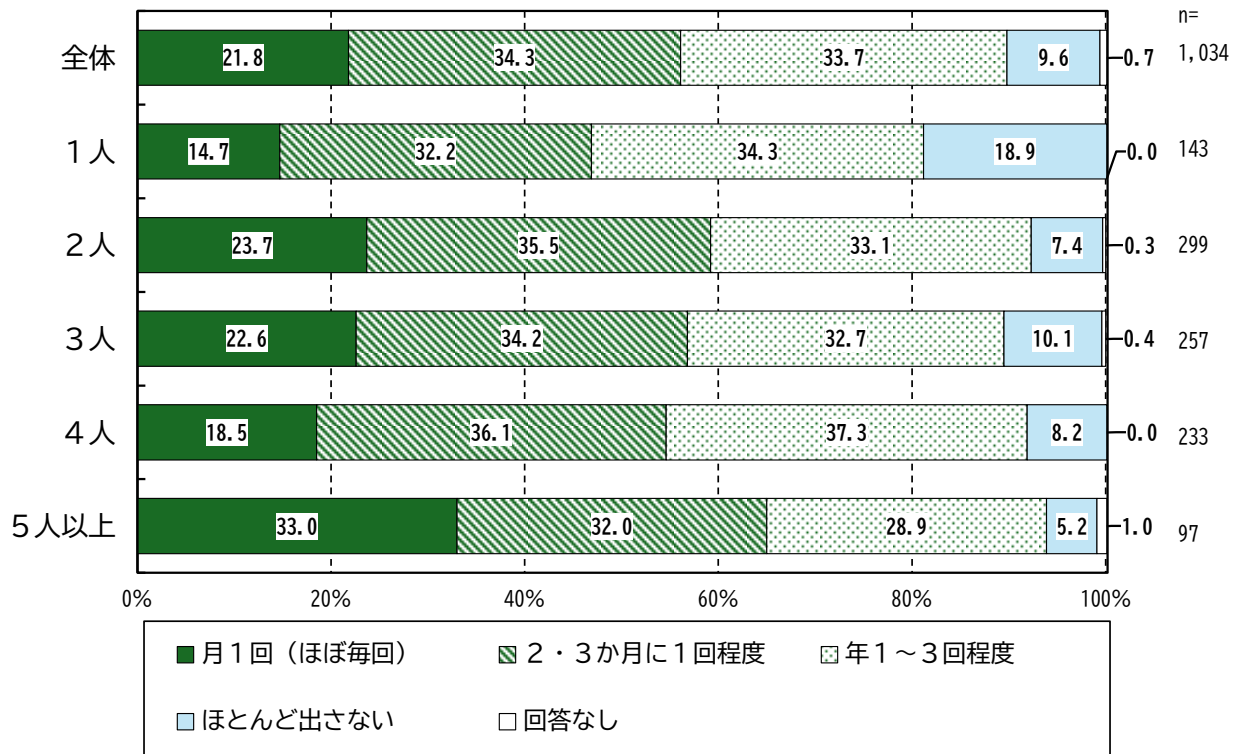
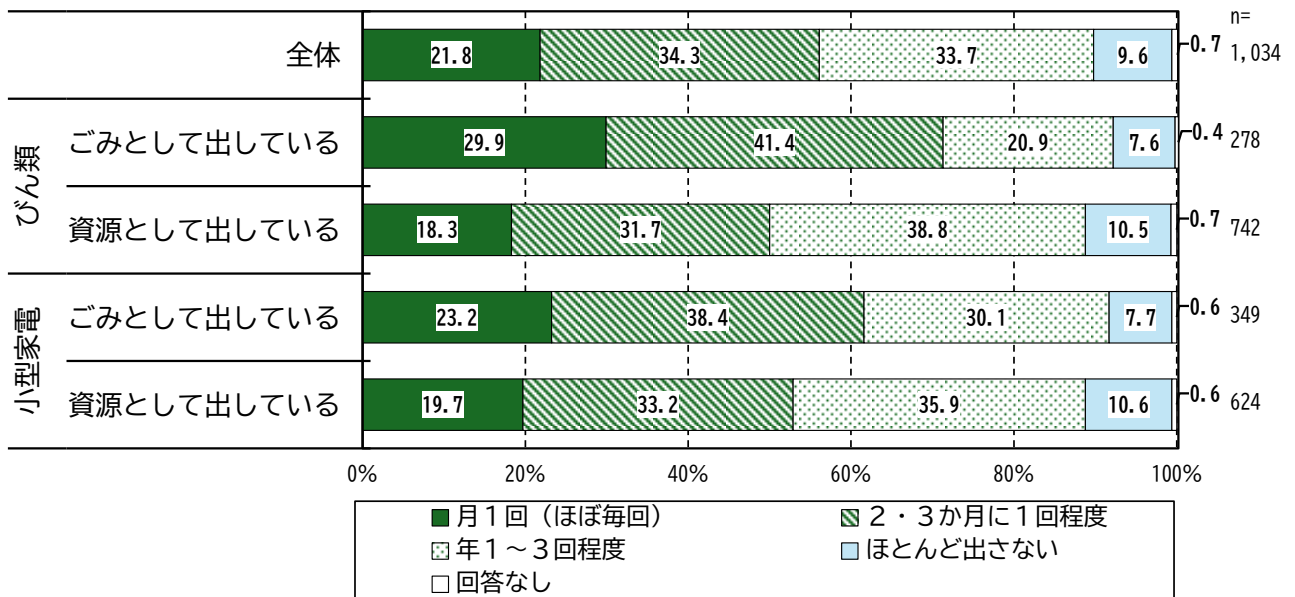


図 2-3-4 問 12 回答別「不燃ごみを集積場所に出す頻度」(びん類・小型家電)



#### (4) プラスチックを集積場所に出す頻度

問9. あなたの家庭では、プラスチックは、どれぐらいの頻度でごみ集積場所に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎週1回の収集日があります。

◆プラスチックを集積場所に出す頻度は、「週1回(ほぼ毎回)」が62.5%と最も割合が高くなっています。

- プラスチックを集積場所に出す頻度は、「週1回(ほぼ毎回)」が62.5%と最も割合が高くなっています。
- 年齢別に見ると、「週1回(ほぼ毎回)」は、50歳代が68.2%と最も割合が高く、次いで40歳代が65.7%、30歳未満が62.2%、60歳代が60.5%と続いています(図2-4-1)。
- 居住地別に見ると、「週1回(ほぼ毎回)」は、北部が65.1%最も割合が高く、次いで中部が63.1%、南部が60.9%と続いています(図2-4-2)。
- 世帯人員別に見ると、「月1回(ほぼ毎回)」は1人世帯が30.1%と他の世帯規模と比べて最も割合が低く、世帯人員が増えるにつれて、割合が高くなる傾向が見られます。
- 一方、「月2回程度」、「月1回程度」は、1人世帯がそれぞれ32.2%、17.5%と他の世帯規模に比べて高くなっており、世帯人員が増えるにつれ割合が低くなる傾向が見られます(図2-4-3)。

図2-4-1 年齢別「プラスチックを集積場所に出す頻度」

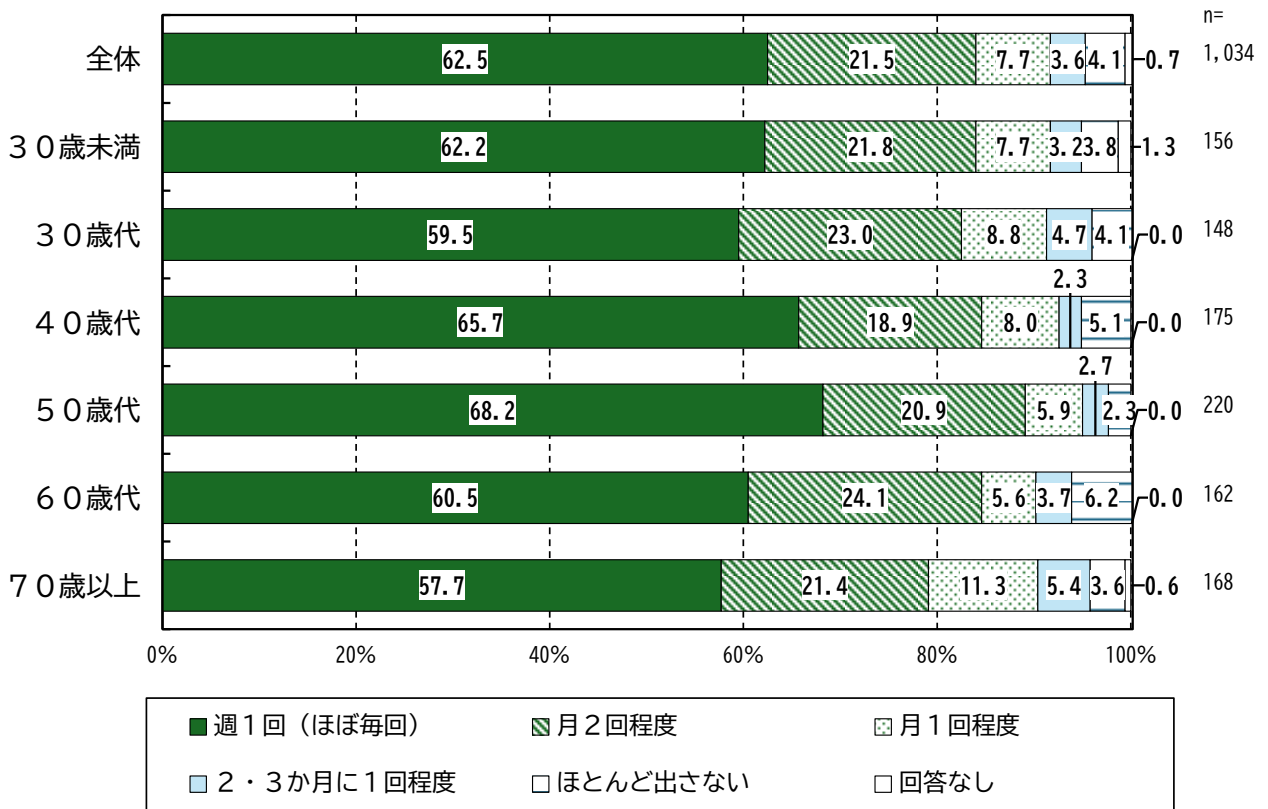


図 2-4-2 居住地別「プラスチックを集積場所に出す頻度」

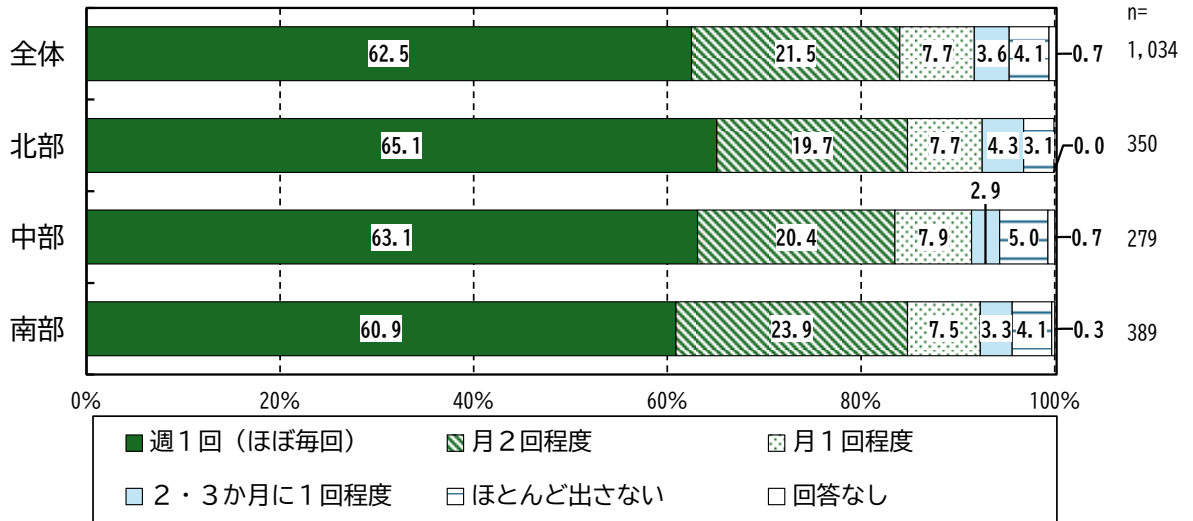
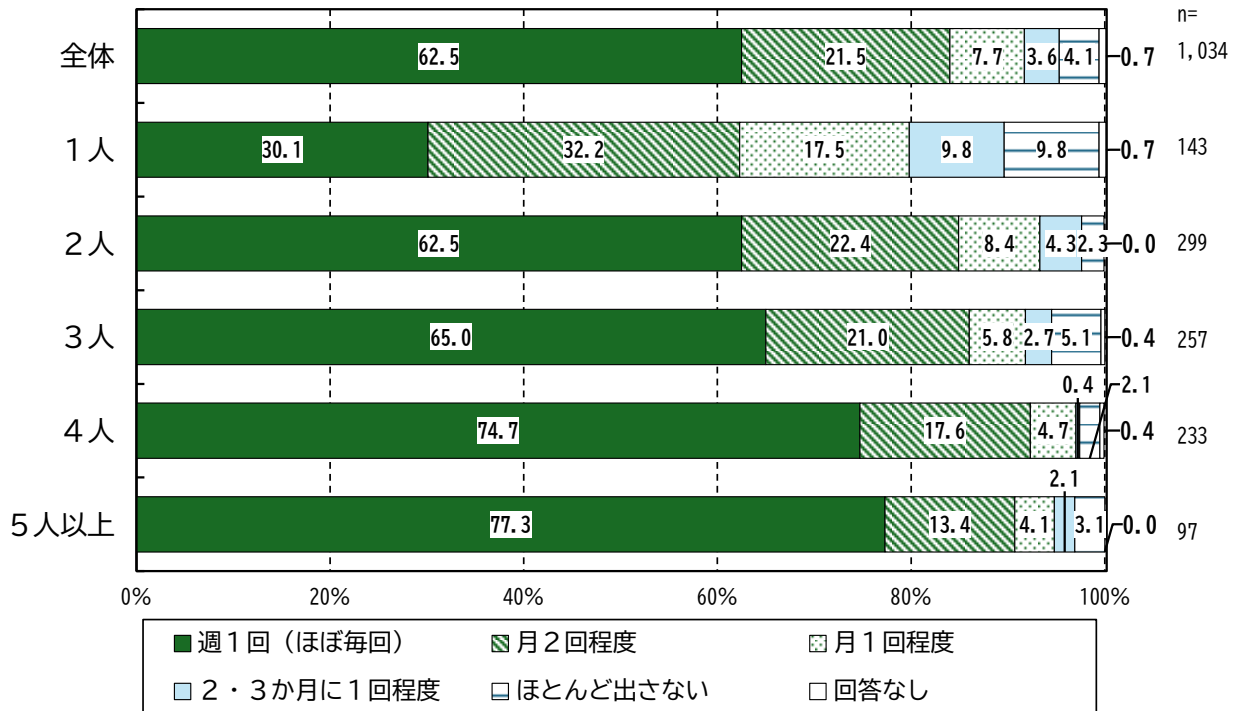


図 2-4-3 世帯人員別「プラスチックを集積場所に出す頻度」



## (5) ペットボトルを集積場所に出す頻度

問 10. あなたの家庭では、ペットボトルは、どれぐらいの頻度でごみ集積場所に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

- ◆ペットボトルを集積場所に出す頻度は、「ごみ集積場所以外の場所に出している」が49.5%と最も割合が高くなっています。
- ◆『集積場所に出す』人の割合は39.7%と、「ごみ集積場所以外の場所に出している」を下回っています。

- 
- ペットボトルを集積場所に出す頻度は、「ごみ集積場所以外の場所に出している」が49.5%と最も割合が高くなっています。
  - 「月1回(ほぼ毎回)」、「2・3か月に1回程度」、「年1～3回程度」を合わせた『集積場所に出す』人の割合は39.7%となっており、「ごみ集積場所以外の場所に出している」を下回っています。
  - 年齢別に見ると、「ごみ集積場所以外の場所に出している」は、いずれの年代でも5割前後となっています。
  - 特に、60歳代では他の年代に比べて、「ごみ集積場所以外の場所に出している割合」が52.5%と高い一方、『集積場所に出す』は35.9%と低くなっています(図2-5-1)。
  - 居住地別に見ると、「月1回(ほぼ毎回)」は、中部が30.1%と他の地域に比べてやや高く、次いで南部が26.7%、北部が23.4%と続いています。居住地別の大きな変化は見られません(図2-5-2)。
  - 世帯人員別に見ると、「ごみ集積場所以外の場所に出している」は、5人以上の世帯で59.8%と最も割合が高く、世帯人員が減るにつれて低くなる傾向が見られます。
  - また、1人世帯では「ペットボトルはほとんど出さない」が16.1%と、他の世帯規模に比べてやや高くなっています(図2-5-3)。
-

図 2-5-1 年齢別「ペットボトルを集積場所に出す頻度」

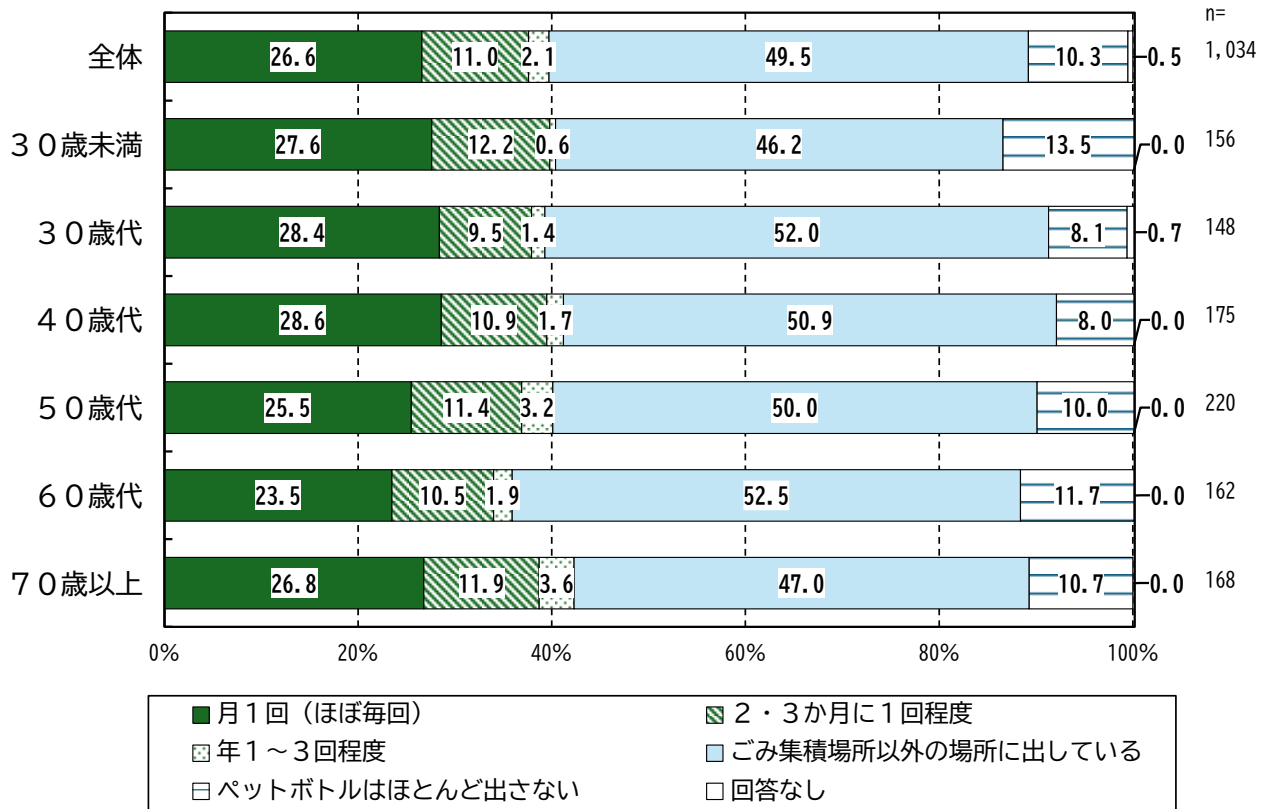
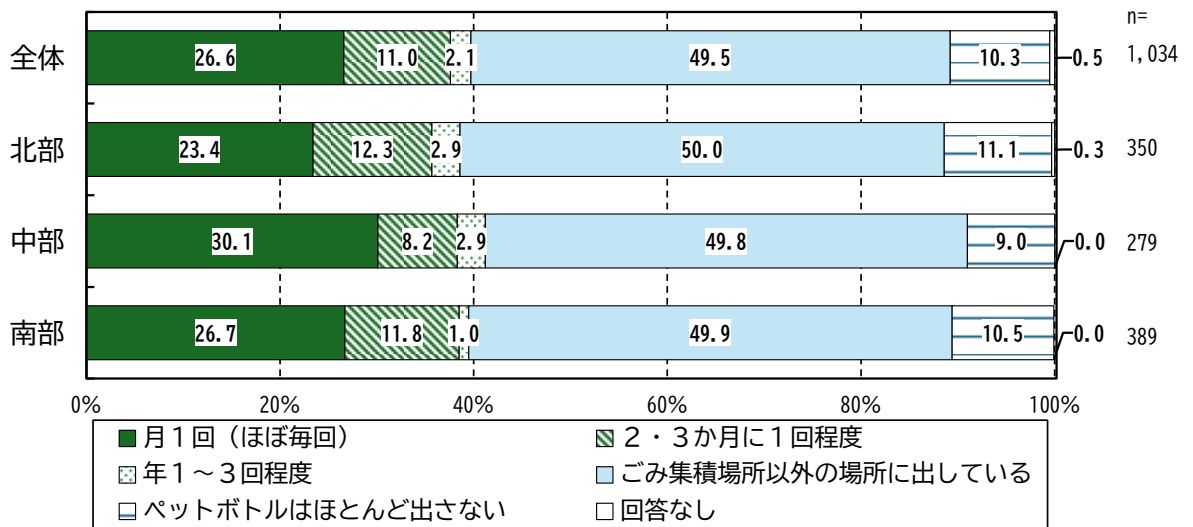


図 2-5-2 居住地別「ペットボトルを集積場所に出す頻度」





(6) 缶類を集積場所に出す頻度

問 11. あなたの家庭では、缶類は、どれぐらいの頻度でごみ集積場所に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

◆缶類を集積場所に出す頻度は、「ごみ集積場所以外の場所に出している」が39.9%と最も割合が高く、次いで「月に1回(ほぼ毎回)」が21.2%、「2・3か月に1回程度」が18.3%と続いています。

- 缶類を集積場所に出す頻度は、「ごみ集積場所以外の場所に出している」が39.9%と最も割合が高く、次いで「月に1回(ほぼ毎回)」が21.2%、「2・3か月に1回程度」が18.3%と続いています。
- 年齢別に見ると、「ごみ集積場所以外の場所に出している」は、70歳以上を除くいずれの年代においても4割程度となっています。70歳以上では、「ごみ集積場所以外の場所に出している」が33.3%と、他の年代に比べてやや低くなっています(図2-6-1)。
- 居住地別による有意な差は見られません(図2-6-2)。
- 世帯人員別に見ると、「月1回(ほぼ毎回)」は、5人以上世帯で30.9%と他の世帯規模より高くなっています。
- また、「ごみ集積場所以外の場所に出している」は、1人世帯で23.1%と他の世帯規模より低くなっています(図2-6-3)。

図 2-6-1 年齢別「缶類を集積場所に出す頻度」

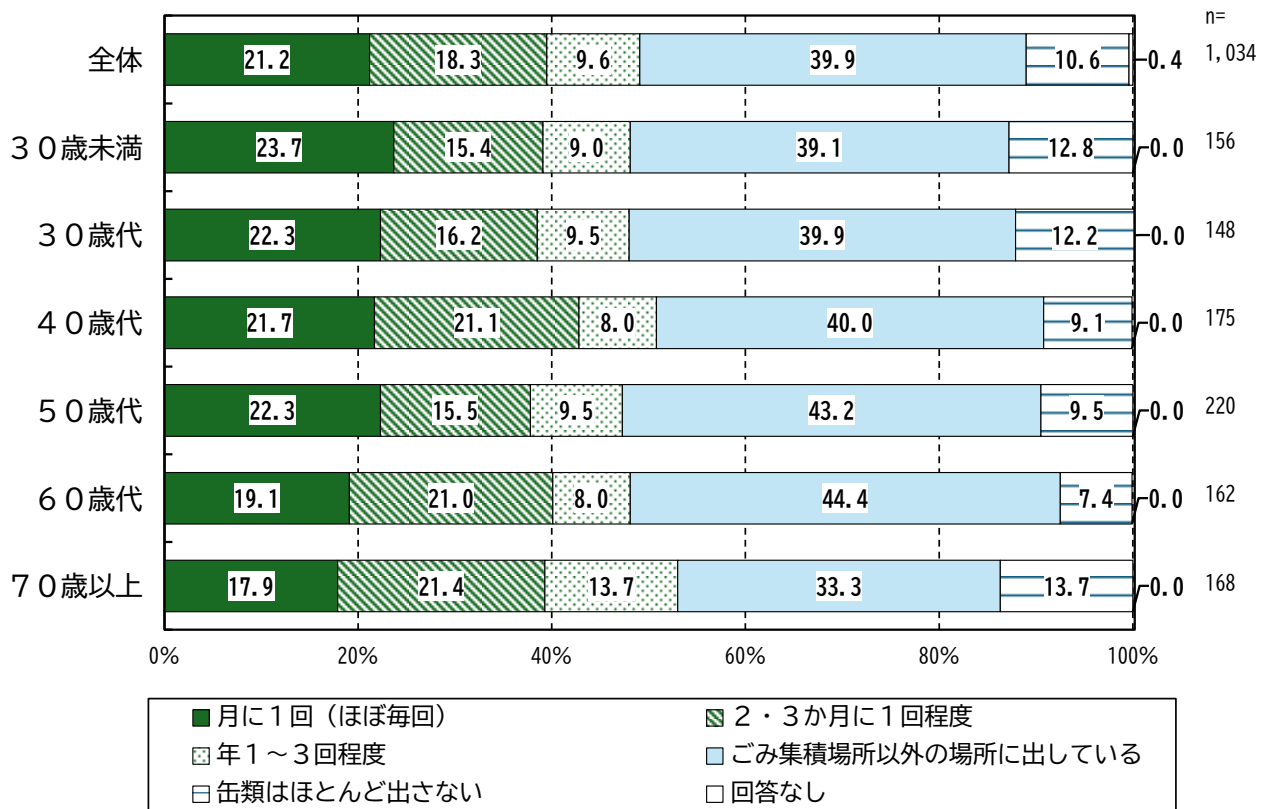


図 2-6-2 居住地別「缶類を集積場所に出す頻度」

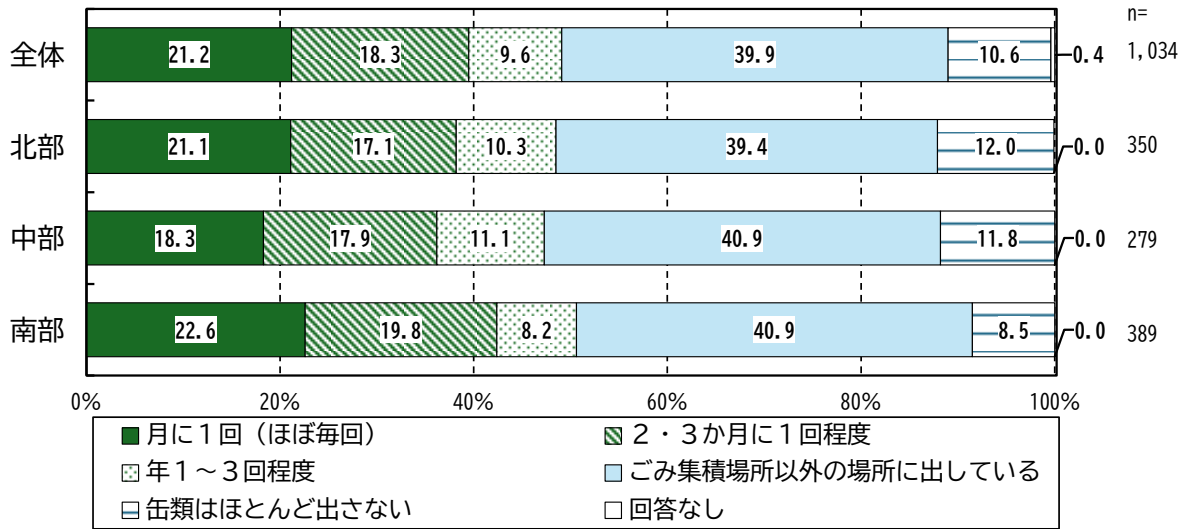
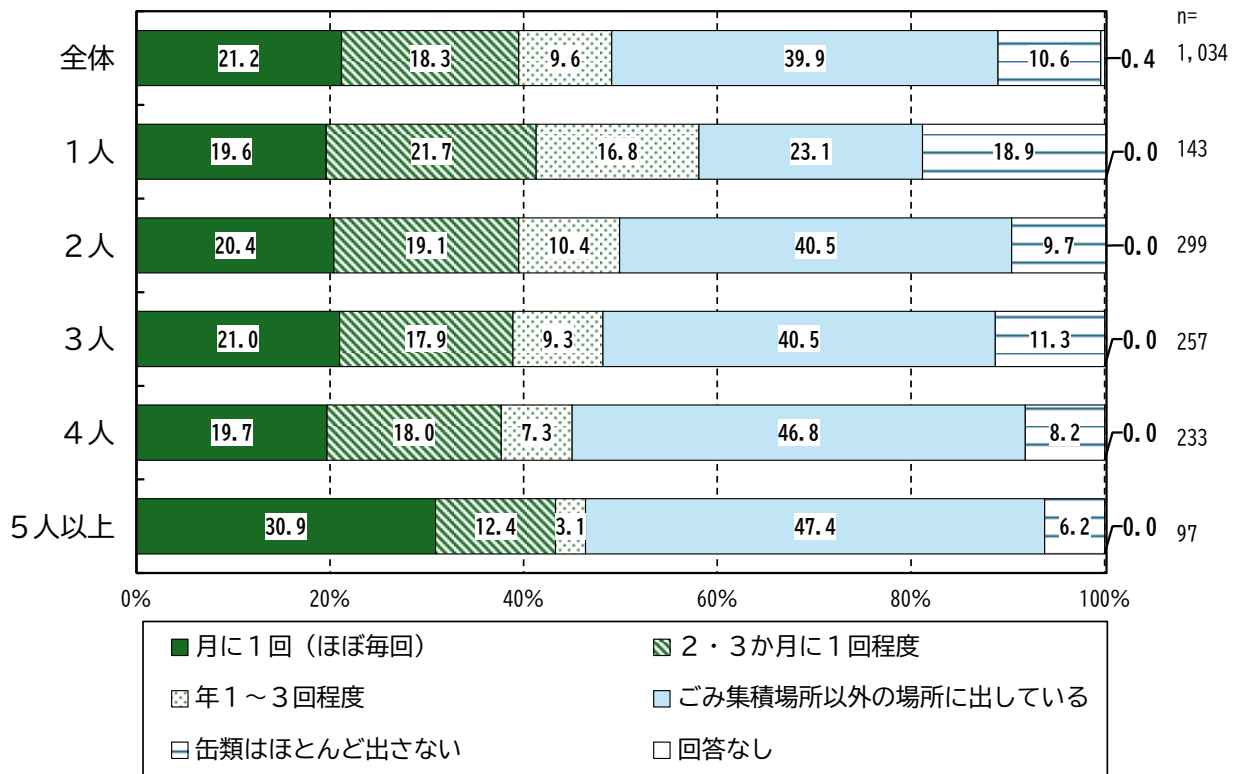


図 2-6-3 居住地別「缶類を集積場所に出す頻度」



### Ⅲ 家庭のごみと資源の分別について

#### (1) ごみと資源の出し方

問 12. あなたの家庭では、下記の品目について捨てる対象になった場合、ごみや資源としてどのように出していますか。(品目ごとにどちらか一方に○を)

◆「羽毛布団」、「天ぷら廃油」、「木材」の3品目を除く18品目では、いずれも「資源として出している」が、「ごみとして出している」と回答した割合を上回っています。

- 「ごみとして出している」は、「天ぷら廃油」で79.7%と最も割合が高く、次いで「木材」で76.6%、羽毛布団で54.5%と続いています。
- 「羽毛布団」、「天ぷら廃油」、「木材」の3品目を除く18品目では、いずれも「資源として出している」が、5割以上と高くなっています。特に、「段ボール」が94.0%と最も割合が高く、次いで「ペットボトル」で87.3%、「乾電池」で85.0%、「アルミ缶」で83.0%、「本・カタログ・冊子」で82.5%と続いています(図3-1-1、図3-1-2)。
- 年齢別に見ると、「ごみとして出している」は、「天ぷら廃油」、「木材」はいずれの年代でも6割以上と高く、「羽毛布団」も約5割前後と比較的高い割合となっています。
- 「新聞紙・折込広告」は、40歳代以下で3割を超えていますが、50歳代以上の年齢層ではいずれも2割未満となっています。また、「小型充電式電池」は30歳未満が23.7%と他の年代に比べて高くなっています(図3-1-3)。
- 居住地別に見ると、全般的に有意な差は見られません(図3-1-4)。
- 世帯人員別に見ると、「ごみとして出している」は、1人世帯では「天ぷら廃油」、「木材」が他の世帯規模より低くなっています。
- 一方、「紙箱・包装紙」、「紙(牛乳)パック」、「古着・古布」、「食品用トレイ」、「新聞紙・折込広告」、「スチール缶」、「本・カタログ・冊子」、「小型充電器」、「乾電池」、「ペットボトル」、「段ボール」といった多くの品目では、1人世帯が比較的高い傾向にあります(図3-1-5)。

図 3-1-1 「ごみと資源の出し方」

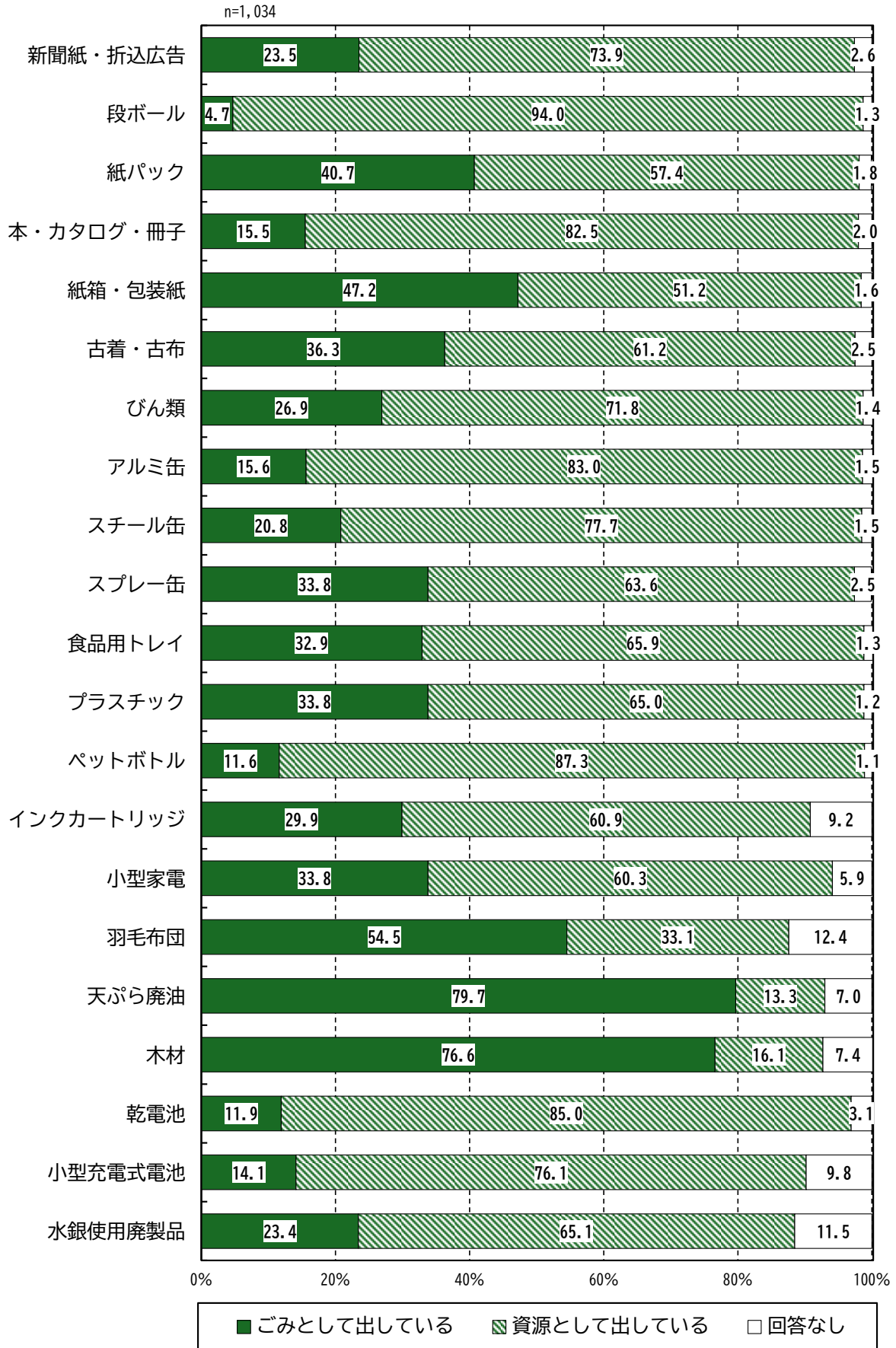


図 3-1-2 品目別「ごみとして出している」割合

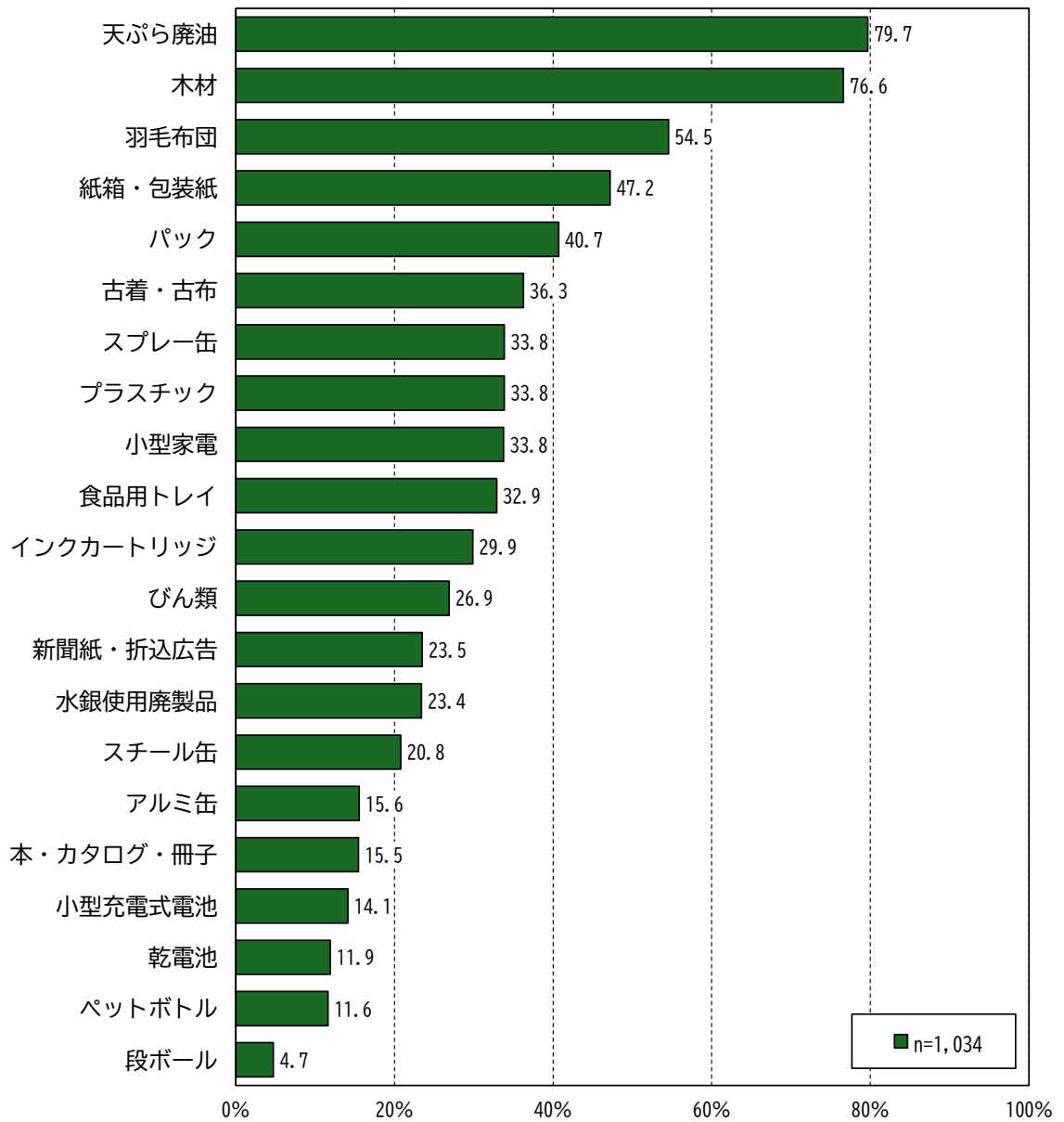


図 3-1-3 年齢・品目別「ごみとして出している」割合

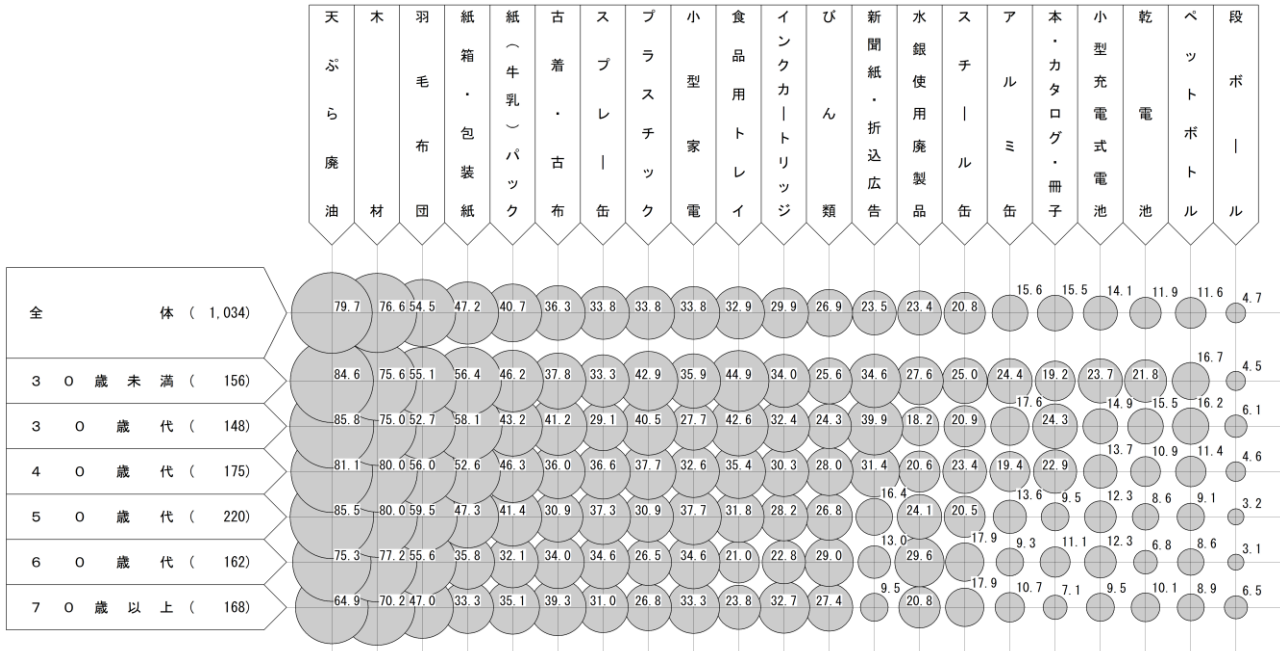


図 3-1-4 居住地・品目別「ごみとして出している」割合

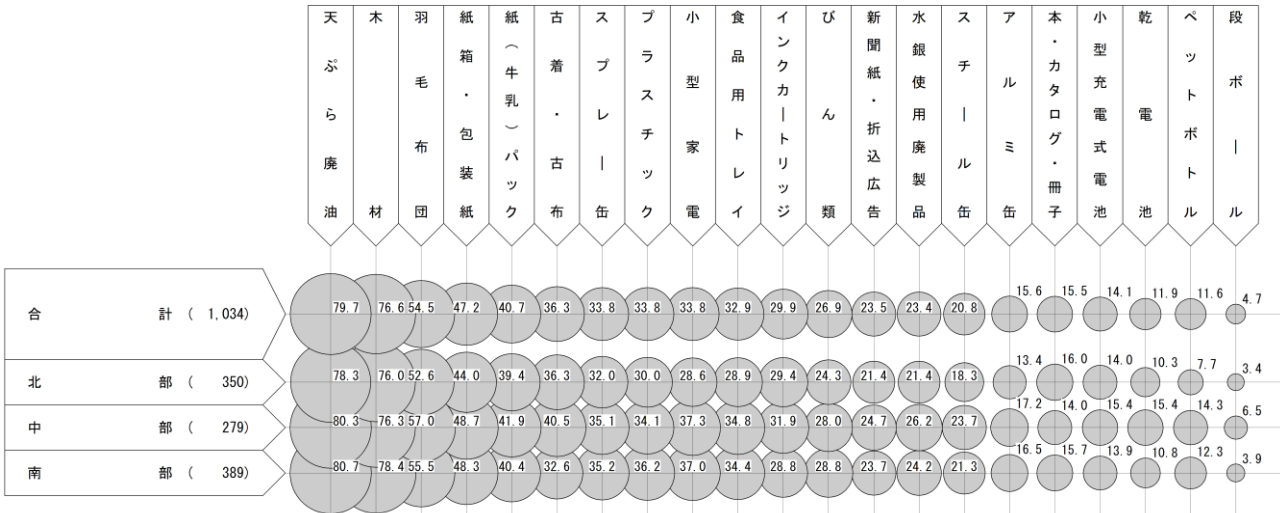
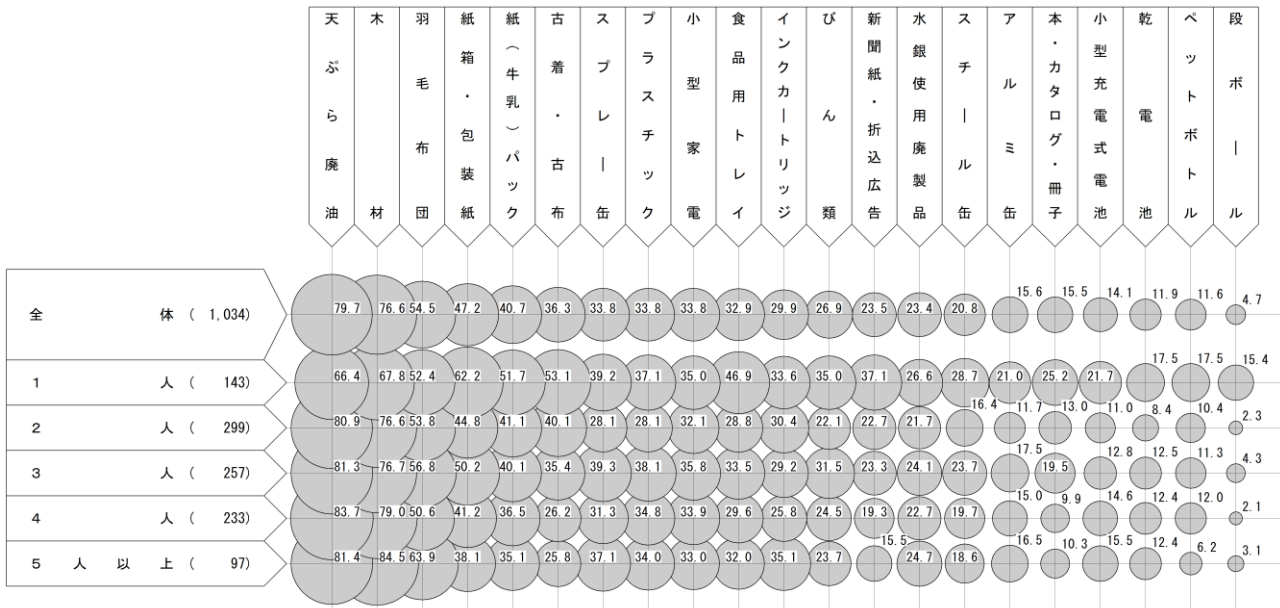


図 3-1-5 世帯人員・品目別「ごみとして出している」割合



## (2) 資源として回収してほしいと思う品目

問 13. あなたが、新たに資源としてごみ集積場所で回収してほしいと思う品目はどれですか。  
(最も近いもの1つに○を)

◆資源として回収してほしいと思う品目は、「段ボール」が21.3%と最も割合が高く、次いで「びん類」が18.6%、「小型家電」が18.4%と続いています。

- 資源として回収してほしいと思う品目は、「段ボール」が21.3%と最も割合が高く、次いで「びん類」が18.6%、「小型家電」が18.4%と続いています。
- 年齢別に見ると、30歳未満と30歳代では、「段ボール」がそれぞれ32.1%、28.4%と高く、次いで「びん類」が20.5%、26.4%と続いています。また、40歳代、50歳代においても「段ボール」と「びん類」が2割程度と高くなっています。60歳代と70歳以上では、「小型家電」がそれぞれ、25.3%、24.4%と最も割合が高くなっています(図3-2-1)。
- 居住地別に見ると、品目ごとに多少のばらつきはあるものの、有意な差は見られません(図3-2-2)。
- 世帯人員別に見ると、「段ボール」は5人以上の世帯で27.8%と他の世帯規模に比べて高く、「びん類」は3人世帯で22.2%、4人世帯で20.2%となっています。
- また、「小型家電」は1人世帯が25.9%と高くなっています(図3-2-3)。

図 3-2-1 年齢別「資源として回収してほしいと思う品目」

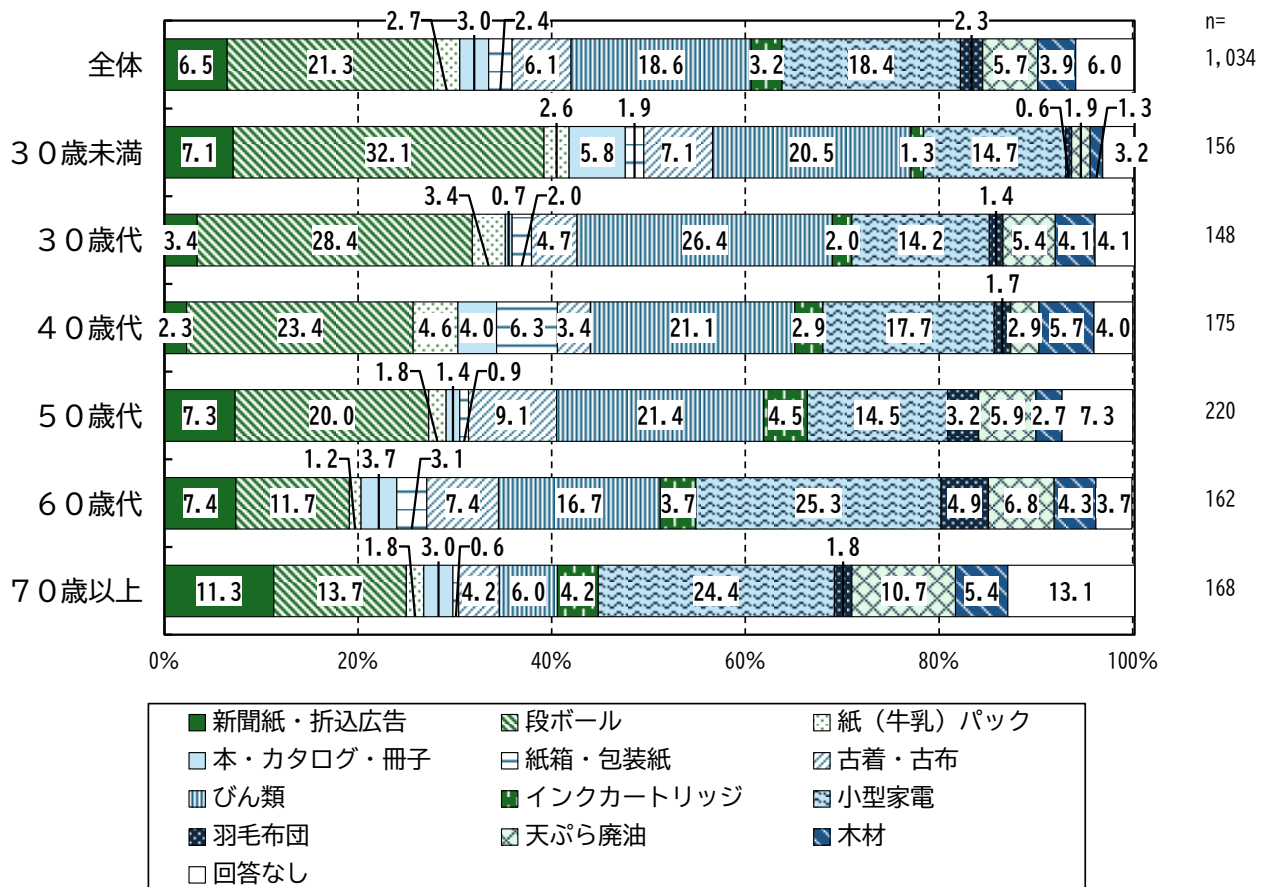


図 3-2-2 居住地別「資源として回収してほしいと思う品目」

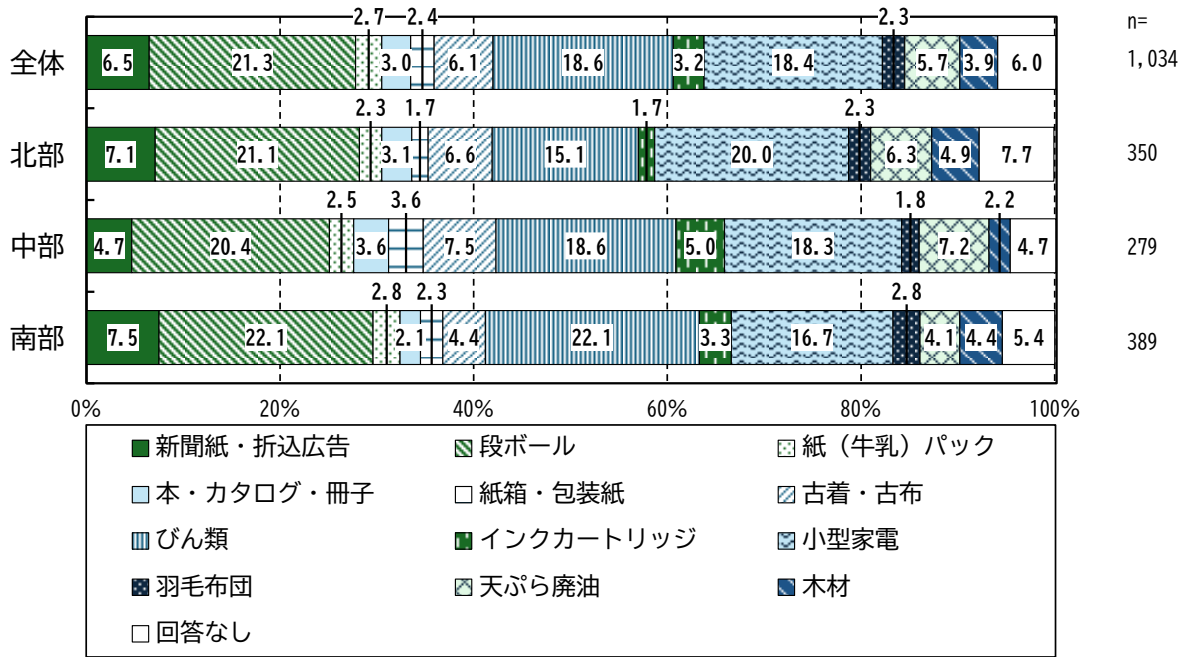
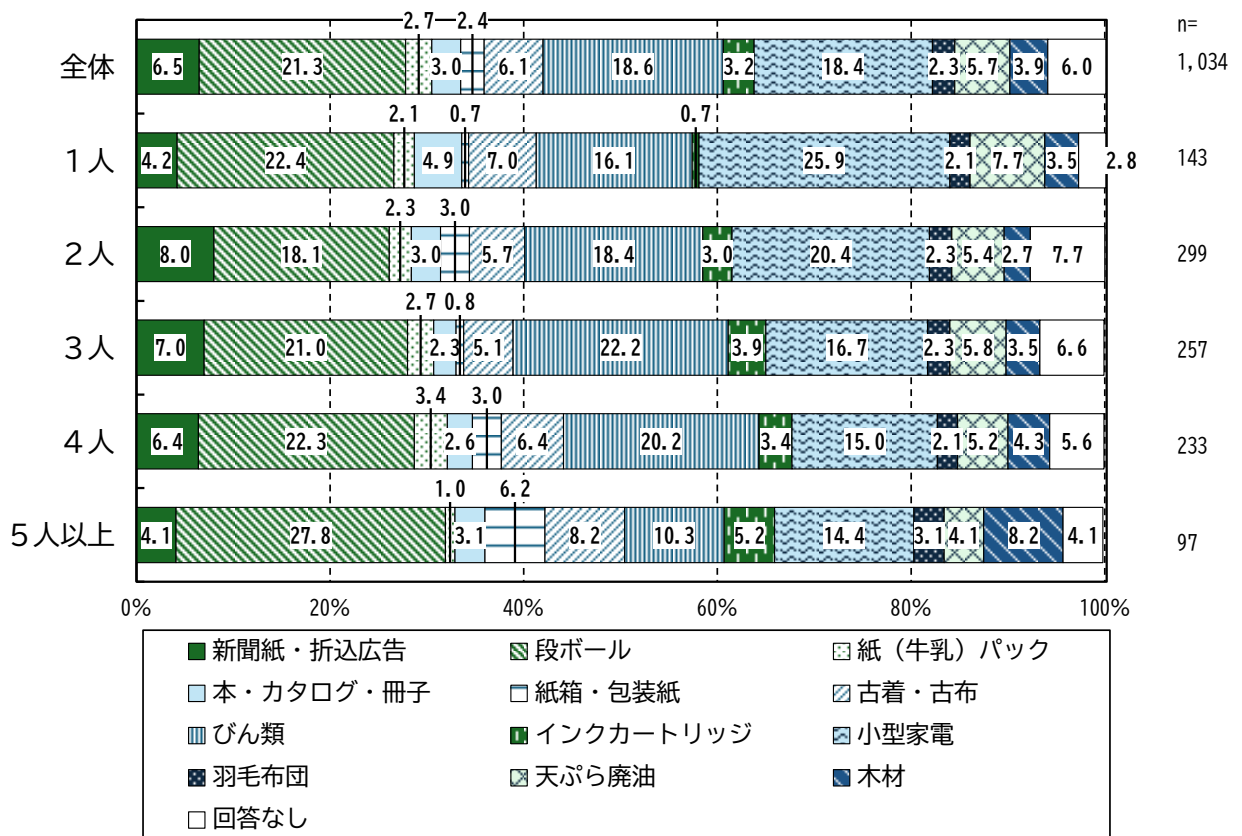


図 3-2-3 世帯人員別「資源として回収してほしいと思う品目」



### (3) 主にごみと資源の分別を行っている人

問 14. あなたの家庭では、どなたが、主にごみと資源の分別を行っていますか。  
(最も近いもの1つに○を)

◆主にごみと資源の分別を行っている人は、「受け取ったご本人」が61.0%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が21.6%と続いています。

- 主にごみと資源の分別を行っている人は、「受け取ったご本人」が61.0%と最も割合が高く、次いで「配偶者」が21.6%、「母」が10.9%と続いています。
- 性別に見ると、「受け取ったご本人」は女性が72.3%と、男性の42.9%を大きく上回っています。一方、「配偶者」は、男性が37.1%と女性の11.5%を大きく上回っています。また、「母」は男女ともに1割程度となっています(図3-3-1)。
- 年齢別に見ると、30歳未満を除くいずれの年代でも「受け取ったご本人」が最も割合が高く、6割以上を占めています。次いで「配偶者」が2割程度と2番目に高くなっています。
- また、30歳未満では「母」が41.7%と最も割合が高く、次いで「受け取ったご本人」が37.2%と続いています(図3-3-2)。
- 職業別に見ると、学生を除くいずれの職業も「受け取ったご本人」が5割以上を占めています。特に、パート・アルバイト、主婦・主夫では7割を超えています。
- 一方、学生では「母」が77.1%と突出して高くなっています(図3-3-3)。
- 世帯人員別に見ると、「受け取ったご本人」は、1人世帯で91.6%と最も割合が高くなっています。
- また、「母」は、5人以上の世帯が18.6%、4人世帯が18.5%、3人世帯が15.2%となっています(図3-3-4)。

図 3-3-1 性別「主にごみと資源の分別を行っている人」

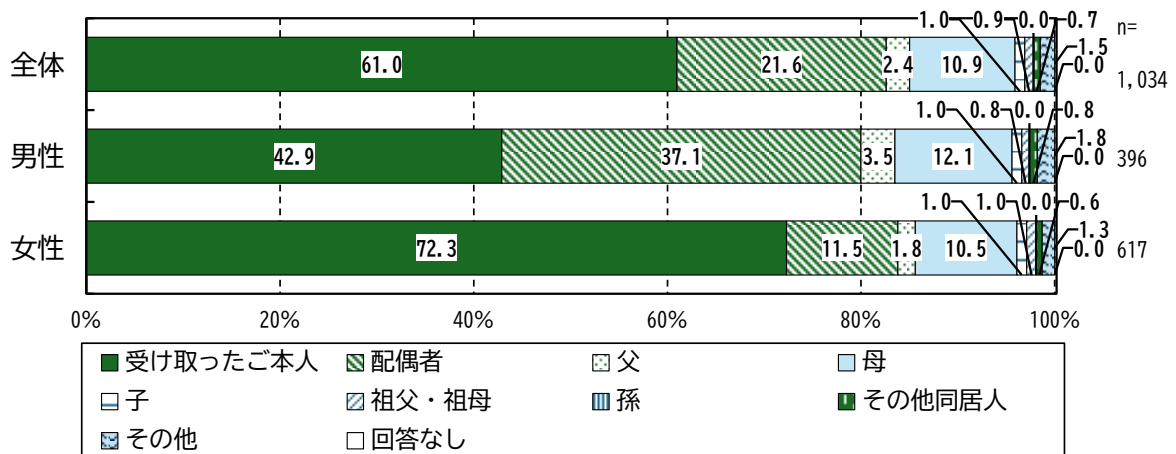


図 3-3-2 年齢別「主にごみと資源の分別を行っている人」

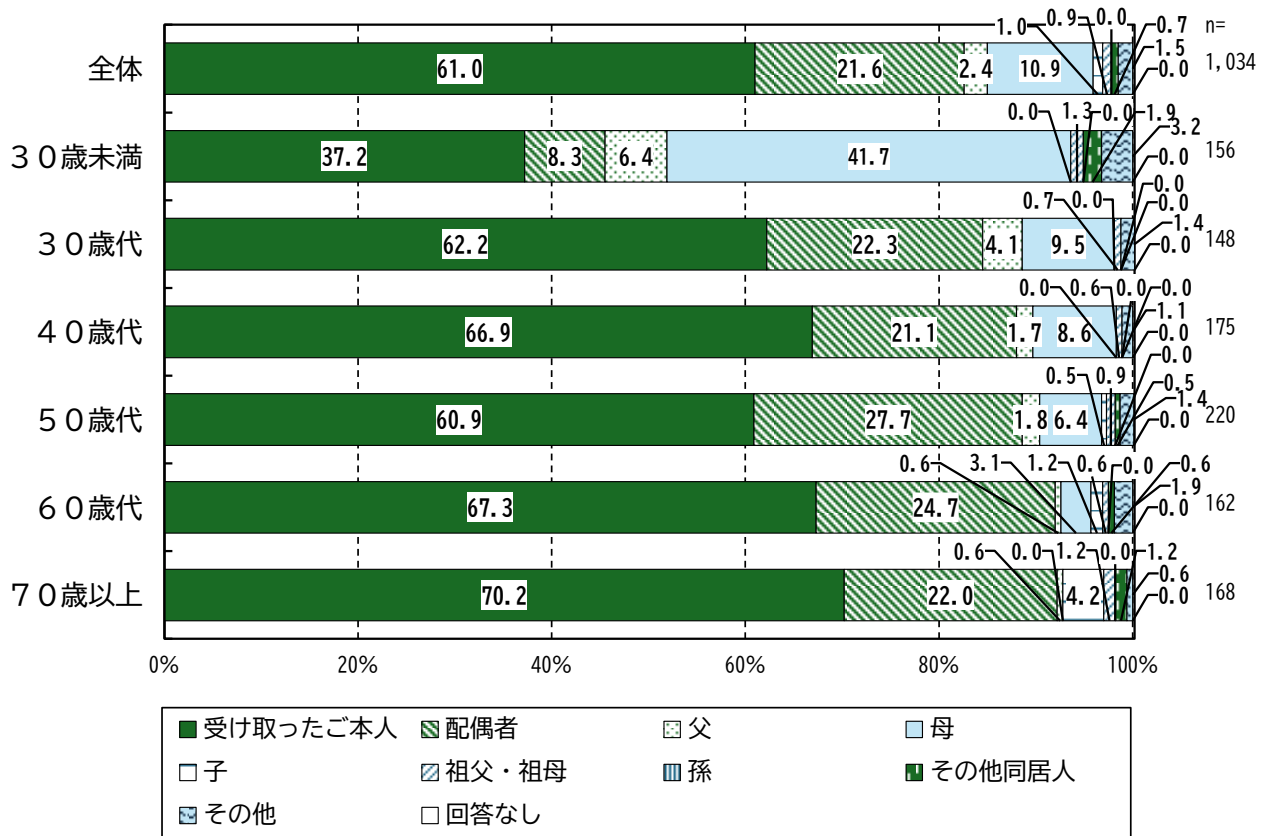


図 3-3-3 職業別「主にごみと資源の分別を行っている人」

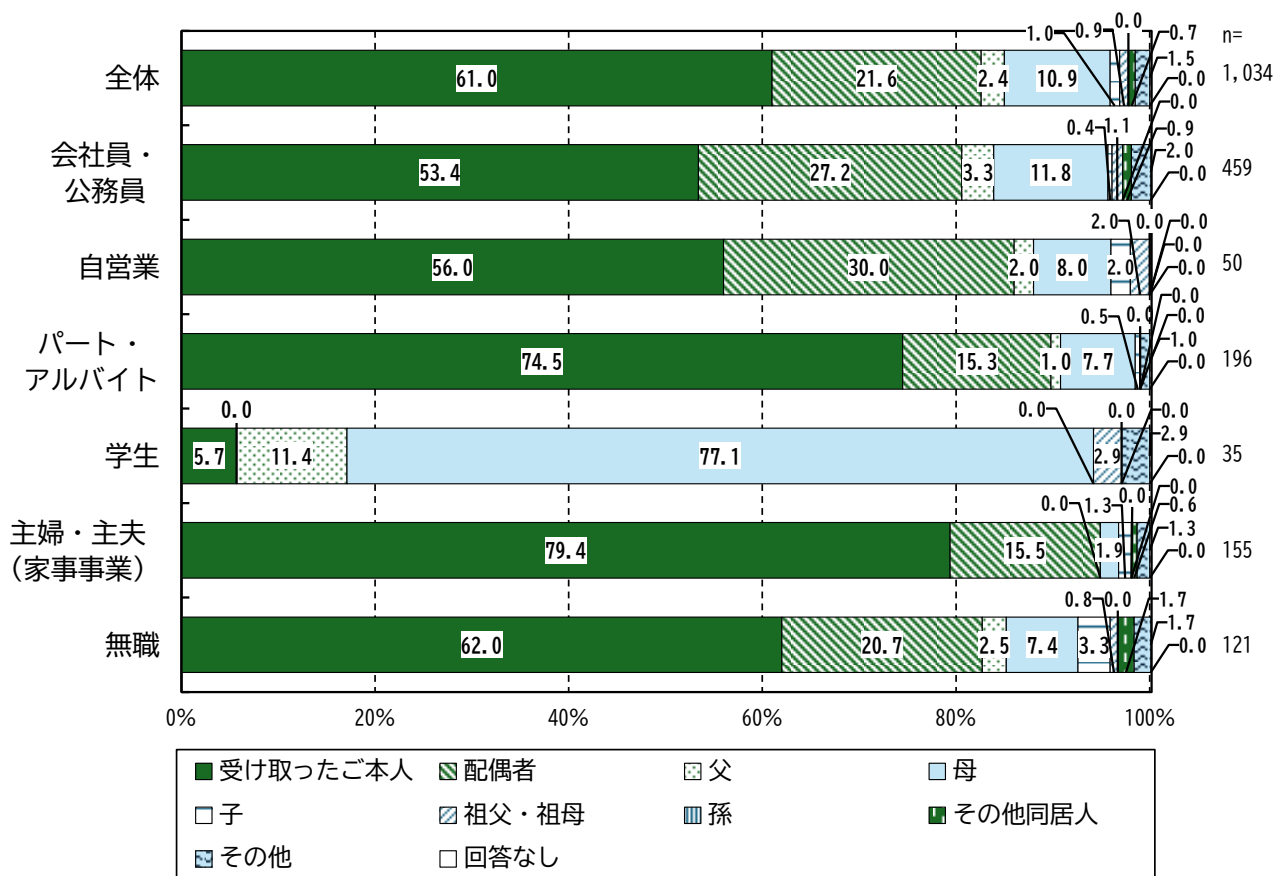
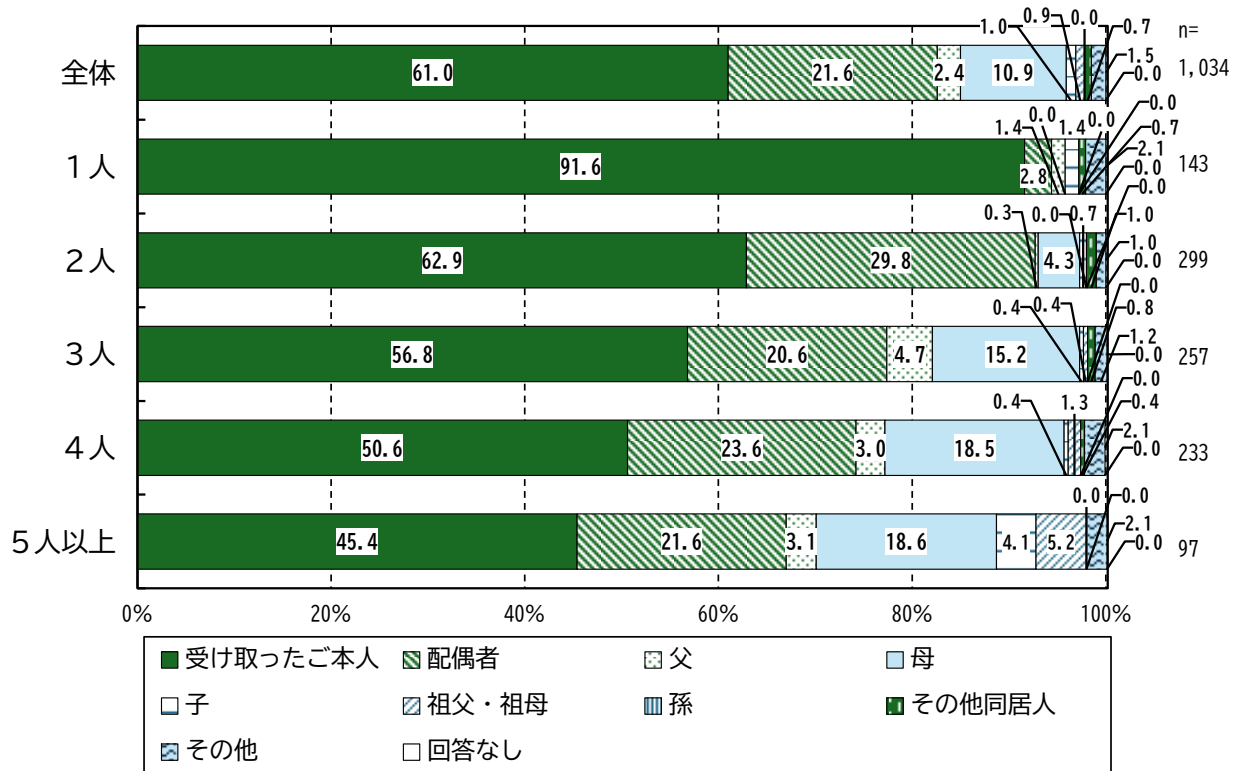


図 3-3-4 世帯人員別「主にごみと資源の分別を行っている人」



#### (4) ごみと資源の分別で感じていること

問 15. あなたが、日頃、ごみと資源の分別で感じていることは何ですか。

(あてはまるもの3つまで選んで○を)

◆ごみと資源の分別で感じていることは、「洗うなど手間がかかり、面倒であると感じる」が 36.6%と最も割合が高く、次いで「分別をしたところで、収集日まで家の中に置いておく場所がない」が 27.9%、「資源分別収集常設場・拠点場の場所が遠い」が 24.4%と続いています。

- 
- ごみと資源の分別で感じていることは、「特になし」と「回答なし」を除いた 72.7%の人が、ごみと資源の分別について何らかの不便さや負担感などを感じていると回答しています。
  - 不便さや負担感の内容については、「洗うなど手間がかかり、面倒であると感じる」が 36.6%と最も割合が高く、次いで「分別をしたところで、収集日まで家の中に置いておく場所がない」が 27.9%、「資源分別収集常設場・拠点場の場所が遠い」が 24.4%と続いています。
  - 年齢別に見ると、70歳以上では「洗うなど手間がかかり、面倒であると感じる」が 26.8%、「分別をしたところで、収集日まで家の中に置いておく場所がない」が 8.9%、「資源分別収集常設場・拠点場の場所が遠い」が 21.4%、「ごみと資源の出し方（ごみ指定袋一斉配布と同時に配布されている冊子）がわかりにくい」が 9.5%と、他の年代に比べて低くなっています。一方、「資源分別収集常設場・拠点場への交通手段がない」は 10.1%と、他の年代に比べてわずかに高くなっています（図 3-4-1）。
  - 居住地別に見ると、「資源分別収集常設場・拠点場の場所が遠い」は、南部が 30.8%と他の地域に比べて最も割合が高く、次いで中部が 23.3%、北部が 18.0%となっています（図 3-4-2）。
  - 世帯人員別に見ると、「分別をしたところで、収集日まで家の中に置いておく場所がない」は、1人世帯で 17.5%と、他の世帯規模に比べて最も低くなっています（図 3-4-3）。
-

図 3-4-1 年齢別「ごみと資源の分別で感じている事」

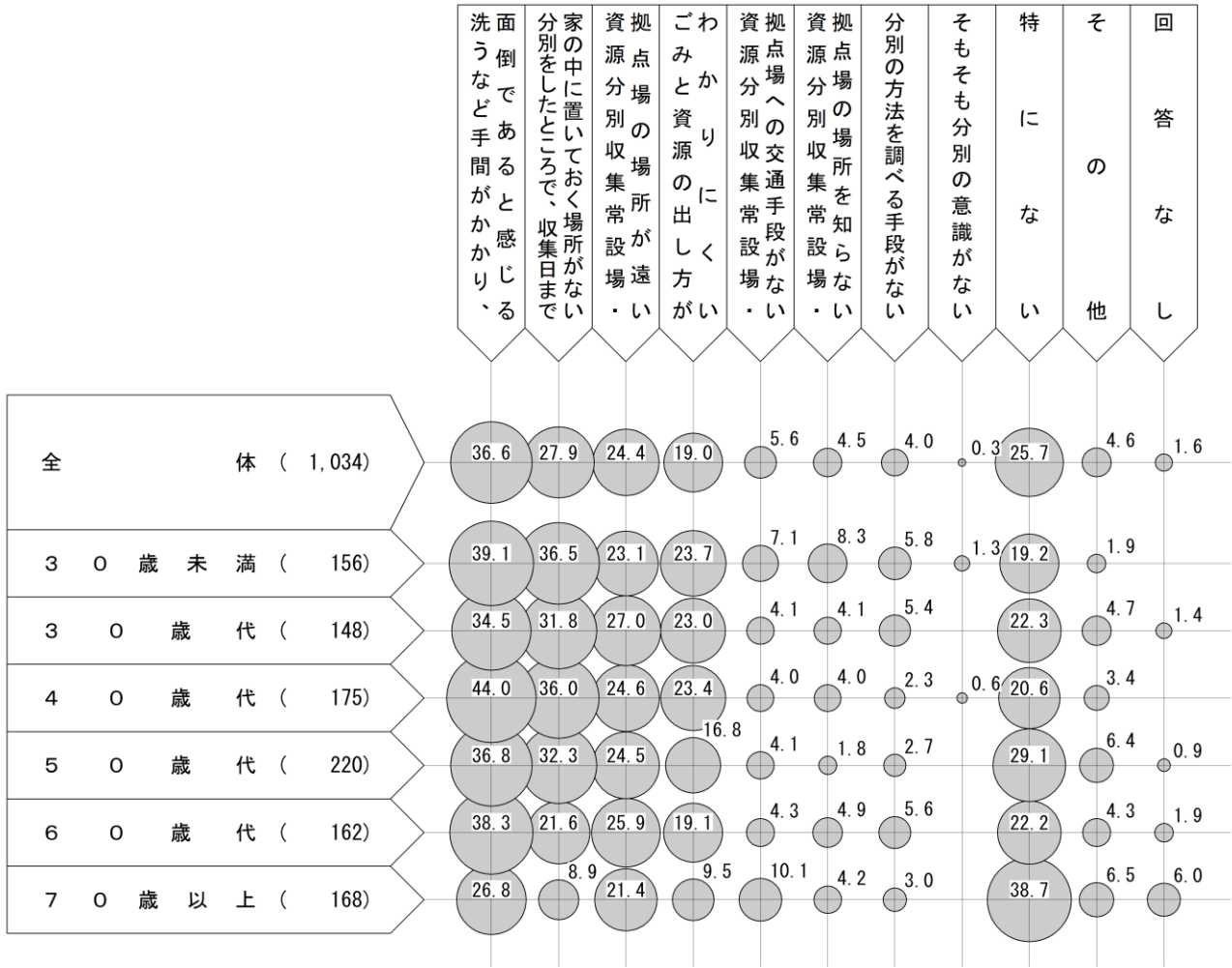


図 3-4-2 居住地別「ごみと資源の分別で感じている事」

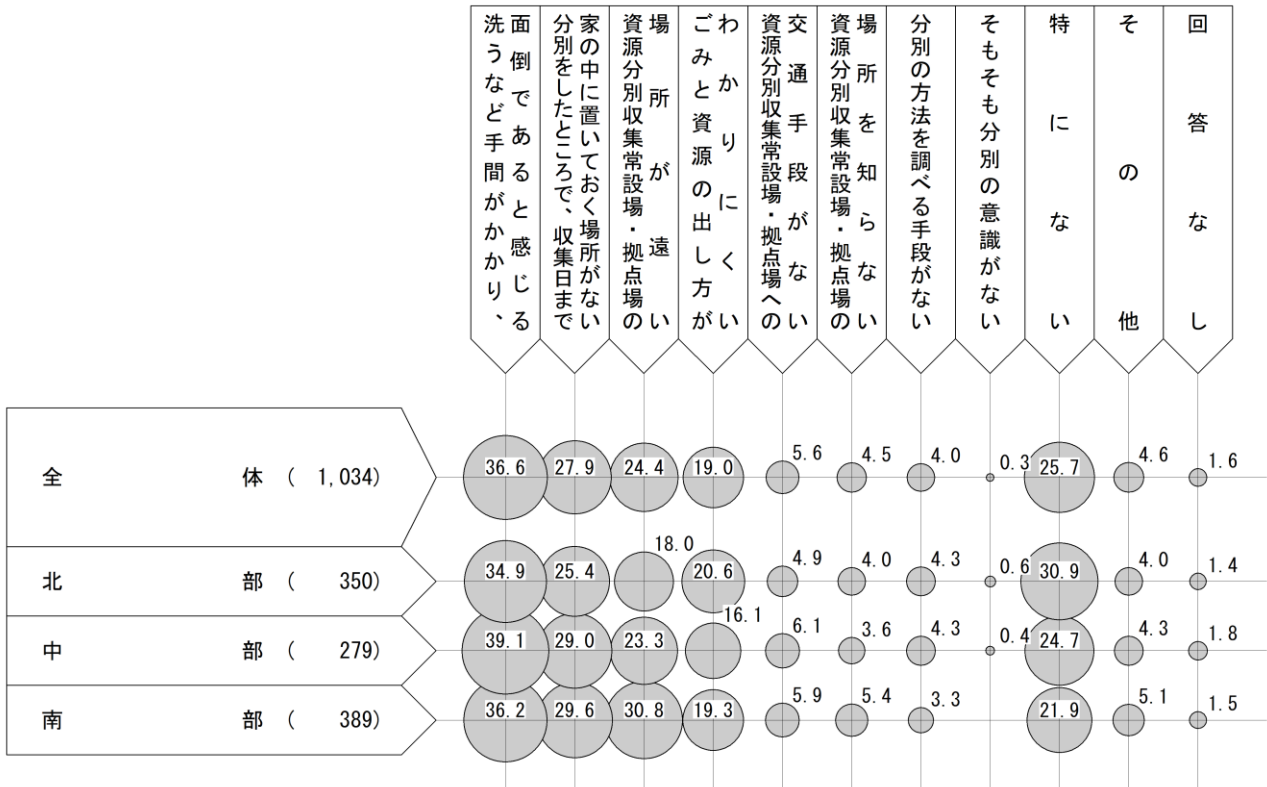
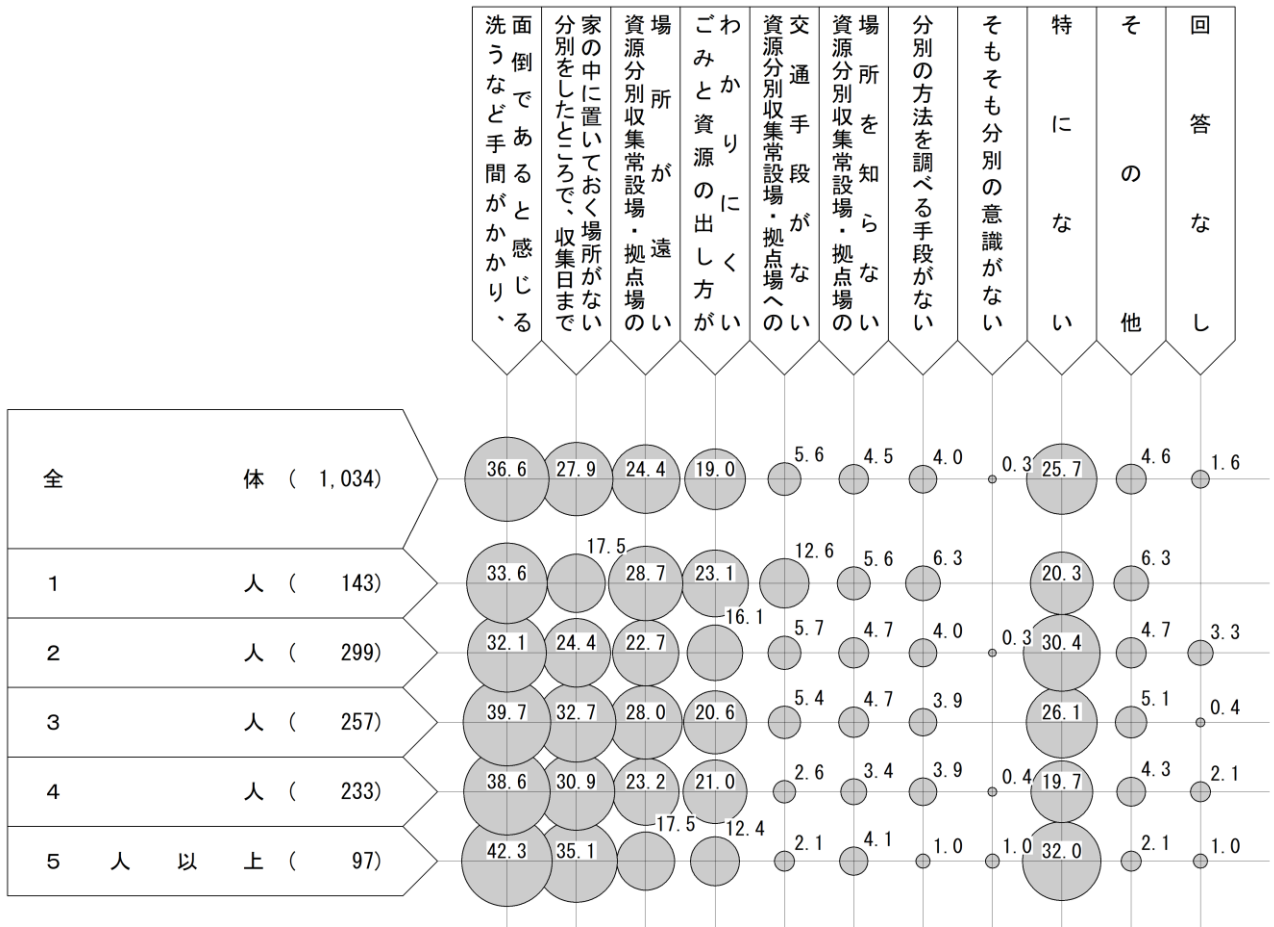


図 3-4-3 世帯人員別「ごみと資源の分別で感じている事」



## (5) 資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度

問 16. あなたの家庭では、資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）（※）をどの程度利用されますか。（最も近いもの1つに○を） ※詳しくは、別紙をご参照ください。

- ◆資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度は、「ほとんど利用しない」が24.3%ともっとも高くなっています。
- ◆「ほとんど利用しない」と「これまで利用したことがない」を合わせた『利用しない』は41.9%と、『年に1回以上利用する』の57.7%を下回っています。

- 
- 資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度は、「ほとんど利用しない」が24.3%と最も割合が高くなっています。
  - また、「週1回以上」、「月2・3回程度」、「月1回程度」、「2・3か月に1回程度」、「4・5か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年に1回程度」を合わせた『年に1回以上利用する』は57.7%となっています。一方、「ほとんど利用しない」と「これまで利用したことがない」を合わせた『利用しない』は41.9%と『年に1回以上利用する』を下回っています。
  - 年齢別に見ると、いずれの年代でも『年に1回以上利用する』が半数を超えており、『利用しない』を上回っています。ただし、30歳未満では「これまで利用したことがない」が28.8%と他の年代に比べて高くなっています（図3-5-1）。
  - 居住地別に見ると、北部では「月1回程度」が14.0%とやや高く、『年に1回以上利用する』と回答した割合も63.5%と他の地域に比べてやや高くなっています。一方、「これまで利用したことがない」は、北部で12.3%と他の地域に比べてやや低くなっています（図3-5-2）。
  - 世帯人員別に見ると、1人世帯では「これまで利用したことがない」が34.3%と他の世帯規模と比べて非常に高くなっており、「ほとんど利用しない」の25.2%と合わせて半数以上が『利用しない』と回答しています（図3-5-3）。
  - 資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）を「ほとんど利用しない」又は「これまで利用したことがない」と回答した人別に、問15の分別で感じていることをみると、「資源分別収集常設場・拠点場の場所を知らない」は、「これまで利用したことがない」と回答した人の方がわずかに高くなっているものの、大きな差は見られません（図3-5-4）。
-

図 3-5-1 年齢別「資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度」

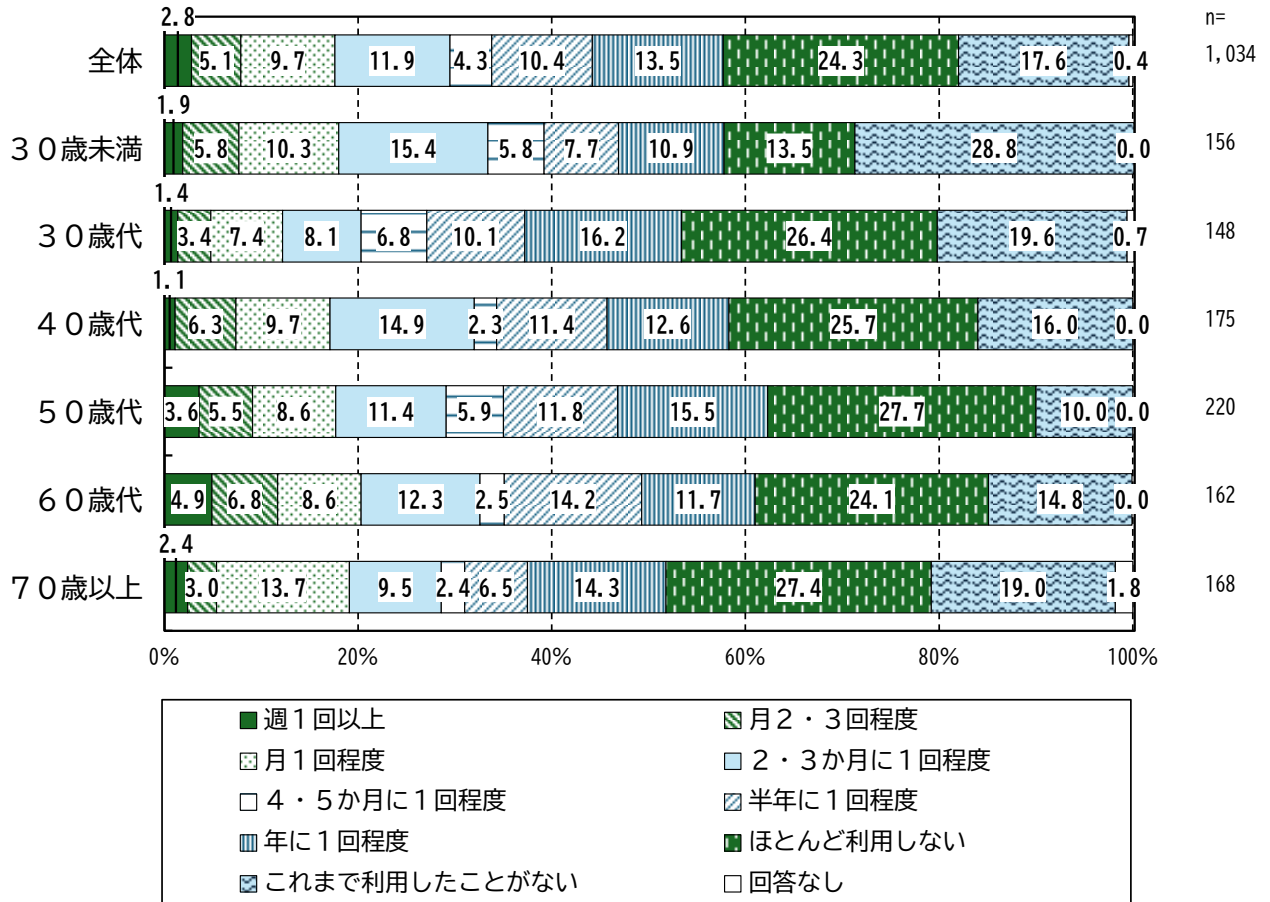


図 3-5-2 居住地別「資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度」

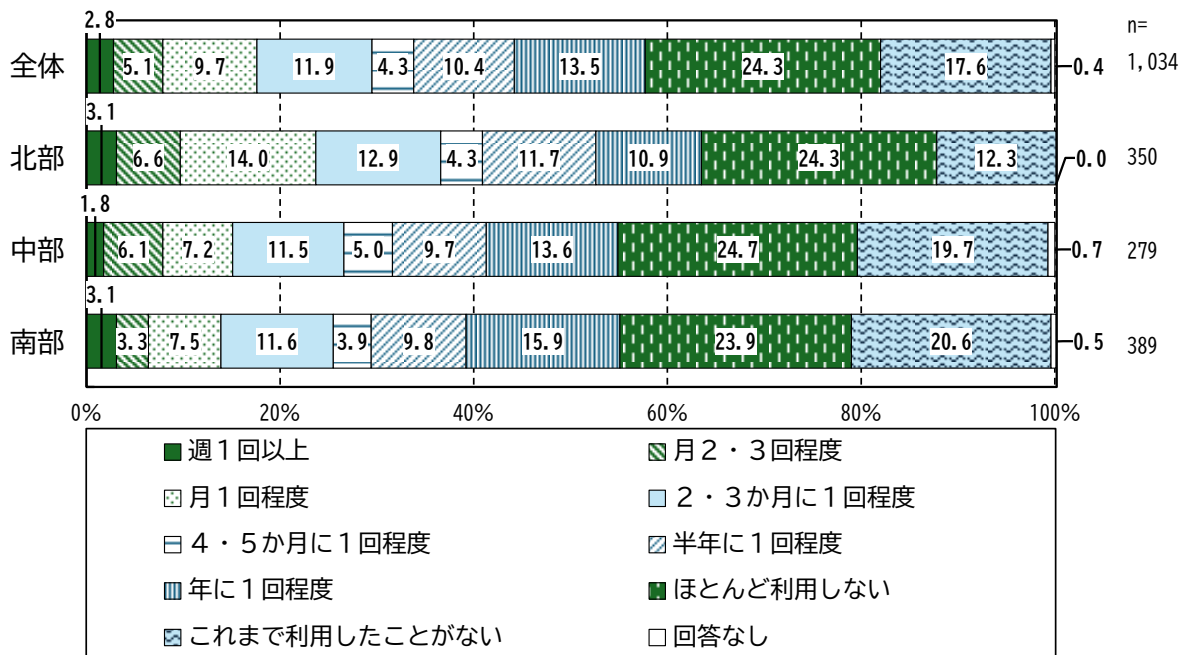


図 3-5-3 世帯人員別「資源分別収集常設場（リサイクルセンター内）の利用頻度」

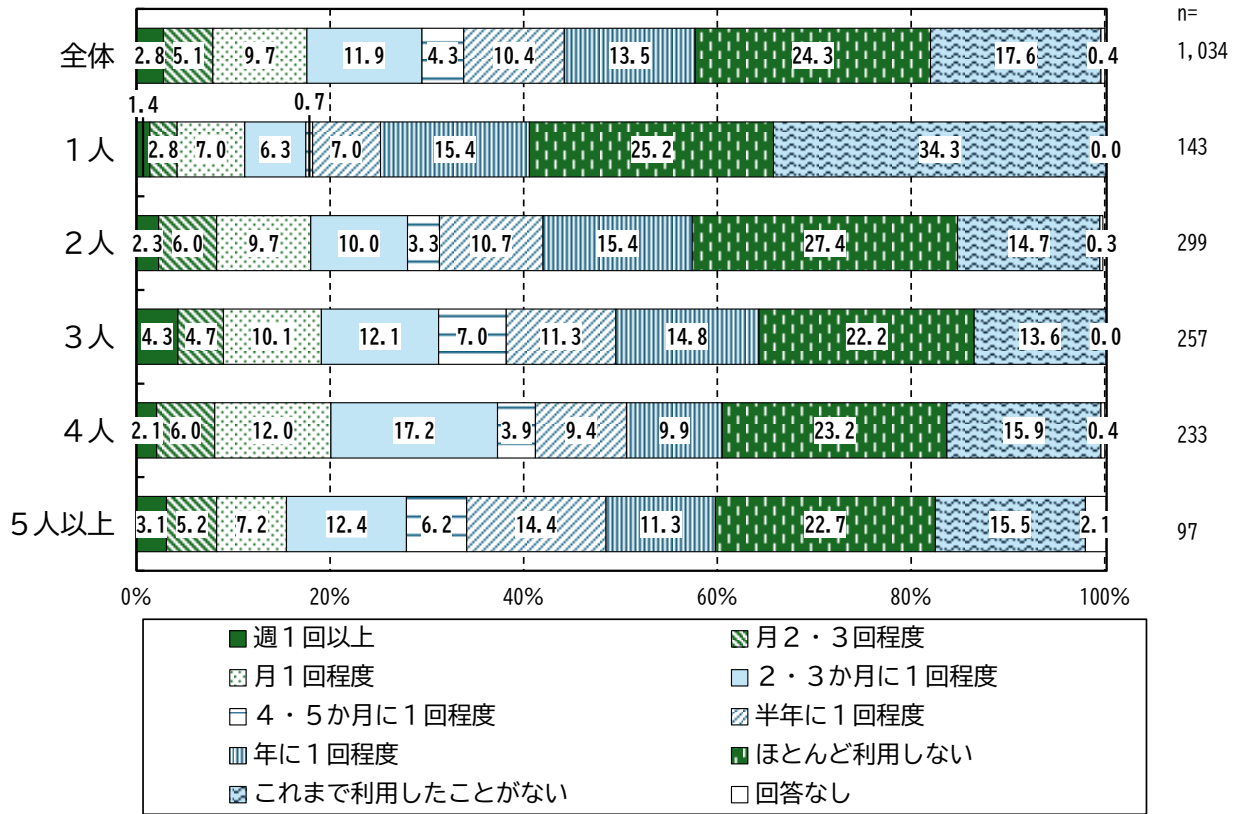
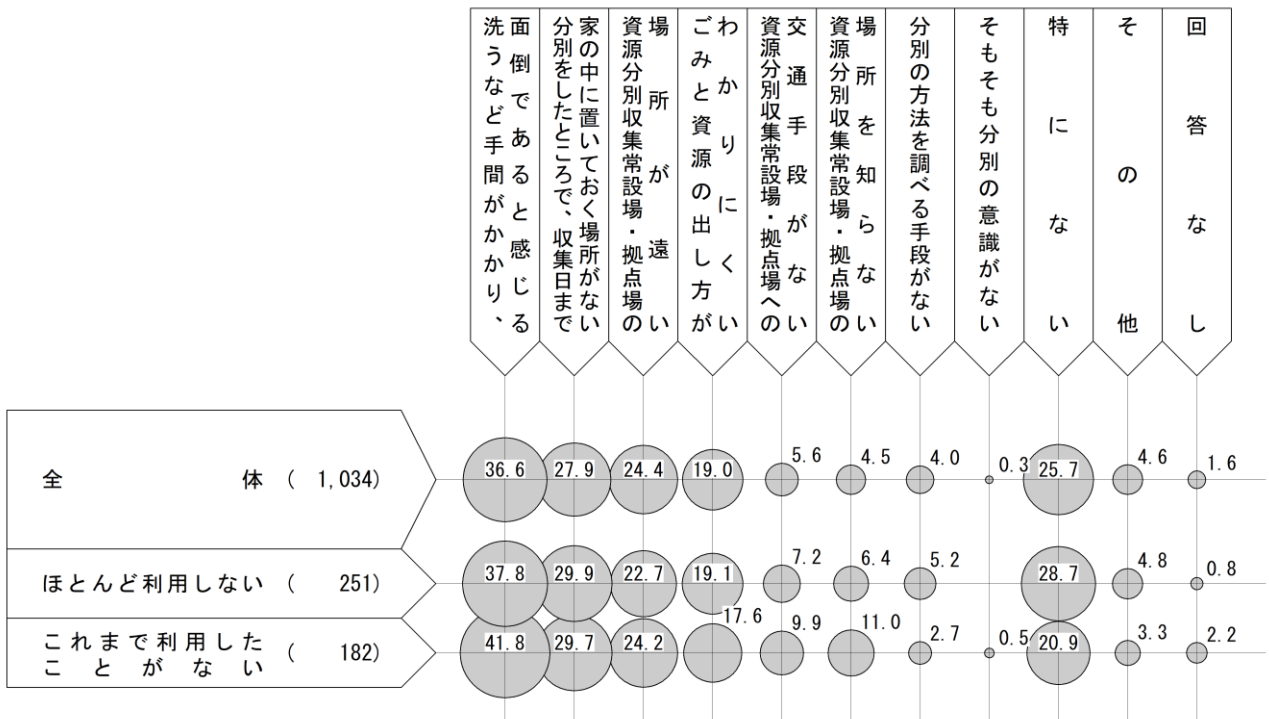


図 3-5-4 資源分別収集常設場非利用者別「ごみと資源の分別で感じていること（問 15）」



## (6) 資源分別収集拠点場の利用頻度

問 17. あなたの家庭では、資源分別収集拠点場（※）をどの程度利用されますか。（最も近いもの1つに○を）※毎月1回（木曜日）の午前中に開設しています。

※毎月1回（木曜日）の午前中に開設しています。詳しくは、別紙をご参照ください。

◆資源分別収集拠点場の利用頻度は、「ほとんど利用しない」と「これまで利用したことがない」を合わせた『利用しない』が68.6%と、『年1回以上利用する』の30.2%を上回っています。

- 資源分別収集拠点場の利用頻度は、「ほとんど利用しない」と「これまで利用したことがない」を合わせた『利用しない』が68.6%となっています。一方、「ほぼ毎月1回」、「2・3か月に1回程度」、「4・5か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年に1回程度」を合わせた『年1回以上利用する』は30.2%となっています。
- 年齢別に見ると、いずれの年代においても『利用しない』が半数を上回っています。
- ただし、60歳代と70歳以上では、「ほぼ毎月1回」がそれぞれ11.7%、15.5%、「2・3か月に1回程度」がそれぞれ12.3%、12.5%と他の年代に比べて高くなっています（図3-6-1）。
- 居住地別による有意な差は見られません（図3-6-2）。
- 世帯人員別に見ると、「これまで利用したことがない」は、1人世帯で48.3%と他の世帯規模と比べて高くなっています。ただし、「これまで利用したことがない」と「ほとんど利用しない」を合わせた『利用しない』はいずれの世帯でも7割前後となっています（図3-6-3）。
- 資源分別収集拠点場を「ほとんど利用しない」又は「これまで利用したことがない」と回答した人別に、問15の分別で感じていることをみると、「ごみと資源の出し方（ごみ指定袋一斉配布と同時に配布されている冊子）がわかりにくい」は、「これまで利用したことがない」と回答した人の方がやや高くなっていますが、大きな差は見られません（図3-6-4）。

図 3-6-1 年齢別「資源分別収集拠点場の利用頻度」

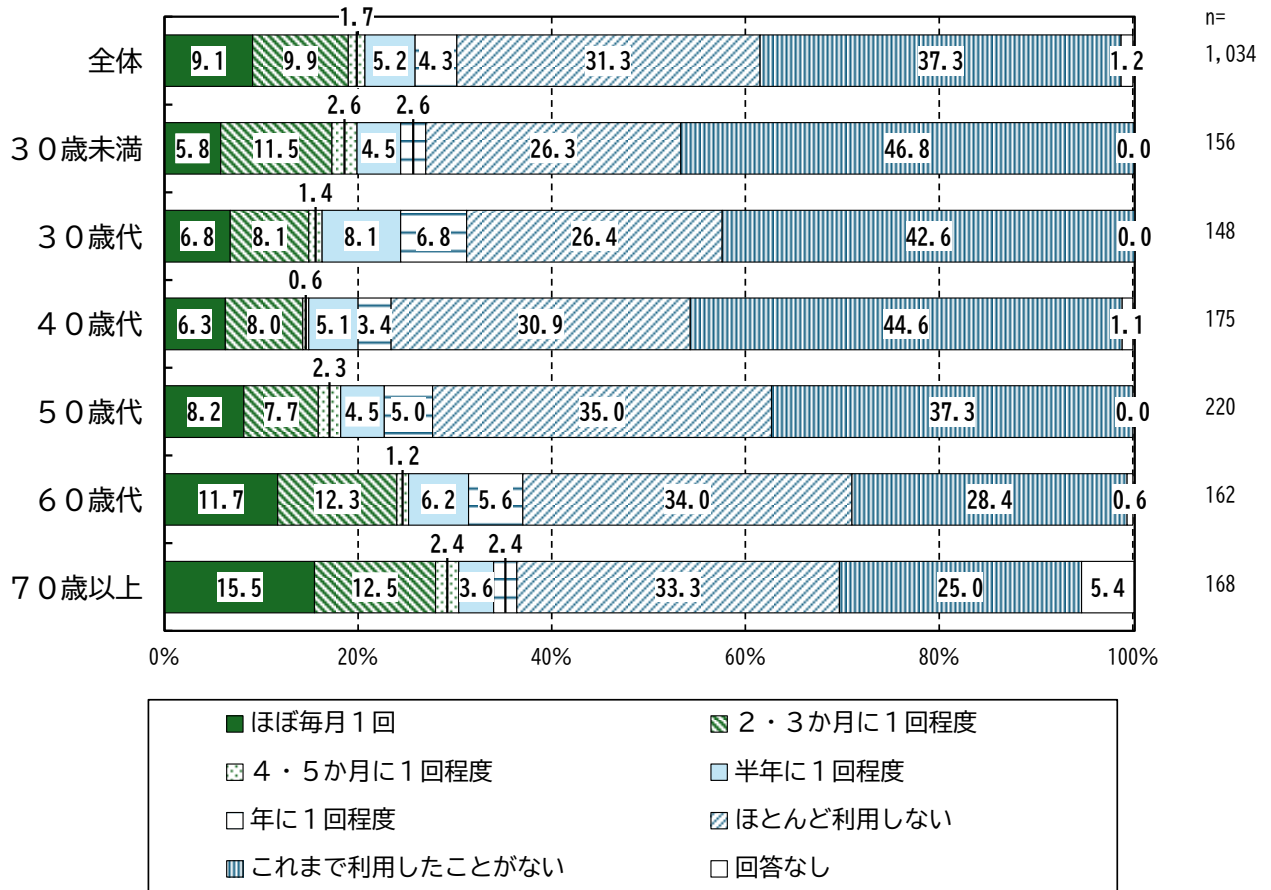


図 3-6-2 居住地別「資源分別収集拠点場の利用頻度」

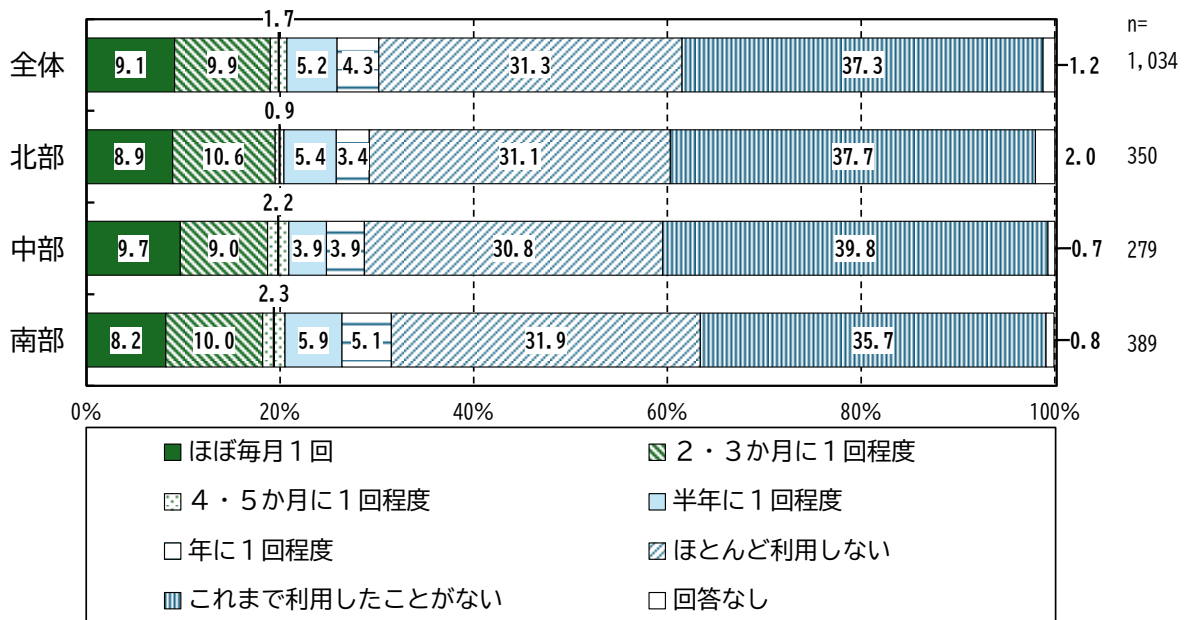


図 3-6-3 世帯人員別「資源分別収集拠点場の利用頻度」

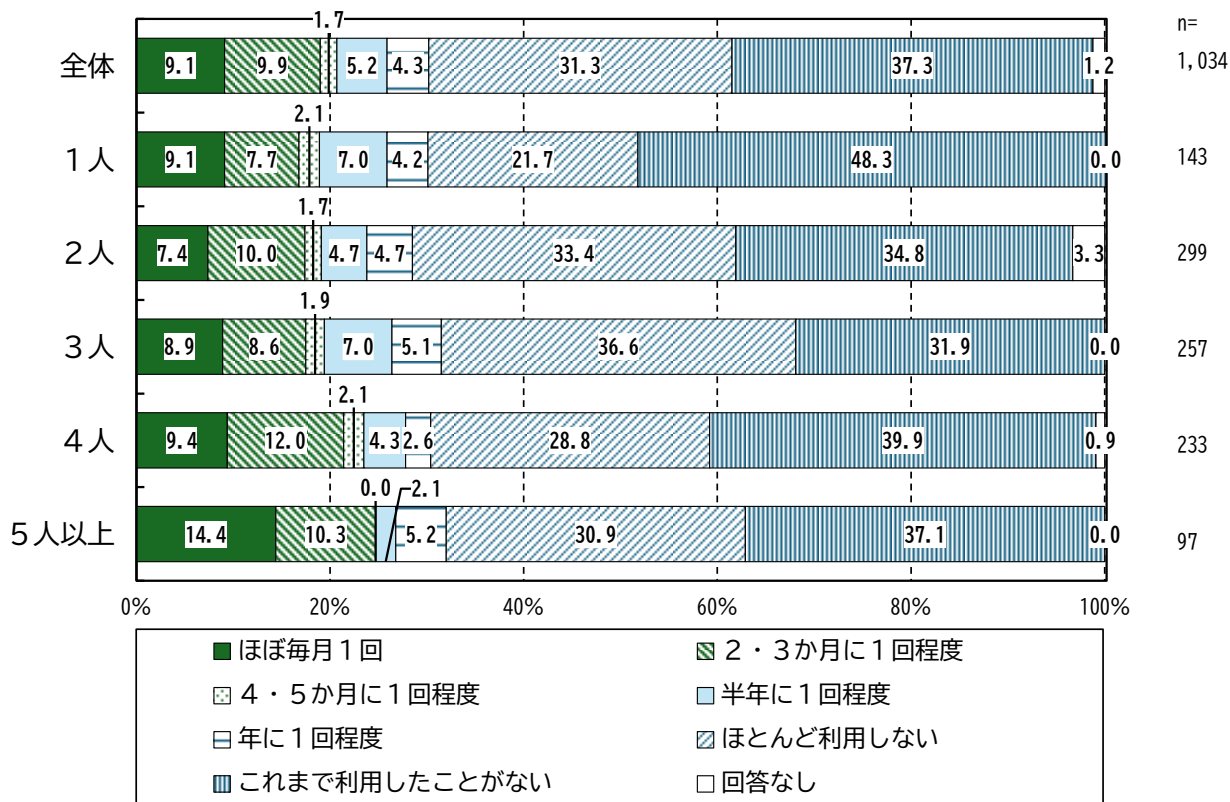
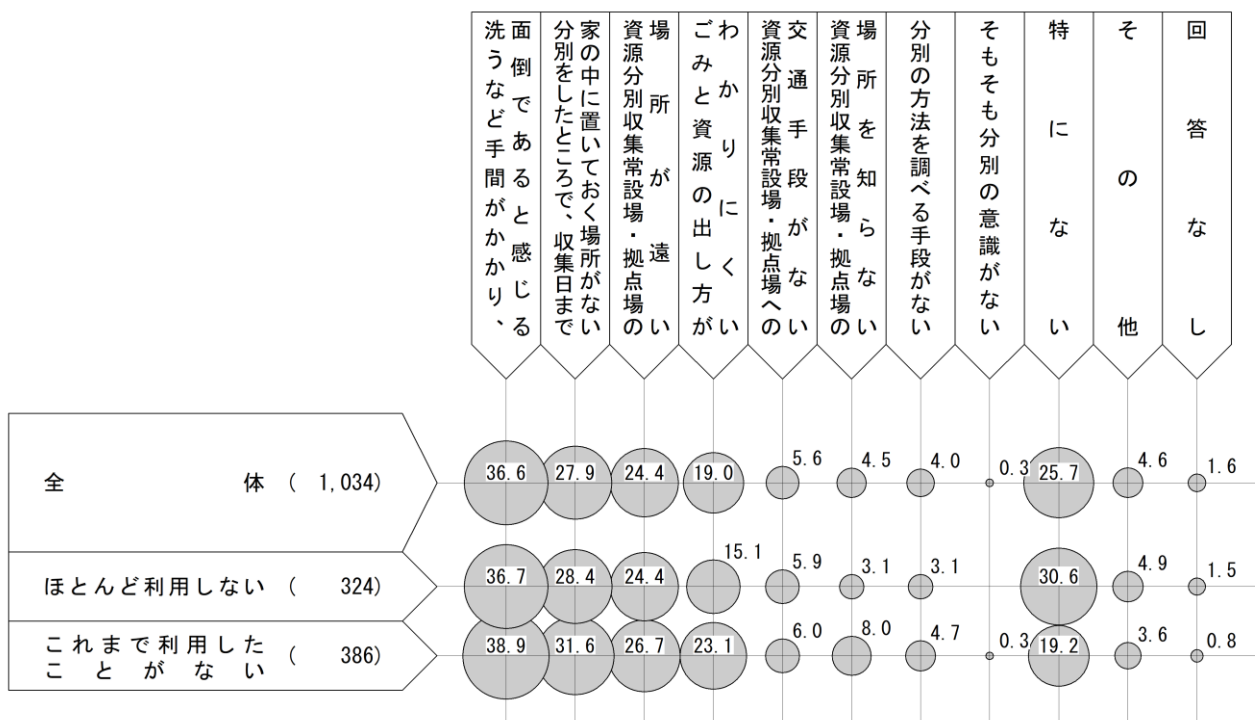


図 3-6-4 資源分別収集拠点場非利用者別「ごみと資源の分別で感じていること (問 15)」



## (7) 地域で行われている資源集団回収の利用頻度

問 18. あなたの家庭では、地域で行われている資源集団回収(※)をどの程度利用されますか。  
(最も近いもの1つに○を)

※市内の町内会・自治会、子ども会、各種団体によって行われる自主的な資源回収運動で、紙類、布類、びん類、缶類を回収しています。詳しくは、別紙をご参照ください。

◆地域で行われている資源集団回収の利用頻度は、『利用しない』が62.0%と、『年1回以上利用する』の36.7%を上回っています。

- 地域で行われている資源集団回収の利用頻度は、「ほとんど利用しない」、「これまで利用したことがない(利用したいが、日時や場所がわからない)」、「これまで利用したことがない(利用したいが、近くの地域で行われていない)」、「これまで利用したことがない(利用したいと思わない、利用する必要がない)」を合わせた『利用しない』の割合が62.0%となっています。一方、「月1回程度」、「2・3か月に1回程度」、「4・5か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年1回程度」を合わせた『年1回以上利用する』の割合は36.7%となっています。
- 年齢別に見ると、いずれの年代においても「ほとんど利用しない」が3割程度と高くなっており、『利用しない』は半数を超えています。
- 30歳未満、30歳代では、『利用しない』は、それぞれ69.2%、74.3%と他の年代に比べて高くなっています。特に、30歳代では「これまで利用したことがない(利用したいと思わない、利用する必要がない)」が27.0%と、他の年代に比べて高くなっています(図3-7-1)。
- 居住地別に見ると、中部では「月1回程度」が16.5%とわずかに高く、一方、『利用しない』と回答した割合も66.3%とわずかに高くなっています(図3-7-2)。
- 世帯人員別に見ると、5人以上の世帯では他の世帯規模に比べて、「月1回程度」が19.6%とわずかに高い一方、『利用しない』は50.5%と低くなっています。
- また、5人以上の世帯を除くいずれの世帯でも『利用しない』は、6割程度となっています。特に、1人世帯では「これまで利用したことがない(利用したいと思わない、利用する必要がない)」が19.6%と他の世帯規模に比べて高くなっています(図3-7-3)。
- 資源集団回収を「月1回程度」又は「2・3か月に1回程度」利用すると回答した人の不便感(問15の「交通手段がない」、「場所が遠い」、「場所を知らない」)を比較すると、両者の間にわずかな違いはありますが、有意な差は見られません(図3-7-4)。

図 3-7-1 年齢別「地域で行われている資源集団回収の利用頻度」

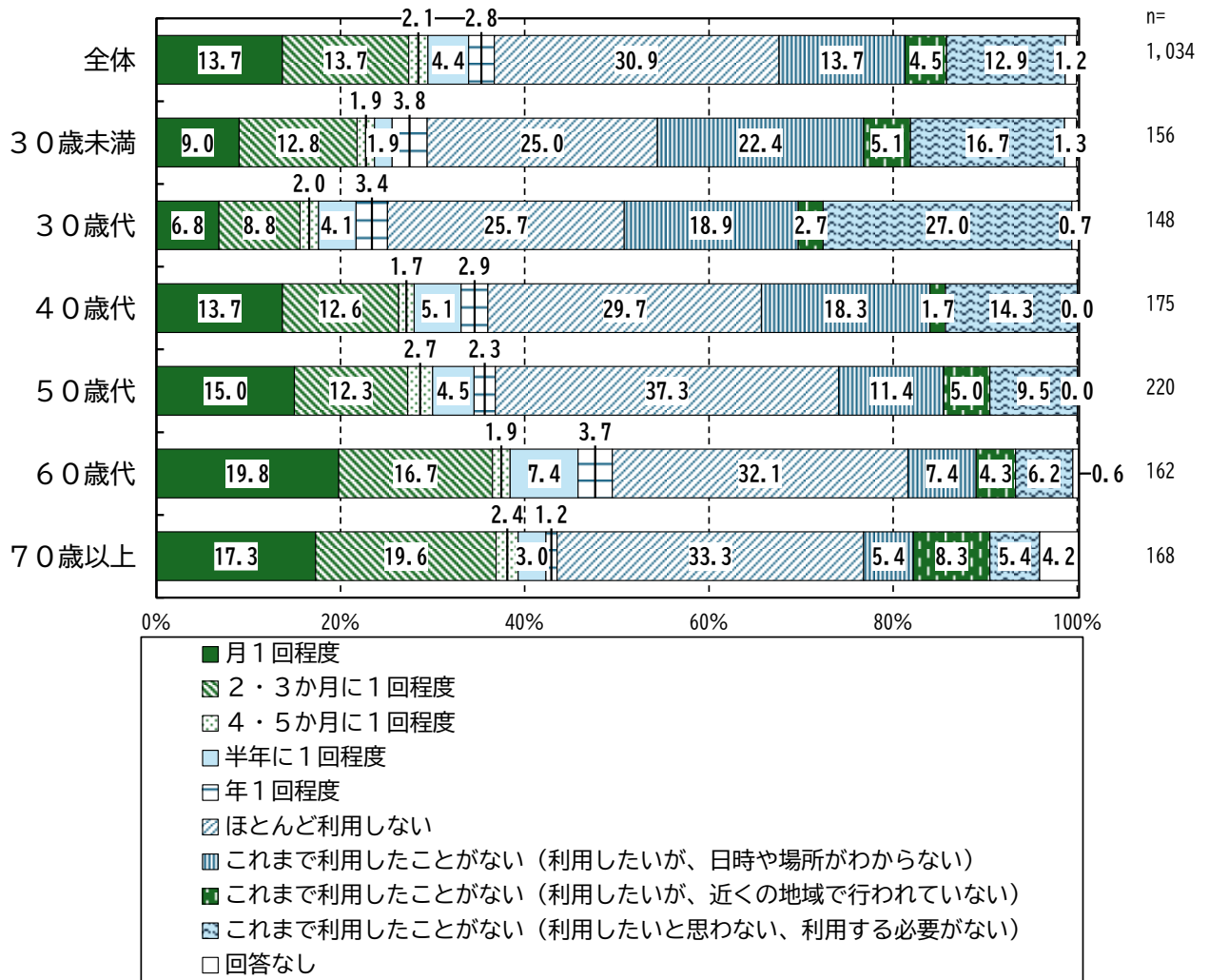


図 3-7-2 居住地別「地域で行われている資源集団回収の利用頻度」

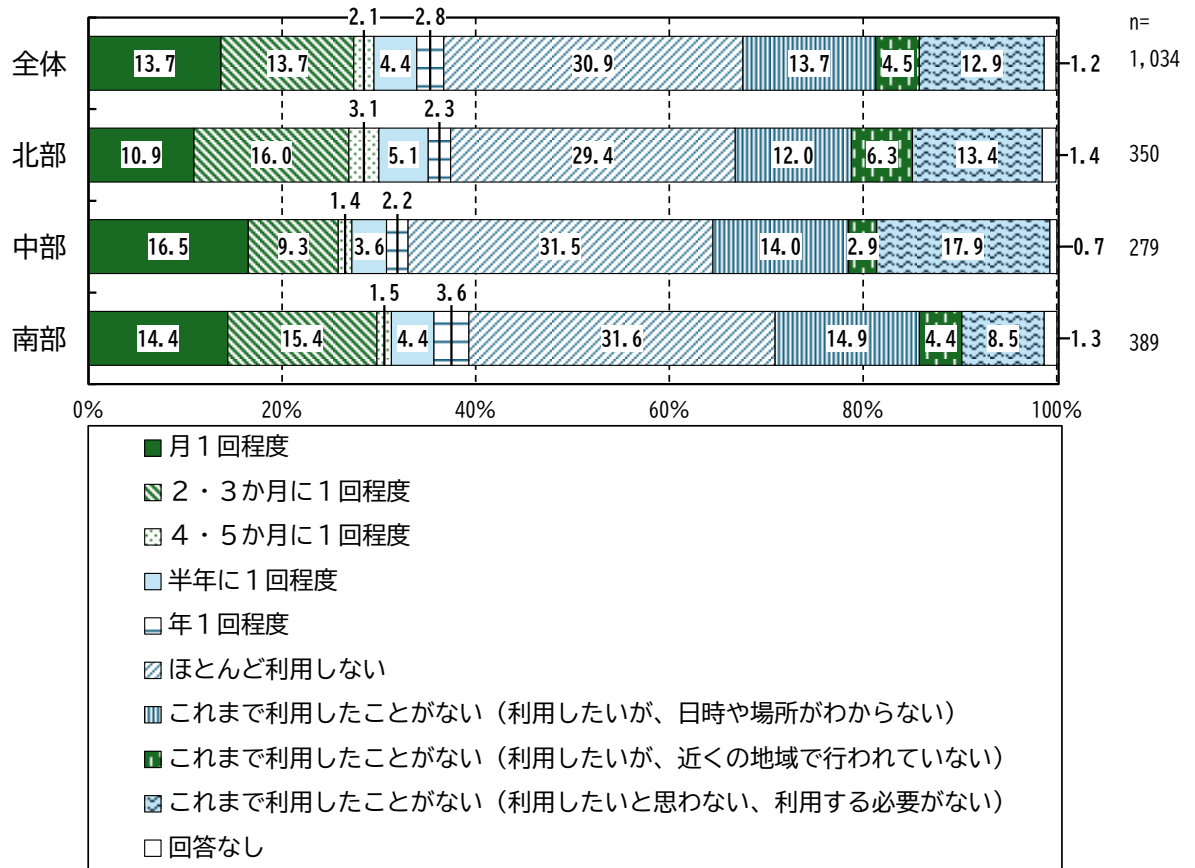


図 3-7-3 世帯人員別「地域で行われている資源集団回収の利用頻度」

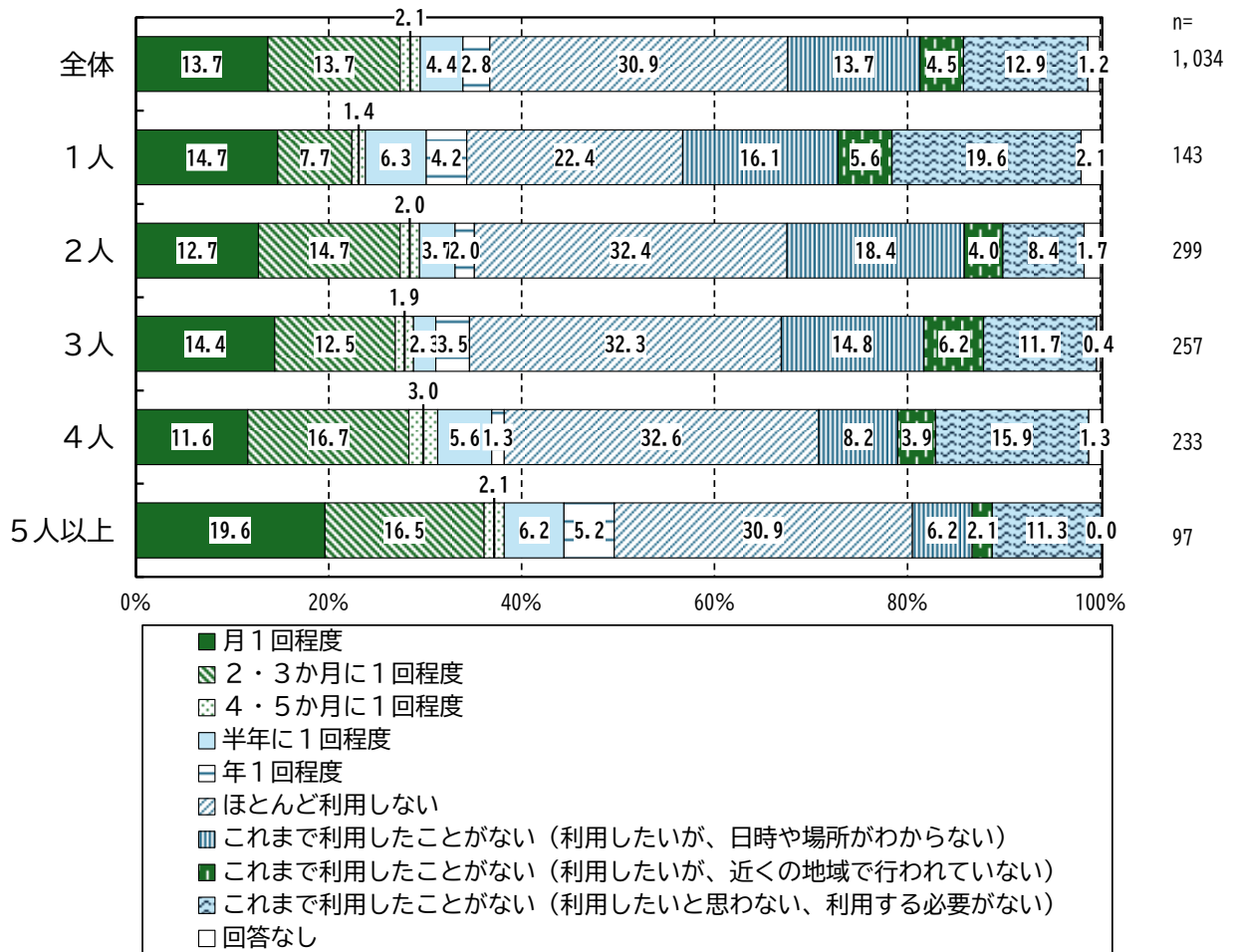
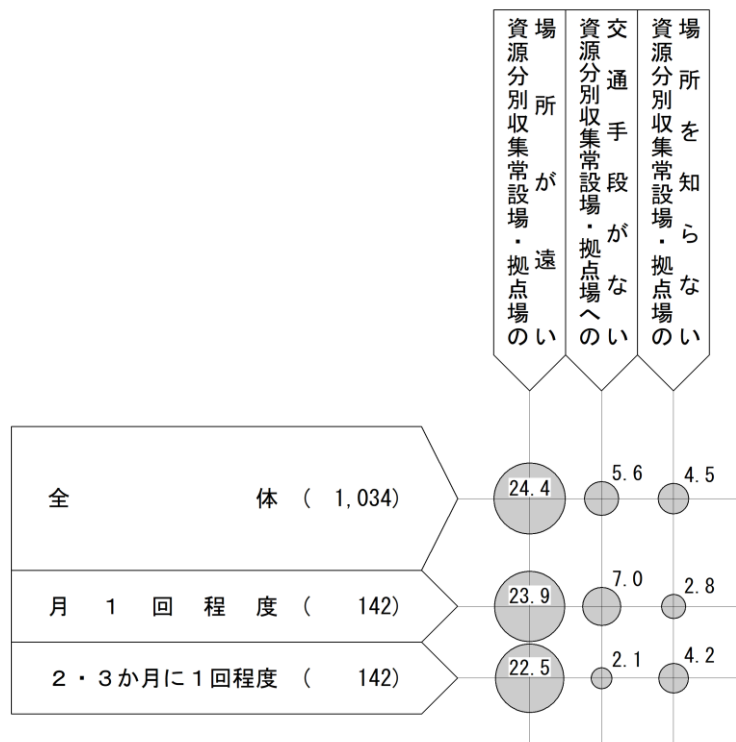


図 3-7-4 資源集団回収高頻度利用者別「拠点場に関する不便感 (問 15 の 5 ~ 7)」



## (8) 民間の資源回収ステーションの利用頻度

問 19. あなたの家庭では、店頭回収、民間の資源回収ステーション（※）など（問 16～18 以外）の資源回収をどの程度利用されますか。（最も近いもの 1 つに○を）

※詳しくは、別紙をご参照ください。

◆民間の資源回収ステーションの利用頻度は、『年に 1 回以上利用する』が 76.2%と、『利用しない』の 22.7%を上回っています。

- 民間の資源回収ステーションの利用頻度は、「週 1 回以上」、「月 2・3 回程度」、「月 1 回程度」、「2・3 か月に 1 回程度」、「4・5 か月に 1 回程度」、「半年に 1 回程度」、「年 1 回程度」を合わせた『年に 1 回以上利用する』が 76.2%と、「ほとんど利用しない」と「これまで利用したことがない」を合わせた『利用しない』の 22.7%を大幅に上回っています。
- また、「週 1 回以上」、「月 2・3 回程度」、「月 1 回程度」を合わせた『月 1 回以上利用する』は半数を超えています。
- 年齢別に見ると、70 歳以上を除くいずれの年代においても『年に 1 回以上利用する』は 7 割を超えています（図 3-8-1）。
- 居住地別に見ると、北部では「ほとんど利用しない」が 18.0%と他の地域に比べてわずかに高くなっています（図 3-8-2）。
- 世帯人員別に見ると、1人世帯では「週 1 回以上」、「月 2・3 回程度」、「月 1 回程度」を合わせた『月 1 回以上利用する』は、38.5%と他の世帯規模に比べて低くなっています。一方、『利用しない』は 35.7%と他の世帯規模に比べて高くなっています（図 3-8-3）。
- 店頭回収、民間の資源回収ステーションなど「週 1 回以上」、「月 2・3 回程度」、「月 1 回程度」利用すると回答した人別に、資源分別収集常設場・拠点場の不便感（問 15 で「交通手段がない」、「場所が遠い」、「場所を知らない」）を比較しても、利用頻度別によるわずかな違いはあるものの、有意な差は見られません（図 3-8-4）。

図 3-8-1 年齢別「民間の資源回収ステーションの利用頻度」

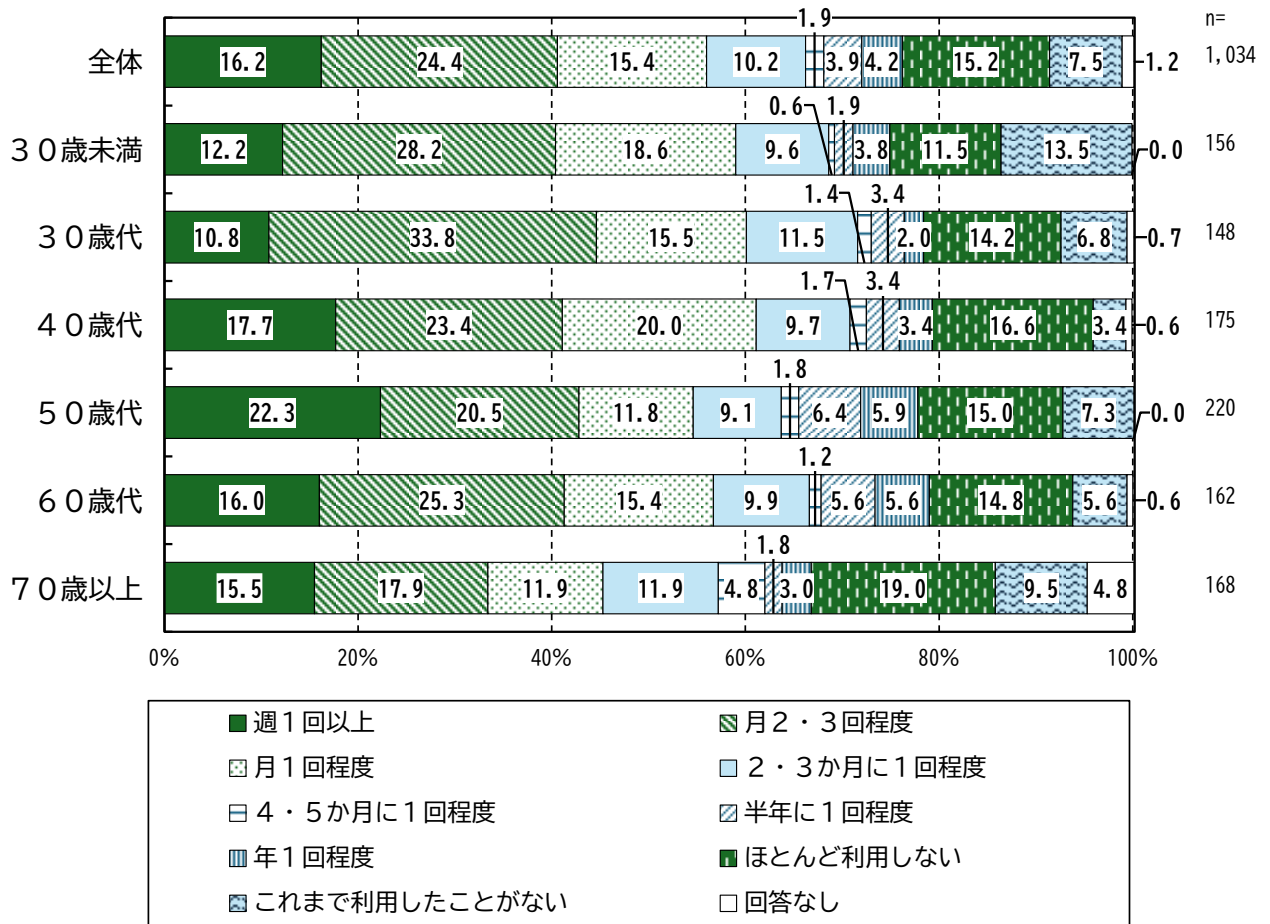


図 3-8-2 居住地別「民間の資源回収ステーションの利用頻度」

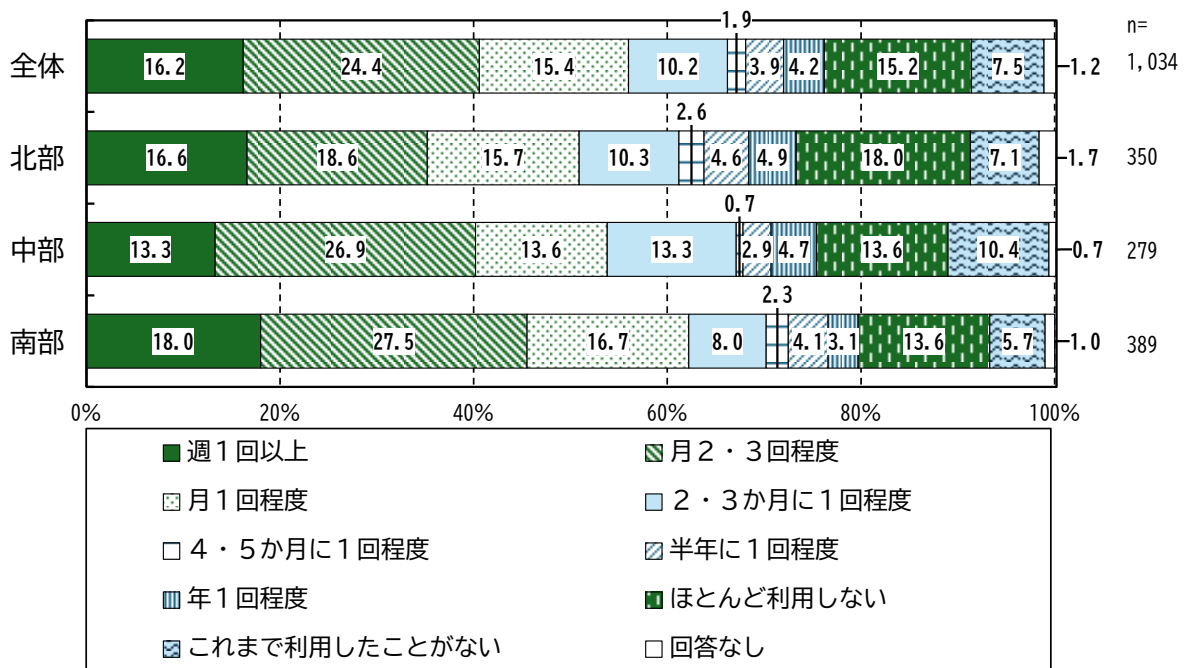


図 3-8-3 居住地別「民間の資源回収ステーションの利用頻度」

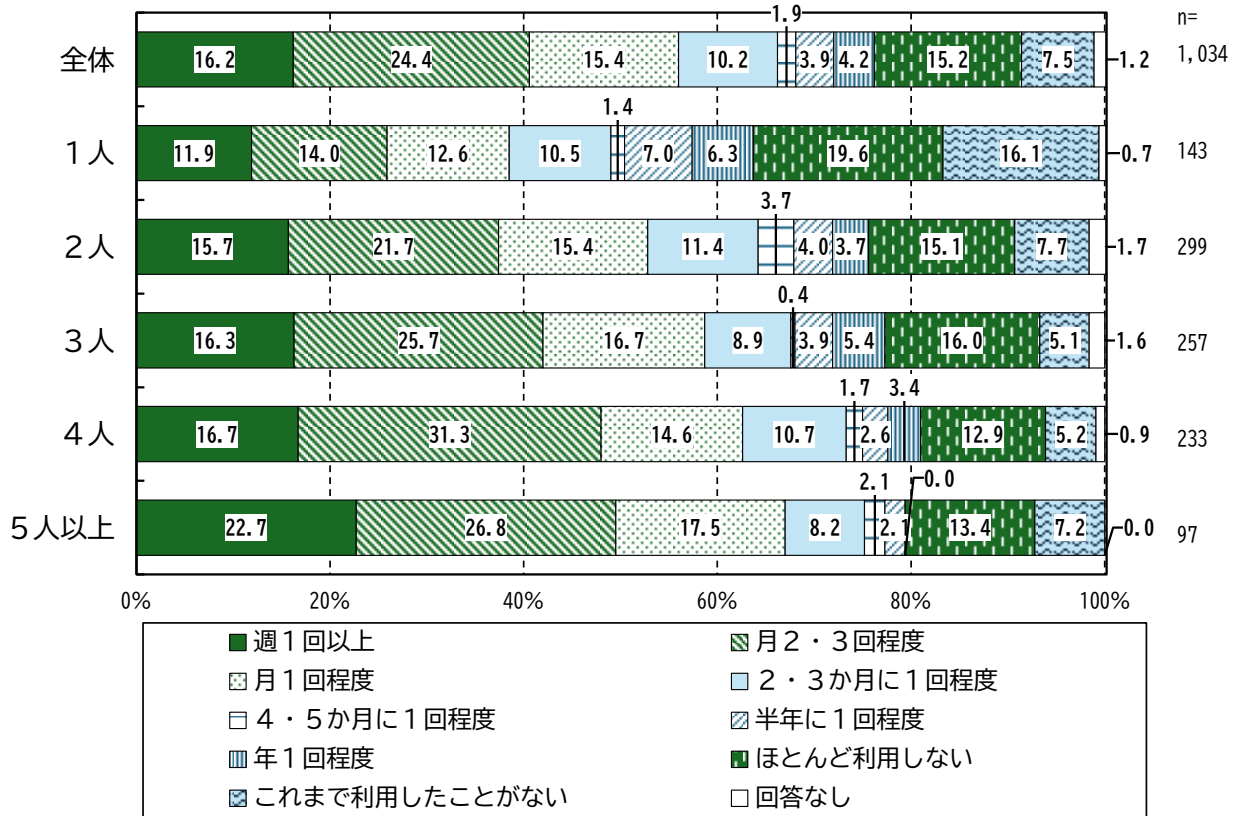
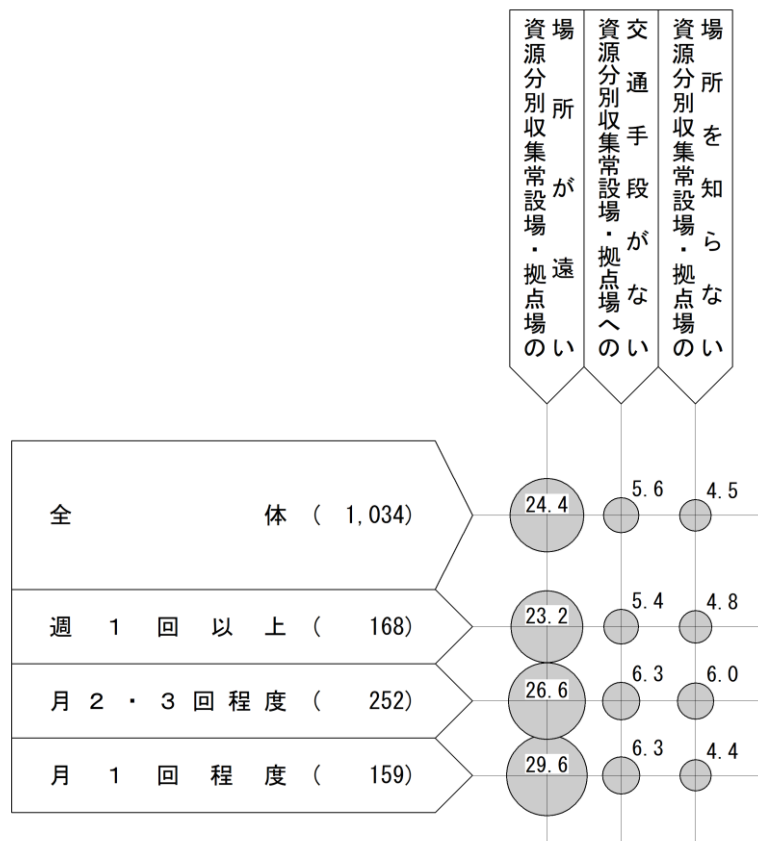


図 3-8-4 店頭回収、民間資源回収ステーション等高頻度利用者別「拠点場に関する不便感（問 15 の 5～7）」



## IVごみの減量・資源化について

### (1) リユースの状況

問 20. あなたの家庭では、下記の品目について、この1年間で不要となった物を、どのようにリユースしましたか。(品目ごとにあてはまるもの全てに○を)

- ◆衣類のリユースでは、「買取専門店」、「フリマアプリ」、「知人への譲渡」など、他の品目に比べて多様な行動が見られます。
- ◆食品のリユースでは、「利用したことがなく、今後も利用しない」が47.4%と、全品目の中で最も割合が高くなっています。

- 
- 衣類では、「買取専門店を利用したことがある」が31.0%と最も割合が高くなっています。また、「フリマアプリを活用したことがある」が16.1%、「知人に譲ったことがある」が28.7%と他の品目に比べて高くなっています。
  - 家具では、「利用したことがなく、今後も利用しない」が33.4%、「利用したことがないが、今後利用したい」が29.3%で、『利用したことがない』が6割程度となっています。
  - 家電では、「利用したことがなく、今後も利用しない」が34.6%、「利用したことがないが、今後利用したい」が25.7%で、『利用したことがない』が6割程度となっています。
  - 書籍では、「買取専門店を利用したことがある」が39.6%と全品目の中で最も割合が高くなっています。
  - CD・DVDでは、「買取専門店を利用したことがある」が29.5%となっています。
  - 食品では、「利用したことがなく、今後も利用しない」が47.4%と、全品目の中で最も割合が高くなっています。
  - おもちゃでは、「利用したことがなく、今後も利用しない」が30.4%と最も割合が高く、次いで「買取専門店を利用したことがある」が20.2%、「利用したことがないが、今後利用したい」が19.9%、「知人に譲ったことがある」が18.4%と続いています(図4-1-1)。
  - 性別で「利用したことがないが、今後利用したい」と回答した割合を比較すると、いずれの品目でも男性と女性の差は小さく、今後の利用意向における性別による有意な差は見られません(図4-1-2)。
  - 年齢別で「利用したことがないが、今後利用したい」と回答した割合を比較すると、「家具」、「家電」、「CD・DVD」、「食品」、「おもちゃ」では、70歳以上の利用意向が他の年代に比べて低くなっています(図4-1-3)。
  - 世帯人員別で「利用したことがないが、今後利用したい」と回答した割合を比較すると、「衣類」では1人世帯が19.6%と他の世帯規模に比べてやや高くなっています(図4-1-4)。
  - 問12「古着・古布」の分別別に衣類のリユースの状況をみると、「利用したことがなく、今後も利用しない」は、「ごみとして出している」が30.7%と「資源として出している」の22.0%に比べてやや高くなっています(図4-1-5)。
  - 問12「本・カタログ・冊子」の分別別に書籍のリユースの状況をみると、「利用したことがなく、今後も利用しない」は、「ごみとして出している」が26.9%と「資源として出し
-

ている」の18.8%に比べてわずかに高くなっています（図4-1-6）。

○問12「小型家電」の分別別に家電のリユースの状況を見ると、「利用したことがなく、今後も利用しない」は、「ごみとして出している」が37.8%と「資源として出している」の32.4%に比べてやや高くなっています（図4-1-7）。

○その他の自由記述では、多様な品目が挙げられました。主なものとして、食器（4件）、文具・学校用品（3件）、靴・かばん（3件）、趣味・レジャー用品（3件）、PC・ゲーム（2件）、自動車用品（2件）、楽器（2件）、子ども用品（2件）、雑貨（2件）などがありました。また、車いす、化粧品、カーペット、自転車、歴史資料になりそうなものなども1件ずつ見られました（表4-1-8）。

図4-1-1 品目別「リユースの状況」

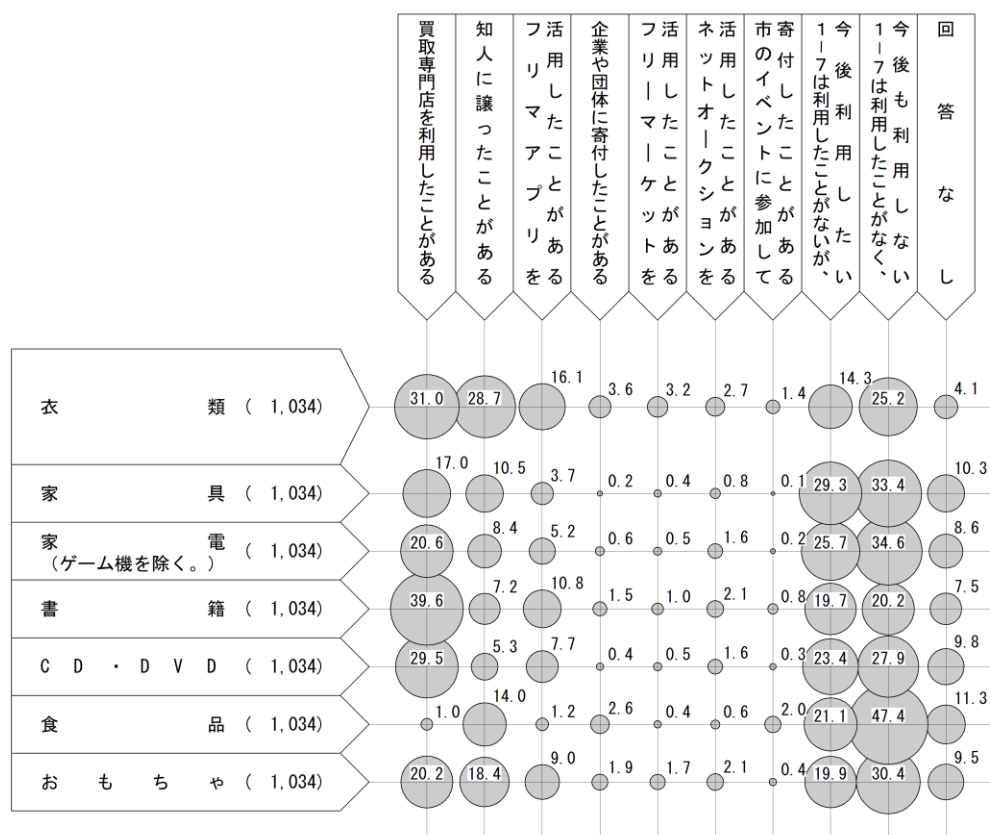


図 4-1-2 性別・品目別「利用したことがないが、今後利用したい」割合

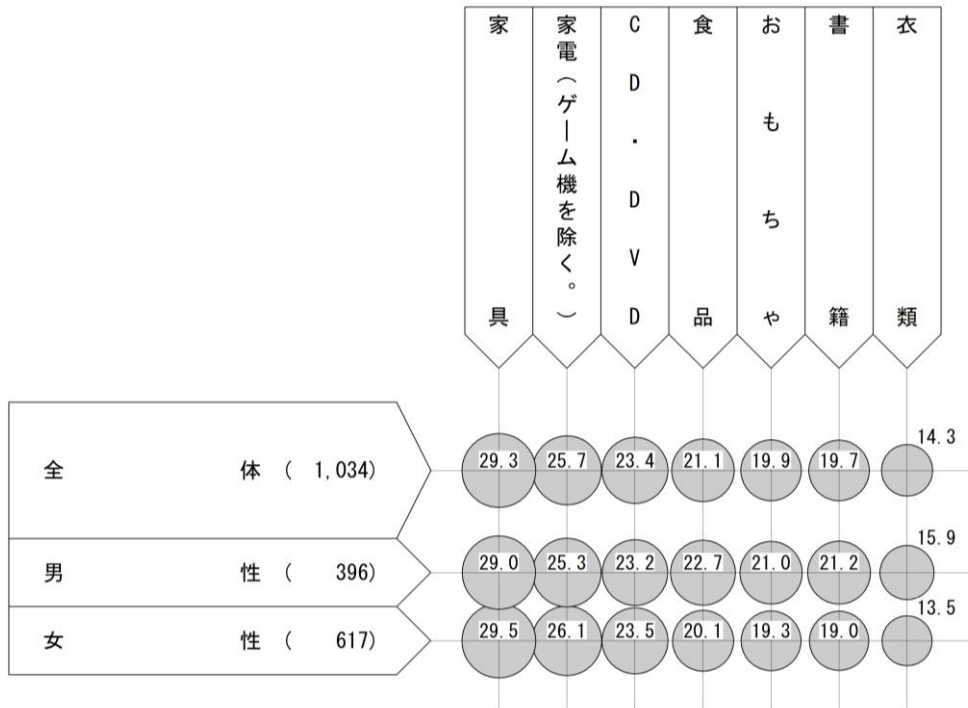


図 4-1-3 年齢別・品目別「利用したことがないが、今後利用したい」割合

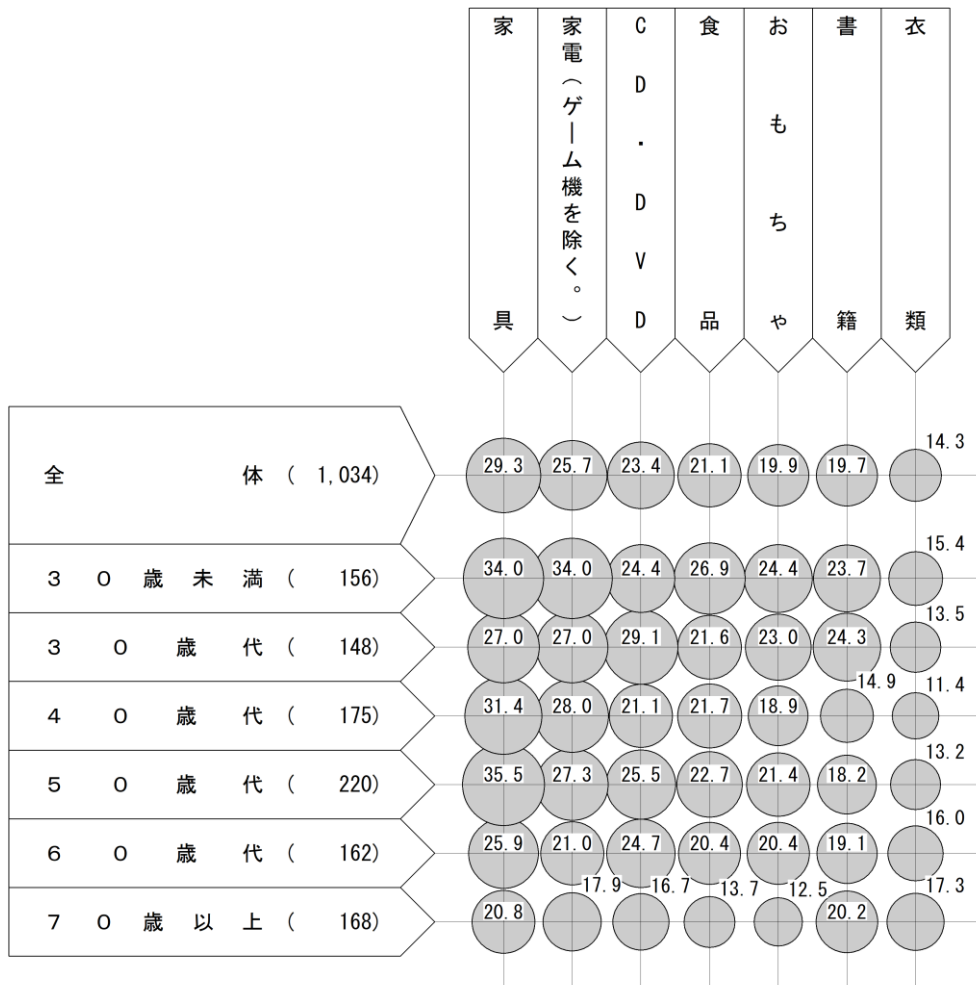


図 4-1-4 世帯人員別・品目別「利用したことがないが、今後利用したい」割合

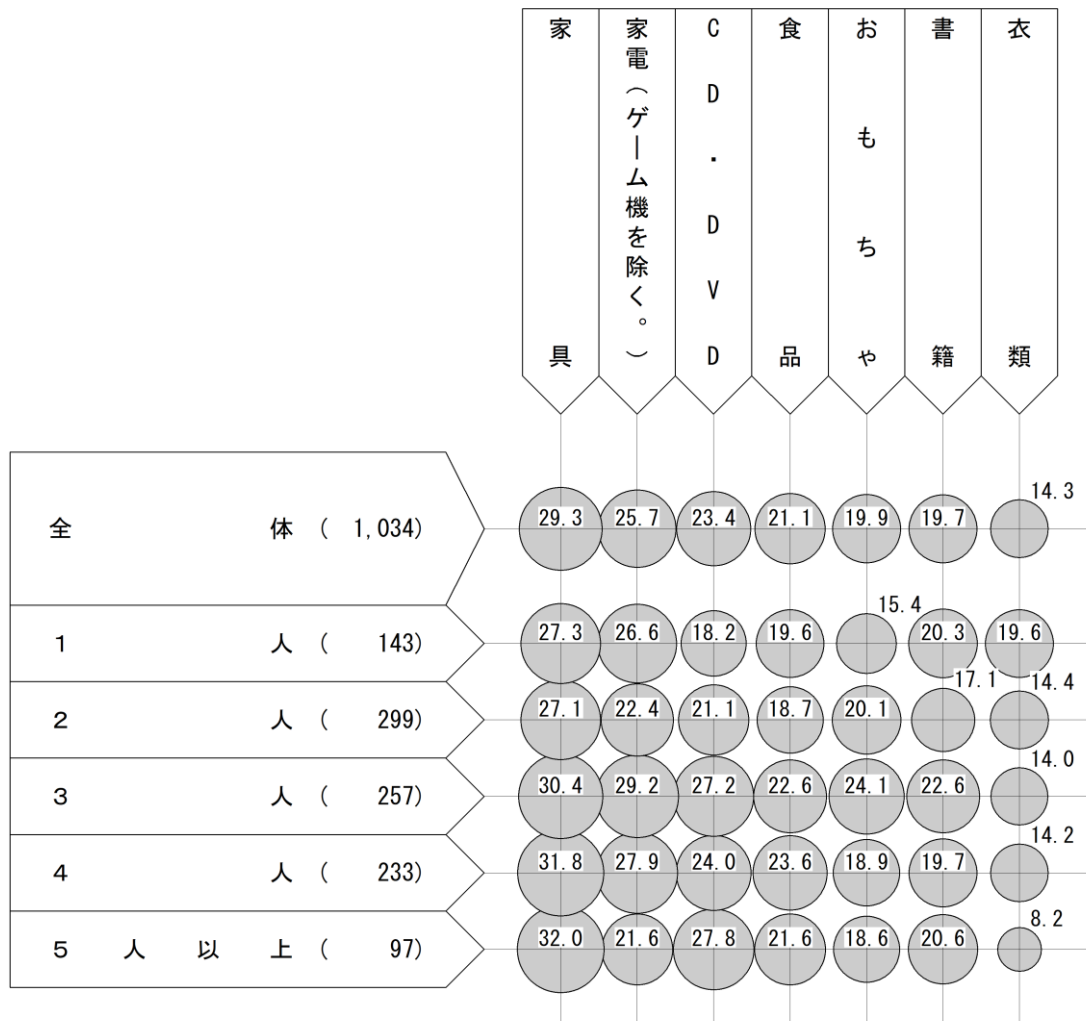


図 4-1-5 「古着・古布」の分別の有無別「リユースの状況」(衣類)

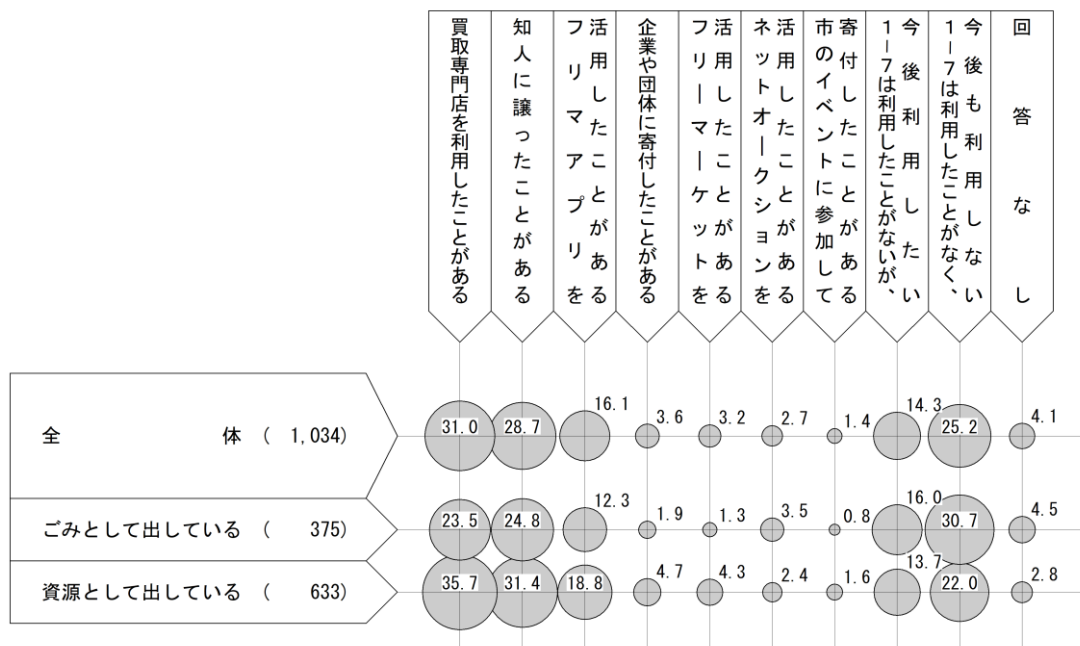


図 4-1-6 「本・カタログ・冊子」の分別の有無ごみと資源の分別別「リユースの状況」(書籍)

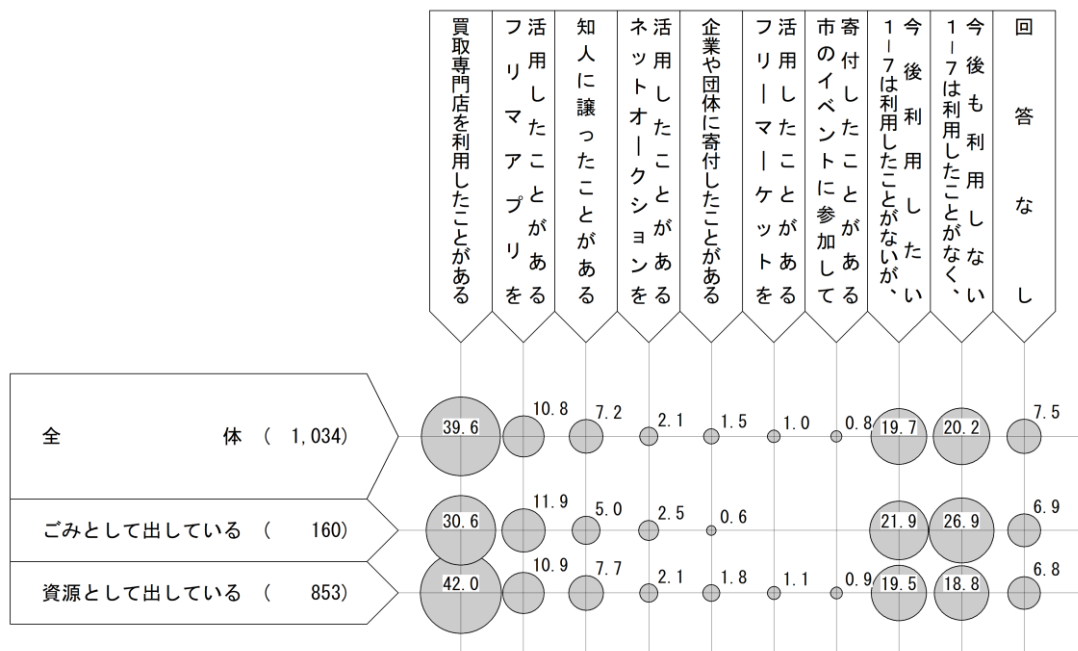


図 4-1-7 「小型家電」の分別の有無ごみと資源の分別別「リユースの状況」(家電)

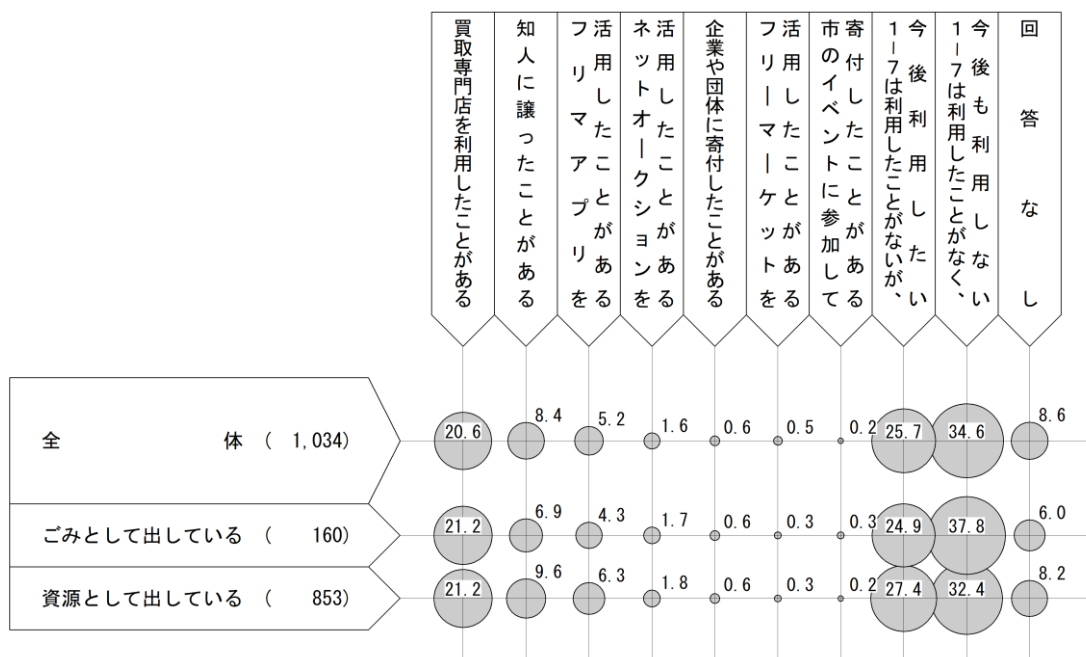


表 4-1-8 その他回答における品目別「リユースの状況」

品目 (n 数)	主なリユース方法	件数
食器 (4 件)	フリマアプリを活用したことがある	1 件
	買取専門店を利用したことがある	3 件
文具・学校用品 (3 件)	買取専門店を利用したことがある	1 件
	利用したことがなく、今後も利用しない	2 件
靴・かばん (3 件)	買取専門店を利用したことがある	2 件
	利用したことがないが、今後利用したい	1 件
趣味 (釣り道具)・レジャー用品 (3 件)	フリマアプリを活用したことがある	1 件
	ネットオークションを活用したことがある	1 件
	知人に譲ったことがある	3 件
	買取専門店を利用したことがある	1 件
	企業や団体に寄付したことがある	1 件
PC・ゲーム (2 件)	買取専門店を利用したことがある	2 件
自動車用品 (2 件)	買取専門店を利用したことがある	2 件
	知人に譲ったことがある	2 件
	企業や団体に寄付したことがある	1 件
楽器 (2 件)	買取専門店を利用したことがある	1 件
	利用したことがないが、今後利用したい	1 件
子ども用品 (2 件)	買取専門店を利用したことがある	1 件
	知人に譲ったことがある	1 件
車いす (1 件)	企業や団体に寄付したことがある	1 件
化粧品 (1 件)	フリマアプリを活用したことがある	1 件
雑貨 (2 件)	買取専門店を利用したことがある	1 件
	フリマアプリを活用したことがある	1 件
カーペット (1 件)	利用したことがなく、今後も利用しない	1 件
自転車 (1 件)	知人に譲ったことがある	1 件
歴史資料になりそうなもの (1 件)	利用したことがないが、今後利用したい	1 件

## (2) 食品ロスの発生頻度

問 21. あなたの家庭では、食品ロス(※)は、どれぐらいの頻度で発生しますか。

(食品ロスの主な原因ごとに最も近いもの1つに○を)

※「食品ロス」とは、まだ食べることができるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいいます。食品ロスの主な原因は、“食べ残し”、“直接廃棄”、“過剰除去”です。

### (2) -①食べ残し(作りすぎて、食べきれないこと)

◆食べ残しの発生頻度は、「まったく発生しない」が32.3%と最も割合が高くなっています。一方、『年1回以上発生している』は66.8%となっています。

- 食べ残しの発生頻度は、「まったく発生しない」が32.3%と最も割合が高くなっています。一方、「週2回以上」、「週1回程度」、「月2・3回程度」、「月1回程度」、「2・3か月に1回程度」、「4・5か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年1回程度」を合わせた『年1回以上発生している』は66.8%となっています。
- 性別による有意な差は見られません(図4-2-1-1)。
- 年齢別に見ると、いずれの年代においても「まったく発生しない」が3割程度と最も割合が高くなっています(図4-2-1-2)。
- 世帯人員別に見ると、「まったく発生しない」は、1人世帯で43.4%と他の世帯規模に比べて最も割合が高く、世帯人員が増えるにつれ割合が低くなっています(図4-2-1-3)。

図 4-2-1-1 性別「食べ残しの状況」

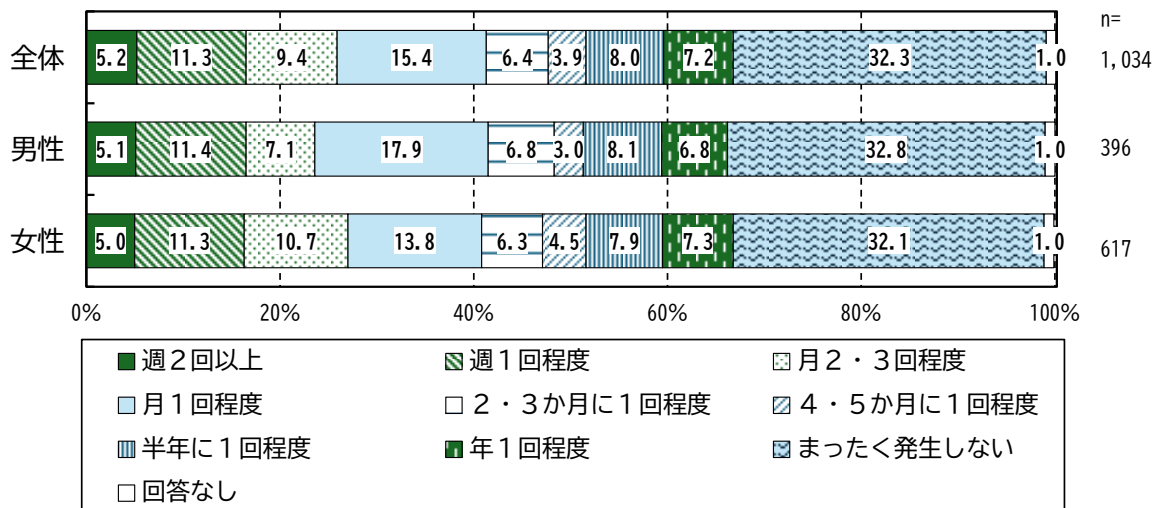


図 4-2-1-2 年齢別「食べ残しの状況」

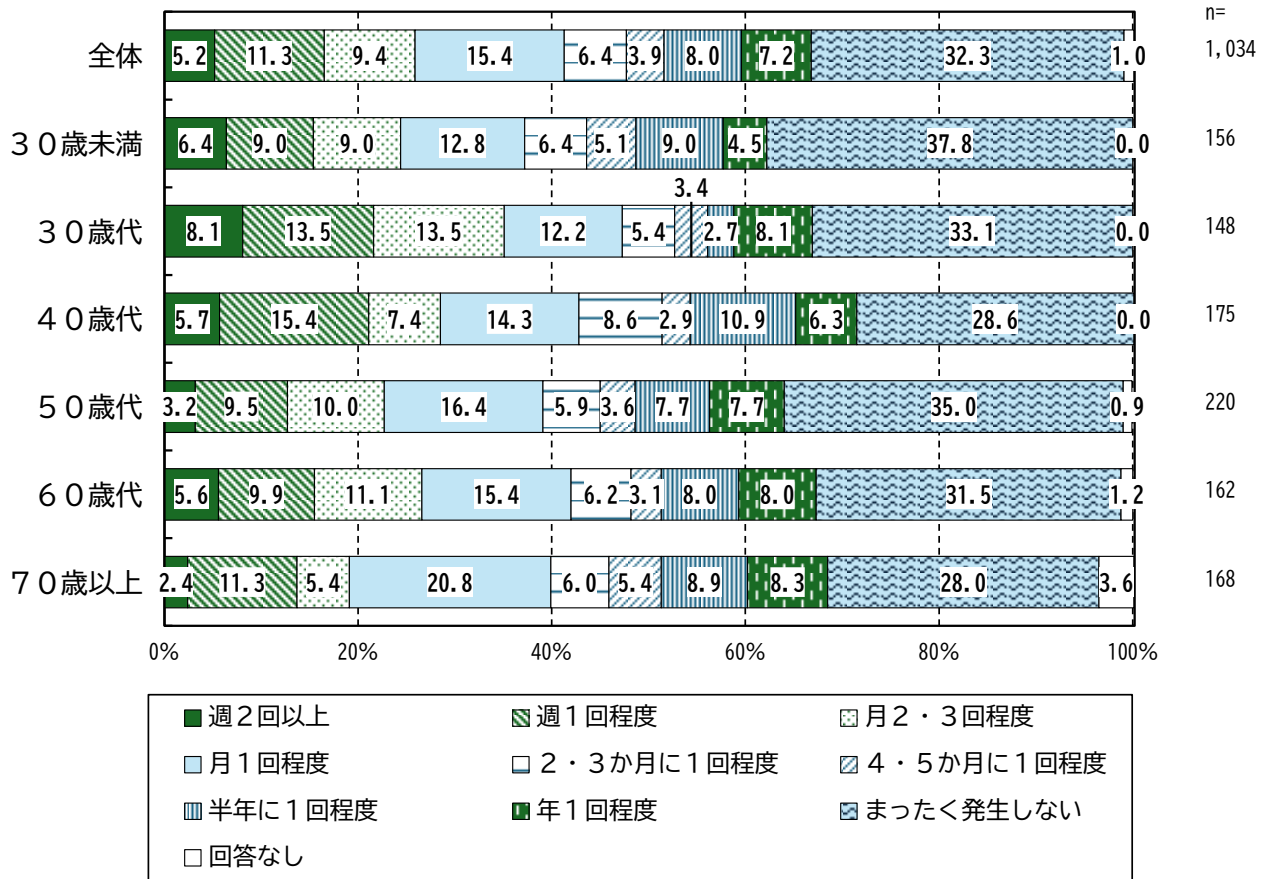
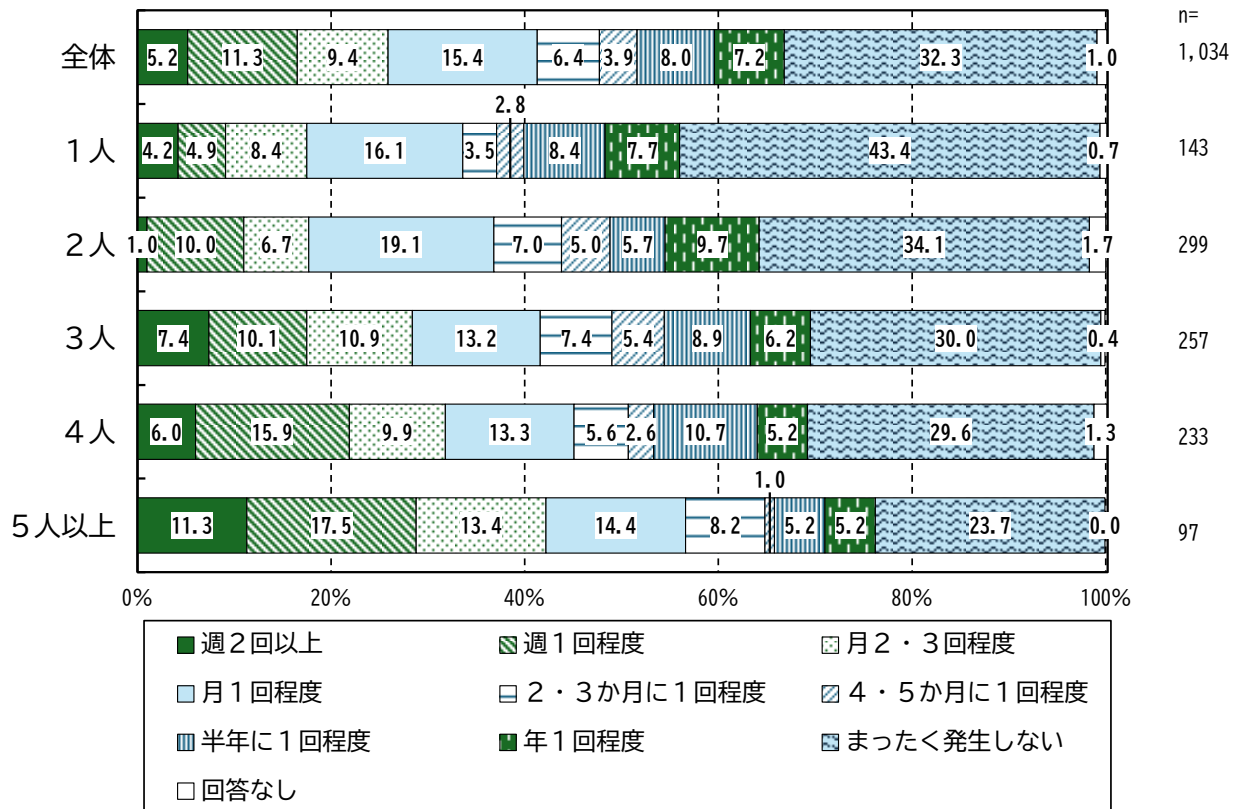


図 4-2-1-3 世帯人員別「食べ残しの状況」



(2) -②直接廃棄（期限切れ等により手つかずのままで捨てること）

◆直接廃棄の発生頻度は、『年1回以上発生している』が80.8%となっています。

- 直接廃棄の発生頻度は、「週2回以上」、「週1回程度」、「月2・3回程度」、「月1回程度」、「2・3か月に1回程度」、「4・5か月に1回程度」、「半年に1回程度」、「年1回程度」を合わせた『年1回以上発生している』が80.8%に対して、「まったく発生しない」は18.3%となっています。
- 性別に見ると、「まったく発生しない」は、男性が21.2%と女性の16.4%をわずかに上回っています（図4-2-2-1）。
- 年齢別に見ると、30歳未満から50歳代までは『年1回以上発生している』がいずれも8割を超えて高くなっています。特に、40歳代では『年1回以上発生している』が85.8%と他の年代に比べて最も割合が高くなっています。
- また、70歳以上では「まったく発生しない」が24.4%と、他の年代に比べて高くなっています（図4-2-2-2）。
- 世帯人員別に見ると、「まったく発生しない」は、1人世帯で25.9%と最も他の年代に比べて高く、世帯人員が増えるにつれ割合が低くなっています（図4-2-2-3）。

図4-2-2-1 性別「直接廃棄の状況」

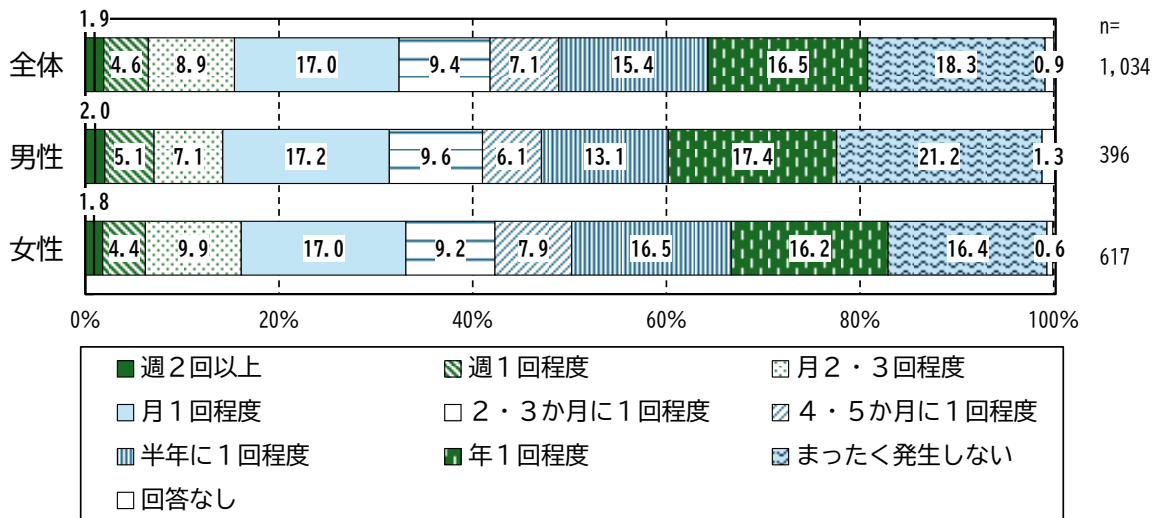


図 4-2-2-2 年齢別「直接廃棄の状況」

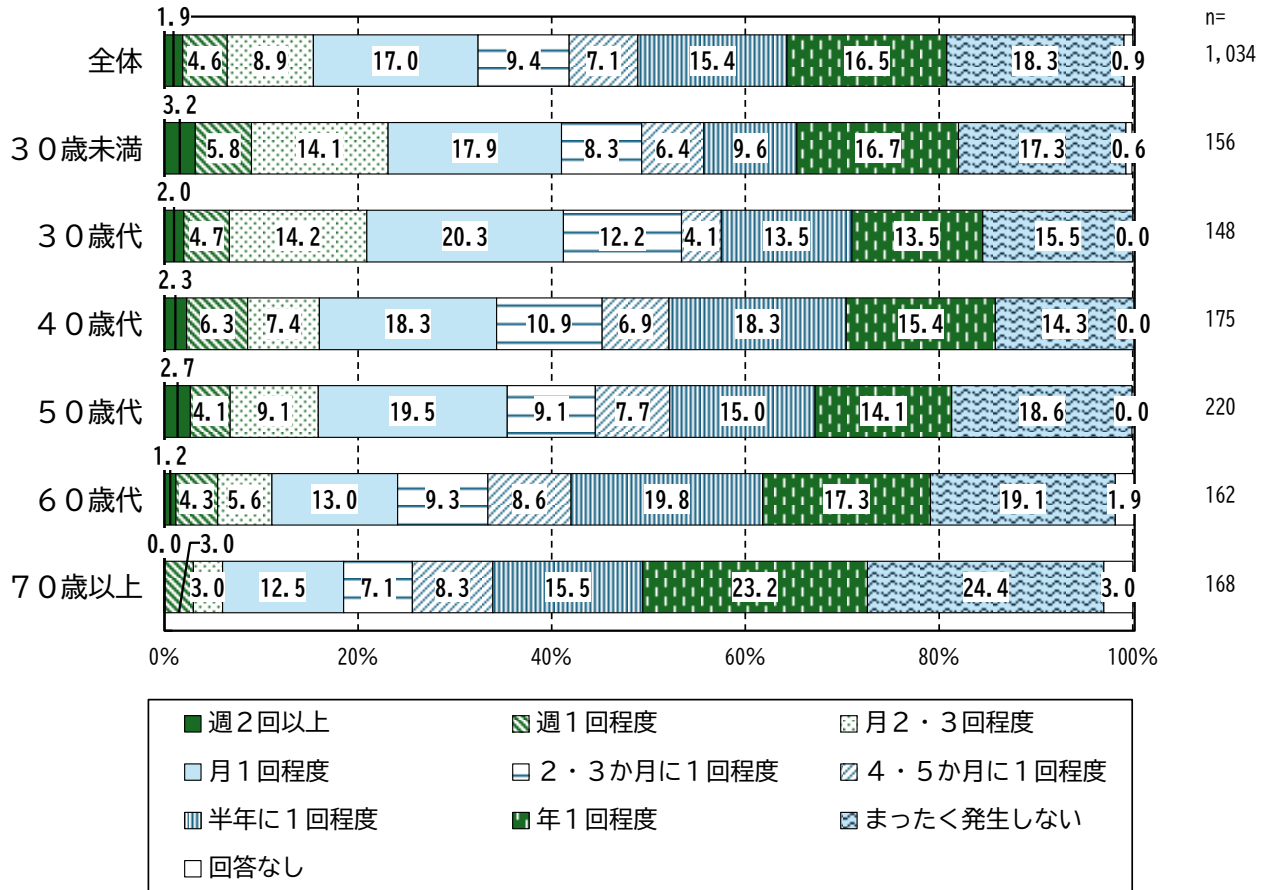
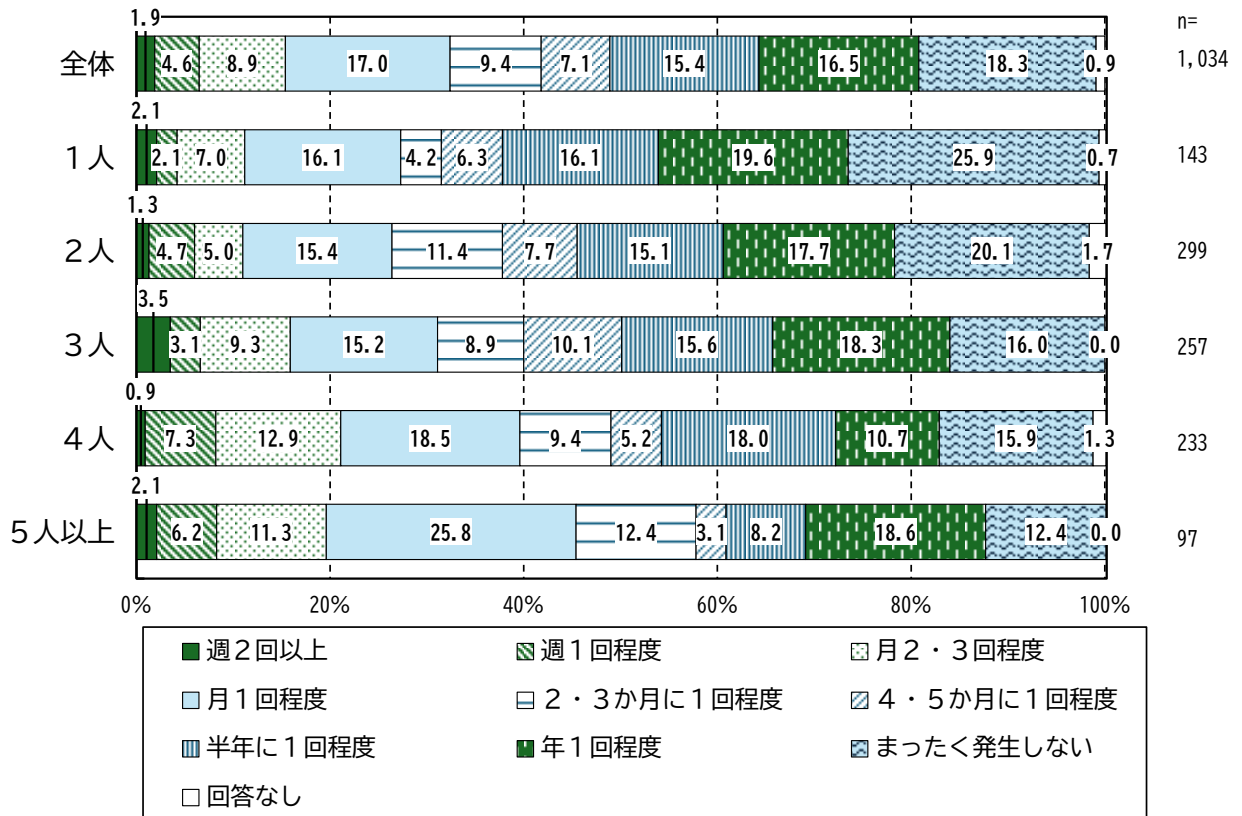


図 4-2-2-3 世帯人員別「直接廃棄の状況」



(2) -③過剰除去（野菜の皮など食べることができるところまで厚くむき捨てること）

◆過剰除去の発生頻度は、『年1回以上発生している』が56.2%、「まったく発生しない」が41.4%となっています。

- 過剰除去の発生頻度は、『年1回以上発生している』が56.2%、「まったく発生しない」が41.4%となっています。
- 性別に見ると、「週2回以上」、「週1回程度」、「月2・3回程度」、「月1回程度」を合わせた『月1回以上発生している』は、男性が34.6%と女性の40.1%をわずかに下回っています。ただし、「まったく発生しない」を除く選択肢を合わせた『年1回以上発生している』は、男性で53.8%、女性で58.0%となっており、性別による有意な差は見られません（図4-2-3-1）。
- 年齢別に見ると、30歳未満を除くいずれの年代においても『年1回以上発生している』が5割を超えて高くなっています。特に、30歳代、40歳代では『年1回以上発生している』がそれぞれ64.1%、62.8%と他の年代に比べて高くなっています（図4-2-3-2）。
- 世帯人員別に見ると、「まったく発生しない」は、3人世帯で35.0%と他の世帯規模に比べて低くなっています。一方、『年1回以上発生している』は、3人世帯で64.2%と他の世帯規模に比べて最も割合が高くなっています（図4-2-3-3）。

図 4-2-3-1 性別「過剰除去の状況」

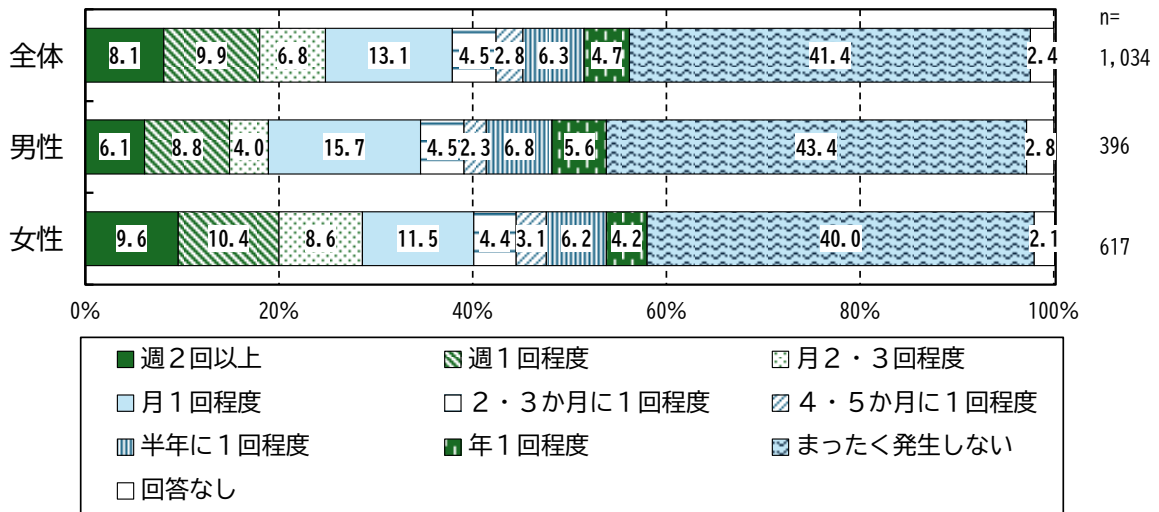


図 4-2-3-2 年齢別「過剰除去の状況」

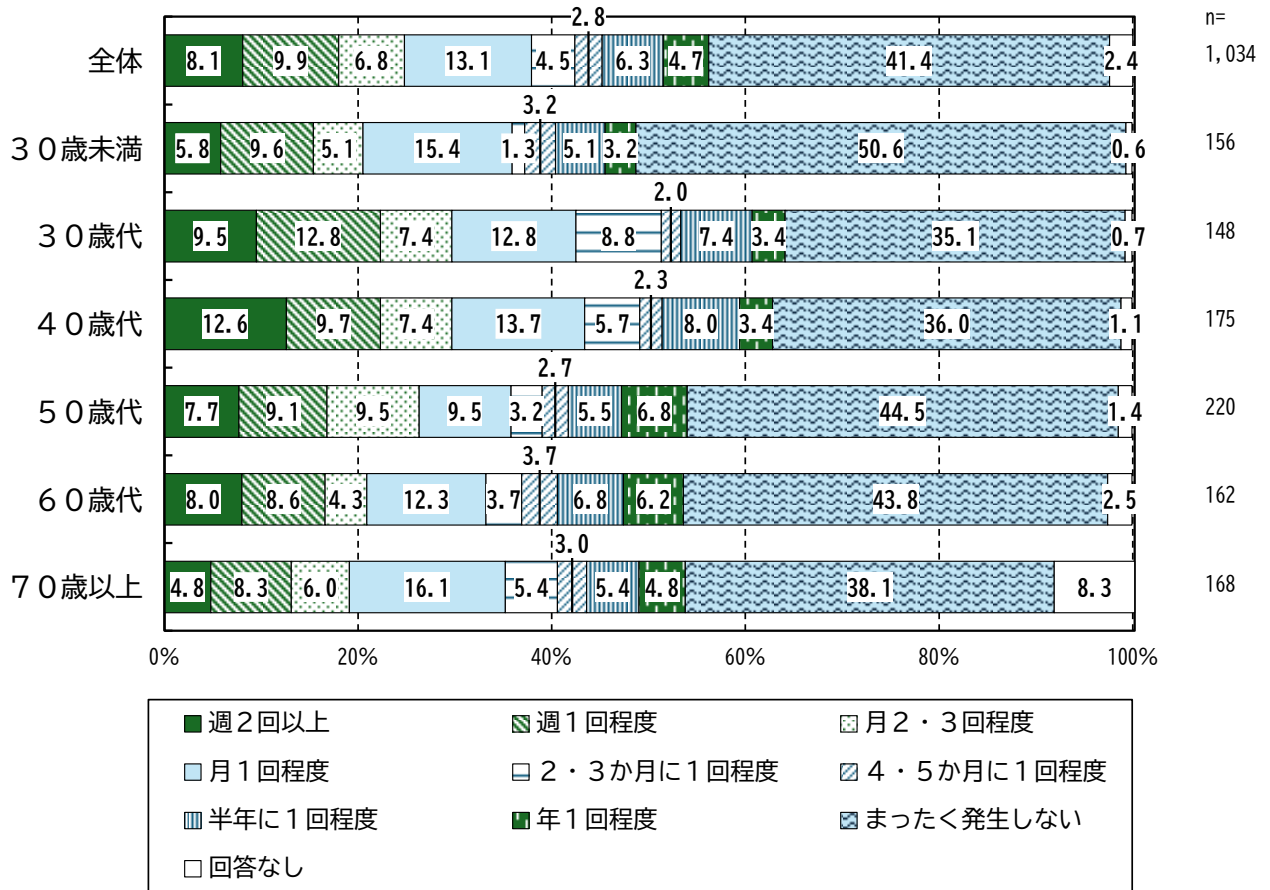
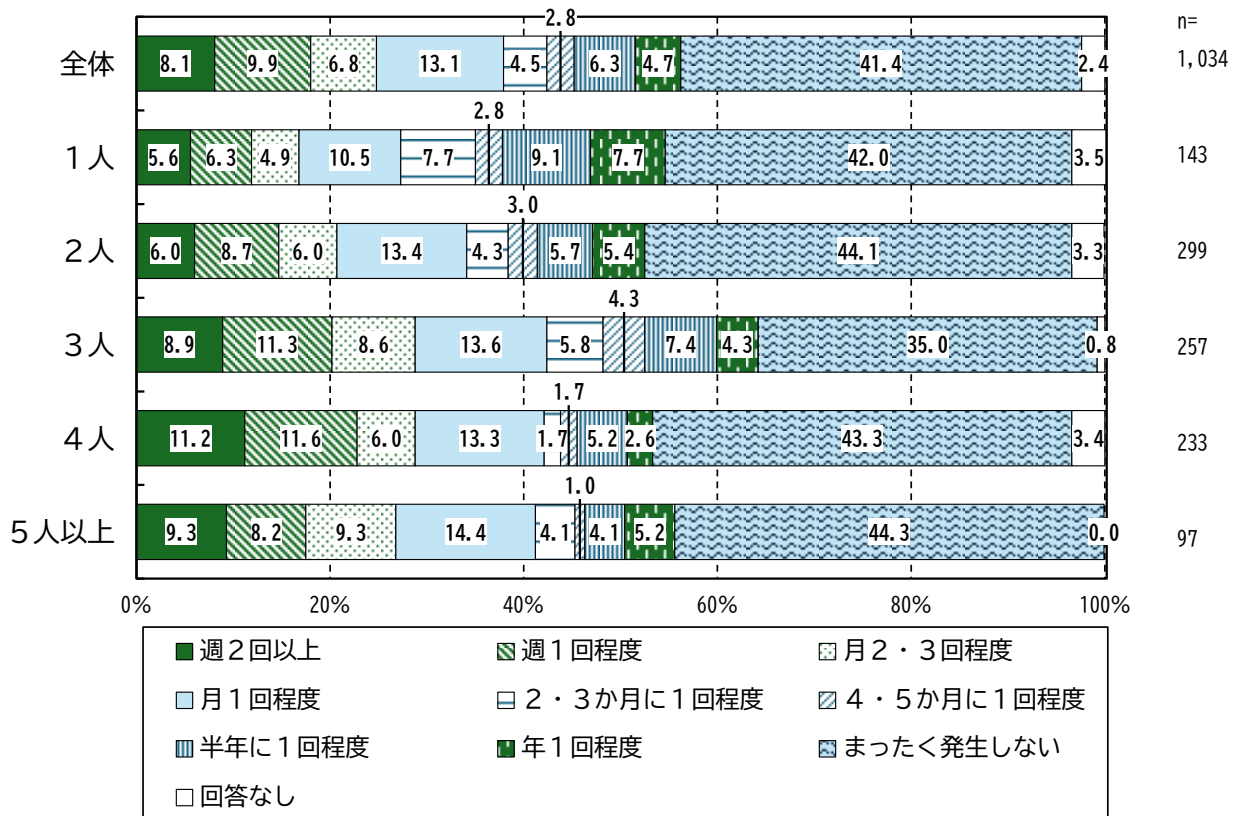


図 4-2-3-3 世帯人員別「過剰除去の状況」



### (3) 食品ロスの発生理由

問 22. あなたの家庭では、食品ロスは、どの理由で発生しますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○を)

◆食品ロスの発生理由は、「食材を適切に保存できず、捨ててしまう」が34.4%と最も割合が高く、次いで「在庫があることに気が付かずに同じ食材を購入し、使い切れない」が25.1%、「急な予定の変更により作った料理を残してしまう」が21.6%となっています。

- 食品ロスの発生理由は、「食材を適切に保存できず、捨ててしまう」が34.4%と最も割合が高く、次いで「在庫があることに気が付かずに同じ食材を購入し、使い切れない」が25.1%、「急な予定の変更により作った料理を残してしまう」が21.6%と続いています。
- 「その他」の意見として、「子どもの食べ残し」、「人からのもらい物を食べきれず廃棄する」、「購入した品が好みの味ではなかった」、「商品が腐っていることを知らずに購入した」、「傷んでいる部分を廃棄」、「食べる機会がなかった」、「美味しいところだけを食べる」、「農薬が気になり厚く皮をむく」、「早く煮えるように厚く皮をむく」、「ダイエット」、「非常食」、「家族との生活時間の違いから食事が余る」といった意見がありました。
- 性別による有意な差は見られません(図4-3-1)。
- 年齢別に見ると、「食材を適切に保存できず、捨ててしまう」は、40歳代で43.4%と他の年代に比べて最も割合が高くなっています。一方、30歳代と70歳以上では3割未満となっています。
- また、「料理を作りすぎて食べ切れない」は、70歳以上で25.0%と他の年代に比べて高くなっています(図4-3-2)。
- 世帯人員別に見ると、「食材を適切に保存できず、捨ててしまう」は、5人以上世帯で42.3%と他の世帯規模に比べて最も割合が高くなっています。
- また、「料理を作りすぎて食べ切れない」は、5人世帯が27.8%と他の世帯規模に比べてやや高く、世帯人員が少なくなるにつれて低くなっています。
- 「食材を大量に買いすぎて使い切れない」は、2人世帯が14.4%、3人世帯が13.2%と他の世帯規模に比べてやや高くなっています(図4-3-3)。

図 4-3-1 性別「食品ロスの発生理由」

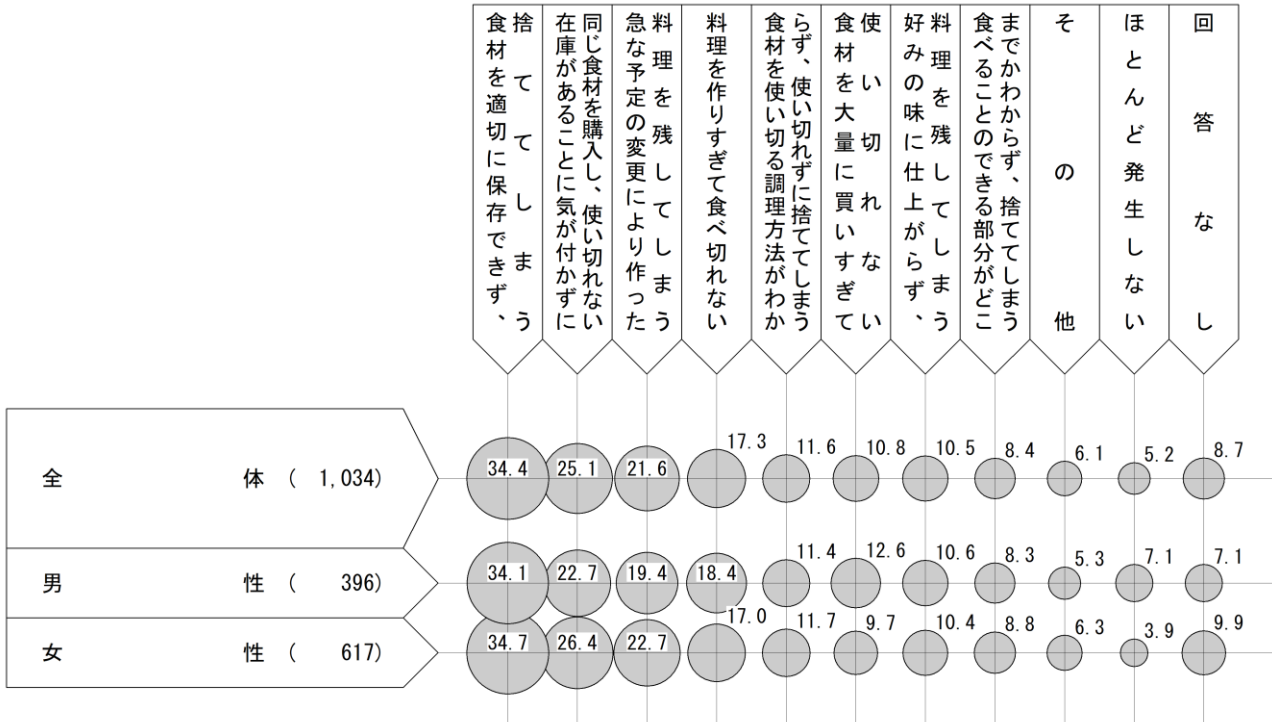


図 4-3-2 年齢別「食品ロスの発生理由」

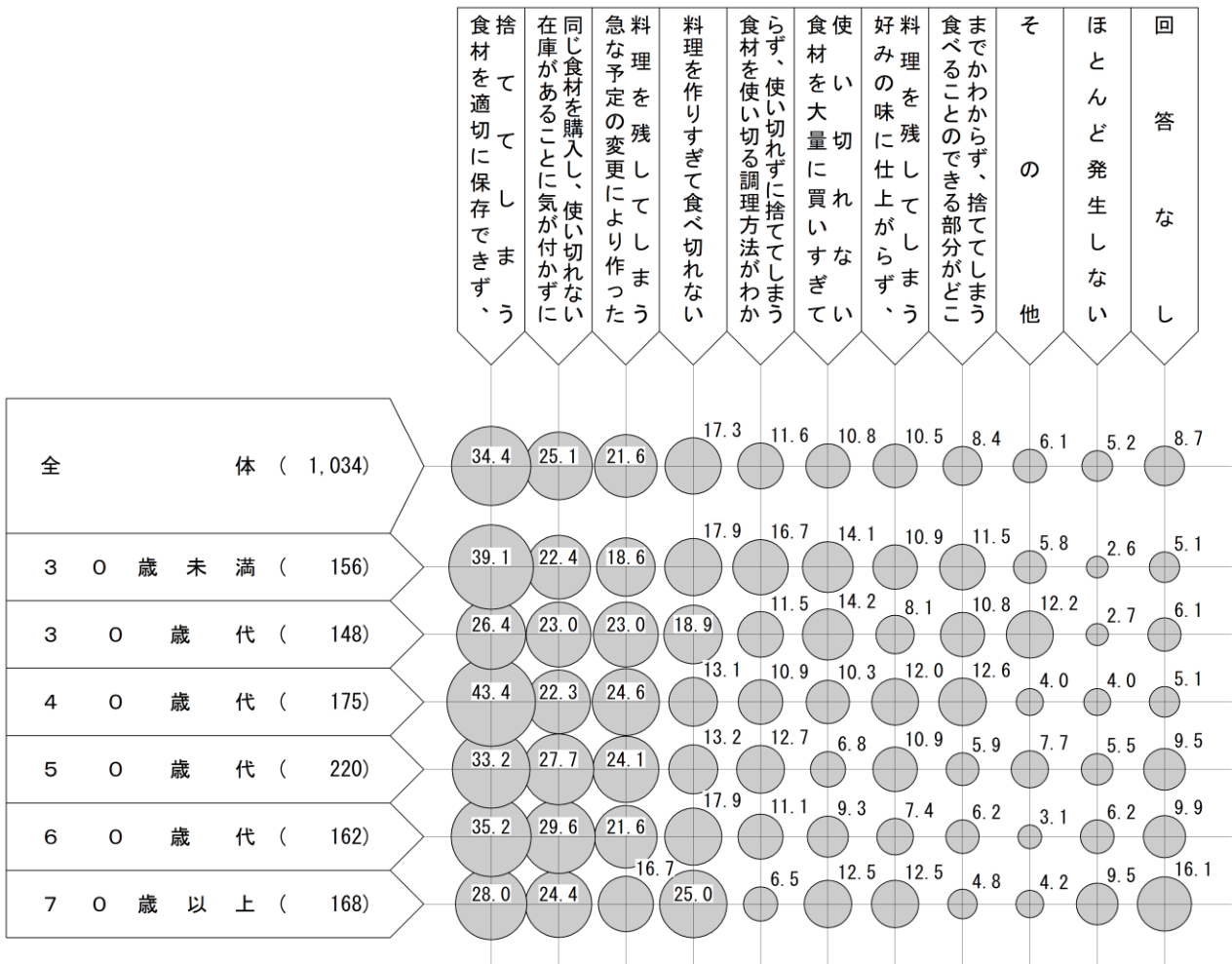
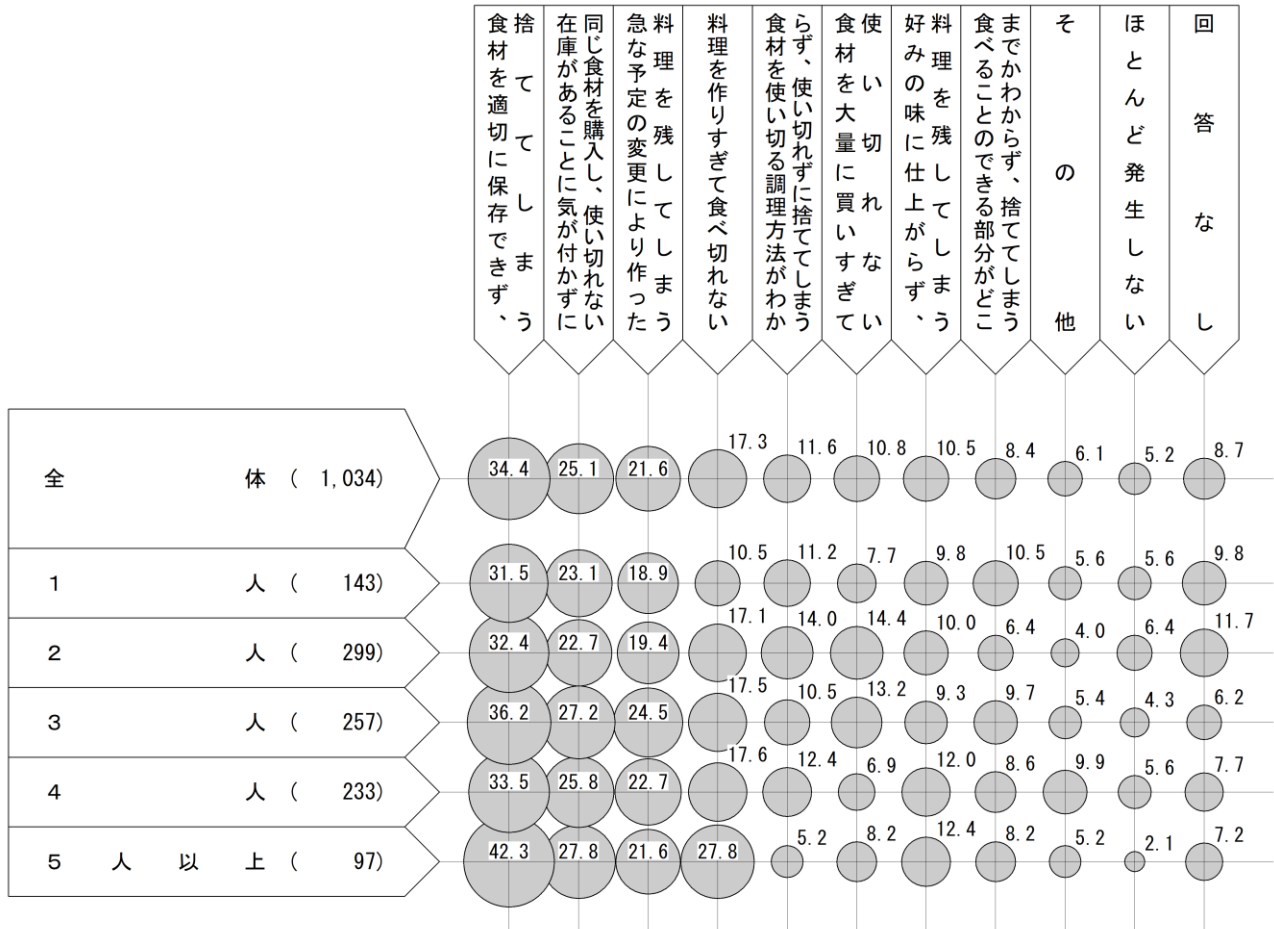


図 4-3-3 世帯人員別「食品ロスの発生理由」



#### (4) 食品ロスを減らすための取組状況と今後の取組意向

問 23. あなたの家庭で発生する食品ロスを減らすための取組状況と今後の取組意向についてお尋ねします。(取組項目ごとに最も近いもの1つに○を)

- ◆食品ロスを減らすための取組状況のうち、「取り組んでおり、今後も続けていく」は、「残さず食べる」が87.0%と最も割合が高く、次いで「料理を作りすぎない」が80.9%、「賞味期限が切れた食材はすぐに捨てるのではなく、食べることができるか確認する」が79.4%と続いています。
- ◆「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」は、「好みでない、食べない食品はフードドライブに役立てる」が48.6%と最も割合が高く、次いで「ローリングストックを実践し、備蓄非常食も無駄にしない」が42.1%と続いています。

---

○食品ロスを減らすための取組状況のうち、「取り組んでおり、今後も続けていく」は、「残さず食べる」が87.0%と最も割合が高く、次いで「料理を作りすぎない」が80.9%、「賞味期限が切れた食材はすぐに捨てるのではなく、食べることができるか確認する」が79.4%、「食べ切れる量を購入する」が78.2%、「日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限の表示を確認する」が71.0%と続いています(図4-4-1、図4-4-2)。

○一方、「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」は、「好みでない、食べない食品はフードドライブに役立てる」が48.6%と最も割合が高く、次いで「ローリングストックを実践し、備蓄非常食も無駄にしない」が42.1%と続いています(図4-4-1、図4-4-3)。

○「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合では、性別による有意な差は見られません(図4-4-4)。

○「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合を年齢別に見ると、30歳未満を除くいずれの年代でも、「好みでない、食べない食品はフードドライブに役立てる」が5割前後と他の項目に比べて高くなっています。

○また、「野菜を切るときは、食べることができる部分を除去しない」では、40歳代が29.1%と他の年代に比べて最も割合が高くなっています(図4-4-5)。

---

図 4-4-1 「食品ロスを減らすための取組状況と今後の取組意向」

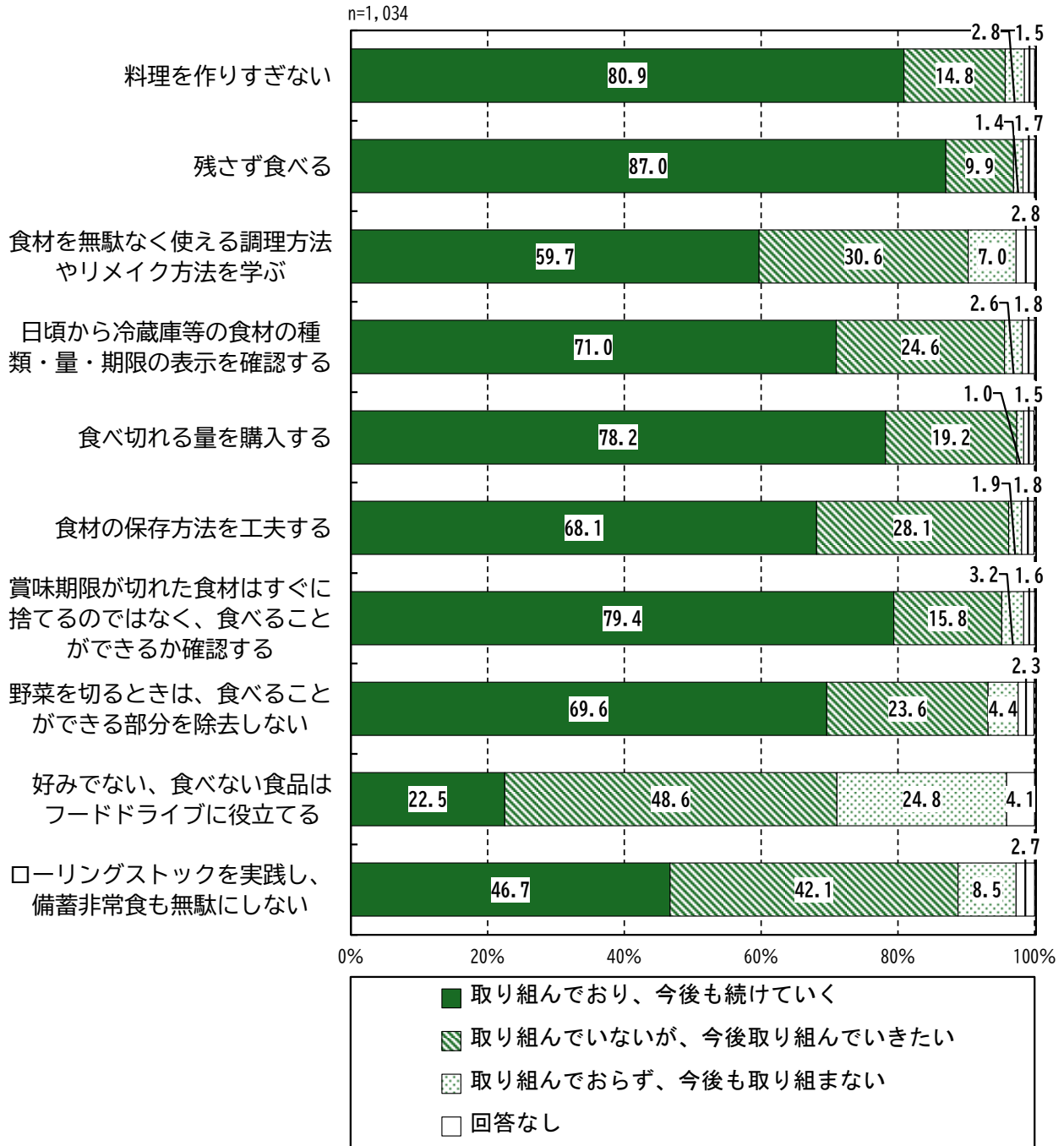


図 4-4-2 取組項目別「取り組んでおり、今後も続けていく」と回答した割合

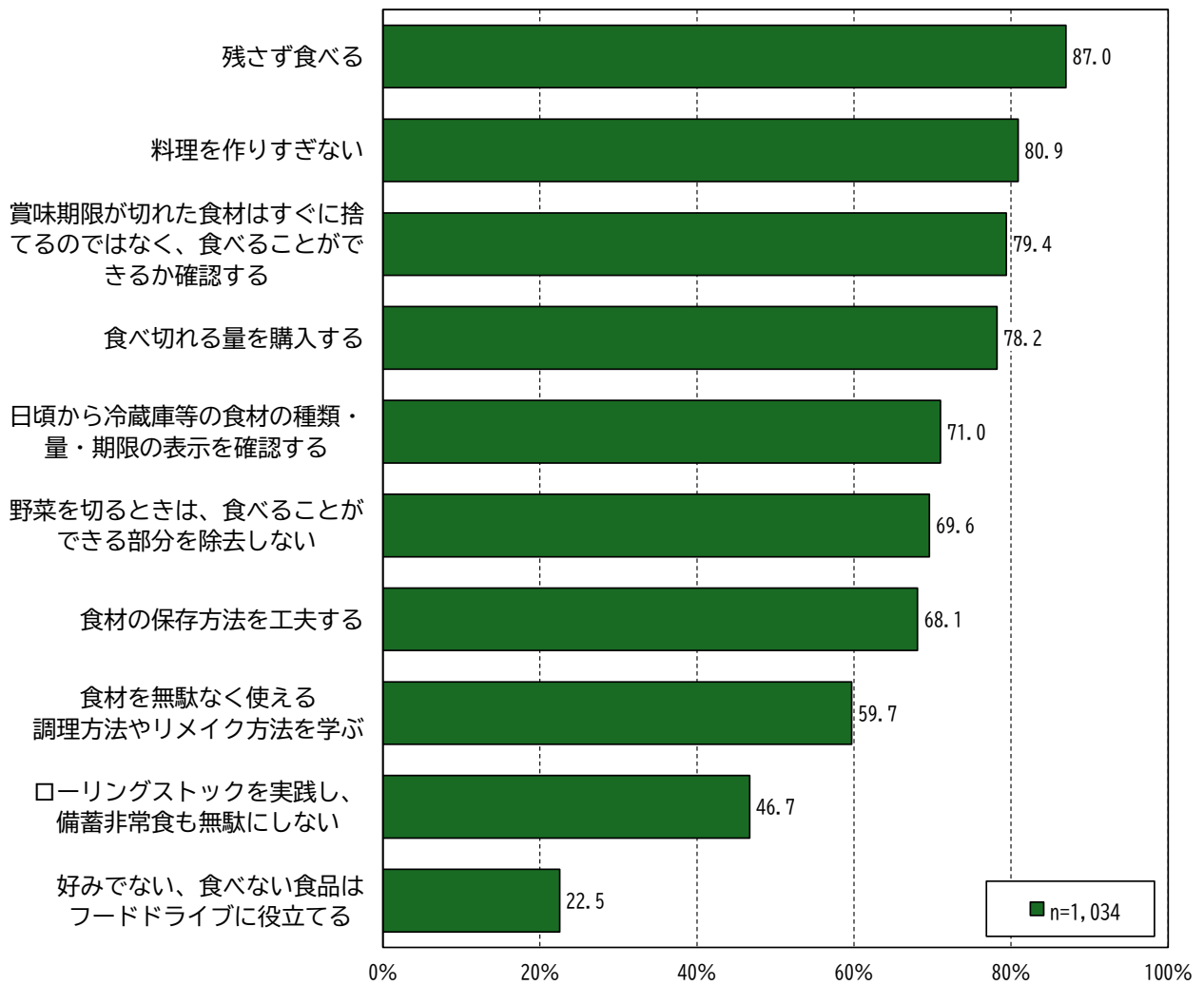


図 4-4-3 取組項目別「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合

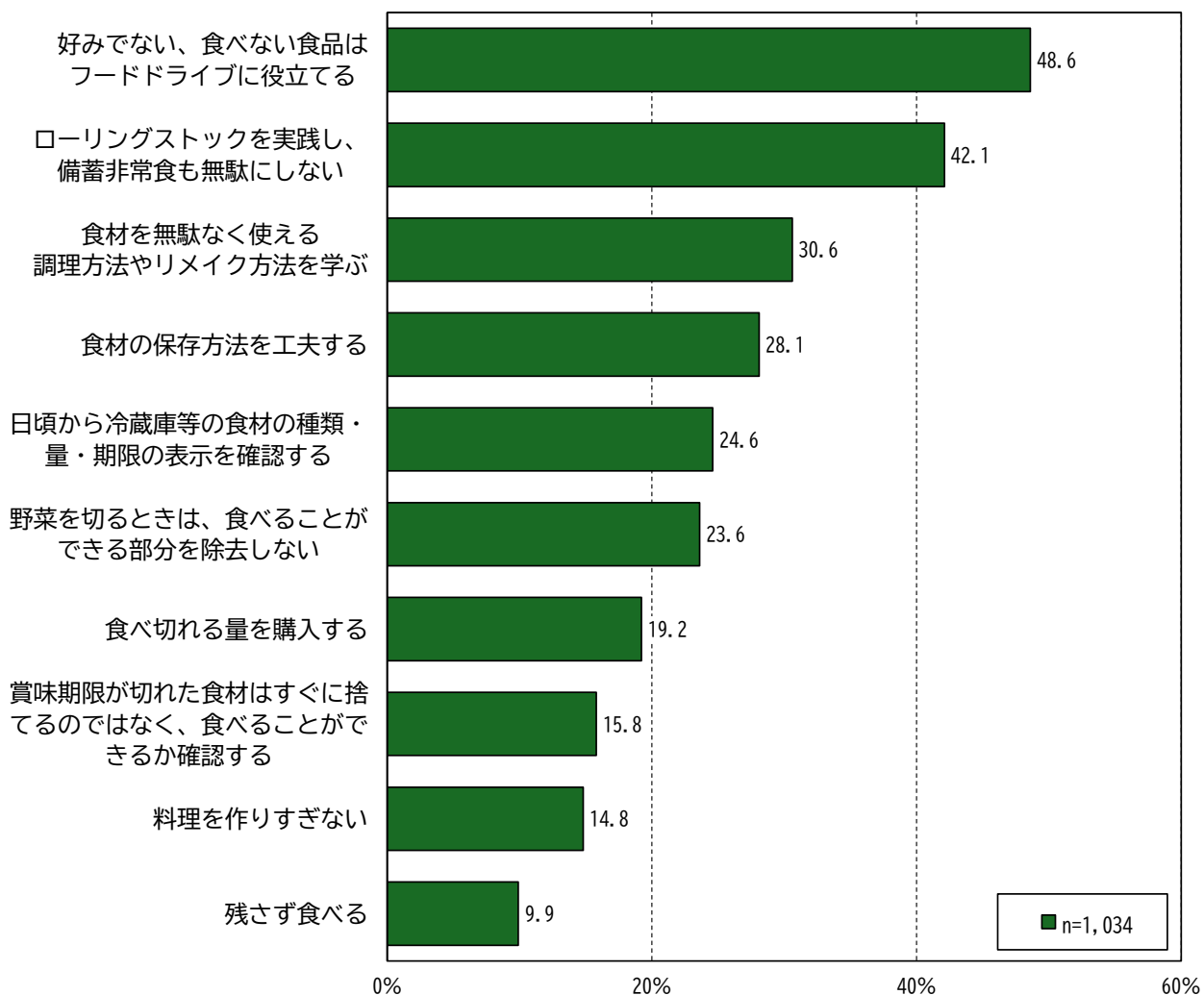


図 4-4-4 性別・取組項目別「食品ロスに今後取り組んでいきたい」意向の割合

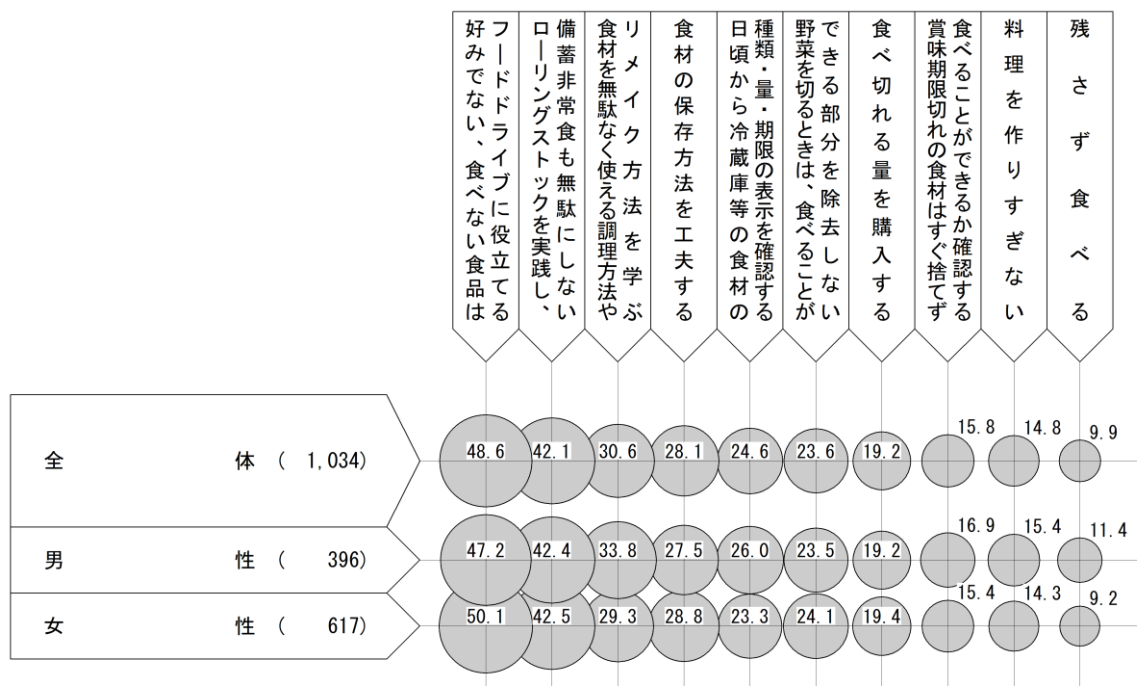
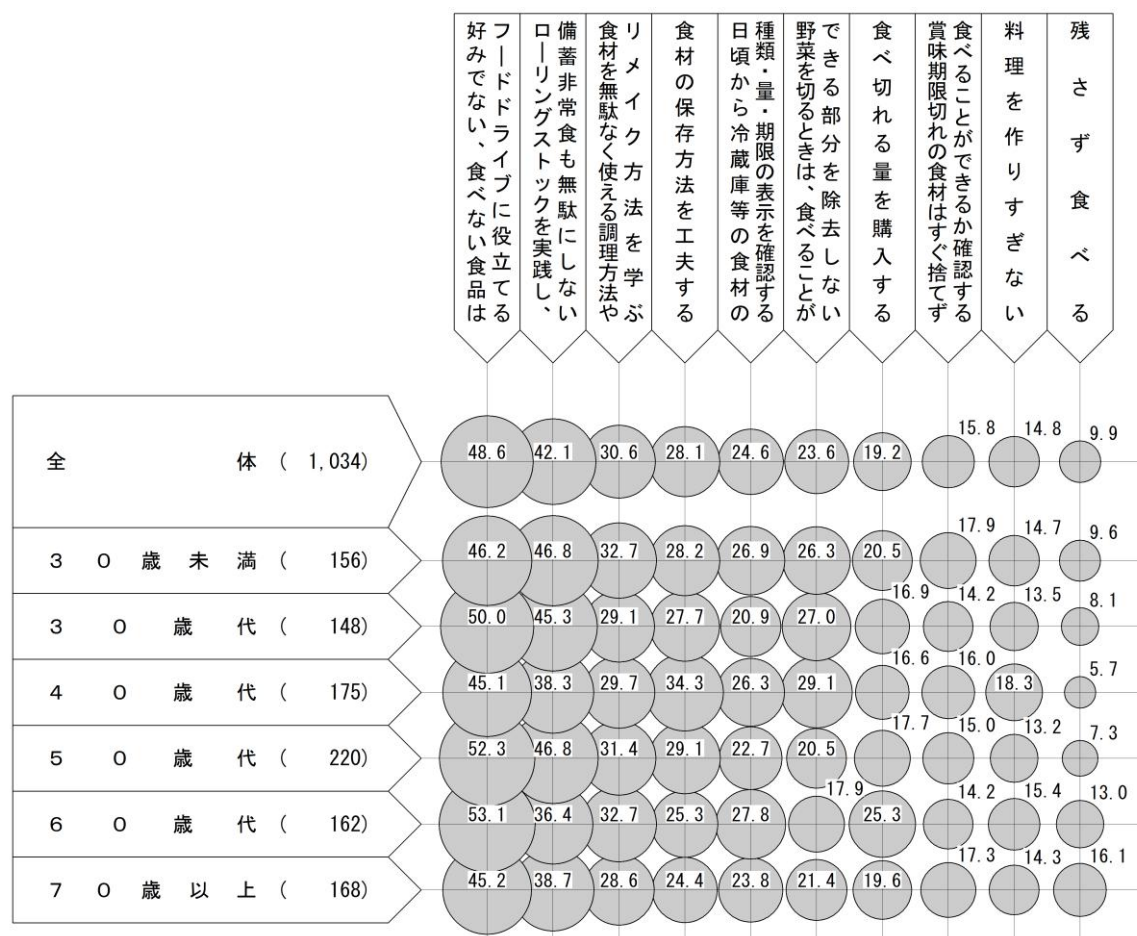


図 4-4-5 年齢別・取組項目別「食品ロスに今後取り組んでいきたい」意向の割合



## (5) ごみの減量・資源化を推進するための取組状況と今後の取組意向

問 24. あなたのごみの減量・資源化を推進するための取組状況と今後の取組意向についてお尋ねします。(取組項目ごとに最も近いもの1つに○を)

※「3010運動」とは、宴会などの食事の場における食べ残しを減らすために提唱された取り組みのことをいいます。最初の30分間は席について料理を楽しみ、最後の10分間は席に戻って残った料理を食べることで、食品ロスを減らすことを目的としています。

- ◆ごみの減量・資源化を推進するための取組状況のうち、「取り組んでおり、今後も続けていく」は、「マイバック（エコバック）を利用している」が93.2%と最も割合が高く、次いで「詰め替え用の商品を購入している」が90.3%、「生ごみはぎゅっと絞り、水切りしてから捨てる」が72.7%と続いています。
- ◆「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」は、「会食時に3010運動を実践している」で46.3%と最も割合が高く、次いで「レンタル・シェア・リース製品を使用するようにしている」が41.2%、「てまえどり」の行動を意識している」が37.5%と続いています。

- 
- ごみの減量・資源化を推進するための取組状況のうち、「取り組んでおり、今後も続けていく」は、「マイバック（エコバック）を利用している」が93.2%と最も割合が高く、次いで「詰め替え用の商品を購入している」が90.3%、「生ごみはぎゅっと絞り、水切りしてから捨てる」が72.7%、「商品購入時に過剰な包装を断るようにしている」が65.5%、「マイボトルを利用している」が60.1%と続いています（図4-5-1、図4-5-2）。
  - 「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」は、「会食時に3010運動を実践している」で46.3%と最も割合が高く、次いで「レンタル・シェア・リース製品を使用するようにしている」が41.2%、「てまえどり」の行動を意識している」が37.5%と続いています（図4-5-1、図4-5-3）。
  - 「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合を性別に見ると、「会食時に3010運動を実践している」では女性が49.4%、男性が42.4%、「レンタル・シェア・リース製品を使用するようにしている」では女性が43.6%、男性が37.9%、「壊れても修理して長く使用している」では女性が33.5%、男性が26.3%と、女性が男性をわずかに上回っています。ただし、性別による大きな傾向の差はみられません（図4-5-4）。
  - 「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合を年齢別に見ると、70歳以上では「会食時に3010運動を実践している」が31.5%と、他の年代と比べて低くなっています。また、「レンタル・シェア・リース製品を使用するようにしている」36.9%、「野菜は皮をむいてから洗っている」28.6%、「生ごみはぎゅっと絞り、水切りしてから捨てる」10.7%についても、いずれも全体値を下回る結果となっています。
  - また、30歳未満では、「会食時に3010運動を実践している」が56.4%と、全体値を上回っており、若年層で特に高い特徴が見られます。
  - 一方、「てまえどり」の行動を意識している」では、70歳以上で46.4%と他の年代に比べて高くなっています。（図4-5-5）。
-

図 4-5-1 「ごみの減量・資源化を推進するための取組状況と今後の取組意向」

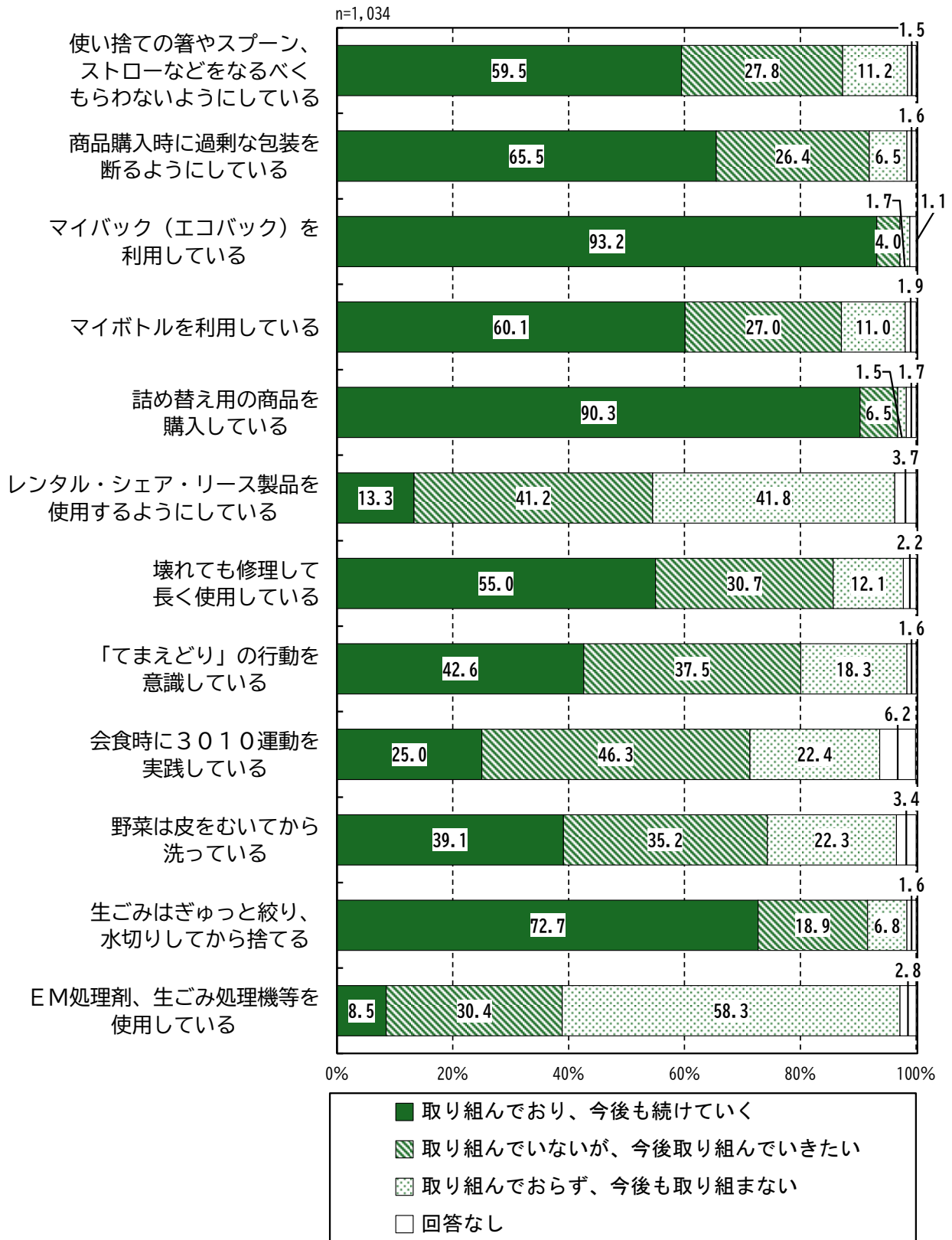


図 4-5-2 取組項目別「取り組んでおり、今後も続けていく」と回答した割合

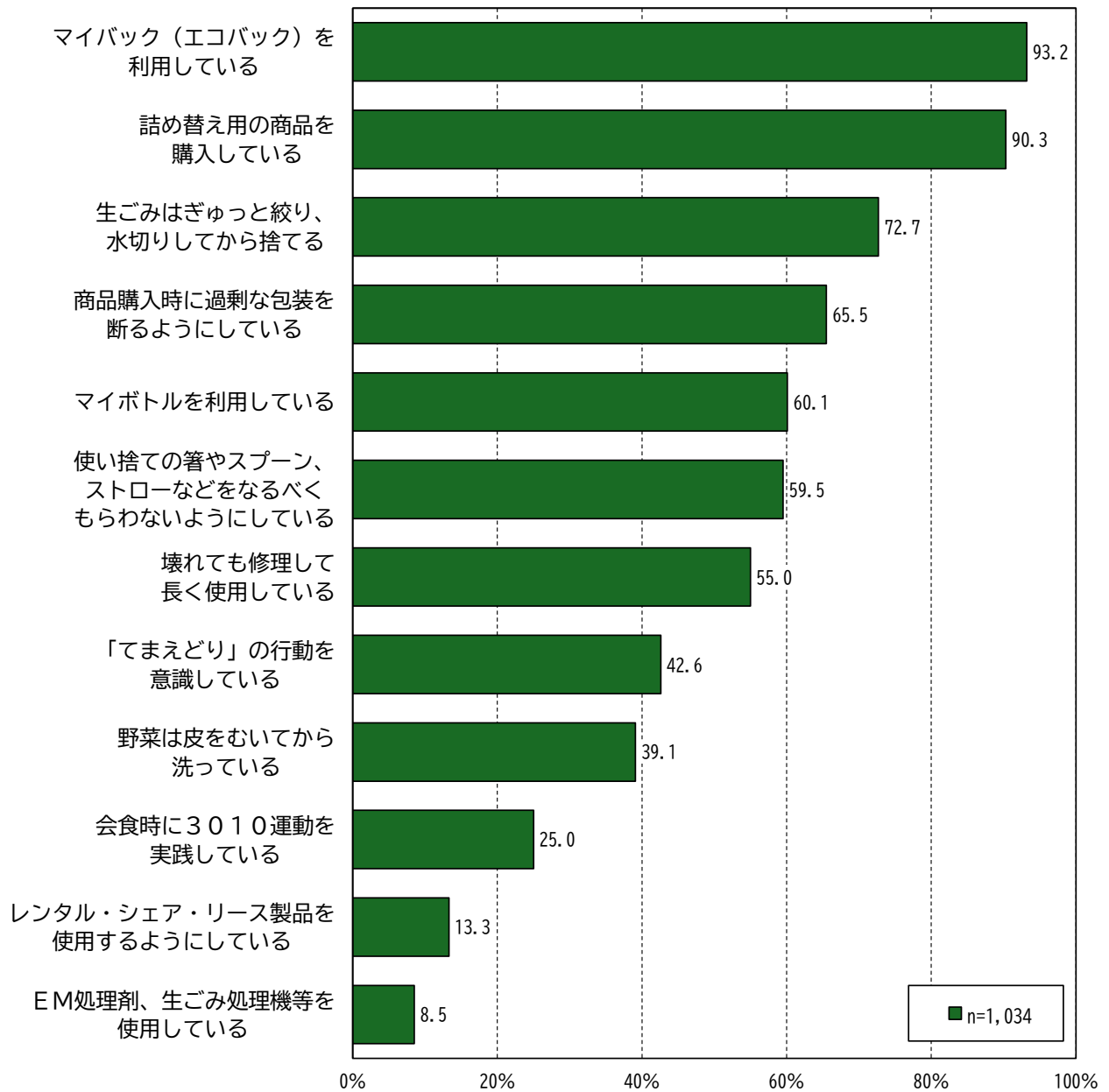


図 4-5-3 取組項目別「取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい」と回答した割合

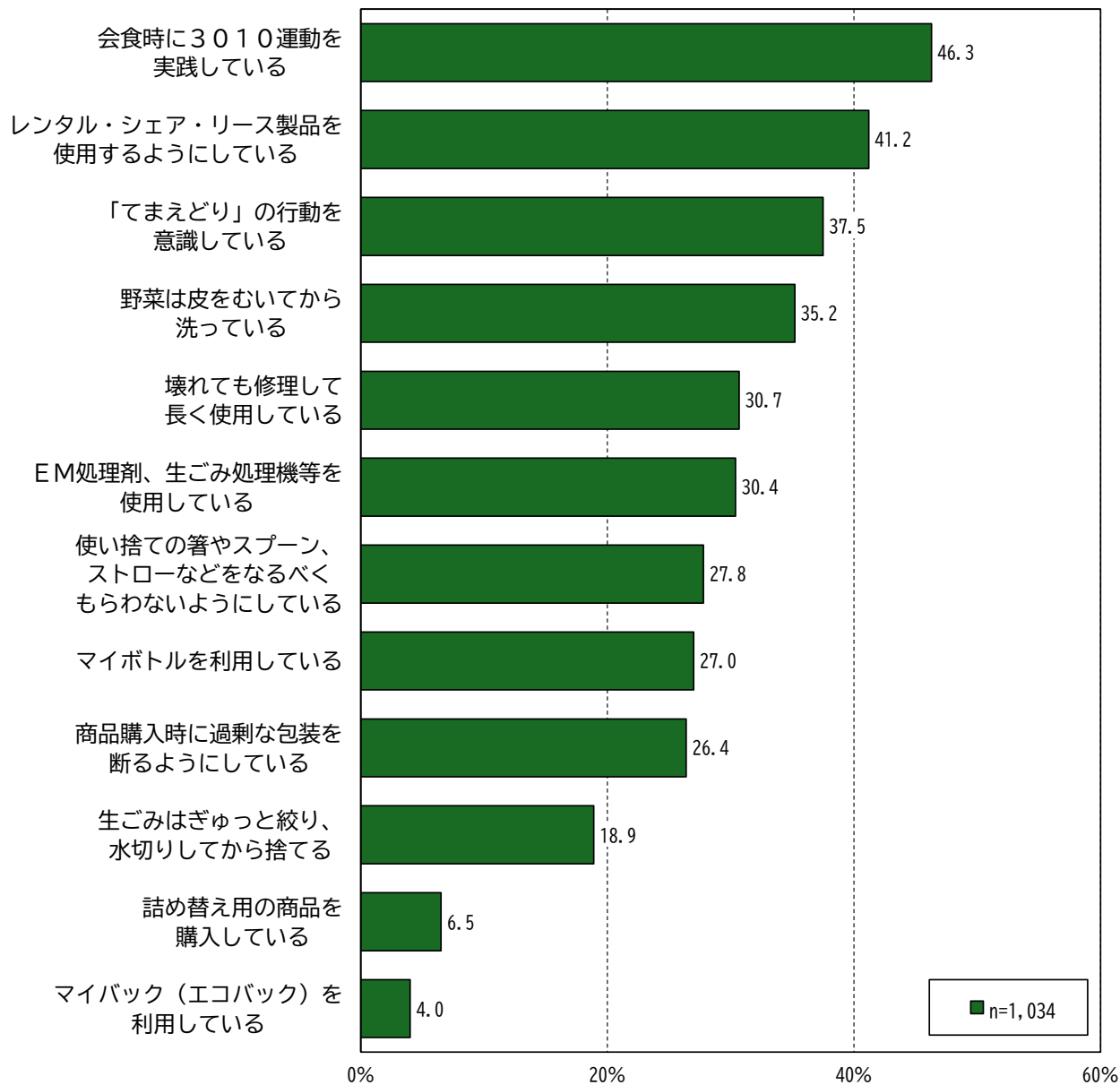


図 4-5-4 性別・取組項目別「ごみの減量・資源化に今後取り組んでいきたい」意向の割合

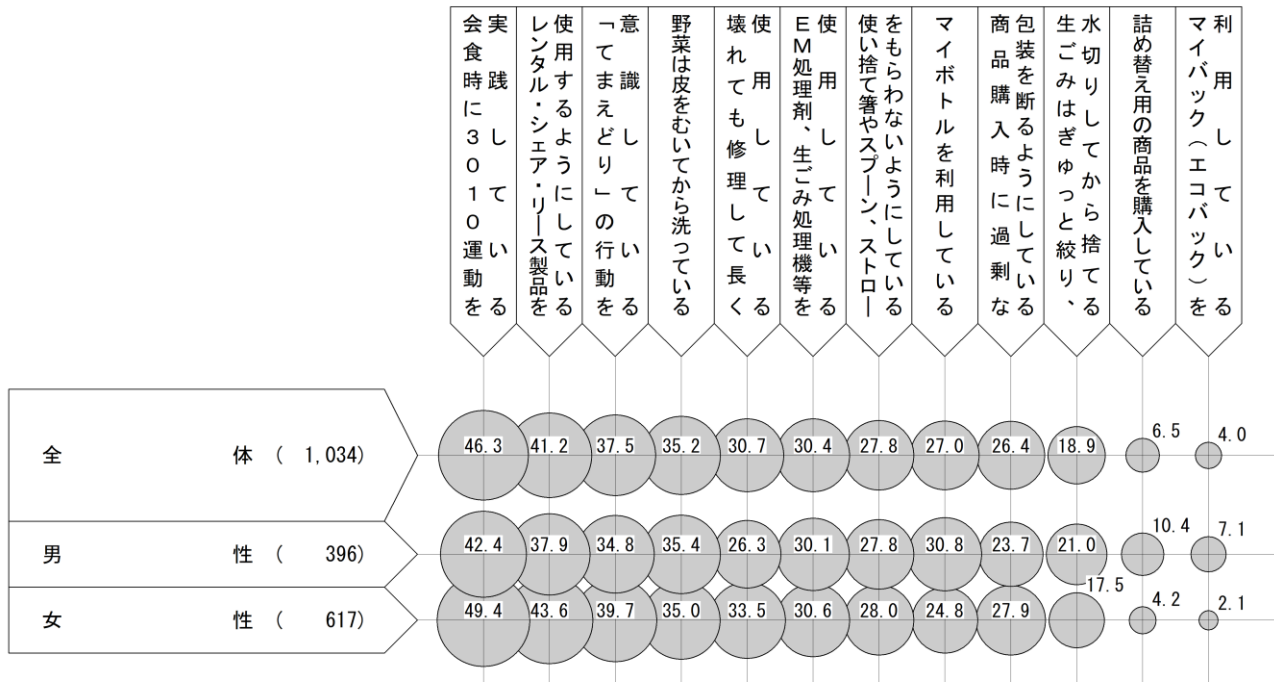
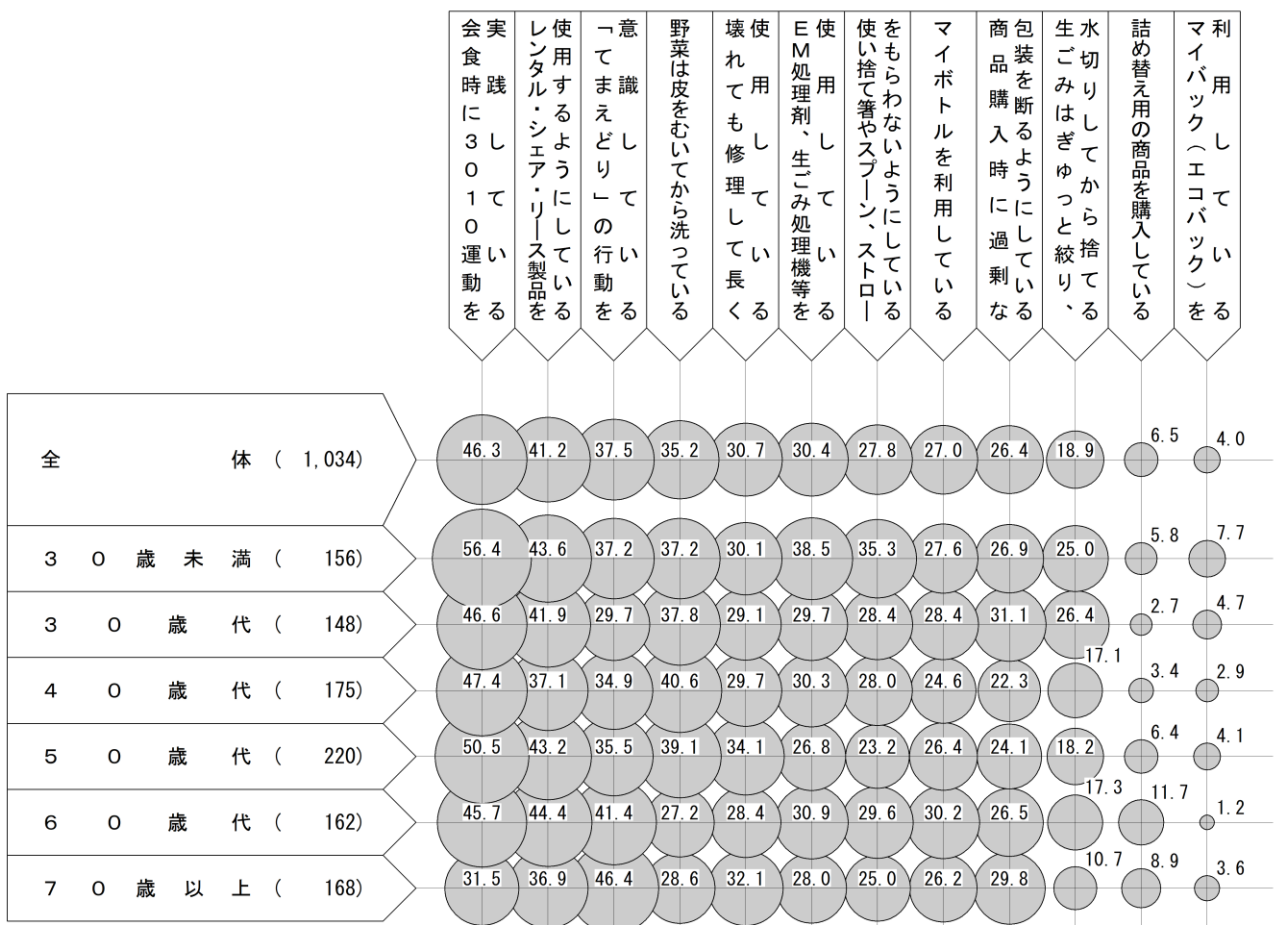


図 4-5-5 年齢別・取組項目別「ごみの減量・資源化に今後取り組んでいきたい」意向の割合



## (6) 充実してほしい情報発信の手段

問 25. あなたが、ごみの減量・資源化をより進めていくにあたって、ごみ出しやごみと資源の分別の方法などの情報を得る手段として充実してほしいと思うものはどれですか。  
(あてはまるもの3つまで選んで○を)

◆充実してほしい情報の入手方法は、「ごみ収集カレンダー（全戸配布されているもの）やごみと資源の出し方その他ガイドブック」が76.2%と最も割合が高くなっています。

- 
- 充実してほしい情報の入手方法は、「ごみ収集カレンダー（全戸配布されているもの）やごみと資源の出し方その他ガイドブック」が76.2%と最も割合が高くなっています。次いで「市の広報紙「広報とうかい」」が33.6%、「市のホームページ」が29.6%と続いています。
  - 性別に見ると全般的に有意な差はみられません（図4-6-1）。
  - 年齢別に見ると、いずれの年代でも「ごみ収集カレンダー（全戸配布されているもの）やごみと資源の出し方その他ガイドブック」が最も割合が高くなっています。
  - また、「市の広報紙「広報とうかい」」は、70歳以上が50.6%と他の年代に比べて最も高い一方、40歳代以下では3割未満となっています。
  - さらに、「市のホームページ」は、30歳代が41.2%と他の年代に比べて最も高い一方、60歳代以上では2割未満となっています（図4-6-2）。
  - 職業別に見ると、「ごみ収集カレンダー（全戸配布されているもの）やごみと資源の出し方その他ガイドブック」は、パート・アルバイトが84.7%と最も割合が高く、次いで主婦・主夫（家事事業）が84.5%、自営業が80.0%と続いています。
  - また、無職では「市のホームページ」が17.4%、「市公式LINE」が5.0%と他の職業に比べて低くなっています。この傾向は、職業の差異による情報取得行動の違いというよりも、無職層には高齢者が多く含まれインターネット利用が相対的に少ない年齢構成となっていることが影響しているものと推察されます（図4-6-3）。
-

図 4-6-1 性別「充実してほしいごみ情報の入手方法」

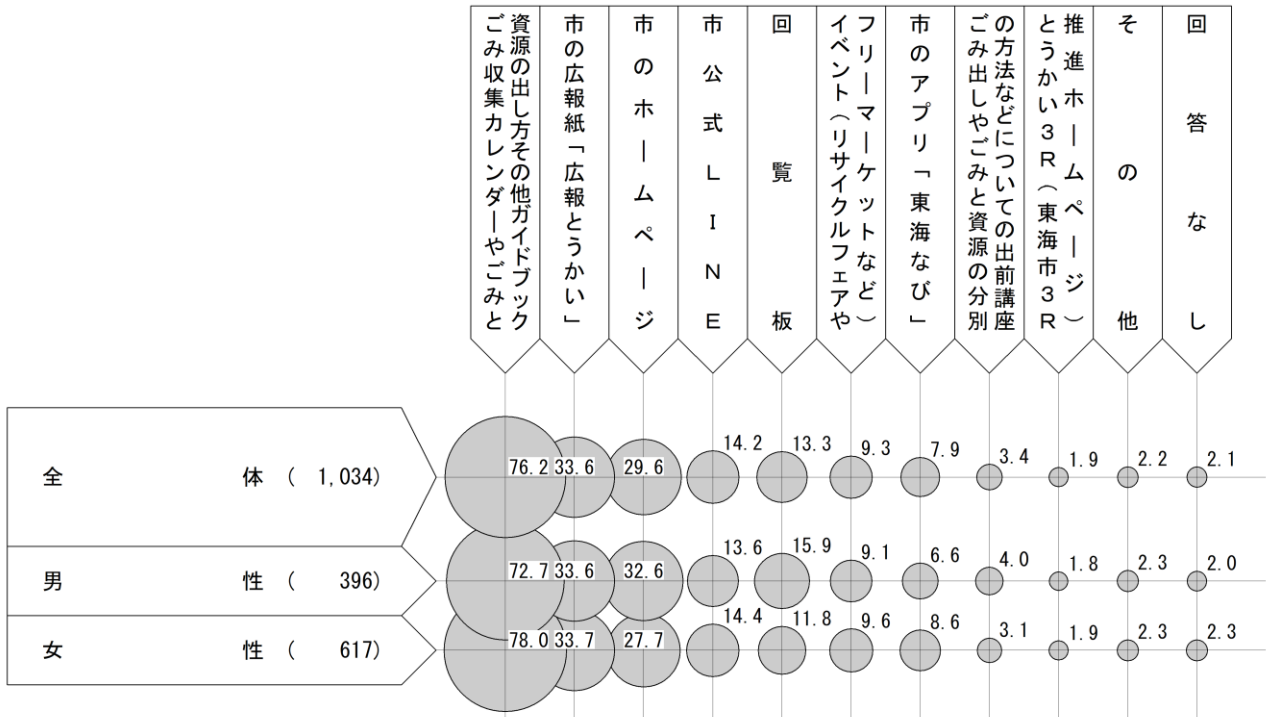


図 4-6-2 年齢別「充実してほしいごみ情報の入手方法」

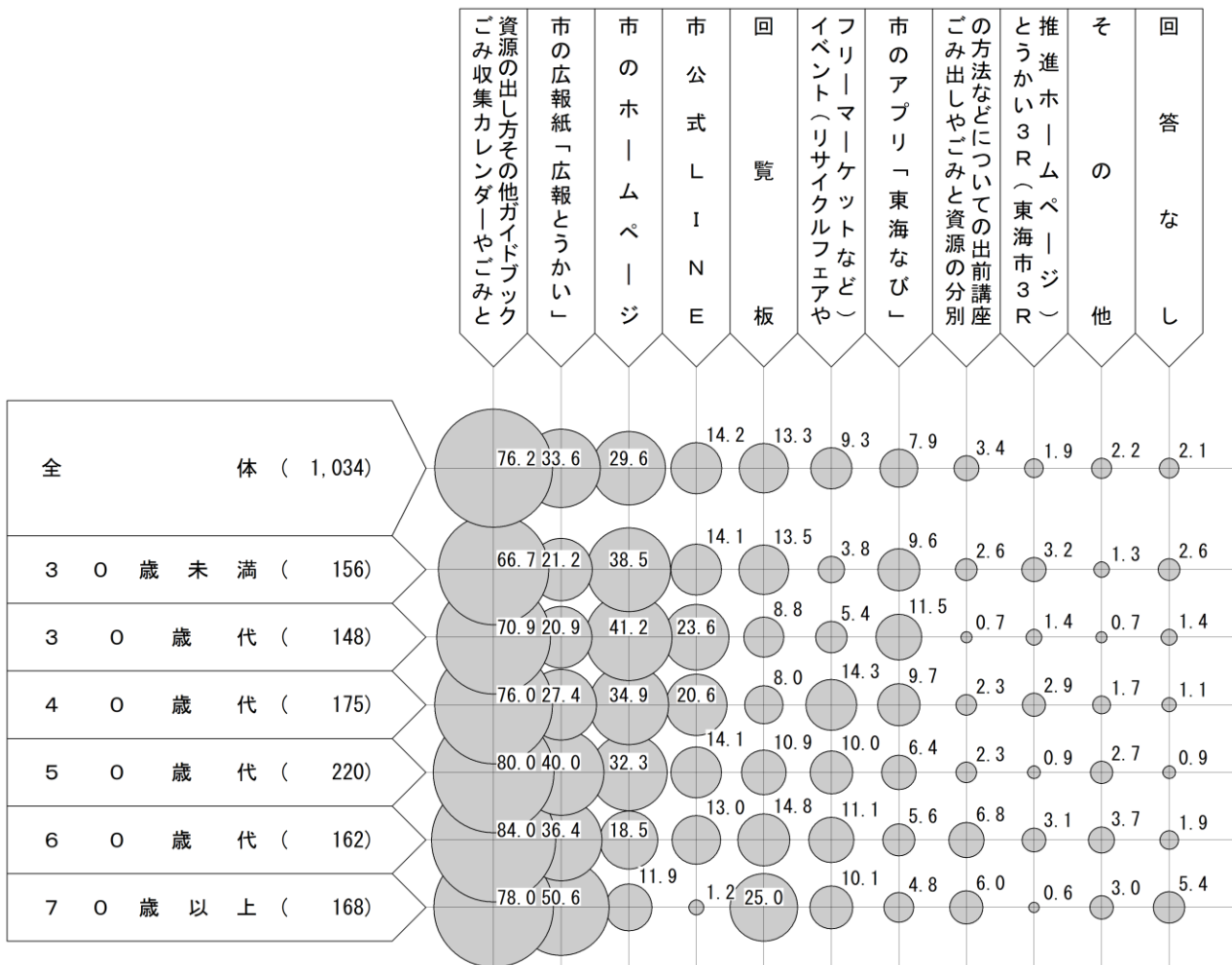
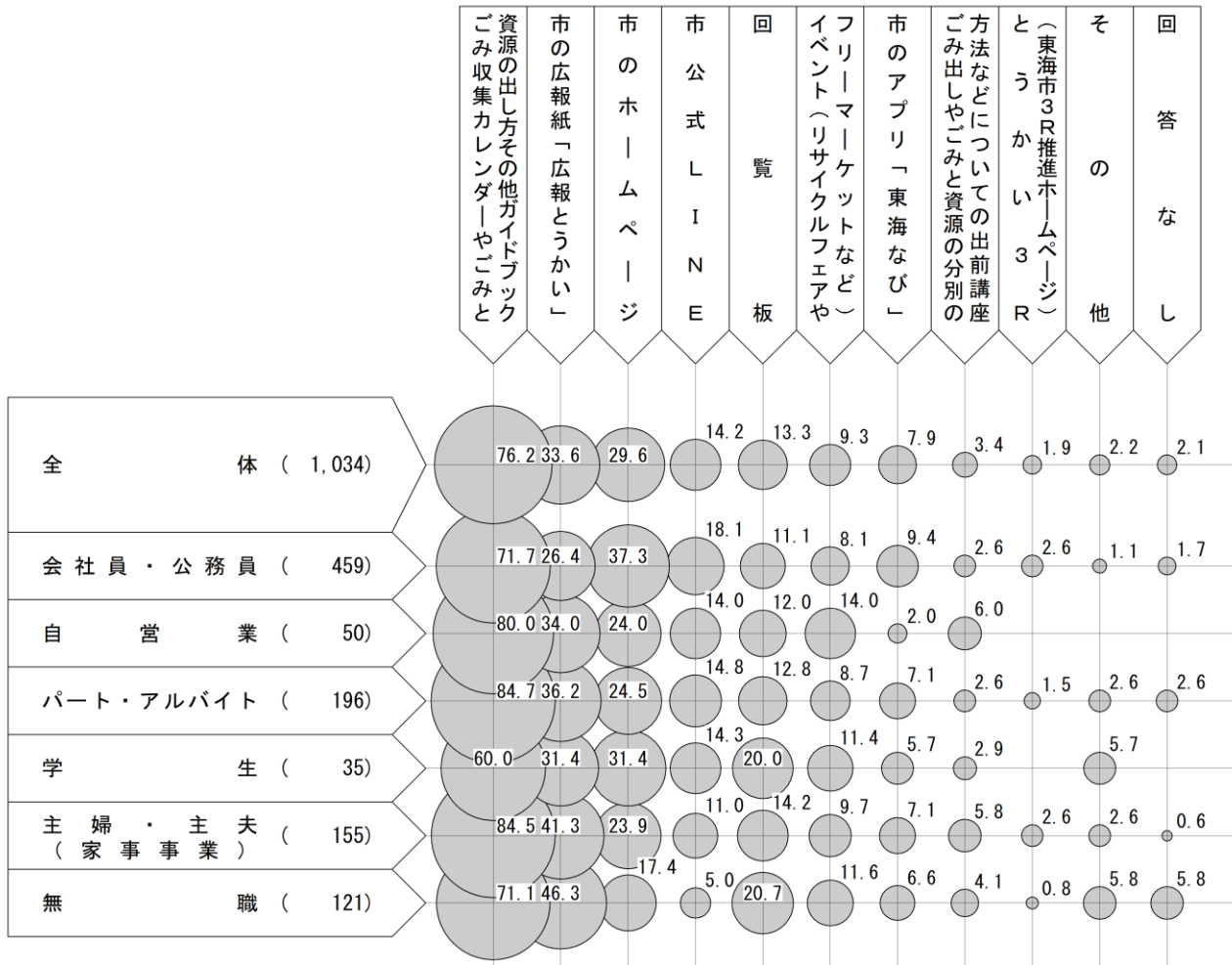


図 4-6-3 職業別「充実してほしいごみ情報の入手方法」



## V ごみ指定袋について

### (1) 可燃用指定袋（白色）の使用枚数

問 26. あなたの家庭では、この1年間の可燃用指定袋（白色）の使用枚数はどうでしたか。  
（あてはまるもの1つに○を）

◆可燃用指定袋（白色）の使用枚数について、「配布された枚数でちょうどよかった」が58.7%と最も割合が高く、「配布された枚数が多くて余った」の19.9%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』と回答した人は7割を超えています。

- 
- 可燃用指定袋(白色)の使用状況について、「配布された枚数でちょうどよかった」が58.7%と最も割合が高く、「配布された枚数が多くて余った」の19.9%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』と回答した人は7割を超えています。
  - 年齢別に見ると、いずれの年代でも『余った・ちょうどよかった』が7割を超えて高くなっており、特に、60歳代、70歳以上では8割以上となっています。
  - 「配布された枚数では足らずに、購入した」は、30歳代が23.6%と最も割合が高く、次いで40歳代が22.9%、30歳未満が22.4%と続いています。一方、70歳以上では、「配布された枚数では足らずに、購入した」が15.5%と、他の年代に比べて低くなっています（図5-1-1）。
  - 世帯人員別に見ると、いずれの世帯でも『余った・ちょうどよかった』が7割を超えて高くなっています。特に、1人世帯では「配布された枚数が多くて余った」が28.7%と他の世帯規模に比べて最も割合が高くなっています（図5-1-2）。
-

図 5-1-1 年齢別「可燃用指定袋（白色）の使用枚数」

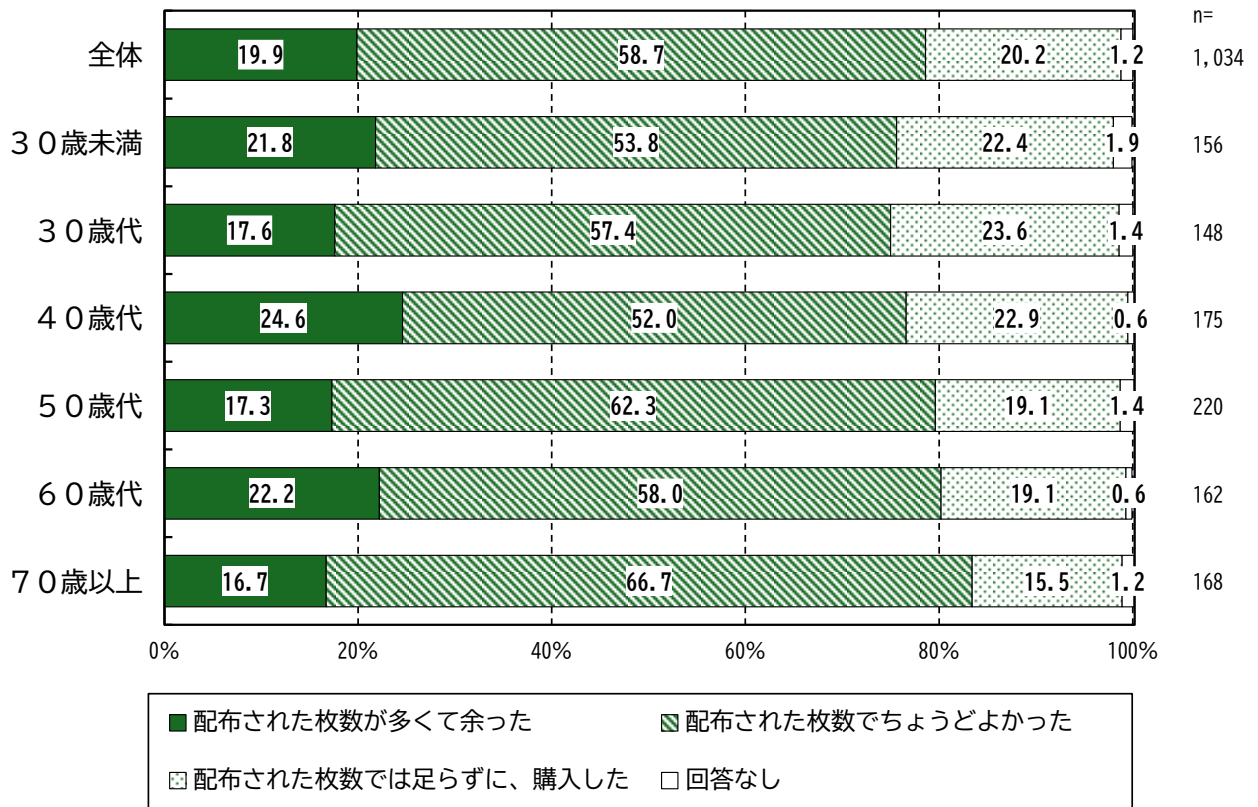
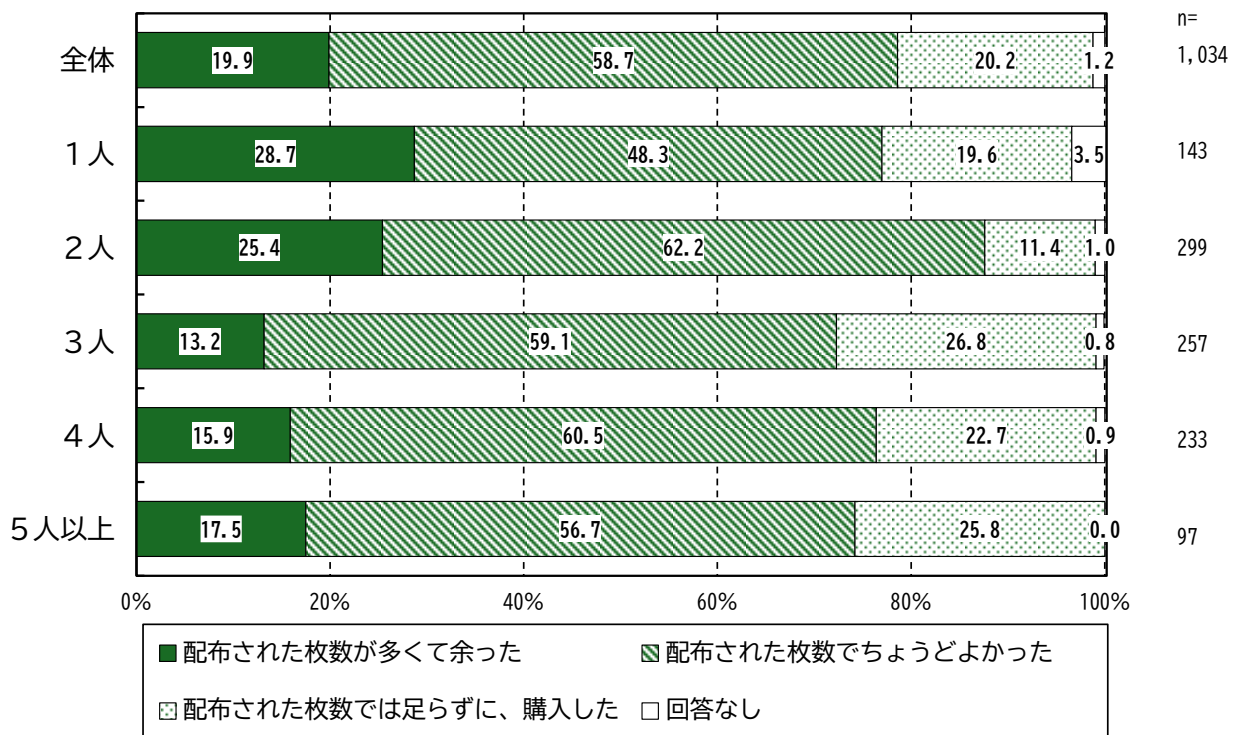


図 5-1-2 世帯人員別「可燃用指定袋（白色）の使用枚数」



## (2) 1年間に余る可燃用指定袋の枚数

問 26-1. 【問 26. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】

あなたの家庭で、1年間に余る可燃用指定袋はおおよそ何枚ですか？

(袋の容量ごとにあてはまるもの1つに○を)

◆1年間に余る可燃用指定袋の枚数は、20Lでは「10枚以下」が51.8%、30Lでは「10枚以下」が39.2%、40Lでは「10枚以下」が50.7%となっています。

- 
- 1年間に余る可燃用指定袋20Lの枚数は、「10枚以下」が51.8%と最も割合が高く、次いで「11～20枚」が16.1%、「31枚以上」が6.5%、「21～30枚」が3.9%と続いています。
  - 1年間に余る可燃用指定袋30Lでは、「10枚以下」が39.2%と最も割合が高く、次いで「11～20枚」が8.2%、「31枚以上」が2.3%、「21～30枚」が2.2%と続いています。
  - 1年間に余る可燃用指定袋40Lでは、「10枚以下」が50.7%と最も割合が高く、次いで「11～20枚」が14.0%、「21～30枚」が4.4%、「31枚以上」が3.6%と続いています(図5-2-1)。
  - 問26で「配布された枚数が多くて余った」、「配布された枚数でちょうどよかった」に該当するn=813を母数とし、問26-1の容量別範囲回答はクラス中央値(5.5/15.5/25.5/35.5枚)に置換の上、20L換算(30L=×1.5、40L=×2)して合算しました。20L、30L、40Lのいずれにも回答がない場合は「回答なし」として扱っています。
  - その結果、問26で『余った・ちょうどよかった』と回答した人のうち、1人当たりの1年間に余る20Lの袋の枚数平均は33.1枚となっています。「21～30枚」は31.5%と最も割合が高く、次いで「31枚以上」が30.6%、「11～20枚」が20.8%と続いています(図5-2-2)。
-

図 5-2-1 袋の容量別「1年間に余る可燃用指定袋の枚数」

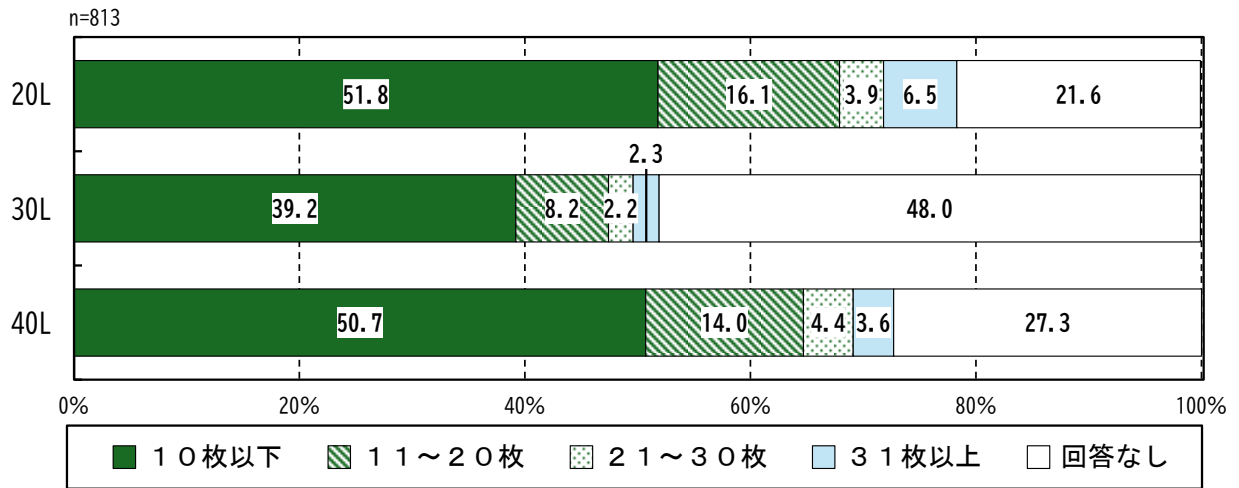
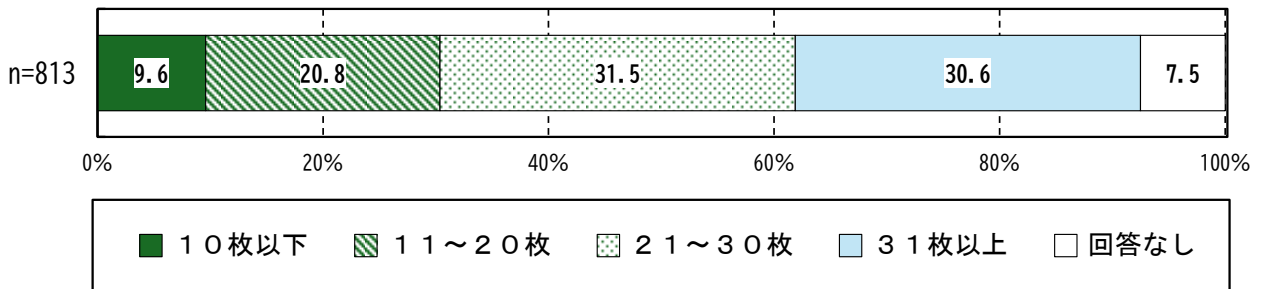


図 5-2-2 「1年間に余る可燃用指定袋の枚数」(20L換算)の枚数分布



### (3) 1年間に購入した可燃用指定袋の枚数

問 26-2. 【問 26. で「3. 配布された枚数では不足に、購入した」と回答した方にお聞きします。】

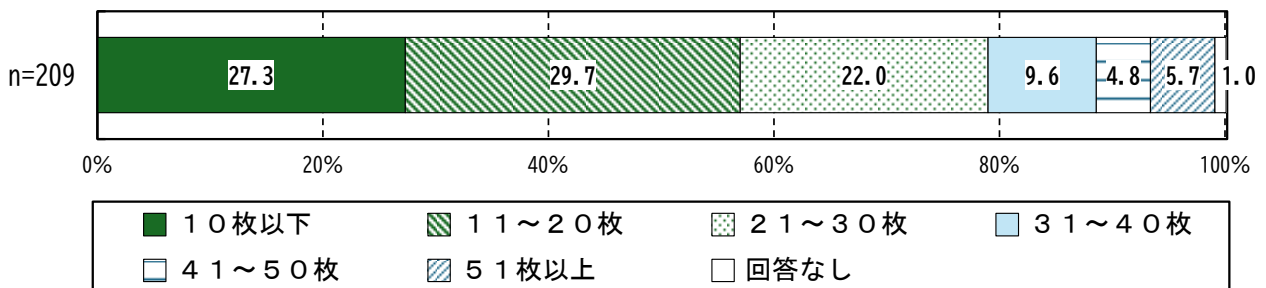
この1年間に購入した可燃用指定袋は、おおよそ何枚ですか？

(あてはまるもの1つに○を)

◆1年間に購入した可燃用指定袋の枚数は、「11～20枚」が29.7%と最も割合が高く、次いで「10枚以下」が27.3%、「21～30枚」が22.0%となっています。

○1年間に購入した可燃用指定袋の枚数は、「11～20枚」が29.7%と最も割合が高く、次いで「10枚以下」が27.3%、「21～30枚」が22.0%と続いています(図5-3-1)。

図 5-3-1 「1年間に購入した可燃用指定袋の枚数」



#### (4) 不燃用指定袋（青色）の使用枚数

問 27. あなたの家庭では、この1年間の不燃用指定袋（青色）の使用枚数はどうでしたか。  
（あてはまるもの1つに○を）

◆不燃用指定袋（青色）の使用枚数について、「配布された枚数が多くて余った」が65.0%と最も割合が高く、「配布された枚数でちょうどよかった」の32.5%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』と回答した人は9割を超えています。

- 
- 不燃用指定袋（青色）の使用状況について、「配布された枚数が多くて余った」が65.0%と最も割合が高く、「配布された枚数でちょうどよかった」の32.5%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』と回答した人は9割を超えています。
  - 年代別に見ると、「配布された枚数が多くて余った」は、30歳代で74.3%と他の年代に比べて最も割合が高く、30歳代以降は年齢が上がるにつれて低くなっています。
  - ただし、「配布された枚数が多くて余った」と「配布された枚数が多くて余った」を合わせた『余った・ちょうどよかった』は、いずれの年代でも9割を超えています（図5-4-1）。
  - 世帯人員別に見ると、「配布された枚数が多くて余った」は4人世帯で71.7%と全世帯の中で最も割合が高くなっています。一方、5人以上世帯では「配布された枚数が多くて余った」が54.6%と最も低くなっています。ただし、『余った・ちょうどよかった』は、いずれの世帯規模でも9割を超えています（図5-4-2）。
-

図 5-4-1 年齢別「1年間に購入した不燃用指定袋の枚数」

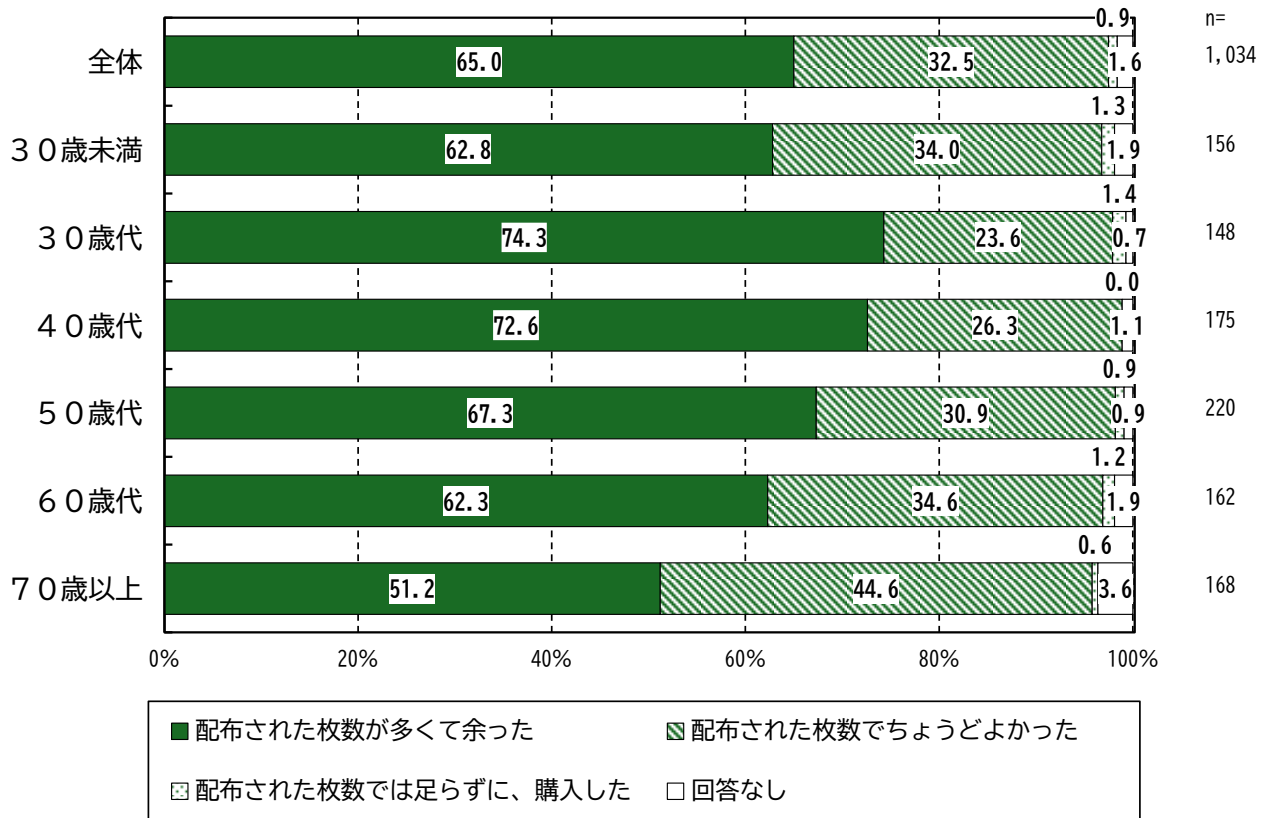
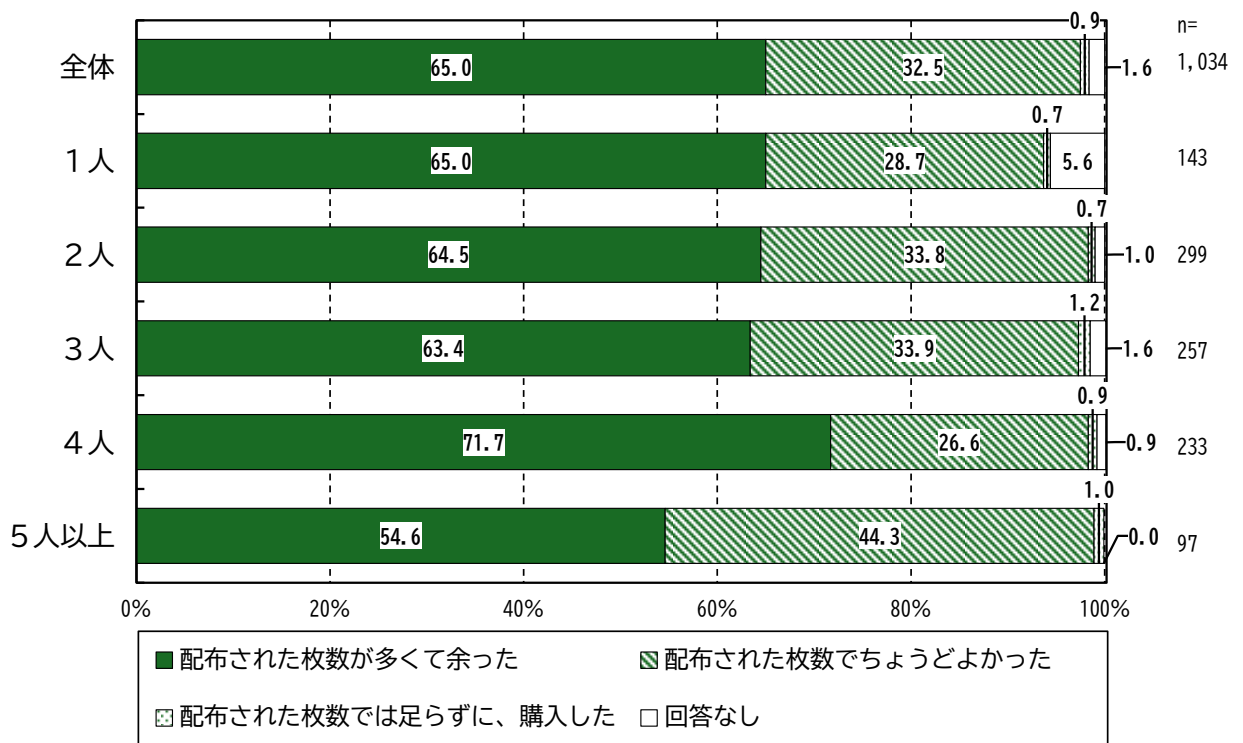


図 5-4-2 世帯人員別「1年間に購入した不燃用指定袋の枚数」



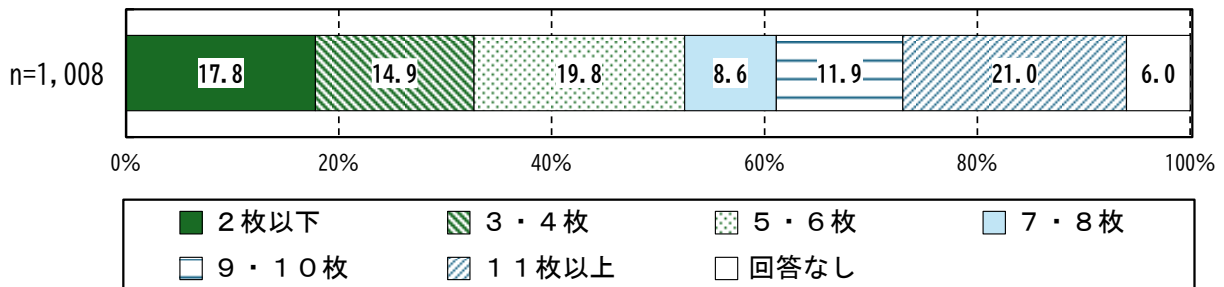
(5) 1年間に余った不燃用指定袋（青色）の枚数

問 27-1. 【問 27. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】  
 あなたの家庭で、1年間に余る不燃用指定袋はおおよそ何枚ですか？  
 （あてはまるもの1つに○を）

◆ 1年間に余った不燃用指定袋（青色）の枚数は、「11枚以上」が21.0%と最も割合が高く、次いで「5・6枚」が19.8%、「2枚以下」が17.8%と続いています。

- 1年間に余った不燃用指定袋（青色）の枚数は、「11枚以上」が21.0%と最も割合が高く、次いで「5・6枚」が19.8%、「2枚以下」が17.8%と続いています。
- また、『10枚以下』は73.0%となっています（図 5-5-1）。

図 5-5-1 年齢別「1年間に余った不燃用指定袋（青色）の枚数」



## (6) 1年間に使用した資源用袋(黄色)の枚数

問 28. あなたの家庭では、この1年間の資源用袋(黄色)の使用枚数はどうでしたか。

(あてはまるもの1つに○を)

※年間40枚配布しています。

◆1年間に使用した資源用袋(黄色)の枚数について、「配布された枚数でちょうどよかった」が49.1%と最も割合が高く、「配布された枚数が多くて余った」の25.6%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』が7割を超えています。

---

○1年間に使用した資源用袋(黄色)の枚数について、「配布された枚数でちょうどよかった」が49.1%と最も割合が高く、「配布された枚数が多くて余った」の25.6%と合わせた『余った・ちょうどよかった』は7割を超えています。

○年代別に見ると、いずれの年代でも「配布された枚数が多くて余った」と「配布された枚数でちょうどよかった」を合わせた『余った・ちょうどよかった』は7割を超えています(図5-6-1)。

○世帯人員別に見ると、「配布された枚数が多くて余った」は、1人世帯で37.8%と最も割合が高く、次いで2人世帯が28.1%、3人世帯が23.3%と続いています。

○また、「配布された枚数では不足に、追加でもらった又は購入した」は、4人世帯で33.9%と他の世帯規模に比べて最も割合が高くなっています(図5-6-2)。

---

図 5-6-1 年齢別「1年間に使用した資源用袋（黄色）の枚数」

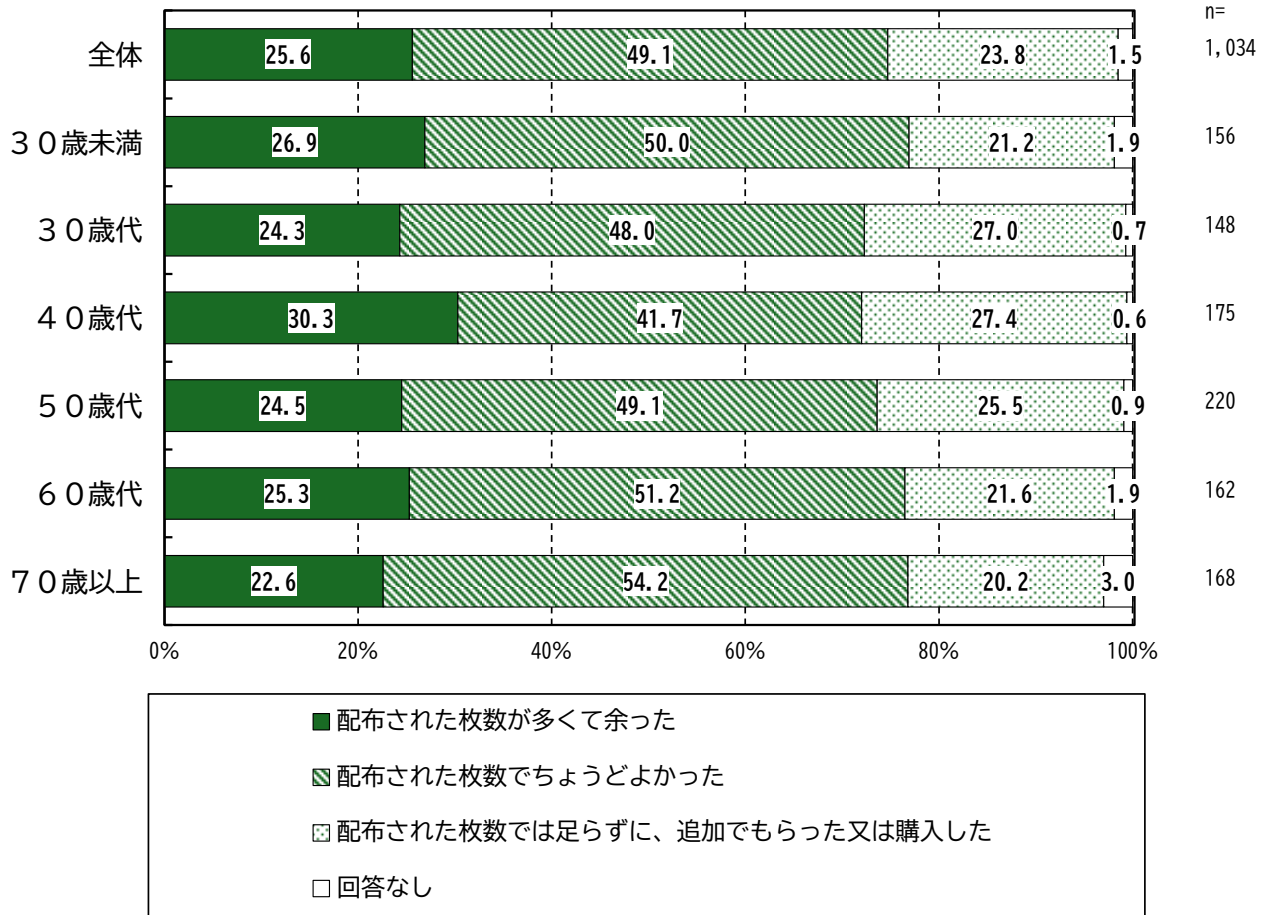
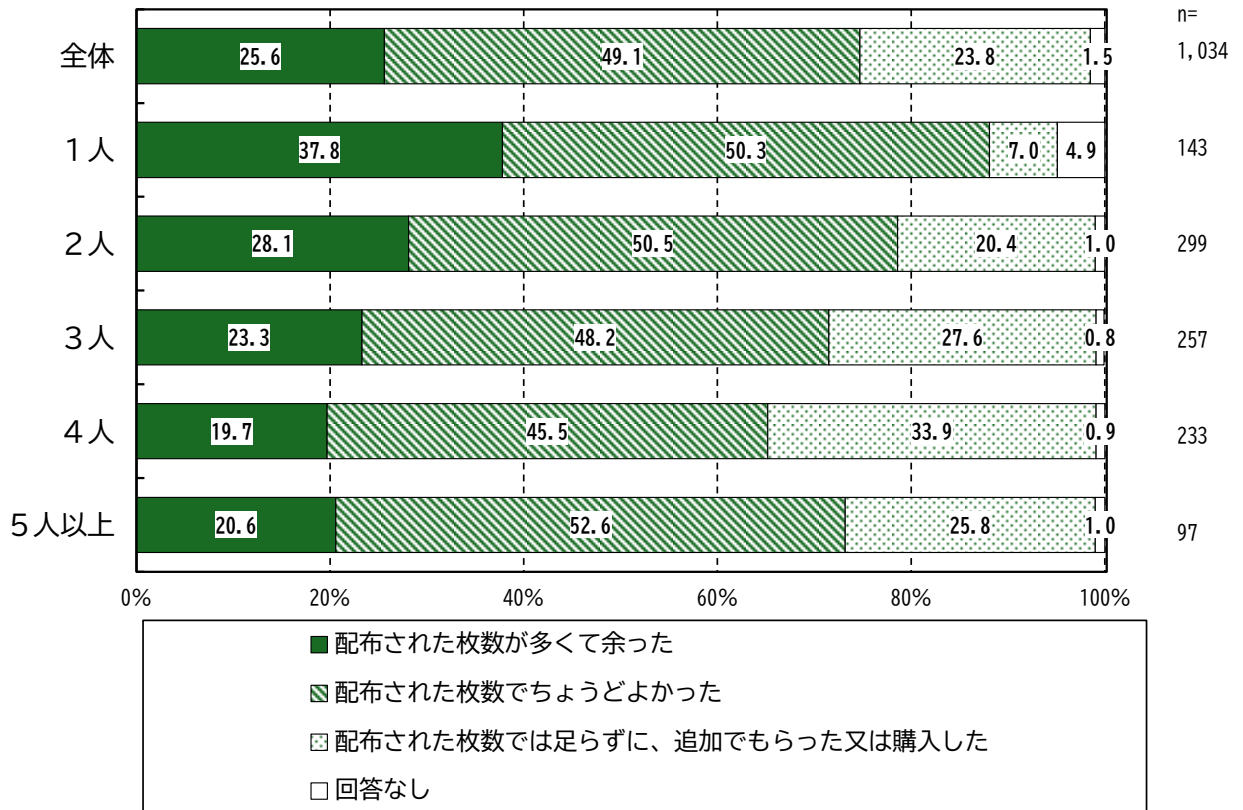


図 5-6-2 世帯人員別「1年間に使用した資源用袋（黄色）の枚数」



### (7) 1年間に余った資源用袋（黄色）の枚数

問 28-1. 【問 28. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】

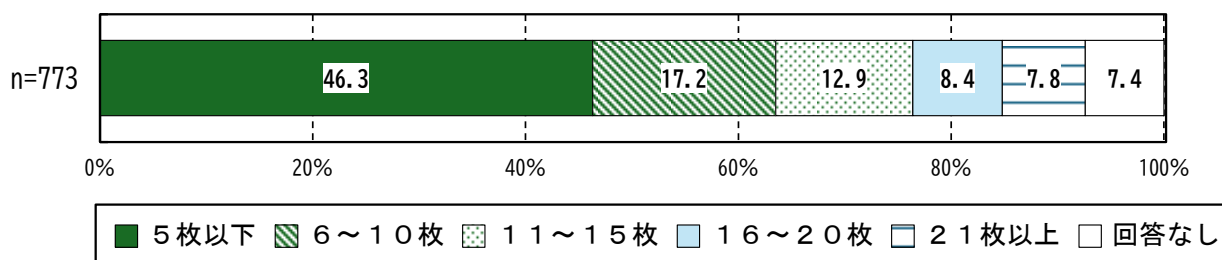
あなたの家庭で、1年間に余る資源用袋はおおよそ何枚ですか？

（あてはまるもの1つに○を）

◆1年間に余った資源用袋（黄色）の枚数、「5枚以下」が46.3%と最も割合が高く、「6～10枚」の17.2%と合わせた『10枚以下』は63.5%となっています。

○1年間に余った資源用袋（黄色）の枚数、「5枚以下」が46.3%と最も割合が高く、「6～10枚」の17.2%と合わせた『10枚以下』は63.5%となっています（図5-7-1）。

図 5-7-1 「1年間に余った資源用袋（黄色）の枚数」



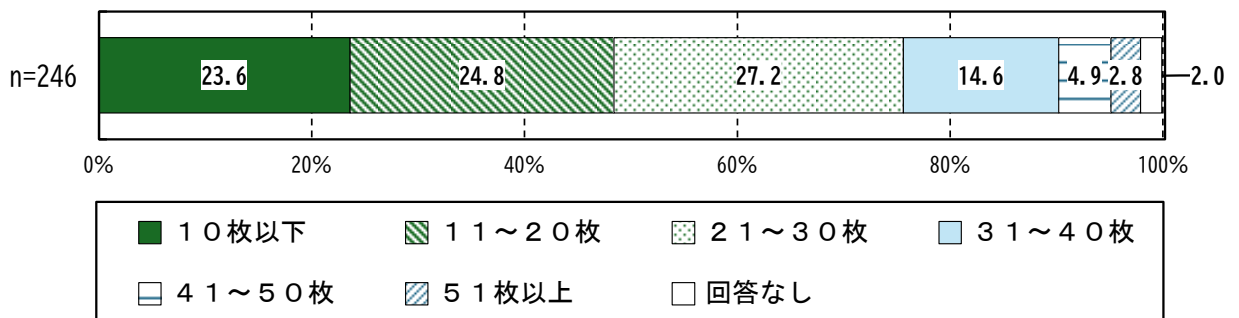
(8) 1年間に購入した無色透明の袋・追加でもらって使用した資源用袋の枚数

問 28-2. 【問 28. で「3. 配布された枚数では不足に、追加でもらった又は購入した」と回答した方にお聞きします。】  
この1年間に購入した無色透明の袋又は追加でもらって使用した資源用袋は、おおよそ何枚ですか？（あてはまるもの1つに○を）  
※追加で上限の40枚をもらい、30枚しか使用しなかった場合は、「3. 21～30枚」を選択してください。

◆1年間に購入した無色透明の袋または追加でもらって使用した資源用袋の枚数は、「21～30枚」が27.2%と最も割合が高く、次いで「11～20枚」が24.8%、「10枚以下」が23.6%と続いています。

- 1年間に購入した無色透明の袋または追加でもらって使用した資源用袋の枚数は、「21～30枚」が27.2%と最も割合が高く、次いで「11～20枚」が24.8%、「10枚以下」が23.6%と続いています。
- また、「10枚以下」、「11～20枚」、「21～30枚」を合わせた『30枚以下』は75.6%となっています（図5-8-1）。

図 5-8-1 「1年間に購入した無色透明の袋・追加でもらって使用した資源用袋の枚数」



## (9) 1年間の粗大ごみシールの使用枚数

問 29. あなたの家庭では、この1年間の粗大ごみシールの使用枚数はどうでしたか。  
(あてはまるもの1つに○を)

◆粗大ごみシールの使用枚数について、「配布された枚数が多くて余った」は50.9%と最も割合が高く、「配布された枚数でちょうどよかった」の42.5%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』は9割を超えています。

○粗大ごみシールの使用枚数について、「配布された枚数が多くて余った」は50.9%と最も割合が高く、「配布された枚数でちょうどよかった」の42.5%と合わせて、『余った・ちょうどよかった』は9割を超えています。

○年齢別に見ると、「配布された枚数が多くて余った」は、30歳代が62.2%と最も割合が高く、次いで40歳代が56.0%、30歳未満が52.6%と続いています。ただし、「配布された枚数が多くて余った」と「配布された枚数でちょうどよかった」を合わせた『余った・ちょうどよかった』は、いずれの年代でも9割程度となっています(図5-9-1)。

○世帯人員別に見ると、「配布された枚数が多くて余った」は、1人世帯が58.7%と最も割合が高く、次いで4人世帯が51.1%、2人世帯が50.8%と続いています。

○また、「配布された枚数が多くて余った」と「配布された枚数でちょうどよかった」を合わせた『余った・ちょうどよかった』は、5人以上の世帯を除くいずれの世帯規模で9割を超えています(図5-9-2)。

図 5-9-1 年齢別「1年間の粗大ごみシールの使用枚数」

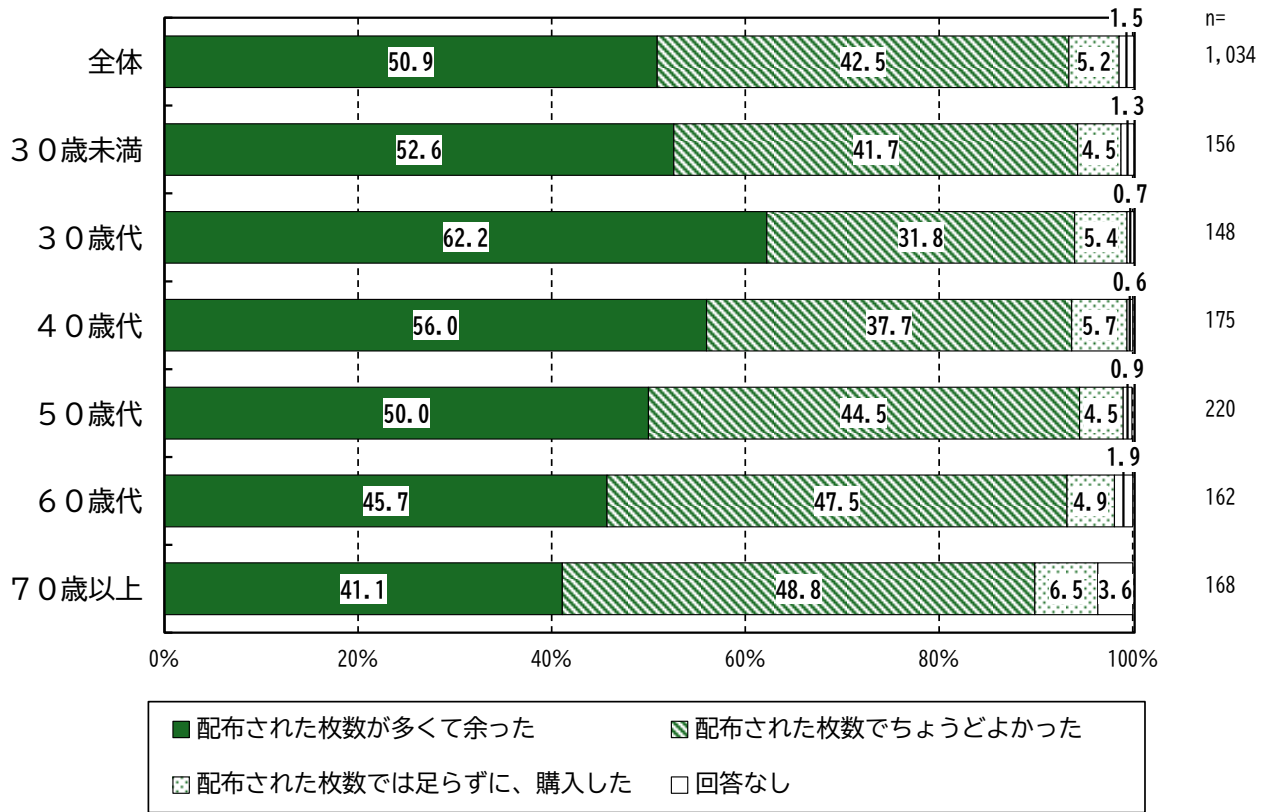
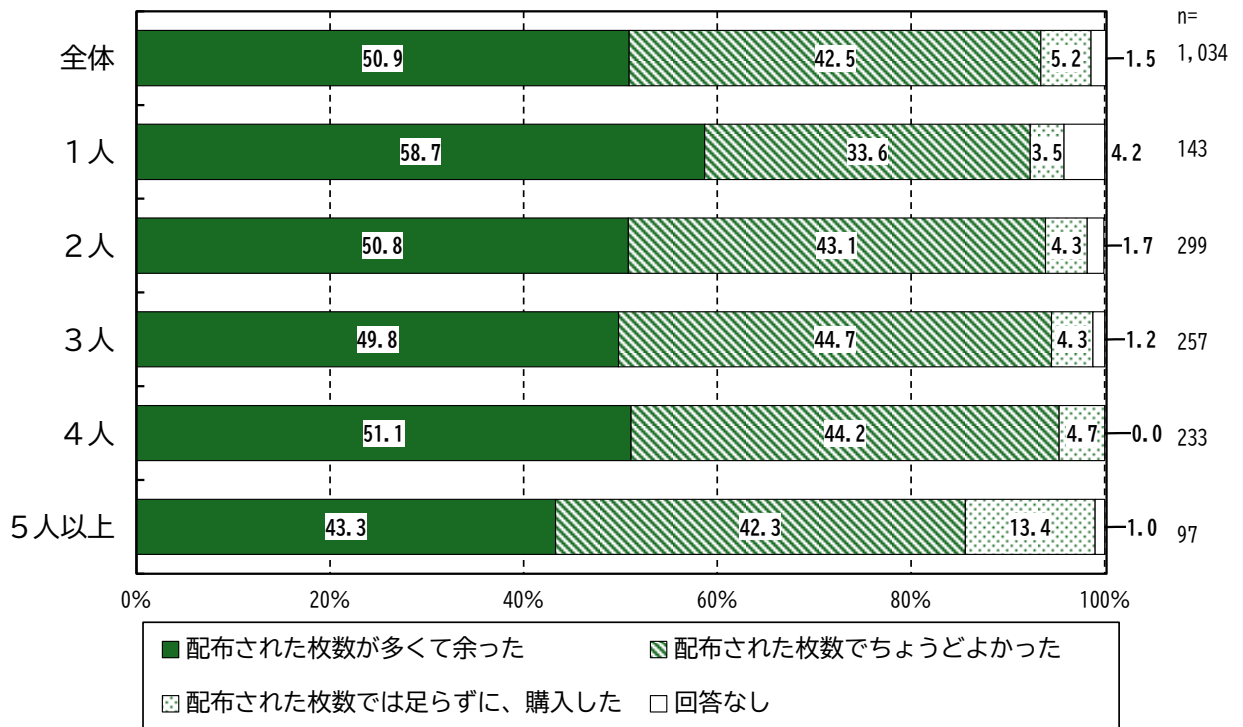


図 5-9-2 世帯人員別「1年間の粗大ごみシールの使用枚数」



## (10) ごみ指定袋制度のあり方

問 30. ごみ指定袋制度のあり方について、どのように考えますか。(あてはまるものに○を)  
また、その項目を選んだ理由も合わせてお答えください

### ◆ごみ指定袋制度のあり方については、「現在の制度を続ける」が9割を超えています。

- ごみ指定袋制度のあり方については、「現在の制度を続ける」は、90.4%と非常に高くなっています。
- 性別による有意な差は見られません(図 5-10-1)。
- 年代別に見ると、いずれの年代でも「現在の制度を続ける」が9割前後となっています。ただし、40歳代と60歳代では「他の自治体のように1枚目から有料化する」が、約1割となっています(図 5-10-2)。
- 居住地別による有意な差は見られません(図 5-10-3)。
- 世帯人員別に見ると、「現在の制度を続ける」は3人世帯で93.8%と最も割合が高く、次いで4人世帯で91.4%、2人世帯で91.3%と続いています。
- 一方、1人世帯では「他の自治体のように1枚目から有料化する」が13.3%と他の世帯規模よりわずかに高くなっています(図 5-10-4)。

図 5-10-1 性別「ごみ指定袋制度のあり方」

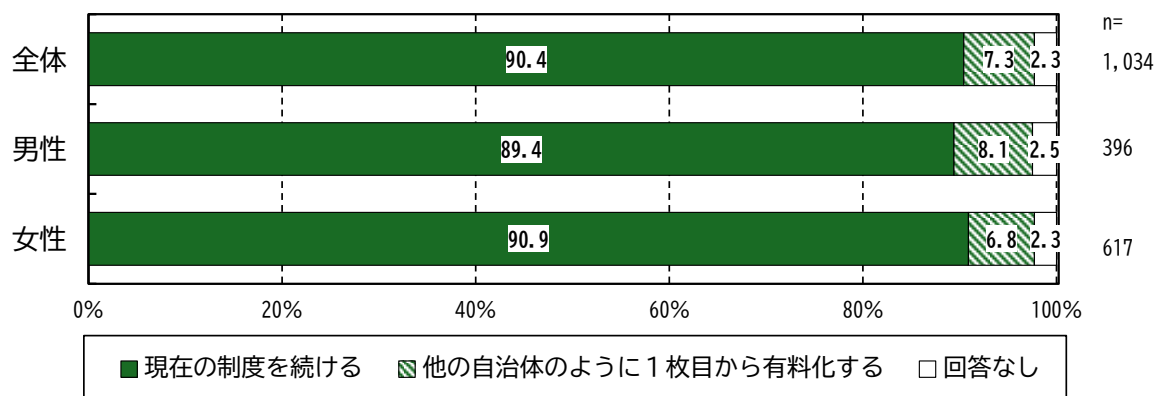


図 5-10-2 年齢別「ごみ指定袋制度のあり方」

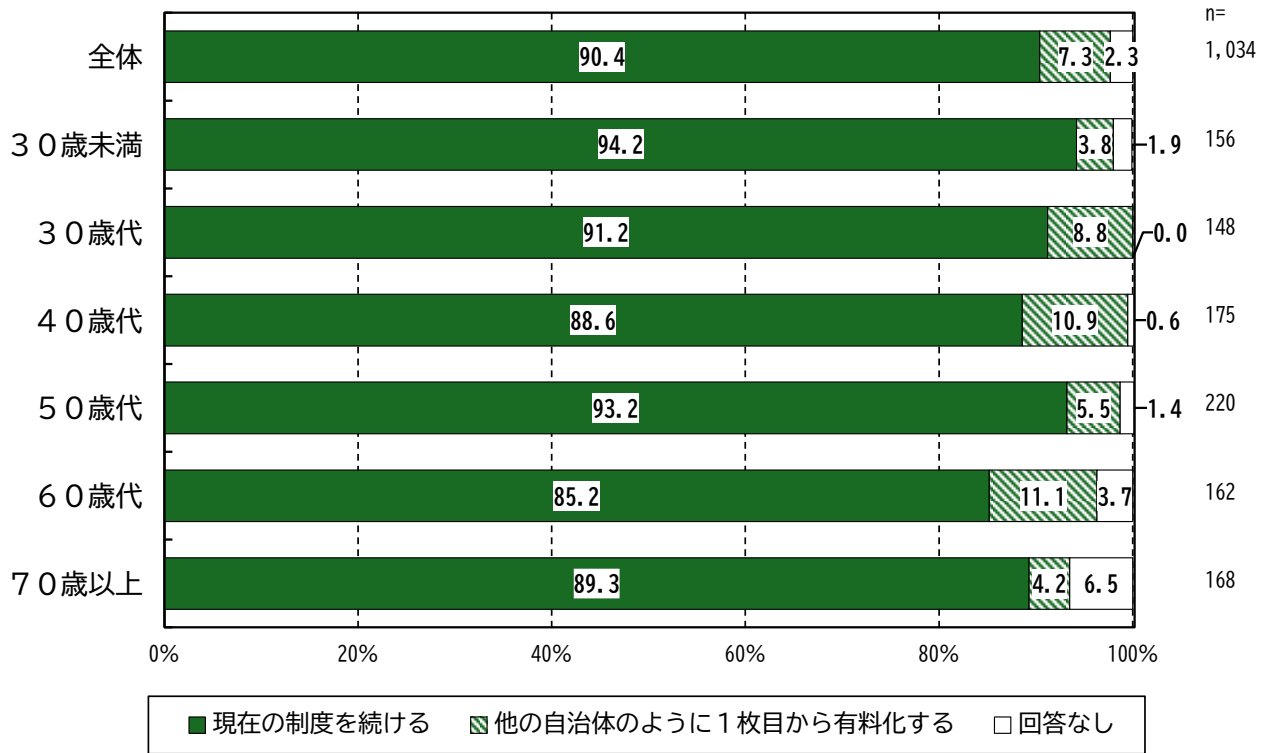


図 5-10-3 居住地別「ごみ指定袋制度のあり方」

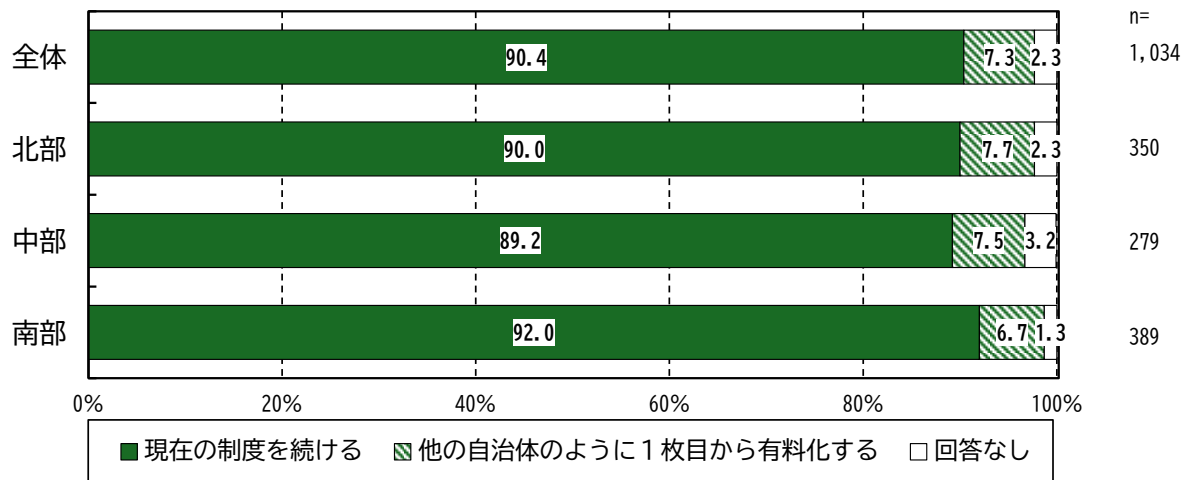
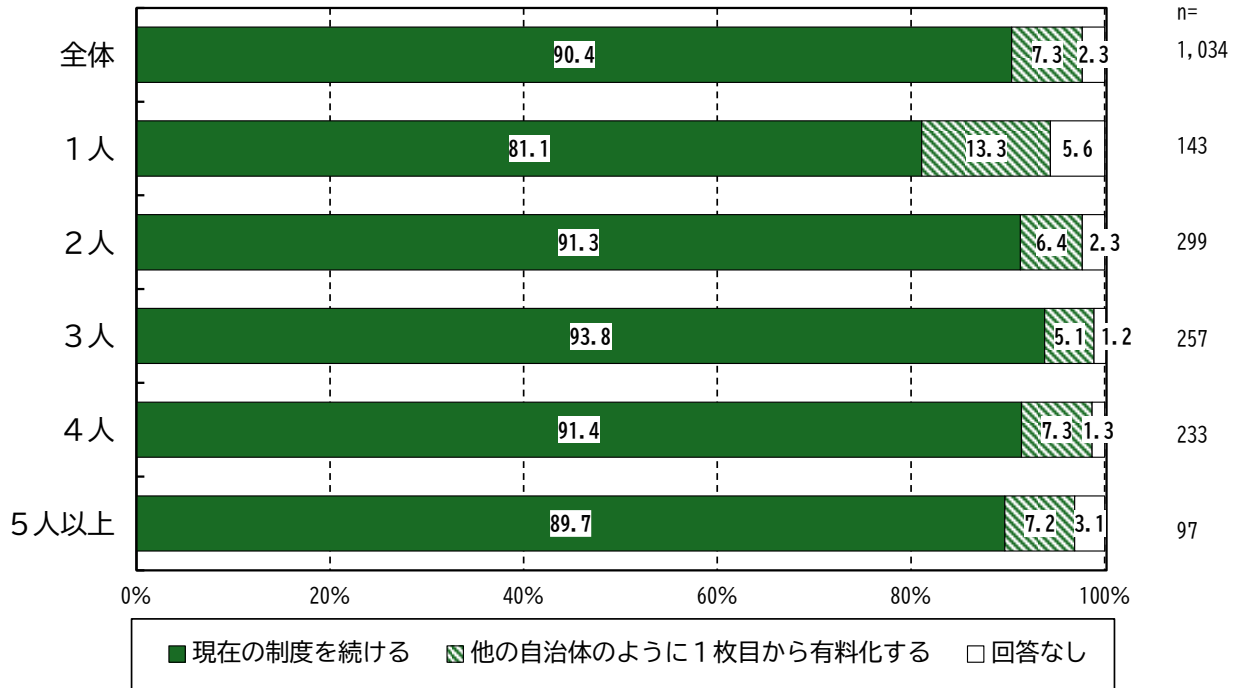


図 5-10-4 世帯人員別「ごみ指定袋制度のあり方」



## (11) 「現在の制度を続ける」を選んだ理由

### 問 30-1. 「1. 現在の制度を続ける」を選んだ理由（あてはまるもの全てに○を）

◆ごみ指定袋制度について、「現在の制度を続ける」を選んだ理由は、「配布枚数内で収まれば費用負担が発生しないから」が 63.1%と最も割合が高く、次いで「配布枚数内でおさまるようごみの削減を行っているから」が 61.6%、「指定袋を買うなどの手間がかからないから」が 47.0%と続いています。

- 
- ごみ指定袋制度について、「現在の制度を続ける」を選んだ理由は、「配布枚数内で収まれば費用負担が発生しないから」が 63.1%と最も割合が高く、次いで「配布枚数内でおさまるようごみの削減を行っているから」が 61.6%、「指定袋を買うなどの手間がかからないから」が 47.0%と続いています（図 5-11-1）。
  - 「その他」の意見としては、「配布枚数を減らせばよい」といった配布枚数の見直しを求める意見が 7 件、「ルールを守らない人が増えるから」といったマナーに関する意見が 6 件、「配布された袋では足りない」という意見が 4 件、「制度変更後の税金の使い方」を懸念する意見が 2 件、「ごみ袋は必要なものだから」という意見が 2 件、「有料化すると家計の負担になるから」という意見が 2 件、他に「家庭によって格差があるから」、「年毎にごみの量が変わるから」、「東海市は無料配布があってよいと他市町村の方によく言われる」、「分別を細文化すると判断に困るため」、「排出量の問題から見ると、袋自体もごみの一部」、「他の市では店舗でごみ袋を売っているところもある」、「税を納めているから」という意見がありました。
  - 年齢別に見ると、「配布枚数内で収まれば費用負担が発生しないから」は、40歳代が 71.6%、「配布枚数内でおさまるようごみの削減を行っているから」は、60歳代で 71.0%と他の年代に比べて最も割合が高くなっています（図 5-11-2）。
  - 世帯人員別に見ると、「配布枚数内で収まれば費用負担が発生しないから」は、3人世帯で 67.6%と最も割合が高くなっています（図 5-11-3）。
-

図 5-11-1 「ごみ指定袋制度を続ける理由」

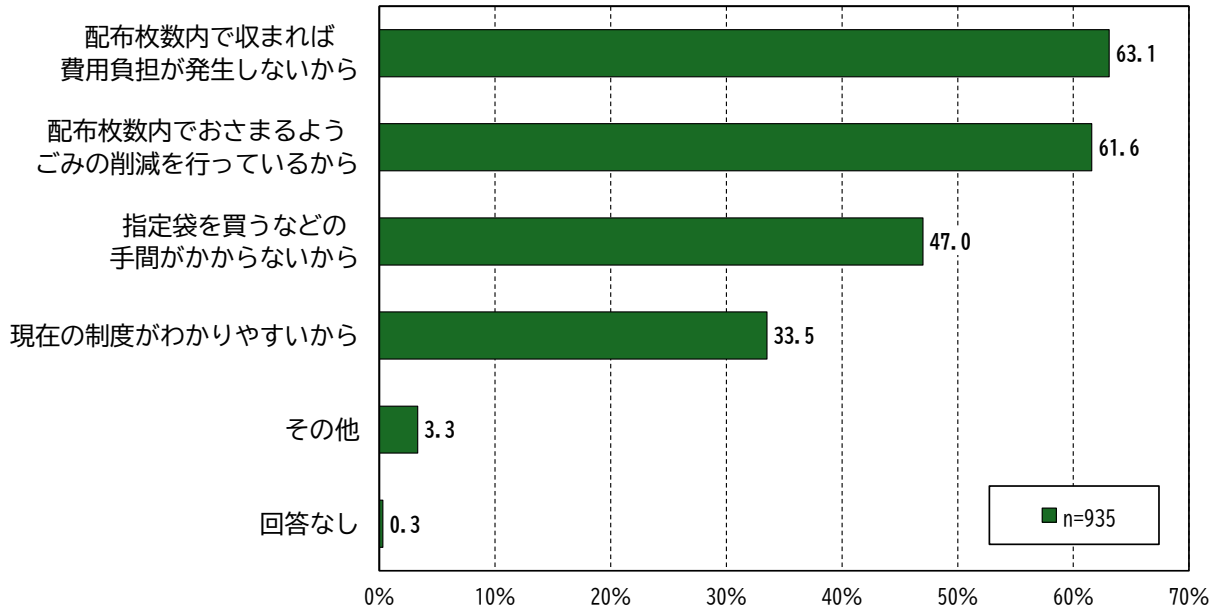


図 5-11-2 年齢別「ごみ指定袋制度を続ける理由」

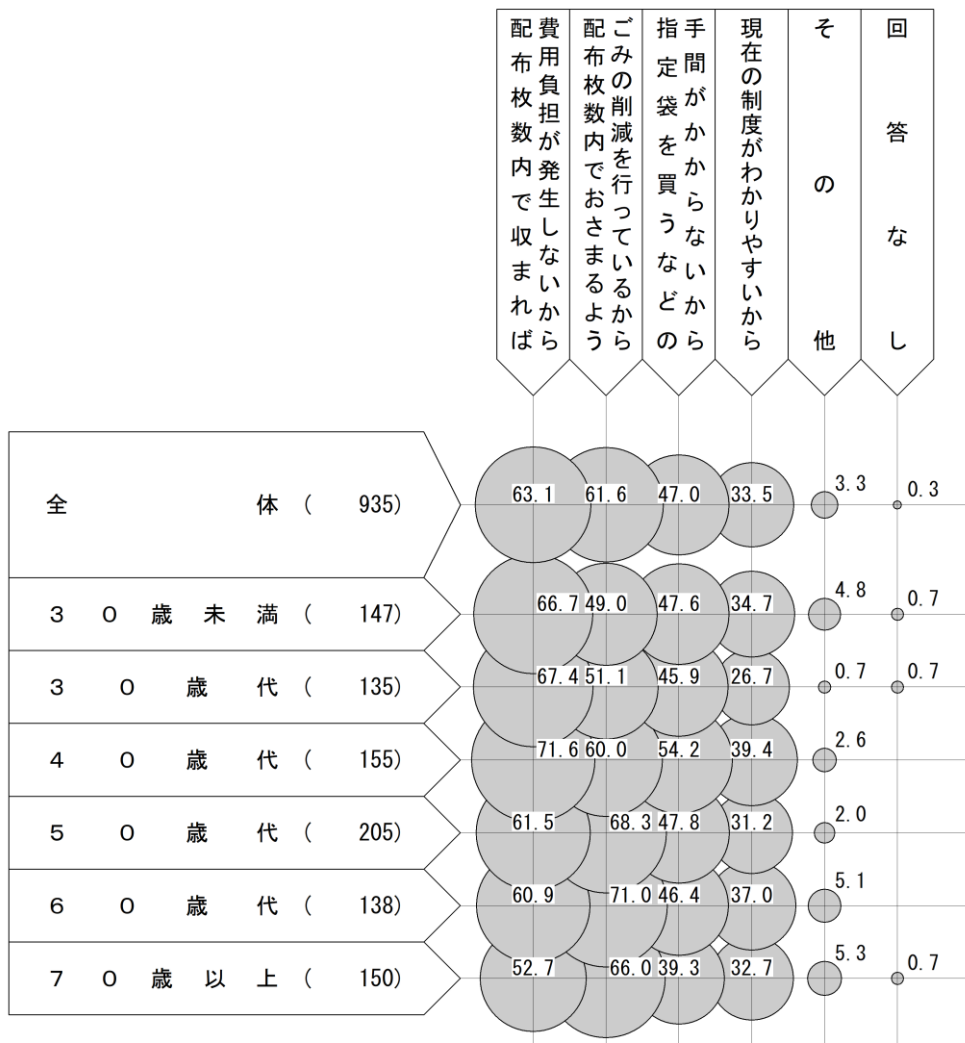
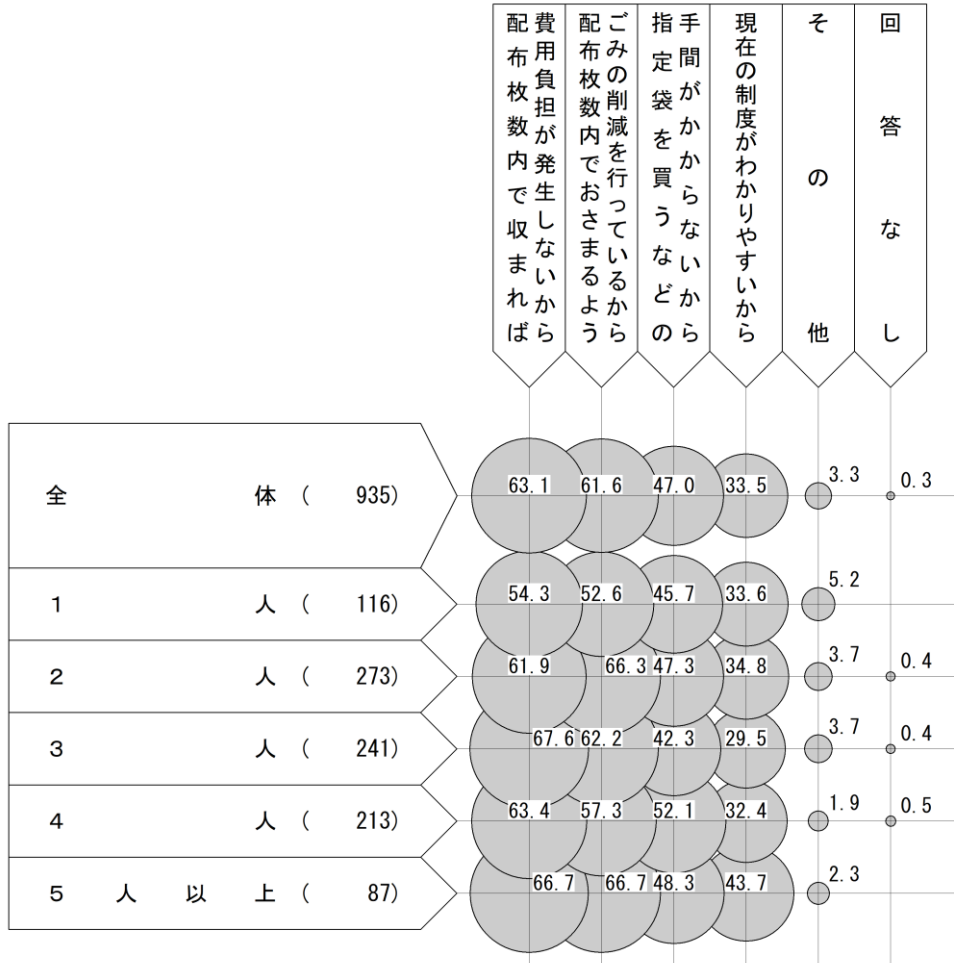


図 5-11-3 世帯人員別「ごみ指定袋制度を続ける理由」



## (12) 「他の自治体のように1枚目から有料化する」を選んだ理由

問 30-2. 「2. 他の自治体のように1枚目から有料化する」を選んだ理由  
(あてはまるもの全てに○を)

◆ごみ指定袋制度について、「他の自治体のように1枚目から有料化する」を選んだ理由は、「ごみの削減努力と費用負担が適切で公平だから」が54.7%と最も割合が高く、次いで「指定袋の引換え、容量交換などの手間がかからないから」が46.7%、「ごみ量が減れば、ごみ処理にかかる税金が少なく済むから」が40.0%と続いています。

- ごみ指定袋を1枚目から有料化する理由については、「ごみの削減努力と費用負担が適切で公平だから」が54.7%と最も割合が高く、次いで「指定袋の引換え、容量交換などの手間がかからないから」が46.7%、「ごみ量が減れば、ごみ処理にかかる税金が少なく済むから」が40.0%と続いています(図5-12-1)。
- 「その他」の意見として、「有料化した時の価格にもよる」や「ごみ袋の金額は現在よりも低くなることを前提とする」といったごみ袋の販売価格に関する意見が4件、「税金を大切に使ってほしいから」や「予算が浮く分の使用目的をはっきりしてほしい」といった税金の使い道に関する意見が4件、「有料化した分、税金が安くなるとよい」が2件、他に「市販している袋は容量が大きすぎる」、「枚数が決められていると気軽に使えないため」、「必要なものなので買う事に抵抗はない」、「ごみ袋配布の代わりに、ごみ袋用補助金の給付を行うえばよい」といった意見がありました。
- 年代別、世帯人員別では回答数が限られているため、比較による有意な差は確認できません(図5-12-2、図5-12-3)。

図 5-12-1 「ごみ指定袋を1枚目から有料化する理由」

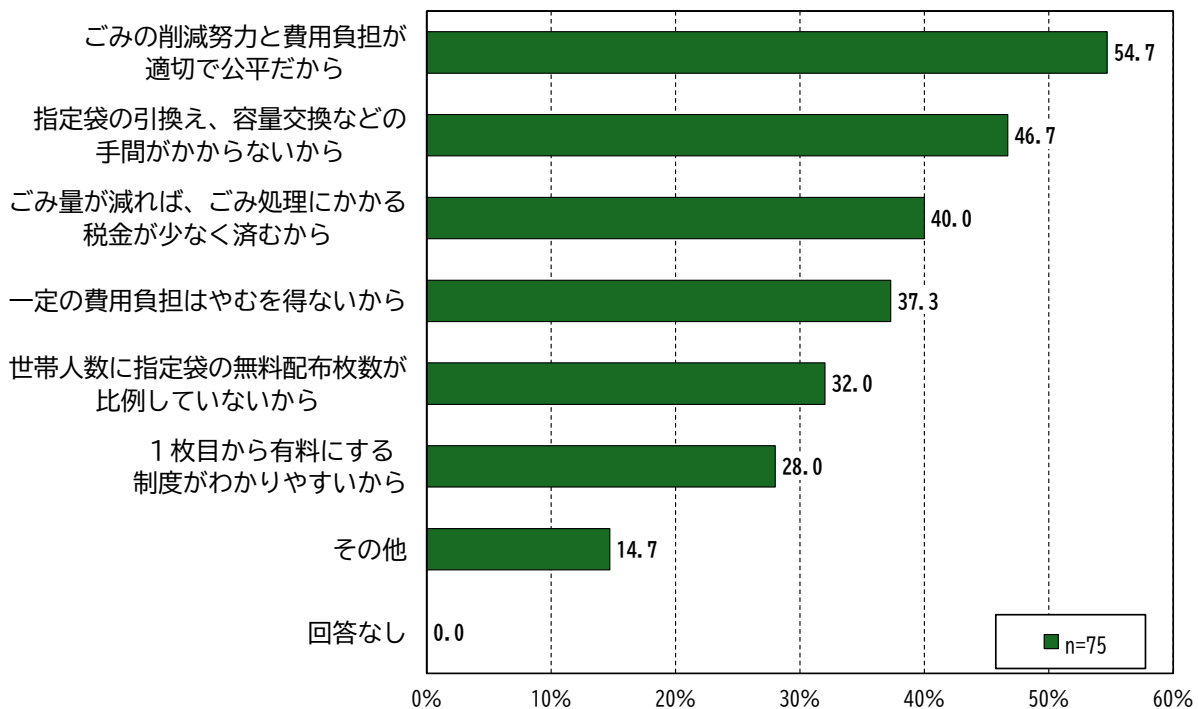


図 5-12-2 年齢別「ごみ指定袋を1枚目から有料化する理由」

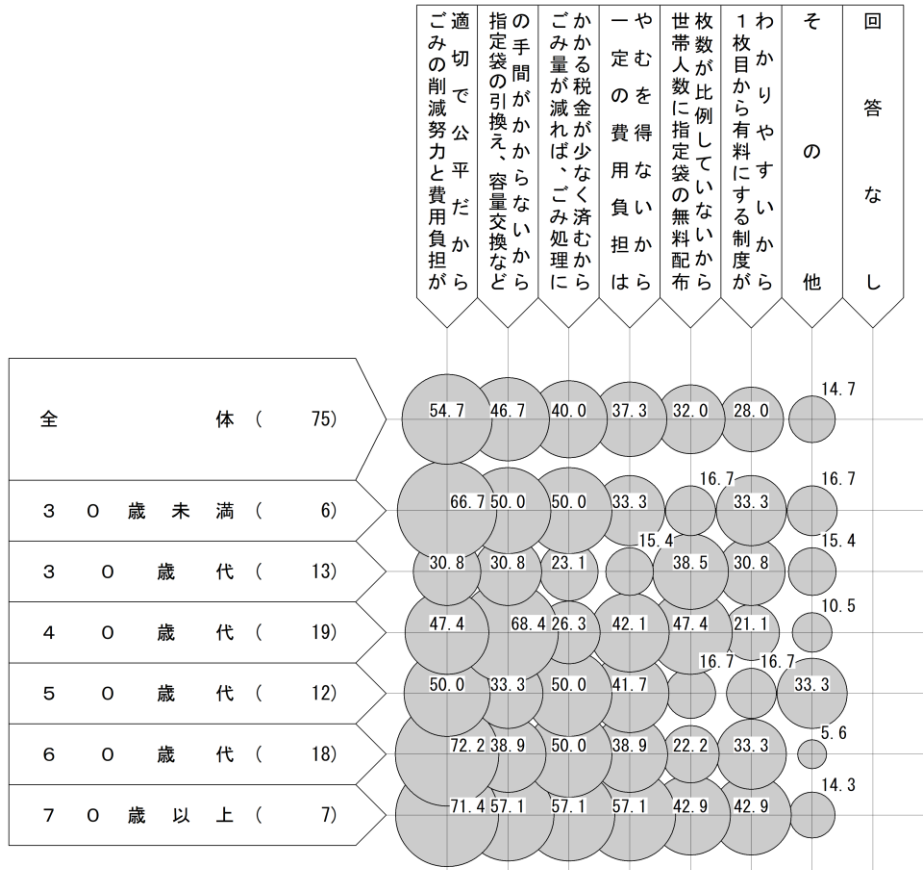
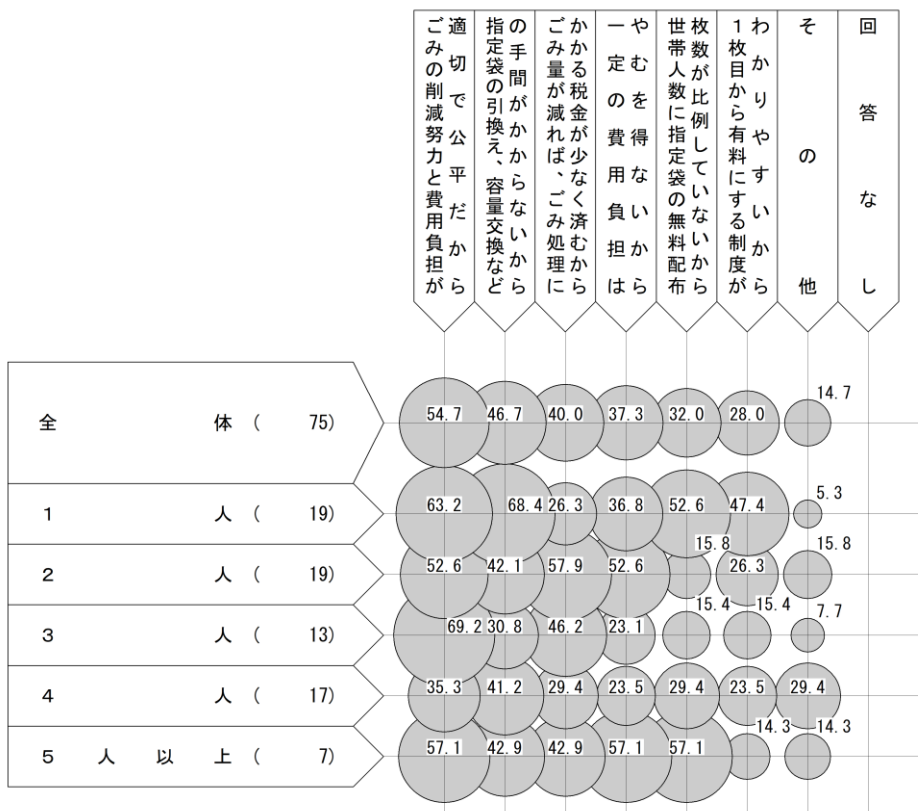


図 5-12-3 世帯人員別「ごみ指定袋を1枚目から有料化する理由」



## VI 自由意見

◆265 人から 405 件の意見を頂きました。

No.	分類	件数
1	ごみ出しに関する意見	42
2	ごみと資源の分別に関する意見	87
3	ごみの収集に関する意見	60
4	食品ロスに関する意見	2
5	ごみ指定袋に関する意見	141
6	アンケートに関する意見	13
7	その他ごみの減量・資源化に関する意見	60

## 1. ごみ出しに関する意見（42件）

### ①ごみの出し方について（24件）

あまり溜まらないごみ（スチール缶等）を袋に入れて捨てようとしても、あまり溜まらず捨てにくい。
プラごみでプラスチック製品が出せるようになり、ありがたい。
以前は、ごみの持込みをキロ数で計算して受け入れていたと思うが、その取扱いを復活させてほしい。
身内が近所にいないなどの理由で、家具や書籍などを処分できなくて困っているという意見をよく耳にする。買取業者とのトラブルにもなりやすい。
家庭ごみをコンビニ等で捨てている方もよく見かけるが、家庭ごみ禁止のはずである。
地域のごみ処理場がなくなり、持ち込めなくなったのが大変不便。粗大シールだけでは処理できない時もある。
新しくできたリサイクルセンターは東海市からは遠く感じる。出入口も入りにくそうである。正直…捨てに行くのが面倒になった…。
東海市から知多市に変わって、不便だ。元の東海市の場所にしてほしい。
持込みで粗大ごみを捨てに行きたいが、清掃センターが知多市になり不便になった。
粗大ごみを出す場所が遠くて大変。
パソコン、テレビなどリサイクル料が要るものも、市が有料で回収してほしい。買い替えしない場合、店舗には持って行きにくい。
体温計はどこへ？
ライターを捨てる場所がなく困っている。不燃ごみと一緒に捨ててしまうか悩んでいる。半年も自宅で保管している。年末には捨ててしまいたい。
使い終わった電池を捨てる場所がどこにあるか分からない。
ソーラーパネルやリチウム充電電池の捨て方が分からない。販売店とごみ回収所でたらい回しにされたことがある。結局、かなりの費用をかけて廃棄しないといけなかった。そういう扱いなら最初からそうだと自治体でも告知しておいてもよいのではないか。
ハサミの壊れた物やボロボロの服など、どのように捨てればよいか分からない。
東海市は乾電池の捨て方が分からないので教えてほしい。
捨て方が分からない場合はスマホで調べるが、どれも最後は自治体のページと繋がっているため再度調べなければならず調べることは少し億劫に感じ、分別せずに燃えるごみに捨ててしまうことも多々ある。基本的にはわざわざごみの減量や資源化のために調べたりはしないため、紹介してもらえれば参考にしようと思う。
捨て方が時々変わるので、ホームページやLINEで検索が簡単にできるとありがたい。
びんに付いているふたが鉄かアルミか判らないものを集積所に持って行ったら、大分前に怒鳴られた事があった。分からない事を聞く事が怖くなった。
外国の方へも分かりやすいよう徹底してほしい。
どう転んでも、資料を見たら必ず正確のごみ出しが解って、即、出せるような説明を求む。
ごみを出すのに手間が増えると、面倒になり、全て可燃ごみになってしまいがちのため、税金がかかるのは分かるが、あまりキチキチにしないでほしい。

割れたガラスやカミソリの刃は何ごみで捨てれば良いか分からない。

## ②ごみ出しのマナーについて（14件）

ごみの収集所、加木屋のパールロード近く（ファミマ近く）のごみ捨て場の乱れが気になる。時間以外に出している人がいる。
ごみ出し日やごみの分別を守らない人もいる。中国語・韓国語などのパンフもつくってしっかりルールを守ってほしい。
外国の方も増え、ごみの出し方が守られていない。ごみ指定袋をお渡しする時に、説明をお願いしたい。集積場に外国語の案内をつけてほしい。
可燃ごみの日に違うごみを出してる人がたまにうちの住宅街にいる。
時間以外に出している人がいる。
ごみの回収日ではないのにごみが出されている場所がある。特に、アパート居住の方が本来出すべき回収場所ではない場所に捨てている。管理会社には、アパートに入る際の、ごみ出しのルール・回収日・回収場所の回収時間、袋の説明等をしっかりしていただきたい。
私の住む地域では、無責任なごみ袋の出し方をする箇所があり、警告をしているにもかかわらず、決められた日の2日前の夜に置きにくる人を見かける。罰則があるのか無いのか分からないが、見苦しい思いをして何年も経つ。
収集日ではない日にネットもかけずにごみを置いていく人がいる。指定の袋にも入っておらず、カラスが荒らすため、対策してほしい。こういう人たちは、広報や回覧板は見ないと思う。
若い人のごみの分別がなっていない。特に、プラごみの日がひどい。分かっていない。
分別できていない家庭が多すぎる気がする。マンションでもちゃんとしてそうな人が、びんを不燃ごみで普通に出していたり、箱など畳まずに可燃ごみにしていたりと、気になるごみも割と多いので、まだまだ周知が必要かと思う。
ごみのマナーを守らない人が、近所にいて困る。家の近くに収集場所があり、ごみが散らかったり、広がっていたり（人が散らかしたり、カラスがあさったり）するごみを私たちが処理している。違うエリアの人がごみを捨てに来たりしており、かつマナーが悪い。夏場は生ごみ臭がすごい+カラスがあさる。
ごみの出し方のマナーが悪い人により、猫やカラスがごみをさばっていたり、収集日ではない日にごみが出ていることは気になる。
カラスなどの被害を防ぐため、町内会でネットなどの購入や清掃、分別されていないごみの処理などを担っている。しかし、近隣のアパートの人など町内会に入っていない人は上記の苦勞を知らないため、きちんと分別されていなかったり、曜日を守っていない人が多く、ごみ減量や資源化の推進をさまたげている。アパートなどの集合住宅は各自ごみ集収所を設置し、ごみ減量や資源化の意識づけをするべき！！
集積所の近所に住んでいるのだが、ルールを守っていない方が時々いて迷惑している。掲示などの一考をお願いする。

## ③その他ごみ出しに関する意見等（4件）

今後、不要家具が多く発生すると思う（高齢のため）。

腹膜透析で治療用ごみが多く出る。おむつ使用家庭のように対応してほしい。何回言っても無視されているが…。
缶・金属類集めてお金に換えている人や違法に集める人をどうにかしてほしい。缶等だけを集めて、袋を散らかしていく時がある。
リサイクルの手順や方法についてはいろいろ案内や説明があるが、廃棄について南知多クリーンセンターの俯瞰図や利用方法を紙面で教えてほしい。

## 2. ごみと資源の分別に関する意見（87件）

### ①分別区分について（5件）

新聞紙や雑紙など資源として出しているが、分別に迷う時が多くある。広告は新聞紙扱いで一緒に出しているが、DMで広告のような厚み・質のものを雑紙として紙袋に入れて出すべきか、新聞紙の方に広告として縛って出してよいのか迷う。同様に段ボールの色をしているがとても薄い空箱など段ボールの方なのか雑紙として出してよいのか？また、明らかに段ボールなのに小さすぎて、縛りにくく出しにくいいためごみとして出してしまうという事もある。細かい事だが、薄いカタログをホッチキスで留めてあるものもホッチキスを外して、雑紙として出しているが、そこまでなくてよいのだろうか？薄くて本・雑誌とまでは言えない気がして、ひと手間加えて出している。
フィルムやラップのような薄いプラスチックを可燃にしてはどうか。
プラスチックなど可燃扱いにしてほしい。可燃扱いであれば啓蒙を。（ごみ袋に記載等）
さらに細分化してもよい。
地域によって微妙に違う分別基準を統一し、混乱を防ぐことで資源ごみの回収率向上につなげてほしい。

### ②資源が出せる場所、そこでの回収品目について（73件）

紙やびん、缶など、リサイクルセンターに年に数回持っていくが遠いので気軽に行けない。資源分別収集拠点場は近くにあるが、平日の午前中のため、夫婦共働きフルタイムの私たちは行きたくても行けない。土日開催があったら行きやすい。
現在は、自家用車で資源を回収拠点まで運搬できることもあり、分別と資源回収ができ、不要ごみが削減できているように感じる。全世代が同じように分別や資源回収について同じ意識で行っていける必要があると思うが、高齢者の方に可能なのか疑問がある。
今は車で移動できるから、資源回収所まで運べるけれど年取ったら、できなくなるなあと思う。
私は自動車の運転が苦手。資源分別収集拠点場は近くにないので使いづらい。地域の資源回収は3か月に1回なので家に保管する場所がない。夫の車でペットボトル等を店頭回収に出すことが多いが、高齢になったら、プラ資源の袋で出すと思う（夫婦共に車に乗れなくなるので）。
今現在でも車を使って資源を拠点まで持って行っている。この先自分達が年をとっていきことや、運転免許返納するなどということになると、不安であるから。
今は車の運転ができるので、リサイクルセンターや資源回収拠点場やスーパーなどに資源を持って行っているが、運転できなくなると新聞やびんなど持って行くのに困る。
資源ごみは車など足がないと捨てられないと母親は足がないので困ると言っている。

資源回収に協力するつもりはあるが、場所が遠いし重たい老人には運んで行くすべがない。車にはもう乗れないし。
資源ごみの回収場所を増やしてほしい。
公共施設の駐車場スペースなどに資源回収常設場(段ボールや衣類、雑誌等)を設定してほしい。
資源ごみなどの回収場所が分かりにくかった。引越して来た時、聞ける人もいなかった。ネットで調べても求めている解答が見つからなかったため大変だった。
資源回収場所を富貴ノ台に作ってほしい。
地域の回収拠点を増やしてもらいたい。
資源ごみの回収場所は増やしていただければありがたい。
資源ごみステーションを多くしてほしい。
資源ごみを出せる場所を増やしてほしい。
ダンボール回収場所を増やしてほしい。
段ボール、新聞、古着の回収場所を、100世帯以上のマンションなどの集合住宅に開設してほしい。
リチウム電池をしあわせ村で回収してほしい。回収できないと言われ親切に教えてもらえなかった。
電池(リチウム)の回収箱がどこにあるか分からない。
リチウムイオンバッテリーの回収をしていただきたい。
電池の回収場所がどこか分かるようにしてほしい。
リチウムイオン電池をホームセンターで回収してもらおうように持ち込んだが、「少しふくらんでいるので回収できません」と言われた。「清掃センターなどで聞いてみて下さい」と言われて、そのまま部屋に置いてある。もう母に言うのも面倒だと思って、そのままになってしまいそうだ。どうしたらいいか分からなくなっている。清掃センターまで遠いと思う。
ボタン電池の回収場所を乾電池と同じ場所にも設けてほしい。
ボタン電池の回収場所がほとんどなく、アピタに捨てに行ったら、市HPに載っていたのにもかかわらず、回収してもらえなかった。乾電池と一緒に回収してほしい。
モバイルバッテリー(液漏れしたもの)を分別収集拠点場で回収してほしい。
リチウムイオン電池について、危険性は理解し、分別回収の重要性も理解しているが、収集場所があまりにも少なく、行政として、真剣に取り組んでいるとは思えない。早急に収集場所を拡充整備してほしい。人への手渡しを基本とすべきなので、例えば、各地区の係員が常駐する集会場の窓口で手渡しする。
町内ごとに電池や天ぷら油など不燃ごみを置く場所を設置してほしい。
電池回収設置場所をスーパーや薬局に設置してほしい。
電池の回収も商業施設等で行ってほしい。
ペットボトル・電池などはスーパーなどに捨てる場所があれば捨てている。
創造の杜交流館でも旧文化センターのように電池回収箱を置いてほしい。
モバイルバッテリーの回収場所増やしてほしい(ふくれたものや、マークがついてないもの)。
小型充電式電池の回収場所を増やしてほしい。
リチウム電池の処分場所を増やしてほしい。またその情報もほしい。先日、DCMで聞いたとこ

<p>ろ購入したものと同様のものしか捨てられないと言われ、古く危険なのに捨てたいのに捨てられず困っている。</p>
<p>モバイルバッテリーやリチウム電池を使った製品の回収場所を増やしてほしい。</p>
<p>電池や使用済みインクジェットの回収場所を増やしてほしい。</p>
<p>電池を回収する場所をもう少し増やしてほしい。</p>
<p>以前は、資源ごみの回収が文化センターでできて、近くて利用しやすかった。</p>
<p>まだ車が運転できるため、リサイクルセンターなどに持っていけるが、高齢になった時を考えると、リサイクルセンターなどに行かなくても普段のごみ収集所ですべての資源回収ができるのが理想である。</p>
<p>資源ごみを普段燃えるごみを出しているところに出したい。</p>
<p>資源分別収集拠点場が近くにないのであったら利用したいと思う。</p>
<p>リサイクルセンターのように、常時（特に土日）に回収している資源ごみの回収場所が、もっと近くにほしい。</p>
<p>常設の資源回収所も荒尾の方なので加木屋に住む人にとっては遠い。車を運転できる人にはよいが加木屋周辺にあると助かる。</p>
<p>段ボールも資源として出したいが、近くに回収場所がないため、細かく砕いて捨てなければならず、かなり重労働。</p>
<p>東海市南部に住む住民にとっては資源の常設場は遠く、拠点場も利用する人が限られていると思う。</p>
<p>びんを家の近くで出せたらいいと思う。</p>
<p>以前は、アピタにびんの回収箱があったが、今はなくなってしまった。よく行くスーパー等に拠点場があれば便利だし、ありがたい。木曜日の午前中だと利用できないので、曜日・時間関係なく利用したい。</p>
<p>スーパーでもよいから、びん類を資源ごみとして出せる場所があった事は良かった事だと思った。なくなってしまって残念である。</p>
<p>びんの捨てる場所を増やしてほしい。一番近くの子ども会の集団回収場所でびんの回収をやらなくなってしまったので。</p>
<p>びんの回収場所も増えてくれるとうれしい。自治会の回収が2か月に1回のため、持っていく方が少なく皆不燃ごみで捨てる方が多いように思う。</p>
<p>びんの回収が月1回、集積場に行かなければいけないことが負担なので、スーパーやどこかで回収してもらえるとありがたい。</p>
<p>びんを捨てるところが少なく、もえないごみで捨ててしまうのでびんを捨てる場所（スーパーやお店の近くとか）を作してほしい。</p>
<p>びんをリサイクルしたいが回収場所が少ない。</p>
<p>仕事をしているため、ごみステーションになかなか行くことができない。</p>
<p>平日仕事をしているため、収集拠点場など利用できない。土日の運用を考えてほしい。</p>
<p>子どものいない家庭でも、廃品回収の日にちが分かるようにしてほしい。</p>
<p>びんの資源回収を定期的の実施してほしい。</p>
<p>卵パックの回収をしてほしい。</p>

草木の収集場所が清掃センターに設置されて大変助かっている。
リサイクルセンターが遠すぎる。
リサイクルセンターの常設場をよく利用している。シルバーの方も親切に教えて下さるのでありがたい。
町内の資源回収は利用者が減っているの、町内会の回収は不要、又は回数を減らしてもよいと思う。または、資源回収拠点場へ運べない高齢者などのみ、回収するなどしたらどうかと。町内会の負担を減らさないと、役がやりたくなくて皆やめていっている。
資源回収拠点に行くと、よく回収業者の人と会うが、資源は重くて力仕事であり、一人で対応しているので大変な仕事だと思う。年末や年度末・お盆の時など段ボールやペットボトル・古着などは回収場所からあふれかえってしまうほど集積してしまっていて、見苦しいほどだ。
自治体主催の月1回の廃品回収は、本来、行政が行うべき。超高齢化の今日、自治会運営さえもままならないので市が有料で業者等を使用すべきである。
リサイクルセンターの常設場を時々、利用させて頂いている。分別を手伝ってくれたり、丁寧に教えてくださり感謝である。シルバーの方たちなのかな？
リサイクルセンターのおじさん達にとっても感謝している。
リサイクルセンターの回収時間を～15:30から～16:30に延ばしてほしい。
スーパー等の資源ごみを1か所で完結できるよう、分別種類を増やしてもらいたい。
体温計、残量のあるライターがリサイクルセンターでしか捨てられない。不燃で捨てられればよい。市役所や児童館などの施設でいいので捨てられるようにしてほしい。
資源ごみ拠点場の収集を所定平日木曜から土日に変更してほしい。使いにくく、名和リサイクルセンター常設場以外、一度も使ったことがない。
びんの回収が少なすぎる。
町内会の資源回収は2か月に1度。家の前に出しておけばよいので便利でいい。毎月回収してほしい。
スーパーで資源を出せるのはとても助かる。
スーパーなどに、ペットボトルや牛乳パックの回収場所があって助かる
スチール缶の回収をスーパーなどで行うよう働きかけてほしい。

### ③その他ごみと資源の分別に関する意見等（6件）

資源と思われるびん、缶詰類の入った不燃物袋が出ているため、分別の方法を周知する工夫をしてほしい。
リサイクルセンターへ資源を出しに行く年代にかかわらず、出し方の分かってない人が多いと感じる。まだ持ってくる人はよい方かもしれないため、分別もしていない人はまだまだいると思われる。
高齢世帯や独居世帯が増えてくるので、信頼して要・不要を一緒に分別してくれる（お金がかかってもいいので）システムができるとありがたい。
歳を取ってから今のようにちゃんとごみ分別ができるか不安。
ごみ・資源の有効な活用方法を検討し、広く市民に周知してほしい。
回収後の資源化の内容が見えてこない。

### 3. ごみの収集に関する意見（60件）

#### ①ごみ集積場所の数、ごみ集積場所における収集方法について（6件）

ごみの収集を変えてはと思う。今は集積場所に出しているためルールを守らないごみとか不法投棄が目立つが、戸別収集にすれば近所の目があるためルールを守って出すと思われる。それに従って出す量も分別なく出さないとと思われる。
各自宅の前にごみを出し、回収してほしい。なぜなら、ごみ出しのマナーが悪く、掃除が大変だからである。大高のイオン近くは自宅前で回収していて、ごみの残しもなく、綺麗でうらやましい。今現在、カラスやネコの被害も少なくないしごみ置場の近くの方は大変だと思うため、有料でかまわないから希望者だけでもそうしていただきたい。
名古屋市のように自宅前にごみを出すようにしてほしい。収集場所が選べず遠くに出さなければいけないため、他の収集場所（近いところ）には出せず、名古屋市のように自宅の前に出せばトラブルにはならないと思う。
名和の辺りはごみの収集場所が多いが、加木屋の辺りは少ないように感じる。だが、ちょうどよい距離感でよい運動になっている。
高齢化、老人の一人暮らしにおいて、リサイクルセンターへの持込みはできないので、回収者が回ってくると助かる。持込みできない理由としては、車の運転ができない（免許返納、高齢）、大きな物（重い物）を移動できないがある。
収集場所を増やしてほしい。

#### ②ごみ集積場所における収集日数、収集時間、収集品目について（36件）

段ボールや乾電池も以前住んでいたところはごみ出しと同じ場所に月1回出せていたためそうしてもらえると助かる。段ボールを捨てるのに手段がないため考えていただけると有難い。
年末年始のごみ収集終了・開始日にだいぶ間がある。人件費もかかると思うが、検討してほしい。
不燃ごみの回収を月1回から増やしてほしい。減量推進にはそぐわないことだが、不便を感じている。
プラスチックごみが多い。洗ったりしてしっかり分別するとプラスチックごみがとても多くなる。回収日までにごみを貯めておくBOXがいっぱいになり、フタが閉まらない時が多々ある。回収日が週2回あると嬉しい。
ペットボトル、段ボール、缶など回収頻度が上がれば、宅内ストック量が減り、資源として出そうという意欲向上につながると思う。
ごみの回収日に資源回収もあると嬉しい。段ボールと雑誌が結構溜まる。
紙類はすぐいっぱいになり、部屋の保管場所も山のようになり、ストレスがたまり、泣く泣くごみ袋に入れて捨てたことも多々ある。自宅近くの普段使うごみ収集場所に月1または月2くらいに紙類も出せたらと願う。
アルミやスチールは、資源回収日が少ないので増やしてほしい。
分別するとごみの量が多くなるので、資源ごみの回収を週2回に増やしてほしい。可燃ごみは生ごみがあるから週2回来てほしいが、量としては圧倒的に資源ごみの量の方が多い。
びん、ペットボトルの回収頻度が少ないので（名古屋市は毎週あった）回数が増えるとありがた

い。
缶とびんの捨てる日を増やしてほしい。缶とびんの捨てる時間も。
ペットボトルの回収日を増やしてほしい。
ペットボトル、缶は月1の回収は厳しい。以前住んでいたところは毎週あったため不便を感じる。
以前住んでいた場所は、ペットボトルや缶を週に1回収していたが、今は月1のため、不在にしている日なども多くあり、出せずに困っている。
夏場になるとペットボトルの消費が多くなり、家に置いておくスペースもないのでペットボトルの回収日を増やしてほしい。
プラごみの回収が週1回のため、細かく分類するとかなりの量になり、家の中に置いておく場所に困る。洗っては出しているが、やはり臭いは残る。スーパーでプラスチック容器（トレイ以外）を回収する場所もできたが、家の近くにないためもっと増えるとうれしい。
プラスチックごみの収集は隔週でよいと思う。
資源（新聞紙、段ボール等）を集積場で回収するようにしてほしい。車を運転できなくなると回収場まで運んで行けなくなるので。
可燃ごみの削減のためにも、紙・布類を日常的に多くの人々が利用するごみ集積場所で資源回収してほしい。
近所のごみ出し場で月1回びんを回収してほしい。平日の木曜日午前中になかなか公民館までいけない。いつも出している近所のごみ出し場なら、通勤途中で出すことができるから、とても有り難い。今は、びんが溜まると土曜日に夫が清掃センターまで出しに行っている。
大府市でたまに見かけるごみ捨て場にケースを置いてあるようにびんを資源で出せれる何か手段をごみ捨て場で対策があれば助かる。
指定袋回収所にてスチール缶・ガラスびん等を回収してほしい。
びん、紙資源等も普段のごみ集積所で回収してもらえるとすごく助かる。
資源の日として、ごみステーションにびんや缶などをカゴで集める（回収）する日があると思う。回収場所にもっていくことが面倒なため、いつも出しているごみステーションに出すことができればよいと思う。スーパーはよく行くけどわざわざ持っていくなら、袋に入れて、指定の日に出そうと思う。
衣類の回収（リサイクル）をしてほしい。最寄りのごみ集積場所で、不燃や缶と同じように月1回程でお願いしたい。
びんの資源回収も行なってほしい。
ごみ収集でびん、新聞紙、布、本、雑紙、雑誌などの回収を希望する。
紙パックやびん類も自宅近く集積場所に出せるようになったら助かる。
未使用品限定のごみ収集場所があれば持ち込みたい。ごみにするにはもったいないが、不要なもの割と高価である。おしゃれな「服回収BOX」や絵本の電話ボックスみたいな（透明で中が見える、色がカラフルでポップとか、ギフトボックスみたいな）場所があれば出そうと思う。フランスのように通勤途中に気軽に服のリサイクルを出せるような都市環境ができるとよい。
小型家電や家具、ダンボールなど、ごみ集積場に出せる仕組みにして頂けると助かる。
町内会の役員経験がある。廃品回収の際、早朝から行うため会社員としての休日と考えるとかなりの負担であった。我が家では普段から地域の回収場やポイントの貯まるお店のリサイクルBO

Xなどを利用しており、廃品回収の必要性をあまり感じなかった。町内会役員の負担を考えると、委託や無しにするなどでもよいかもしれないと思う。
可燃ごみの中でも、まだ資源に回せるものがないか。例えば、野菜の皮や卵の殻などの生ごみを資源集団回収日に一緒に回収してはどうか。
ごみ削減に繋がる行動としてはプラの日のごみ出しをもっと細かい分別をしていただきたいと思っている。
ごみを夜に回収にしてはどうか。他の自治体で行なっていて好評のようだし、夜のパトロールにもなる。夕食に出たごみをまとめて出せるので、多くのごみがひとまとめで出せると思う。
福岡市では、ごみ収集を夜に行っていたので、カラスなどにごみが荒らされることなく、まちが綺麗に保たれていた。ごみ袋は、その分高かったが、十分に納得できるシステムだった。
ペットボトルの回収場所が少ないので回収を月1から月2～3回へ増やしてほしい。家での置き場がない。

### ③ごみ集積場所におけるカラス等の被害について（5件）

金属フレーム&ネットなど集積場のカラス対策をしてほしい。近所のマダムが、時々ほうきを持ってカラスに突かれたごみを隅にまとめているが、根本的な解決にならないし、パッカー車が都度簡単に清掃もしていくとなると手間や時間もばかにならないと思う。
ごみ集積場所がカラスにあらされて、すごく汚い。黄色のネットをかけても、上手にごみをつついて出している。どうにか対策をお願いしたい。
ごみの残量とは関係ないが、ごみ捨て場のごみを猫やカラスがあらし、ちらかることがあり困っている。ネットだけでなく鍵付きの小さな小屋みたいなものもつくってほしい。
ごみ収集場所により、ブロックで囲まれている所やネットのみで毎回カラスにあらされている所があるが、公費で設置されている物ではないのか。ネットのみでカラスに荒らされないよう住民間で工夫しているが、何枚もネットがあったり、重たいブロックの重しを何個も移動させてからごみを捨てる手間や雨の日は大変なので、ブロックで囲みカーテンのようなネット1枚の収集場所はごみ捨ても快適だろうなといつも思っている。
可燃ごみの日カラスがごみ袋を散らかす。ごみ置き場や道に散らかす。対策を考えてほしい。

### ④その他ごみの収集に関する意見等（13件）

町内によっては、ごみの回収場所の清掃当番があるがやる方とやらない方がいる。
いつも回収ありがとう。
廃棄物処理して下さるすべての方にとっても感謝している。
いつも回収ご苦労様。ありがとう。これからも丁寧な回収を続けてほしい。よろしくお願ひします。
自分たちでは処理できないもの（ごみ）を日々処理していただけていることに感謝している。ありがとう。
ごみ収集していただき、ありがたい。ごみ収集があるためにきれいに生活ができている。暑い日、寒い日、台風関係なく回収していただき感謝している。身体に気をつけてこれからもよろしくお願ひしたい。

ごみ袋もあり、雨降り、雪など、関係無く、ごみの収集もしっかりとやってくれてるので、清潔に過ごせている。感謝している。
時々回収されずに残っている時がある。後で見に回る事はできないか。動物のエサにもなりかねない。地域の人達が時間をまもればよいのだが気になる。
大型の粗大ごみを出す時に事前に清掃センターへ連絡するのだが、その時にごみ捨て場をスムーズに伝えられるように、ごみ捨て場に名前や番号、記号など付けてほしい。ごみ捨て場の場所を伝えるのに毎回時間がかかる。
近くの集積所での資源回収があるのを知ってはいるが、決まった曜日に出すことをついつい忘れがちである。年を取ったらなおさら忘れそうなので、前日に案内がきたらいいかも。
高齢世帯の「終活」がやりやすいよう（回収）（リサイクル）（手法）があるといい。
可燃ごみの日とプラの日が分かれてる理由を明確にしていきたい。ごみ焼却の際には、同じ窯で焼却していると聞き、ごみの分別をしている人からすると納得がいかない。
赤ちゃんがいる方や夜勤の方とか、近所迷惑賛否あると思うが、パッカー車が来たよという音があってもいいと思う。忘れていて、慌てて出す人もいると思う。

#### 4. 食品ロスに関する意見（2件）

興味はあるが、フードドライブの方法が分からない。気軽にできるようになるとよい。
フードドライブの取組みを広げて行ってほしい。いつ？どこで？何を？が分かるように。

#### 5. ごみ指定袋に関する意見（141件）

##### ①ごみ指定袋の価格について（8件）

東海市のごみ袋代はとても高く設定されていると思う。とても買おうとは思わない。
購入1枚あたり100円は高すぎる。
購入が高すぎる。
有料のごみ指定袋が他の市よりも高すぎる。
指定袋が高すぎる。せめて10枚で500円くらいにしてほしい！
ごみ袋1枚目から有料にする場合は、名古屋市などのように購入しやすい価格帯でお願いしたい。
もう少し、ごみ袋の金額を下げしてほしい。
ごみ袋が高すぎる！！高額過ぎて東海市引越してきてびっくりした。どうかお願いしたい。メルカリで”東海市”と検索するとごみ袋がワードで1番に出てくる。そのくらいみんな欲しがっている。市はもっとバランスを考えてほしい…高値でも取引されているし、可燃ごみ袋高すぎ！
指定袋の追加の1枚単価が高すぎる。1枚100円、10枚1,000円。指定袋の配布枚数が世帯人数に比例していないし、引換えも大変なため、スーパーで1枚10円（参考：名古屋市価格）で購入する方法がよい。

##### ②ごみ指定袋の配布枚数について（55件）

ごみの減量には賛成だ。今のままでできるだけ努力していきたいと思っているが、草用のごみ袋を別に用意していただけるとありがたい。近所に迷惑のかからないように、こまめに草取りや木
--

<p>の伐採をしていると、配布してもらった可燃袋があつという間に無くなる。草用に使わなければ、ごみ袋は十分足りると思う。木材リサイクルが新たにできたようだが、そこまで運んで行く草もない。業者に頼んだり、トラックを借りればまたそこで料金が発生する。草木は生き物だ。毎日生え、伸び、成長する。コンクリートにしても横からでてくる。定期的に普段のごみ捨て場で回収していただきたい。年に数回でもかまわない。朝のごみ袋1枚30円程度くらいなら購入も考える。他の資源ごみの袋はあるのにといつも思っている。どうか、草用のごみ袋が欲しい。もしくは、草に対しての手軽な方法を考えていただきたい。透明なごみ袋ならそのままごみ捨て場に持って行って回収してもらえるなど。だめだろうか？</p>
<p>その年によって使う枚数がちがう。余る時もあれば購入したこともある。</p>
<p>なぜ配布枚数がそのようになっているのか理由を明記すべきだと思う。</p>
<p>プラスチックの黄色の袋でも、透明袋が使用できるならもう少し減らしてもよいと思う。</p>
<p>資源用のごみ袋は以前のように枚数制限なく追加配布してほしい。</p>
<p>昔は子どもが3人居たため袋が足りず10枚1,000円で貰っていた。今は1人で、袋は大丈夫だが、家族が多い所は大変かもしれない。</p>
<p>年に1回もらう指定袋は、ニーズと配布枚数が合っていない。資源用（黄色）と不燃用（青色）多いため、その場で必要枚数のみ貰い、多い分は貰わないようにしている。個人的な意見だが、我が家では可燃用（白色）が不足気味であるため、不要として貰わなかった分を他の必要な袋と交換できるようにしてもらおうと効率的で助かる。</p>
<p>不燃ごみ青袋に入れるものは、それほど多く出ないので袋の枚数を半減し、その分可燃ごみ袋を増やしてほしい。</p>
<p>分別の意識が高まるため、現状のままの枚数配布でよい。</p>
<p>各家庭で余る袋が増えてきたとあるが、その余った袋を年に一度のごみ袋配布時に持参すれば何かと交換できる（例えば市民が喜びそうなクーポン券とか）などの取組をすることで転売も少なくなるかもしれないし、ごみ袋の製造費も減らせるといいなと思った。</p>
<p>余ったごみ袋を回収してもらえると、必要枚数の把握等にも役立つのではないかと思った。また、回収したごみ袋の枚数に応じてポイント化して、そのポイントを何らかに役立てられればごみ削減の意識向上につながる気もした。回収したごみ袋は一般家庭に配布する袋としてリユースに向かないようであれば、町内会等の自治会に配布するごみ袋に活用する方法もあるのではないかと考えた。</p>
<p>ごみ袋が余ったら返したり、翌年の不要分はもらわないなどをもう少しアナウンスする。うちは不燃が余っているためここ数年もらっていない。返せる、もらわない選択ができることを知らなかったり、交換時にめんどくさくてそのままもらう人達はいると思う。一定数返したら、クーポン（東海市内のお店で使えるもの。無料ではなく割引クーポン）もらえる等で積極的に返したくなるような仕組みづくりもよいかも。</p>
<p>ごみ袋が余ってどうしたらいいかわからないまま、溜め込んでしまっている。回収や育児の情報が分かりやすく提示されたらありがたい。</p>
<p>配布のごみ袋が毎年余り、在庫が増える一方なので余ったごみ袋を何かと交換してほしい。</p>
<p>資源用の袋も週一枚くらいの使用で、ペットボトルなどはスーパーの回収に出している。なので、余っていたので3年くらい前から返却していた。</p>

不燃用指定袋はほとんど毎年余りに余っている…。
我が家の場合は、頂いたごみ袋の2/3くらいを使用し、3年に1回くらいは配布を受け取らないといった感じだ。なので、無料の配布枚数はもう少し少なくしてもいいと思う。
ごみ袋の配布枚数が決められているため、購入しなくてもよいようにごみ削減を意識している。
不燃用指定袋と資源用袋は枚数が多いと思う。
有料の袋は、値段をもっと高くした方がごみの削減につながると思う。
配布枚数内で、不要な物を必要な袋と交換・返品するなど流動的にしてもらいたい。可燃袋を資源袋にしてほしい。不燃袋を粗大ごみシールになど、時期により必要な物が変化対応していくため。各家庭、人数は同数であっても世代が違くと、袋の必要品数も違ってくるので、考えていただけないだろうか。
不燃の青袋を利用していない年もあった。この場合、未開封のごみ袋を他の種類のごみ袋へ変更とかはできないのか。未開封の不燃青袋を可燃ごみ袋に変更。
ごみ袋配布時に余ったごみ袋の回収もあるが、資源ごみ用・不燃ごみ用ごみ袋と燃えるごみ用ごみ袋の交換ができるとありがたい
世帯人数が1人増えるだけでもごみの量は変わる。区切りは1人単位でわけてほしい。世帯人数3人と2人が同じ枚数なのはおかしいと思う。年齢や家族の事情などさまざま。ごみを減らすことを頑張っているけど日常生活のごみは人によって違うので…。
家庭の人数によって配布する袋の数量を変えたり、予め何枚程度使用するのかを選択して、余らないようにできないのかと思った。もちろん上限枚数は設定して。
2人家族と4人家族でごみ袋が同じでは変だ。
家族が増え、2人世帯から3人世帯になったがごみ袋の配布枚数が変わらないので1人増える毎に変わるようにしてほしい。
ごみ袋の配布数だが、2～5人世帯の配布数が一緒なのはおかしいと思う。
私は4人世帯だが、毎回可燃用指定袋が全く足りない、2人～4人世帯において配布枚数が同じなのはおかしいと何年も前から感じているし、以前のアンケートでもお伝えした。せめて可燃ごみを週2回出せる分の枚数は配布するべきだと思う（追加で自費購入するごみ袋が高価すぎるため）。それが無理であれば他自治体と同じ程度の価格で1枚目から有料で販売していただきたい。その方が公平である。現制度が変わらない場合でも、2人世帯・3人世帯・4人世帯で段階的に配布枚数が増えるようにしてほしい。ごみの残量は日頃から心がけているが、4人世帯には配布数が少なすぎると感じている。
粗大ごみを捨てる時に貼る黄色のシールは年12枚くらいいる。月に1度は捨てる物があるので。そうすれば不法投棄が減ると思う。
粗大ごみのシール全然足りない。最低でも15枚はほしい。
ペットの居る家庭においては、ごみ袋が足りない。余る家庭もあるようなので、譲ってほしい。
ごみ袋の枚数も3人が税金を払っているのに、量が少なすぎる。
大人用オムツ、赤ちゃん用オムツの使用枚数が多く、ごみ袋が足りなくなった。
一年の1回配る燃えるごみ袋をもっと増やしてほしい。
ごみ袋を配布していただけるのはありがたいが、枚数が少なすぎると思う。プラと分別しても子どもが居る家庭は、お絵書きしたり、工作したりとごみが増える。せめて小学生がいる家庭には、

もう少しごみ袋を増やしたらいいと思う。子育て世帯からの意見である。
可燃ごみの袋は毎年全然足りない。もっと枚数を増やしてほしい。
可燃物のごみ袋の支給量をもう少し増やしてほしい。
資源化を推進するのであれば、家庭で出た物を資源としてすぐに出せるよう、黄色のごみ袋の配布枚数をはじめから多くしてほしい。40枚配布では全く足りない。
ごみ袋の枚数を増やしてほしい。
不燃ごみの袋が少ないので貯めてから出しているが、場所を取るため配布枚数を増やしてほしい。
ごみの量を減らしても、可燃ごみ（生ごみ）は、家の中においておくと臭いので、週2日必ず出したい！ごみ袋配布量を増やしてほしい。時期によって増える。
時々、近所のごみ拾いや収集所のごみ集めをしているため、可燃用のごみ袋の余分があると助かる。
資源ごみ袋の配布枚数をなぜ減らしたのか疑問。指定でない袋でもOKというが、レジ袋を貰わなくなった昨今、そのような袋のストックが無い。分別推進と逆の対応のように思える。
年1回の配布日に、枚数を変更してもらえるとよい。
必要に応じ、指定ごみ袋の枚数を増減できるようにする。余った袋は、ごみとなる。
配布の枚数をもっと少なくしてもよいと思う。もしくは、資源用だけ配布するとか。他のまちから越してきた身としては、無料配布と購入価格の高さに感心した。前の所は10枚数百円から数千円の所もあった。どの町も資源化が進まず、ある町は焼却施設が優秀すぎて不燃物すら燃えてしまうので、全て可燃ごみだった（今はちがうかも）。子育て世代を応援すると言って、指定袋の値下げをしまい、資源化が進まないなんて事も。なので、10枚1,200円には驚いたが、配布分で全然足りるので、すごく理にかなってるなどと思った。枚数の調整とかで何とかならないかと思った。
配布するごみ袋の量を減らして、それ以降は有料にするとごみ袋に使う税金が少なくなると思う。
現在の制度はそのまま配布枚数を見直すとよいと思う。家庭によって余る指定袋の色に違いがあることを世間話で気づいた。ずっと東海市にいる世帯はこれまでの資源袋の在庫が溜まっている所も多く、配布数の基準を厳しく算定してもよいと思う。
ごみ袋配布数の見直ししてはと考える。家庭人数、構成別で全体的に減らせるのではないかな？
ごみ指定袋の配布は続けていただきたいが、資源ごみ用、不燃ごみ用の袋の枚数は減らしてもいいかと感じている。
ごみ袋の配布量を減らし（例えば今の8割ほどにしてみる）、より限られた量に収めるために削減させるようにする。全て有料にすると、自由な袋でごみ出してしまう懸念あり。足りない分を購入にすればよいと思う。
可燃袋（小）より中の枚数を増やしてほしい（単身世帯）
今まで20Lと40Lのごみ袋を配布されていたが、40Lだとちょっと余るので30Lに交換して使ってみたら、30Lがちょうどいい大きさだった。これからも30Lをメインに使ってほしいと思う。各家庭に必要な大きさも異なると思うので見直してもいいのではないかな。
ごみ袋大、ごみ袋小だけでなく、ごみ袋中も配ってほしい。

### ③ごみ指定袋の仕様について（8件）

缶、不燃の袋は小さいタイプがあれば助かる。一部、透明な袋も使用可能となったが、自己負担なので、結局、黄色い袋を貰いに行っている。
黄色や青の袋についても、こまめに出せるように小さいサイズをつくってほしい。
缶やびんなど量が少ない時、大きな袋を1枚使うのはもったいないし、かと言ってたまる程待ってもいられないため結構困る。可燃のように20Lあると助かる。
ごみ指定袋可燃10L、資源10L・20Lのサイズがほしい。資源は種類ごとに別々の袋に入れるようになっているが、めったにスプレー缶等出ないのでいつまでたっても出せないし40Lの袋にスプレー缶1つだけなんて袋がもったいない。だから、常設場に持ち込んでいるが、小さいサイズの袋があったらな、と思う。もしくは種類ごとに分けない。もしくは、1つ2つだけなら袋なしでOK…とか。
缶も年に2～3回出しているが、においがするため早く出してしまいたいのだが、資源袋が大きすぎて、まだもったいない気がして、たくさん溜まるまで保管している。缶など用に小さいサイズの資源袋もえらべるとよい。ビニールの資源は、週1回だし、ちょうどよいサイズである。
ごみ袋作製費が年々増加とあるが、もちろん1袋1枚つくるのに、手間も時間もかかるのは分かるが、東海市のごみ袋はすぐにやぶれやすいという印象で、そのような品にどれくらいのお金をかけているのかと思う。
不燃ごみ（青袋）の強度が弱い。内容物によっては穴があく、破れる。
東海市のごみ袋はいくらただでも悪すぎる。少し重い物を入れるとすぐ伸びて破れる。ごみを増やしている。材質が以前より悪すぎる。いい加減にしてほしい。

### ④ごみ指定袋制度について（56件）

人口が減少する中、袋作成費が莫大な税金が使われ続けていくのであれば知恵が必要。
東海市のごみ袋がオークションで出品されている。他の自治体でも問題となっていることもあり、検索したところ、出品が確認できた。このような状況が散見されるようであれば、有料化に踏み切っても問題はないかと考えている。
袋をメルカリなどで売っている人に対しては何か対策を講じてほしいが、例えば売らなくてもいいように、ゴーカートやプールの1回券と交換できるようにするなど、東海市の施設を安く利用できるようにしてもいいと思う。
1枚目からの有料化には抵抗があるが、今より配布枚数を減らして自己負担分が増えることには賛成である。配布数が減れば、ごみの削減を意識しようと思う。
可燃ごみだけ有料化にする。ほかのごみ袋も店頭販売にして、引換券を持って店で必要枚数交換するようにしてはどうだろうか。不要時の捨て方を考えてから購入をするという考えを持ってもらえるようになるといい。
現在の制度を続けることを希望するが、問30-2「有料化の理由」の選択肢についても納得はできる。
ごみ指定袋にかかる税金が増え続けるのなら、各家庭でのごみ袋購入も仕方のない事なのかなと思う。
ごみ指定袋の配布に伴う費用分は市民税から徴収しない。その上で、ごみ指定袋を1枚目から個

<p>人負担とする。</p>
<p>他県から移住したが、東海市はごみ袋配布があり、恵まれていると感じた。そして、無料配布であるため、追加購入したくないと思い、ごみをなるべく配布枚数分の量に抑える工夫をするようになった。一時はいらぬ紙類も丸めて可燃ごみとして捨てておりかさばっていたが、常設資源回収場があることを知ってから、ある程度まとめて資源回収に出すようにした（段ボールやチラシ、雑誌類）。ペットボトルや牛乳パックなども、スーパーの一角で回収しているため、買い物のついでにすぐに出せるし、家の中にも溜まらないし、リサイクルになるのであれば利便性がよくとてもよいシステムだと思う。ごみ指定袋を配布することのデメリットとして、ごみの削減が一定以上見込めないとあるが、ごみ袋を全部有料にしてしまうと、そもそも購入したくない人や購入できない人が指摘ではない袋で出したり、不法投棄のようなものが増えたり、公共施設や民間企業のごみ捨て場に家庭ごみの持込み等が増えるのではないかと思うので、なるべくごみの無料配布は続けてほしい。減らすにしても、せめて初めのワンセット程度は配布しておいてほしい。</p>
<p>ごみの指定袋が無料配布なのはごみの量削減につながっているため続けてほしい。</p>
<p>ごみ指定袋以内に収めるように努力している。有料化にすればよい。今でも、指定袋の配布前に袋が足りなくなった人が違う袋で出している。それをカラスがさばき、そのごみが家に入ってくる。片付けるの大変だ。</p>
<p>ごみ袋購入か配布か、どちらでも従うが、東海市は住民税が高いと聞いている。ごみ袋の購入に変えた事によって、街中が不法なごみであふれるような事は避けてもらいたい。</p>
<p>袋の費用負担に反対の人もいると思うため、必要に応じて市民からのアンケートや統計を取って、必要最低限の配布枚数とし、それ以上必要な場合は、各自で有料化としてはどうだろうか。そうすることで、無駄な枚数の袋を製作配布することなく、各人のごみの減量及び資源化意識も高まるのではないかと思う。</p>
<p>東海市に引っ越してから10年くらいだが、1度もごみ袋を購入せず済んでいて感謝。もらえる範囲内だと思うと自然とごみを減らそうと思うので。購入する面倒がないのは本当に楽だ。もし袋を購入ということになるなら、名古屋市位に（10年位前安かったのが今は高い？）安いとよい。この物価高、家計も市の財源もやりくりが大変だが、より良くなっていければと思う。</p>
<p>名古屋市のように普通に自分で袋を購入して気軽に捨てたい。袋に命掛けすぎ。</p>
<p>家族が多いため、毎年配布数で足りるかハラハラしながらごみを出している。でも、そんな気持ちがなくなり、好きなようにごみが出せるなら有料化に賛成である。</p>
<p>高齢化が進んでおり、高齢世帯ではごみ袋が余ると思うが、一方で子育て世代ではごみ袋を使う頻度が多くなるケースが多いと思うので一定数の無料配布を行うことに賛成だが、バランスの問題が生じているのではないかと？世帯の年齢構成により、配布枚数を調整しなければいけないと感じている。ごみ袋の過剰、過少配布の調整が難しい場合は他の自治体同様、1枚目から有料もやむを得ないと思う。</p>
<p>毎年ごみ袋が多いと思っていたので配布枚数を少しずつ減らして、数年後に1枚目から購入というように変更してもいいと思う。ただ、幼児がいたりするとオムツでごみ袋を消費するので、介護している人や子育て世帯になにか補助があってもいいと思う。</p>
<p>ごみ袋は有料化してもいいのではと思う。必要な枚数を買って求める方が分かりやすく無駄も出ないのでは。現状は自宅に大量のごみ袋のストックを置いておかなければいけないので、保管スペースを取るのが悩ましい。一年で使いきれない場合はどんどん在庫が増えていくので、ごみを入</p>

<p>れるための袋が結果的にはごみとなっていき、それに費やされるたくさんの税金がもったいないと感じる。</p>
<p>ごみ袋は、有料化が普通なのだろうが、あまり高価だと買わない人が出て、余計にごみの散乱が起きる可能性があると思う。できるだけ安価なら賛成である。高価だと、今でも缶・ペット等のルールを守らずにごみ出しする人もいるので、余計にそうした人が増えるような気がする。</p>
<p>もしも1枚目から有料にする場合でも、すでに配布済のごみ袋（無料のもの）も、なくなるまで使えるようにしてほしい。</p>
<p>現在2人家庭で、ごみ袋の適正配布で、年金家庭にはとても助かっている。ごみを出す量が少ないとは言え、1枚目からの有料となると厳しいと思う。</p>
<p>ごみ袋は有料化した方がよい。そのために莫大な税金が使われていることに驚きである。人によっては、ごみ袋を使い切れていない世帯も数多く存在していると想定されるため、他の自治体のようにすべき。</p>
<p>ごみ袋は配布量が多過ぎて、倉庫に溜まってきているので、最近はあまりもらいに行かないようにしている。もし有料化になれば、倉庫のごみ袋も片付いてよいかもかもしれない。</p>
<p>ごみ袋が無料なのはありがたいが、1枚目から有料になれば、リサイクルに持っていく（ごみ袋を使用しない）機会が増えると思う。実際に、自分がそうしているので、その分税金が安くなった方が嬉しい。</p>
<p>ごみ袋が有料になるのは、ある程度仕方ないと思う。今無料配布されている袋がそのまま有料になると割高になるならば、無地の袋を良としていただきたい。</p>
<p>一度高価な指定ごみ袋をやめて、可燃、資源、不燃を統一した安価な透明袋に変更してみてもどうだろうか？各家庭に配布する袋の枚数制限はそのまま、配布された袋の可燃、資源、不燃の配分は各家庭の裁量に任せて、足りなくなれば市販の安価な透明袋を各家庭購入という形で。であれば、袋変更によるごみの増加も抑えながら、節税もできないだろうか？市民にごみの分別や減量の意識が浸透しているのであれば、袋が変わったからといって、ごみを多く出すようになるとは思えない気がする。市外から持ち込まれたごみの区別がつかなくなるため、そのような悪意ある行為によりごみが増える可能性もあるが。</p>
<p>最終的には、ごみ袋の有料化は必要だと思うし、賛成ではある。ただし、非課税世帯への費用負担に対する配慮が必要。</p>
<p>追加購入にばったくり価格支払わせるくらいなら、最初から公正に適正価格で有料にしてもらうほうがいい。</p>
<p>有料袋制度にすると、不法投棄が多く発生し衛生上及び道徳的にも問題発生。カラス対策にも悪影響となる。まちの美化が下がり、後始末に行政が翻弄？</p>
<p>アンケートの内容に袋の有料化のこともあったが、1枚から有料化して本当に市税が下がるなら、それもいいと思う。</p>
<p>分別を促すためにある程度の有料化を行い、分別することにメリットを生じさせることができればよいと考える。</p>
<p>有料にしてもらってもいいが、車（自家用車）を使用しなければならぬような負担を減らしていければと思う。ごみを捨てるのに決まったもののチケットを有料で買い、出すのは近場に出せるといい。ただ、有料が増えてごみ屋敷が増えるのは困るため、衛生面ではみんなが困らないよう無料の方がいいのではないかな。</p>

<p>せめて、今現在配布されている枚数を2/3ぐらいにして、足りない分を購入するとかにして。最初から全額負担は厳しい。白色（可燃用指定袋）は減らさないとビニール、プラスチックごみを分別しない方が増えると思うため、白色はもう少し減らしてもいいと思う。（足らなかつたら有料になってもしょうがない）</p>
<p>ごみの減量、資源化を推進する目的が、市の財政負担を軽減される事を、目的と考えるなら、本来の「とうかい3R」の主旨とは相違すると思う。「ごみ袋作業費」の削減には市役所とごみ袋請負企業との間で、ごみ袋作成に対しての規定・基準を設定されていれば、基準緩和する事も必要かと思う。</p>
<p>無料配布はとてありがたい。感謝している。配布枚数におさまるよう資源となるものは分別しているため今後も無料配布を継続して頂きたい。</p>
<p>ごみ袋の無料配布はとてありがたい。費用負担は生活費の負担が助かる。今後もしもできれば継続してもらいたい。</p>
<p>他の自治体に住んでいた時、袋は有料だったが、今の無料配布は助かっている所以今後も続けてほしい。</p>
<p>いつもありがとう。ごみ袋は無償化のままがいい。</p>
<p>東海市に引っ越してから、ごみ袋が無料で配布されていることに感動した。可能であれば続けていただきたい。</p>
<p>東海市の指定袋には大変助かっている。</p>
<p>指定袋は続けて頂けると子育て世帯として助かる。</p>
<p>ごみ袋が配布されることで、購入する手間がなく助かっている。共働きのため、買い物する時間さえもないときがあるので、この制度はとてありがたい。これからも、この制度を続けていただきたい。</p>
<p>ごみの指定袋を無料でいただき、感謝している。できる限り配布された枚数で頑張るので現状でお願いしたい。</p>
<p>ごみ袋をいただいてとて助かっている。今年子どもも産まれてごみも増えてよかった。ありがたい。</p>
<p>1年間のごみ袋を配布してもらえするため、1年分の目安になっていてとて助かっている。</p>
<p>有料には反対。他に経費削減できることがあるのでは。</p>
<p>ごみ袋の有料化はやめてほしい。</p>
<p>ごみ袋を有料化すると、別の問題が大抵生じる。スーパーなどへのごみ捨て、ポイ捨て、違う袋での置き捨てなど、キレイなまちでなくなるので現状でよいと思う。心理的に無料でもらったごみ袋だけでやりくりしようと思えるからがらりと変えると名古屋市のようにカラスにつつかれたり、ごみが散乱したり、汚ない。イメージダウンになる。東海市は潤っているまちのイメージなのでお願いしたい。</p>
<p>我が家は毎年ごみ袋が余っている。指定ごみ袋作成費が増加してたくさんの税金が使われている事を知り、余剰していくばかりのごみ袋の置き場と無駄な費用負担を考えると、指定ごみ袋配布方式であっても少しずつ改良をしていく必要があると思う。</p>
<p>市はごみ袋を有料化して市民から金を取りたいのか。それなら、無駄に豪華な市の施設も、メンテ費用のかかる建物をやめたらどうか。隈研吾の建物、太田川駅の一般人が使えないロータリー、</p>

<p>聚楽園の使いにくい高架橋など無駄ばかり！！（関係ないこと書いて申し訳ない。なかなか訴える所がないため書いた。）</p>
<p>未開封のごみ袋（白・黄・青）を有料で引き取ってくれるというのはどうか。諸物価が値上がりをしているので。減ってくれるかもしれない。ということで、次年度の報告（広報）を楽しみにしている。</p>
<p>今後もごみ袋の無料配布を続けてほしい。</p>
<p>ごみ袋の配布への税金の使い方は東海市民にとっては必要な支出だと思う。何とか美しく保っているからだ。</p>
<p>ごみ袋は必要経費。税金の無駄遣いではない！</p>

### ⑤その他ごみ指定袋に関する意見等（14件）

<p>ごみ指定袋の引換えに行くのが、とても大変。受取場所も遠いし、かなり重い。お年寄はどうしているのか？自分も車もなく年を取った時に不安になる！！</p>
<p>ごみ袋は指定のものではなく、市販のポリ袋にしてほしい</p>
<p>無料で配布されているごみ袋をフリマアプリ等で販売している者に対しては、罰則を設けるなど厳しく対応してほしい（税金で作られて無料で配布されたものを販売し利益を得るなんて言語道断）。</p>
<p>ごみ袋を配送してほしい。</p>
<p>一般ごみの削減に努力しているが、庭が広く草や枝の処理に苦勞している。草は透明のビニール袋で出せるとありがたい。リサイクルセンターまで遠いので、一般ごみで出している。</p>
<p>草（雑草など）を可燃ごみの袋を使って捨てるのではなく、透明又は半透明の大きい袋を使うのもOKにしてほしい。わざわざ自分のところの可燃ごみの袋を使って、隣の空地の雑草を刈ってやりたいと思わず、のび放題になってしまっている。</p>
<p>自営業の方がごみ袋に困っている話も聞いたので何か対策してほしい。</p>
<p>できれば袋を自由に選べるようにしてほしい。</p>
<p>なぜ指定のごみ袋にする必要があるのか。可燃ごみの白い袋に入れるくらいならスーパーやコンビニの袋でもいいのでは。</p>
<p>分別がキチンとできる地区については、各袋を区別せずに統一し、袋の有効活用を図ってはどうか。</p>
<p>年一で行っているごみ袋の受け取りも、かなり人手がかかっているように受け取ったため、こういった作業はやめるべきだと思う。</p>
<p>ごみ袋の配布日が2日間しか設けられておらず、仕事を休まないといけないため2週間程度設けてほしい。</p>
<p>創造の杜交流館でごみ袋の配布をしてほしい。</p>
<p>共働き世帯でも、足りなくなったらもらえる仕組み（夜間、休日窓口）をつくった上で、配布量を減らせばよいのでは。逆の順序では不法投棄が増える。</p>

### 6. アンケートに関する意見（13件）

<p>アンケート、長い。負担だ。でも協力しなければと思って記入した。</p>
--

アンケートの内容がよく分からない。
昨年も書いたが、このアンケートの用紙などの資源が一番無駄だと思う。WEB 回答をすすめるべきであり、そのために紙を使うのも違うと思う。税金の使い道が正しくあってほしい。
このアンケート自体が資源の無駄使になるのでは？
なんで紙なのか？SDGs とは？ペーパーレスを知っているか。これこそごみである。電子アンケートにしよう。
アンケートに回答することで、ごみ出しについて考えられた。市においても考えていることが分かり、よい方法で見直しがされればと思う。
ごみ減量・資源化については取り組んでいるつもりだがごみ袋に関してはあまり気にしていなかったため、このアンケートに参加させていただいてとても考えさせられた。
ごみの減量に対するアンケートは必要だと思うが、何故ごみ袋作製費が高くなるのかが分からない。また、市役所としてどう対応する予定なのか、単純に市民に負担される事を前提とした今回のアンケート調査なのか。もう少し、作製費の削減できる工夫が必要だと思う。
ごみ袋無料配布が当たり前で生活していたが、ごみの排出量が年々減っていて、ごみ袋作成費が値上がりしているという現状を知らなかったなので、このアンケートで知ることができてよかった。
たった2,000人の1人に当たって、一応回答はするけど、運を勝手に使われた感じがして損した気分。この運は他に回したかった。
どうして夫ではなく、妻の私にだけ調査がきたのか。
今後も機会があれば調査に協力したい。
問25の選択肢に「市のアプリ東海なび」とあるが、廃止されているので選択肢から外すべきかと思う。

## 7. その他ごみの減量・資源化に関する意見（60件）

### ①生ごみの堆肥化などによるごみの減量について（17件）

家庭内で生ごみ処理機を増やす。
もっと、生ごみコンポストなどの取組を広げる活動など、あってもよいのかな？と、思う。
生ごみが資源になればよいが、EM処理や処理機を使っても使用する場所には限度がある。
社宅（集合住宅）のため、生ごみ処理容器等の設置が難しい。興味はあるがこういった世帯向けに何かできる方法はないだろうか？
生ごみや野菜クズに庭に穴を掘ってそこに入れている。いっぱいになったら隣に穴を掘る。腐葉土にして野菜を育てている。
食品のごみは、裏庭に捨てている。
自分は生ごみについてはほとんどコンポストへ入れて堆肥化している。ある程度の庭があるのでできるが。できれば市でも、堆肥化施設などを作り、木の剪定枝葉や生ごみを堆肥化し、土へ循環させる取組が、あればと思う。
町内会などで、2～3か所生ごみを堆肥にするコンポストを置いて生ごみを各家庭から持ち寄って堆肥作りをするのはどうだろう。燃やすよりよいのでは…。
生ごみを肥料とか飼料にする設備を市が運用して販売までを推進するのはどうか。市が持っている

<p>る土地に大きいコンポートを置く設備を作り上に返す。どれもお金はかかるが。</p>
<p>コンポストを自宅に設置して、燃えるごみ週2→週1にすることができている。コンポストをやりたいと思っても、どう始めたらいいかわからずだったが、「YACYCLE」(ヤサイクル) (ぜひ検索してみて!!) の仕組みを利用して始めることができた。</p>
<p>可燃ごみ削減のため生ごみ乾燥機を購入し、実際にごみ袋の年間使用数の削減に繋がっている。ごみの嵩が軽減したり、水分がなくなって臭いや虫の発生が激減したりするため、こまめなごみ出しの必要がなくなる。</p>
<p>野菜くずなどの生ごみなどは捨てるのがもったいなかったり、夏場は虫がわいたりして困っているので、手軽に使えるようなコンポストなど解消に役立つ物や情報があれば大変助かる。</p>
<p>EM処理剤、生ごみ処理機をよく聞くが、使い方、費用、大きさなどあまり分かっていない。ごみ袋交換の時など、見本を置いていただいたり、使い方のアドバイスなどがあれば使ってみたいと思う。お手入れ方法など、設置後の手間がかかるのではないかと考えて取り入れていない。</p>
<p>生ごみ乾燥機を購入にあたって金銭面がネックだったため、東海市にも他の自治体のように助成金があれば有り難かったなという思いがある。</p>
<p>他の市でも導入されている生ごみ処理機の補助金制度導入を検討していただけると助かる。</p>
<p>生ごみを土にできる機械を市から無料でレンタルさせてほしい。</p>
<p>家庭に生ごみ処理機を無料配布したらどうか。</p>
<p>最近、大型スーパーなどで、古着の回収が始まっているようだ。5点くらいで次回使える衣料割引クーポンがもらえたり、衣料トランクに回収する形だったりするのだが、発展途上国に持って行ったり、災害があった時などの一時的な衣類として、生かされるのなら今後考えてみたい。</p>

## ②ごみの減量・資源化のための啓発、情報発信、意識改革について（16件）

<p>ごみの削減を推進している理由を伝えるように伝えてほしい。</p>
<p>子どもから高齢者まで対象にした分かりやすいごみ減量講座の拡充を希望する。</p>
<p>各家庭や1人1人の意識でごみ減量はもっとできると思う。広報や市役所の出入り口などやポスターなどで、もっとよびかけたらよいと感じる。やらないよりは、よいような。</p>
<p>リサイクルの達人の方にこのように分別、リサイクルしているとお手本を見せていただいたり、市民にインタビューや取材して広報にのせてみては？</p>
<p>リサイクル量も場所別でどのように推移しているか知らせるべきだと思う。</p>
<p>自然や環境を身近に感じる体験が、自然や環境を大切にしようと言う気持ちにつながると思う。一方で、製鉄所の煤塵などをはじめとした、工業化に由来する問題を抱えた自治体でもある。他の自治体よりも、より力を入れて環境学習や自然体験などの機会を増やす事が、長い目で見た時にごみの減量や資源化に繋がるのではないかとと思う。</p>
<p>ごみの減量はやってる人はやっている。</p>
<p>ごみの問題は、個人の意識に左右されると思う。ごみ箱があるにもかかわらず、その辺に捨ててある光景を見ると悲しくなる。一方で、近くに資源ごみの場所がなかったり、徒歩で移動する人にとっては難しいこともあり、地区によって環境の差もある。また、一人暮らしや家族で暮らしている方、新生児や高齢者のいる家庭では、おむつの廃棄など、ごみを減らしたくてもできない方もいる。外国人の問題も大きい。字が読めない人もいると思う。本当に、個人の意識レベルで</p>

はないかと思っている。物を大事にするという意識も薄れているように感じる。
意識することがとても大切だと思う。フードドライブ、リサイクル等自分でできる事は今後も続けていく。
環境にも配慮が必要だと思った。少しずつでも自分が取り組めることを実行していきたいと思う。
子どもが2人いるが、一戸建ての家に住んでいる上の娘はプラ資源と可燃ごみを分別している。賃貸の住宅に住んでいる下の娘は分別しても置く場所がないと言っている。一戸建てに引越したら分別するそうである。
少しでもできる事として、リサイクルセンターを常に利用しており、リサイクルに心がけている。これからも続けていきたい。
ごみの資源化は、実際にどのように資源化されているのかが分からないまま、ごみの資源化に取り組んでいる人が多いのではないかと思う。1年に1度でいいから、広報に写真で掲示すると、理解が深まり、資源化を意識していけるのでは。
そもそも、ごみが増えると何が悪いのかあまり想像できていない。地球温暖化？財政？消滅すればどんなよい事があるのか。増えればどんな悪いことがあるのか教えてほしい。市民の目に入るところでアピールすればよいと思う。自分に害がないと思うから、ごみをどんどん出してしまう。小学校の時にごみ収集場に見学に行き、燃やした後の灰が積み重ねられていく光景を見て少しヒヤリとした記憶がある。やりすぎは良くないが、選挙会場にごみで溢れかえった海の写真を貼ったり、小学校の学習に入れたり、身近な所でしれっと意識させるような映像を見せればよいと思う。お金の問題であるならば、今回初めて税金負担が増えていることを知ったので元東海市の広報（トウカイ？）に載せればよいと思う。自分の住んでいるまちが貧しくなるのは嫌なので、少しずつ協力できることはすると思う。
ごみや資源、環境保全の問題は難しいが大切。周囲を見ると、おおむね良く対応していると思う。
少しだけ入ったごみ袋が出されているのを見かけるが、だれでも家にごみは置いておきたくないと思うが、意識の問題と思う。

### ③その他ごみの減量・資源化に関する意見等（27件）

食品を購入する際の食品トレイの多さに閉口しているが、肉魚などを買う場合にはどうしてもトレイにのっているため買う側の立場ではどうにもならない。洗って乾かして集積所にもっていく労力がなくなってほしい。売る側にごみ削減義務を設けてほしい。
一般の消費者ばかりごみ減量・資源を求めるが企業にも求めてほしい。度重なる値上げで、食料品（菓子等）などは袋ばかりで中身がガサガサだったり、容器が内身に対して大きすぎたり、まるでごみを買ってるみたい。行政からも企業に意見してほしい。
広報（公共のお知らせ）やユニセフのチラシ（印刷物の束）など、もっと簡素にして、節約し、環境疲弊を減らすことが重要だと思う。
ビニール袋を購入せずに、マイバック持参の人への還元制度。市が指定の量販店、スーパーのレシート（袋購入のない）を集めて市役所に持って行くと金券が貰える。少額レシートで枚数稼ぎできないように1,000円以上購入のレシートなど、ルールを決めて実施。
ラベルやシールがもっと簡単に剥がせれば、リサイクルがもっとしやすくなる。

服のリメイクや本当におしゃれなリサイクルを提案してくれるプロの人やデザイナーさんがいるとよい。
ごみの減量や資源化、リサイクルは時間とお金に余裕があるからできることである。私にはその余裕がない。せめて、名古屋市のように住民税を減税してほしい。
今のままでよいと思う。
今のままで不便なため、このままでよいと思う。
優れたごみシステムだと思う。
現状でよい。
天下りや利権団体に税金を使わないでほしい。
無駄な設備投資が多過ぎる！！
名古屋市のようにジモティスポットつくってみてはどうか。
リサイクルセンターが閉まるのが早すぎる。なぜだ。～17:00ではないのか。
まだ使える家具・家電・衣類を住民同士で交換できるリユースイベントみたいなことを定期的で開催してほしい。
大型スーパーの極端な冷暖房ももったいない。テレビ局などニュースに出演しているアナウンサーらの服装を見るとエネルギー消費に無とん着ぶりを感じる。真夏でもがつつり着こむ程の冷房を何とかしろと言いたい。同ように冬でもノースリーブとは何？スーパー、デパート、公共施設の照明は明るすぎ。資源の浪費の認識が足りない。私個人としては、イルミネーションをありがたい心がさみしい。特に風景のライトアップは美しいと思えない。エネルギーの無駄！原子力、火力にたより過ぎず、身を処して生きよう。
いつも感謝している。
いつも環境保全してくれてありがたい。
特に不満はない。いつもありがとうございます。
いつも市民のために働いていただき感謝している。これからもよろしくおねがいしたい。
生活する私達も、ごみの収集や廃棄に関わる方々、制度を考える役所の方々が、互いに一番よいと思えるようになることを願う。
これからも東海市に住み続けたい。より住みやすく暮らしやすい市になるよう願っている。よろしくお願ひしたい。
不景気なので、みな無駄に買い物をしておらず、それほど捨ててはいないと思う。
道路のたばこの吸い殻も多い。
道路や側溝に捨てられているペットボトルはたまに拾う事があるが汚れているため、可燃物にしてしまう。私の近くでは、特にらんらんバスのバス停付近が多い。自家用車が止められるスペースもあるため、捨てられないような方策が必要かもしれない。

## ごみの減量・資源化についてのアンケート調査

### <調査のお願い>

市民の皆様には、日頃より、ごみの減量・資源化にご協力いただきありがとうございます。

本市では、ごみ処理基本計画を策定しており、令和8年度（2026年度）には、第4次ごみ処理基本計画を見直し、新たに第5次ごみ処理基本計画を策定いたします。

この調査は、第5次ごみ処理基本計画の策定にあたり、市民の皆様の現状及び意識を把握し、もって問題点の特定及び課題の設定を行うため実施するものであり、令和7年（2025年）10月1日現在で18歳以上の東海市にお住いの方から無作為で抽出した2,000人の皆様をお願いしています。

ご回答いただきました内容は、全て統計的に処理しますので、プライバシーの保護はもとより、行政目的以外に利用することは一切ございません。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年（2025年）10月31日 東海市長 花田 勝重

### <ご記入にあたってのお願い>

- 回答するにあたって、わからないことについては、あなたの世帯で主にごみ出しやごみと資源の分別を行っている方に相談しながらお答えください。
  - この調査票は、ご記入の上、**11月24日（月）**までに、同封の返送用封筒に入れてご投函ください。なお、切手は不要です。
  - この調査票による回答に代えて、インターネットによる回答が可能ですので、ぜひご活用ください。スマートフォン・タブレット端末をご利用の方は右下の二次元バーコードから、パソコンをご利用の方は次のURLから、それぞれアクセスしてご回答ください。
- URL：<https://forms.office.com/r/dBEJEy12q2>
- 別紙の資料については返送不要のため、ご家庭においてぜひご活用ください。
  - ご不明な点がございましたら、次までお問合せください。

お問合せ先：東海市役所リサイクル推進課 リサイクル推進担当  
電話 052（601）-2053  
FAX 052（689）-1166



Web 回答はこちら

## I. あなたご自身のことについて

問1. あなたの性別・年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

●性別

- |      |      |          |
|------|------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 回答しない |
|------|------|----------|

●年齢

- |          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 1. 30歳未満 | 3. 40歳代 | 5. 60歳代  |
| 2. 30歳代  | 4. 50歳代 | 6. 70歳以上 |

問2. あなたのお住まいの小学校区（コミュニティ地区）をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

- |       |         |                               |
|-------|---------|-------------------------------|
| 1. 緑陽 | 6. 富木島  | 11. 三ツ池                       |
| 2. 名和 | 7. 船島   | 12. 加木屋南                      |
| 3. 渡内 | 8. 大田   | 13. わからない                     |
| 4. 平洲 | 9. 横須賀  | 〔 町名・字名 :                   〕 |
| 5. 明倫 | 10. 加木屋 |                               |

問3. あなたの職業をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 1. 会社員・公務員   | 5. 主婦・主夫（家事事業）              |
| 2. 自営業       | 6. 無職                       |
| 3. パート・アルバイト | 7. その他（                   ） |
| 4. 学生        |                             |

問4. あなたを含めて同居されている世帯人員の数をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

- |       |       |         |
|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 4. 4人 | 7. 7人   |
| 2. 2人 | 5. 5人 | 8. 8人以上 |
| 3. 3人 | 6. 6人 |         |

問5. あなたのお住まいの住宅の種類をお答えください。(あてはまるもの1つに○を)

- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| 1. 戸建住宅（持ち家） | 5. 店舗兼住宅（持ち家・賃貸）            |
| 2. 戸建住宅（賃貸）  | 6. 社宅・寮                     |
| 3. 集合住宅（持ち家） | 7. その他（                   ） |
| 4. 集合住宅（賃貸）  |                             |

## Ⅱ. あなたの家庭のごみ出しの状況について

問6. あなたの家庭では、どなたが、主にごみ出しを行っていますか。(最も近いもの1つに○を)

- |             |          |            |
|-------------|----------|------------|
| 1. 受け取ったご本人 | 4. 母     | 7. 孫       |
| 2. 配偶者      | 5. 子     | 8. その他同居人  |
| 3. 父        | 6. 祖父・祖母 | 9. その他 ( ) |

問7. あなたの家庭では、可燃ごみは、どれぐらいの頻度でごみ集積場に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎週2回の収集日があります。

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. 週2回(ほぼ毎回) | 3. 月1～3回程度  |
| 2. 週1回程度     | 4. ほとんど出さない |

問8. あなたの家庭では、不燃ごみは、どれぐらいの頻度でごみ集積場に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 月1回(ほぼ毎回)  | 3. 年1～3回程度  |
| 2. 2・3か月に1回程度 | 4. ほとんど出さない |

問9. あなたの家庭では、プラスチックは、どれぐらいの頻度でごみ集積場に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎週1回の収集日があります。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 週1回(ほぼ毎回) | 4. 2・3か月に1回程度 |
| 2. 月2回程度     | 5. ほとんど出さない   |
| 3. 月1回程度     |               |

問10. あなたの家庭では、ペットボトルは、どれぐらいの頻度でごみ集積場に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 月1回(ほぼ毎回)  | 4. ごみ集積場以外の場所に出している |
| 2. 2・3か月に1回程度 | 5. ペットボトルはほとんど出さない  |
| 3. 年1～3回程度    |                     |

問11. あなたの家庭では、缶類は、どれぐらいの頻度でごみ集積場に出していますか。(最も近いもの1つに○を) ※毎月1回の収集日があります。

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1. 月に1回(ほぼ毎回) | 4. ごみ集積場以外の場所に出している |
| 2. 2・3か月に1回程度 | 5. 缶類はほとんど出さない      |
| 3. 年1～3回程度    |                     |

### Ⅲ. あなたの家庭のごみと資源の分別について

問12. あなたの家庭では、下記の品目について捨てる対象になった場合、ごみや資源としてどのように出していますか。(品目ごとにどちらか一方に○を)

※1 お近くの回収箱をご利用の場合は、「2」に○を付けてください。

※2 リチウムイオン電池等をいいます。

※3 蛍光管、電球型蛍光灯及び水銀体温計その他の水銀を含む製品をいいます。

品目		選択項目	
		1 ごみとして出している	2 資源として出している
例	古着・古布	○ 1	2
1	新聞紙・折込広告	1	2
2	段ボール	1	2
3	紙(牛乳)パック	1	2
4	本・カタログ・冊子	1	2
5	紙箱・包装紙	1	2
6	古着・古布	1	2
7	びん類	1	2
8	アルミ缶	1	2
9	スチール缶	1	2
10	スプレー缶 ※1	1	2
11	食品用トレイ	1	2
12	プラスチック	1	2
13	ペットボトル	1	2
14	インクカートリッジ ※1	1	2
15	小型家電 ※1	1	2
16	羽毛布団	1	2
17	天ぷら廃油	1	2
18	木材	1	2
19	乾電池 ※1	1	2
20	小型充電式電池 ※1 ※2	1	2
21	水銀使用廃製品 ※1 ※3	1	2

問13. あなたが、新たに資源としてごみ集積場所で回収してほしいと思う品目はどれですか。  
(最も近いもの1つに○を)

1. 新聞紙・折込広告	5. 紙箱・包装紙	9. 小型家電
2. 段ボール	6. 古着・古布	10. 羽毛布団
3. 紙(牛乳)パック	7. びん類	11. 天ぷら廃油
4. 本・カタログ・冊子	8. インクカートリッジ	12. 木材

問14. あなたの家庭では、どなたが、主にごみと資源の分別を行っていますか。(最も近いもの1つに○を)

1. 受け取ったご本人	4. 母	7. 孫
2. 配偶者	5. 子	8. その他同居人
3. 父	6. 祖父・祖母	9. その他( )

問15. あなたが、日頃、ごみと資源の分別で感じていることは何ですか。(あてはまるもの3つまで選んで○を)

1. 分別の方法を調べる手段がない
2. ごみと資源の出し方(ごみ指定袋一斉配布と同時に配布されている冊子)がわかりにくい
3. 洗うなど手間がかかり、面倒であると感じる
4. 分別をしたところで、収集日まで家の中に置いておく場所がない
5. 資源分別収集常設場・拠点場への交通手段がない
6. 資源分別収集常設場・拠点場の場所が遠い
7. 資源分別収集常設場・拠点場の場所を知らない
8. そもそも分別の意識がない
9. 特にない
10. その他( )

問16. あなたの家庭では、資源分別収集常設場(リサイクルセンター内)(※)をどの程度利用されますか。(最も近いもの1つに○を)

※詳しくは、別紙をご参照ください。

1. 週1回以上	6. 半年に1回程度
2. 月2・3回程度	7. 年に1回程度
3. 月1回程度	8. ほとんど利用しない
4. 2・3か月に1回程度	9. これまで利用したことがない
5. 4・5か月に1回程度	

問17. あなたの家庭では、資源分別収集拠点場（※）をどの程度利用されますか。（最も近いもの1つに○を）

※毎月1回（木曜日）の午前中に開設しています。詳しくは、別紙をご参照ください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. ほぼ毎月1回     | 5. 年に1回程度        |
| 2. 2・3か月に1回程度 | 6. ほとんど利用しない     |
| 3. 4・5か月に1回程度 | 7. これまで利用したことがない |
| 4. 半年に1回程度    |                  |

問18. あなたの家庭では、地域で行われている資源集団回収（※）をどの程度利用されますか。（最も近いもの1つに○を）

※市内の町内会・自治会、子ども会、各種団体によって行われる自主的な資源回収運動で、紙類、布類、びん類、缶類を回収しています。詳しくは、別紙をご参照ください。

- |               |  |
|---------------|--|
| 1. 月1回程度      | 7. これまで利用したことがない（利用したいが、日時や場所がわからない）   |
| 2. 2・3か月に1回程度 | 8. これまで利用したことがない（利用したいが、近くの地域で行われていない） |
| 3. 4・5か月に1回程度 | 9. これまで利用したことがない（利用したいと思わない、利用する必要がない） |
| 4. 半年に1回程度    |  |
| 5. 年1回程度      |  |
| 6. ほとんど利用しない  |  |

問19. あなたの家庭では、店頭回収、民間の資源回収ステーション（※）など（問16～18以外）の資源回収をどの程度利用されますか。（最も近いもの1つに○を）

※詳しくは、別紙をご参照ください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1. 週1回以上      | 6. 半年に1回程度       |
| 2. 月2・3回程度    | 7. 年1回程度         |
| 3. 月1回程度      | 8. ほとんど利用しない     |
| 4. 2・3か月に1回程度 | 9. これまで利用したことがない |
| 5. 4・5か月に1回程度 |                  |

東海市では、ごみと資源の分別を推進するため、リサイクルセンター内の資源分別収集常設場や市内13箇所の資源分別収集拠点場で資源回収を行っているほか、資源集団回収、スーパーマーケットなどにおける店頭回収を行っています。

回収場所等については、別紙をご参照ください。

一人一人がごみと資源の分別を心がけましょう。

あなたの心がけが未来の環境を守ります。



#### IV. ごみの減量・資源化について

問20. あなたの家庭では、下記の品目について、この1年間で不要となった物を、どのようにリユースしましたか。(品目ごとにあてはまるもの全てに○を)

選択項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
品目	フリマアプリを活用したことがある	ネットオークションを活用したことがある	買取専門店を利用したことがある	フリーマーケットを活用したことがある	知人に譲ったことがある	市のイベントに参加して寄付したことがある	企業や団体に寄付したことがある	1～7は利用したが、今後は利用したい	1～7は利用したが、今後利用しない	
例	衣類	○1	2	○3	4	○5	6	7	8	9
1	衣類	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	家具	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3	家電 (ゲーム機を除く。)	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4	書籍	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	CD・DVD	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6	食品	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7	おもちゃ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
8	その他 ( )	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問21. あなたの家庭では、食品ロス（※）は、どれぐらいの頻度で発生しますか。

（食品ロスの主な原因ごとに最も近いもの1つに○を）

※「食品ロス」とは、まだ食べることができるにもかかわらず、捨てられてしまう食品のことをいいます。食品ロスの主な原因は、“食べ残し”、“直接廃棄”、“過剰除去”です。

●食べ残し（作りすぎて、食べきれないこと）

1. 週2回以上	4. 月1回程度	7. 半年に1回程度
2. 週1回程度	5. 2・3か月に1回程度	8. 年1回程度
3. 月2・3回程度	6. 4・5か月に1回程度	9. まったく発生しない

●直接廃棄（期限切れ等により手つかずのまま捨てること）

1. 週2回以上	4. 月1回程度	7. 半年に1回程度
2. 週1回程度	5. 2・3か月に1回程度	8. 年1回程度
3. 月2・3回程度	6. 4・5か月に1回程度	9. まったく発生しない

●過剰除去（野菜の皮など食べることができるところまで厚くむき捨てること）

1. 週2回以上	4. 月1回程度	7. 半年に1回程度
2. 週1回程度	5. 2・3か月に1回程度	8. 年1回程度
3. 月2・3回程度	6. 4・5か月に1回程度	9. まったく発生しない

問22. あなたの家庭では、食品ロスは、どの理由で発生しますか。（あてはまるもの3つまで選んで○を）

【食品ロスの原因】

食べ残し	1. 料理を作りすぎて食べ切れない
	2. 好みの味に仕上がらず、料理を残してしまう
	3. 急な予定の変更により作った料理を残してしまう
直接廃棄	4. 食材を使い切る調理方法がわからず、使い切れずに捨ててしまう
	5. 在庫があることに気が付かず同じ食材を購入し、使い切れない
	6. 食材を大量に買いすぎて使い切れない
過剰除去	7. 食材を適切に保存できず、捨ててしまう
	8. 食べることのできる部分がどこまでなのかわからず、捨ててしまう
	9. その他（ ）

問23. あなたの家庭で発生する食品ロスを減らすための取組状況と今後の取組意向についてお尋ねします。(取組項目ごとに最も近いもの1つに○を)

※1「フードドライブ」とは、家庭などで使い切れずに余っている食品を持ち寄り、必要としている人や福祉団体などに寄付する活動のことをいいます。

※2「ローリングストック」とは、日常的に使う食品や生活用品を少し多めに備えておき、使った分をその都度買い足すことで、常に一定量の備蓄を保つ方法のことをいいます。

取組項目	取組状況・今後の取組意向		
	1	2	3
	取り組んでおり、今後も続けていく	取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい	取り組んでおらず、今後も取り組まない
1. 料理を作りすぎない	1	2	3
2. 残さず食べる	1	2	3
3. 食材を無駄なく使える調理方法やリメイク方法を学ぶ	1	2	3
4. 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限の表示を確認する	1	2	3
5. 食べ切れる量を購入する	1	2	3
6. 食材の保存方法を工夫する	1	2	3
7. 賞味期限が切れた食材はすぐに捨てるのではなく、食べることができるか確認する	1	2	3
8. 野菜を切るときは、食べることができる部分を除去しない	1	2	3
9. 好みでない、食べない食品はフードドライブ（※1）に役立てる	1	2	3
10. ローリングストック（※2）を実践し、備蓄非常食も無駄にしない	1	2	3

問24. あなたのごみの減量・資源化を推進するための取組状況と今後の取組意向についてお尋ねします。(取組項目ごとに最も近いもの1つに○を)

※「3010運動」とは、宴会などの食事の場における食べ残しを減らすために提唱された取り組みのことをいいます。最初の30分間は席について料理を楽しみ、最後の10分間は席に戻って残った料理を食べることで、食品ロスを減らすことを目的としています。

取組項目	取組状況・今後の取組意向		
	1	2	3
	取り組んでおり、今後も続けていく	取り組んでいないが、今後取り組んでいきたい	取り組んでおらず、今後も取り組まない
1. 使い捨ての箸やスプーン、ストローなどをなるべくもらわないようにしている	1	2	3
2. 商品購入時に過剰な包装を断るようになっている	1	2	3
3. マイバック(エコバック)を利用している	1	2	3
4. マイボトルを利用している	1	2	3
5. 詰め替え用の商品を購入している	1	2	3
6. レンタル・シェア・リース製品を使用するようになっている	1	2	3
7. 壊れても修理して長く使用している	1	2	3
8. スーパーなどにおいて、商品棚の手前にある賞味期限・消費期限が近い商品を選ぶ「てまえどり」の行動を意識している	1	2	3
9. 会食時に3010運動(※)を実践している	1	2	3
10. 野菜は皮をむいてから洗っている	1	2	3
11. 生ごみはぎゅっと絞りと、水切りしてから捨てる	1	2	3
12. EM処理剤、生ごみ処理機等を使用している	1	2	3



## V. ごみ指定袋について

問26. あなたの家庭では、この1年間の可燃用指定袋（白色）の使用枚数はどうでしたか。  
（あてはまるもの1つに○を）

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 配布された枚数が多くて余った    | } ⇒ 問 26-1 をお答えください |
| 2. 配布された枚数でちょうどよかった  |                     |
| 3. 配布された枚数では不足に、購入した | ⇒ 問 26-2 をお答えください   |

問 26-1. 【問 26. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】  
あなたの家庭で、1年間に余る可燃用指定袋はおおよそ何枚ですか？（袋の容量ごとにあてはまるもの1つに○を）

20L	1. 10枚以下	30L	1. 10枚以下	40L	1. 10枚以下
	2. 11～20枚		2. 11～20枚		2. 11～20枚
	3. 21～30枚		3. 21～30枚		3. 21～30枚
	4. 31枚以上		4. 31枚以上		4. 31枚以上

問 26-2. 【問 26. で「3. 配布された枚数では不足に、購入した」と回答した方にお聞きします。】

この1年間に購入した可燃用指定袋は、おおよそ何枚ですか？（あてはまるもの1つに○を）

1. 10枚以下	3. 21～30枚	5. 41～50枚
2. 11～20枚	4. 31～40枚	6. 51枚以上

問27. あなたの家庭では、この1年間の不燃用指定袋（青色）の使用枚数はどうでしたか。  
（あてはまるもの1つに○を）

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 配布された枚数が多くて余った    | } ⇒ 問 27-1 をお答えください |
| 2. 配布された枚数でちょうどよかった  |                     |
| 3. 配布された枚数では不足に、購入した |                     |

問 27-1. 【問 27. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】  
あなたの家庭で、1年間に余る不燃用指定袋はおおよそ何枚ですか？（あてはまるもの1つに○を）

1. 2枚以下	3. 5・6枚	5. 9・10枚
2. 3・4枚	4. 7・8枚	6. 11枚以上

問28. あなたの家庭では、この1年間の資源用袋（黄色）の使用枚数はどうでしたか。（あてはまるもの1つに○を）

※年間40枚配布しています。

- |                               |                     |
|-------------------------------|---------------------|
| 1. 配布された枚数が多くて余った             | } ⇒ 問 28-1 をお答えください |
| 2. 配布された枚数でちょうどよかった           |                     |
| 3. 配布された枚数では不足に、追加でもらった又は購入した |                     |

問 28-1. 【問 28. で「1. 配布された枚数が多くて余った」「2. 配布された枚数でちょうどよかった」と回答した方にお聞きします。】

あなたの家庭で、1年間に余る資源用袋はおおよそ何枚ですか？（あてはまるもの1つに○を）

- |          |           |          |
|----------|-----------|----------|
| 1. 5枚以下  | 3. 11～15枚 | 5. 21枚以上 |
| 2. 6～10枚 | 4. 16～20枚 |          |

問 28-2. 【問 28. で「3. 配布された枚数では不足に、追加でもらった又は購入した」と回答した方にお聞きします。】

この1年間に購入した無色透明の袋又は追加でもらって使用した資源用袋は、おおよそ何枚ですか？（あてはまるもの1つに○を）

※追加で上限の40枚をもらい、30枚しか使用しなかった場合は、“3. 21～30枚”を選択してください。

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 10枚以下  | 3. 21～30枚 | 5. 41～50枚 |
| 2. 11～20枚 | 4. 31～40枚 | 6. 51枚以上  |

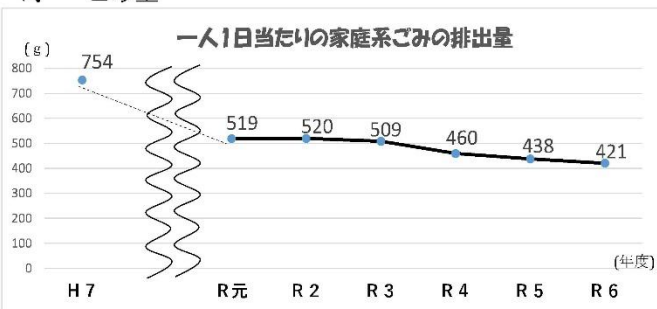
問29. あなたの家庭では、この1年間の粗大ごみシールの使用枚数はどうでしたか。（あてはまるもの1つに○を）

- |                      |
|----------------------|
| 1. 配布された枚数が多くて余った    |
| 2. 配布された枚数でちょうどよかった  |
| 3. 配布された枚数では不足に、購入した |

**【問 30 を答えるにあたって、以下をお読みください】**

東海市では、平成7年度（1995年度）からごみ指定袋等を一定枚数無料で配布し、配布枚数の範囲内に納めていただくことで、ごみの削減にご協力を頂いているものです。しかしながら、東海市のごみ処理を取り巻く環境は、平成7年度（1995年度）から大きく変わっており、現状に合った行政サービスを提供するため、市民の皆様のご意見をお聞かせください。

**1. ごみ量**



●ごみが減っているのに、配布枚数が減っておらず、袋が余る世帯が増えてきた。  
●ごみ量が減れば、ごみ処理に係る税金が抑えられ節税となる。  
ごみ処理費 70 千円/t  
(R6 年度, 事業系ごみ・資源を含む。)

**2. ごみ指定袋に係る税金**



●ごみ指定袋作成費が年々増加しており、莫大な税金が使われている。  
(H29 年度と R6 年度比較で5千4百万円増)

**3. ごみ指定袋の配布方式**

方式	一定枚数無料配布 (現行)	1枚目から有料
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ量を無料配布枚数以内にすれば、費用負担は生じない</li> <li>ごみ量が一定量削減できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ指定袋制度に係る税金が削減できる</li> <li>ごみ量に応じた費用負担となるため、削減努力と費用負担が公平</li> <li>一定枚数無料配布方式よりごみ削減効果が期待できる                             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ごみ処理に係る費用が大幅に減り、節税できる</li> </ul> </li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ指定袋制度に係る税金が多く使用されている</li> <li>ごみの減量が一定量以上見込めない                             <ul style="list-style-type: none"> <li>※現在一定量近くまで減らせている</li> </ul> </li> <li>余ったごみ指定袋の転売が発生する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての世帯でごみ指定袋を購入する費用負担が発生する</li> </ul>

問30. ごみ指定袋制度のあり方について、どのように考えますか。(あてはまるものに○を)  
また、その項目を選んだ理由も合わせてお答えください

- |   |
|---|
| 1. 現在の制度を続ける ⇒問 30-1 にお答えください           |
| 2. 他の自治体のように1枚目から有料化する ⇒問 30-2 にお答えください |

問 30-1. 「1. 現在の制度を続ける」を選んだ理由 (あてはまるもの全てに○を)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 配布枚数内でおさまるようごみの削減を行っているから |
| 2. 現在の制度がわかりやすいから            |
| 3. 配布枚数内で収まれば費用負担が発生しないから    |
| 4. 指定袋を買うなどの手間がかからないから       |
| 5. その他 ( )                   |

問 30-2. 「2. 他の自治体のように1枚目から有料化する」を選んだ理由 (あてはまるもの全てに○を)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. ごみの削減努力と費用負担が適切で公平だから      |
| 2. 1枚目から有料にする制度がわかりやすいから      |
| 3. 一定の費用負担はやむを得ないから           |
| 4. ごみ量が減れば、ごみ処理にかかる税金が少なく済むから |
| 5. 指定袋の引換え、容量交換などの手間がかからないから  |
| 6. 世帯人数に指定袋の無料配布枚数が比例していないから  |
| 7. その他 ( )                    |

## VI. 自由意見

問31. ごみの減量・資源化を推進するための市に対するご意見を自由に記入してください。  
(調査の性格上、個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。)

ご協力いただきありがとうございました。

## [資源の回収日・回収場所・回収時間・回収品目]

区分	回収日	回収場所	回収時間	回収品目
資源分別収集 常設場	年末年始を除く毎日	リサイクルセンター (東海市荒尾町奥山10-48)内	9:00~15:30	紙、布、びん、缶、食品用トレイ・発泡スチロール、プラスチック、ペットボトル、ペットボトルキャップ、使用済インクカードリッジ、小型家電、羽毛製品、天ぶら廃油、木材、スプレー缶、電池、水銀使用廃製品
資源分別収集 拠点場	第1木曜日	替地公園、メルヘンの森、社宮司公園、三ツ池小プール	4月~10月	紙、布、びん、缶、食品用トレイ・発泡スチロール、プラスチック、ペットボトル、
	第2木曜日	平地公園、農業センター、加木屋南公園	6:30~12:00	ペットボトル、
	第3木曜日	しあわせ村北駐車場、富木島公民館、勤労センター	11月~3月	ペットボトルキャップ、
	第4木曜日	脇ノ口公園、大田町公民館、加木屋市民館	7:00~12:00	天ぶら廃油、スプレー缶
資源集団回収	地域の町内会、自治会、子ども会等実施団体により異なるもの。	地域の回収場所	実施団体により異なるもの。	紙、布、びん、缶
店頭回収	各店舗の営業日	バロー名和店、MEGAドン・キホーテ東海名和店、スギ薬局荒尾町店、アピタ東海荒尾店、DCM東海店、バロー上野台店、MEGAドン・キホーテUNY太田川店、バロー加木屋店	各店舗の営業時間	ペットボトル、ペットボトルキャップ (MEGAドン・キホーテ東海名和店にあつては、ペットボトルキャップのみ)